

令和5年度 市民意識調査結果報告書

令和6年1月



目 次

1	調査の概要	1
2	調査結果	2
(1)	回答者属性	2
問 1	性別	2
問 2	年齢	2
問 3	居住地区	2
(2)	住みごこちや愛着等について	3
問 4	東近江市の住みごこちは	3
問 5	東近江市に住み続けたいか	5
問 6	東近江市への愛着	7
問 7	東近江市を自慢できるか	9
問 8	「鈴鹿 10 座」の認知度	11
問 9	友人・知人に東近江市を紹介するところ	13
問 10	近江鉄道八日市駅周辺の訪問頻度	15
問 11	中心市街地（八日市駅周辺）が活性化するために必要なこと	17
(3)	健康や福祉について	19
問 12	かかりつけ医の有無	19
問 13	医療体制への満足度	21
問 14	健康づくりのために取り組んでいること	23
問 15	朝食を食べているか	29
問 16	運動の実施頻度	33
問 17	不安、悩み、ストレスを感じたか	35
問 18	不安、悩み、ストレスは解消できているか	39
問 19	東近江市民の障害者に対する理解	41
問 20	障害者に対する理解に向けて今後特に力を入れるべきこと	43
(4)	環境や暮らしについて	45
問 21	市の自然環境保全の取組への満足度	45
問 22	自然との関わりの実感度	47
問 23	環境にやさしい取組の実践	49
問 24	東近江市の働く場所は十分か	51
問 25	男女の地位は平等になっているか	53
問 26	消費生活センターの認知度	58
問 27	市民生活相談課の認知度	60
問 28	市内の公共交通への満足度	62
問 29	近江鉄道について	64
問 30	近江鉄道の利用頻度	66

問 31 災害への備え	70
(5)子育てや教育関連の取組について	72
問 32 子育てをするのに良い環境か	72
問 33 通学路の安全確保について	74
問 34 人権が尊重されるまちになっているか	76
問 35 人権に関する講座等への参加	78
問 36 児童虐待の通報先	80
問 37 文化芸術鑑賞等でのホールの利用状況	83
(6)都市整備について	85
問 38 市内の都市基盤整備に対する満足度	85
(7)購買状況等について	94
問 39 食品や日用雑貨品、衣料品等の購入先	94
問 40 野菜等を購入する際の基準	99
問 41 市内の農産物直売所の利用状況	101
問 42 キャッシュレス決済の利用頻度	103
(8)協働のまちづくりについて	111
問 43 協働のまちづくりができているか	111
問 44 地域での住民同士の助け合いができているか	113
問 45 地域活動又はNPOやボランティア等の活動への参加状況	115
問 46 多文化共生社会の実現	123
(9)広報等の情報について	125
問 47 市の情報（お知らせ）の取得方法	125
問 48 「広報ひがしおうみ」を読んでいるか	128
問 49 「広報ひがしおうみ」の配信方法の認知度	132
問 50 「東近江市議会だより」を読んでいるか	142
問 51 「市議会本会議」の様子を見たことがあるか	144
(10)市役所のサービスに関して	146
問 52 市役所職員の対応の印象	146
(11)まちづくりに対する意見等について	148
問 53 まちづくりに対する意見や提案（自由記述）	148
3 総括	151
4 調査票	154

1 調査の概要

(1) 調査の目的

東近江市では、平成 28 年度に策定した「第 2 次東近江市総合計画」に基づき、「うるおいとにぎわいのまち東近江市」を目指してまちづくりを進めています。住みよいまちを実現するために、市民の意識や生活スタイルなど、まちづくりに関する意見を聞くことを目的に、市民意識調査を実施しました。

(2) 調査対象

令和 5 年 8 月 1 日現在、東近江市在住の満 18 歳以上の市民 3,037 人を対象としました。（住民基本台帳から無作為抽出）

(3) 調査期間

令和 5 年 8 月 7 日から同年 9 月 4 日まで

(4) 調査方法

郵送による配布・回収、無記名

(5) 回収状況

調査票の配布数 3,037 件に対し、宛先不明として返送されてきた調査票が 15 件あり、到達した配布数は 3,022 件でした。回収した調査票数 1,322 件に対し、無効の調査票数は 3 件で、有効回収調査票数は 1,319 件、回収率は 43.6% でした。

配 布			回 収			到達配布数に対する回収率
配布数	不到達数	到達配布数	回収調査票数	無効調査票数	有効回収調査票数	
3,037	15	3,022	1,322	3	1,319	43.6%

(6) 調査結果の表示方法

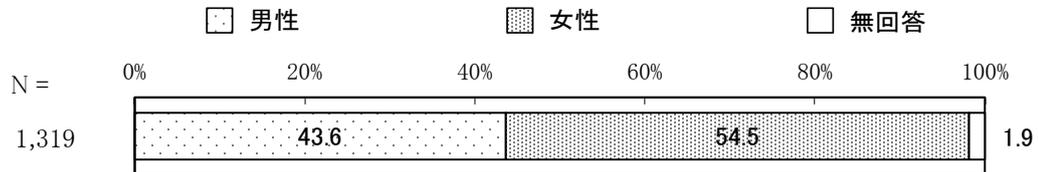
- ・ 回答は、各設問の有効回答数（N）を母数とした百分率（%）で示しています。また、小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答の設問については、回答者が全体（N=1,319）に対してどのくらいの比率であるかという表記になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。ただし、分岐設問の場合は、N の値が異なります。
- ・ 調査結果を図表で表示していますが、グラフ以外の表（複数選択の設問）は、最も高い割合の回答（無回答を除く。）に  で網かけをしています。
- ・ 指定の回答数以上の回答や分岐設問等での誤った回答などは、「その他」の設問がある間は「その他」として、そのほかは全て「無回答」として集計しています。
- ・ 性別や年代別、居住地区別の集計の場合、無回答を排除しているため、その有効回答数の合計と全体の有効回答数が合致しないことがあります。

2 調査結果

(1) 回答者属性

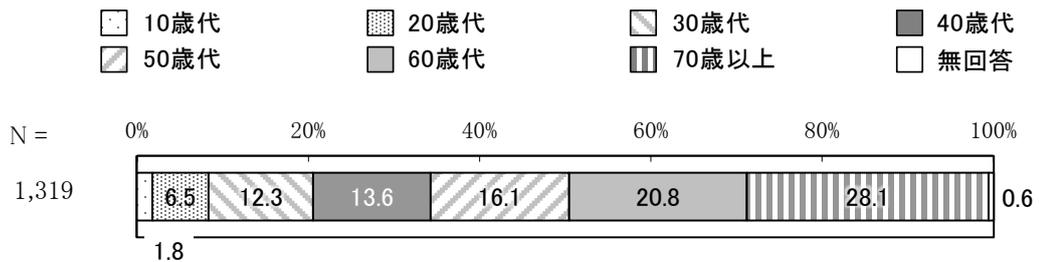
問1 性別

- 「男性」が43.6%、「女性」が54.5%で、女性が多くなっています。



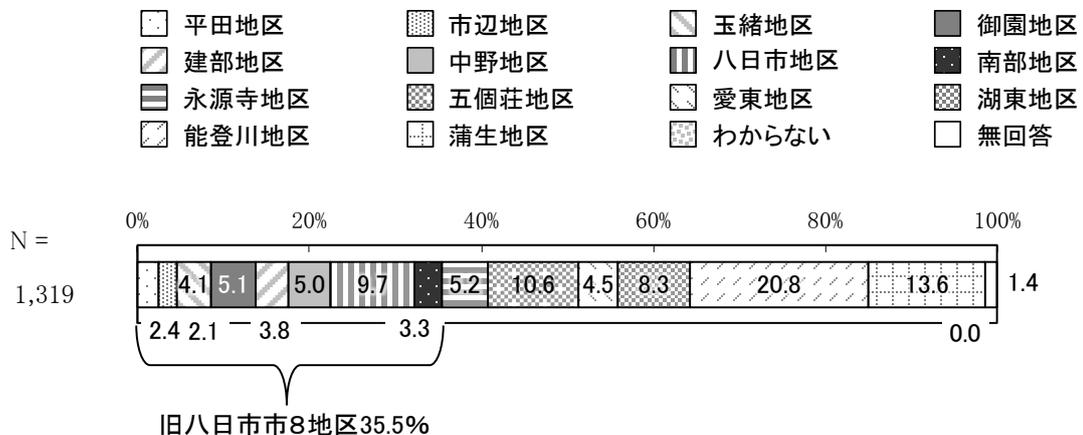
問2 年齢

- 年齢については、「70歳以上」が28.1%と最も多く、次いで「60歳代」が20.8%で、60歳以上が48.9%と半数近くを占めています。



問3 居住地区

- 居住地区については、「能登川地区」が20.8%と最も多く、次いで「蒲生地区」が13.6%、「五個荘地区」が10.6%となっています。
- 旧八日市市の8地区を合計すると、35.5%となっています。

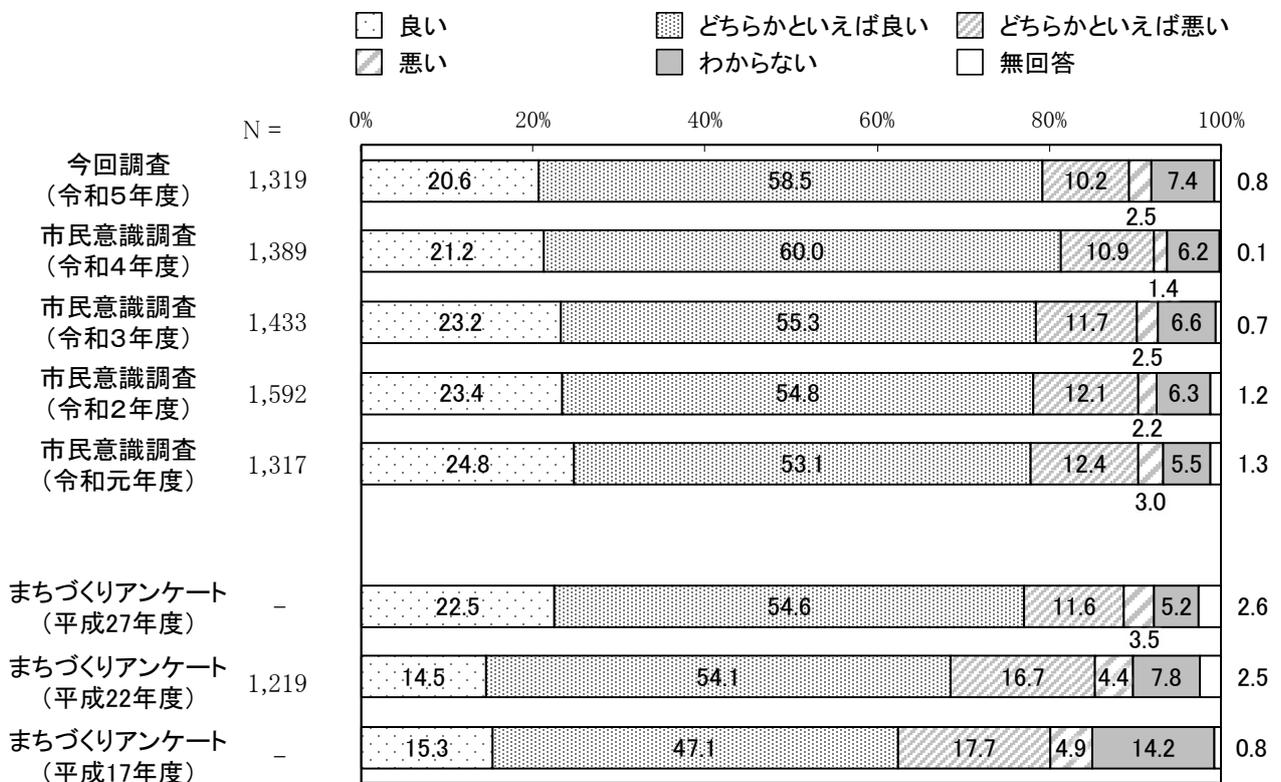


(2) 住みごこちや愛着等について

問4 あなたは、東近江市の住みごこちをどう思いますか。《○1つ》

8割近くが住みごこちが良い

- ・ 東近江市の住みごこちについては、「良い」が20.6%、「どちらかといえば良い」が58.5%で、これらを合わせると79.1%となり、8割近くの人が住みごこちが良いと感じています。一方、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせると12.7%となっています。
- ・ 年代別では、住みごこちが良い（「良い」と「どちらかといえば良い」の合計）の割合が、20～30歳代と60歳以上で8割を超えている一方で、10歳代では住みごこちが悪い（「どちらかといえば悪い」と「悪い」の合計）の割合が3割以上となっています。
- ・ 居住地区別では、住みごこちが良い（前述）の割合が、建部地区、中野地区で9割を超えており、平田地区、永源寺地区でやや低くなっています。



単位：%

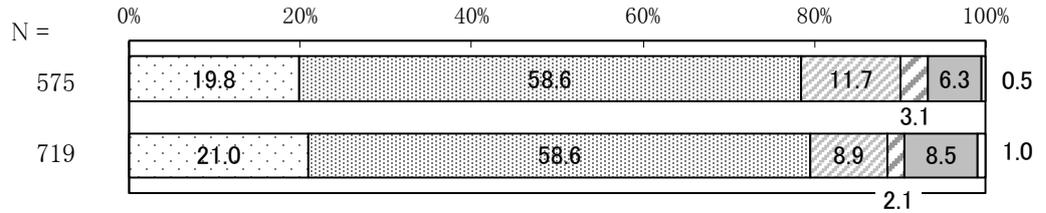
	良い*	悪い*	差
①今回調査(令和5年度)	79.1	12.7	66.4
②市民意識調査(令和4年度)	81.2	12.3	68.9
③市民意識調査(令和3年度)	78.5	14.2	64.3
④市民意識調査(令和2年度)	78.2	14.3	63.9
⑤市民意識調査(令和元年度)	77.9	15.4	62.5
①-⑤	1.2	-2.7	3.9
まちづくりアンケート(平成27年度)	77.1	15.1	62.0
まちづくりアンケート(平成22年度)	68.6	21.1	47.5
まちづくりアンケート(平成17年度)	62.4	22.6	39.8

* 良い:「良い」と「どちらかといえば良い」の合計

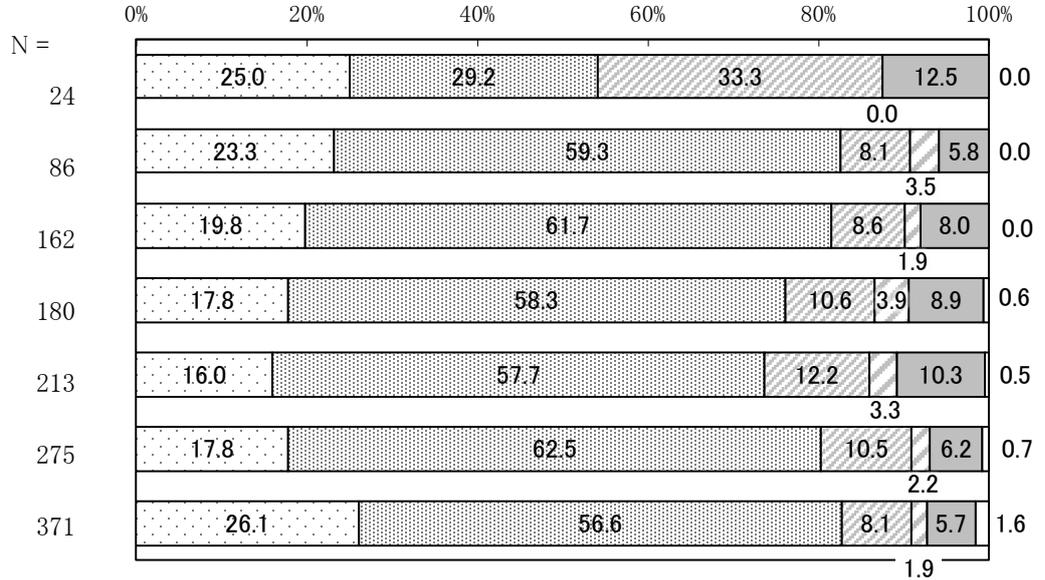
* 悪い:「どちらかといえば悪い」と「悪い」の合計

良い
 どちらかといえば良い
 どちらかといえば悪い
 悪い
 わからない
 無回答

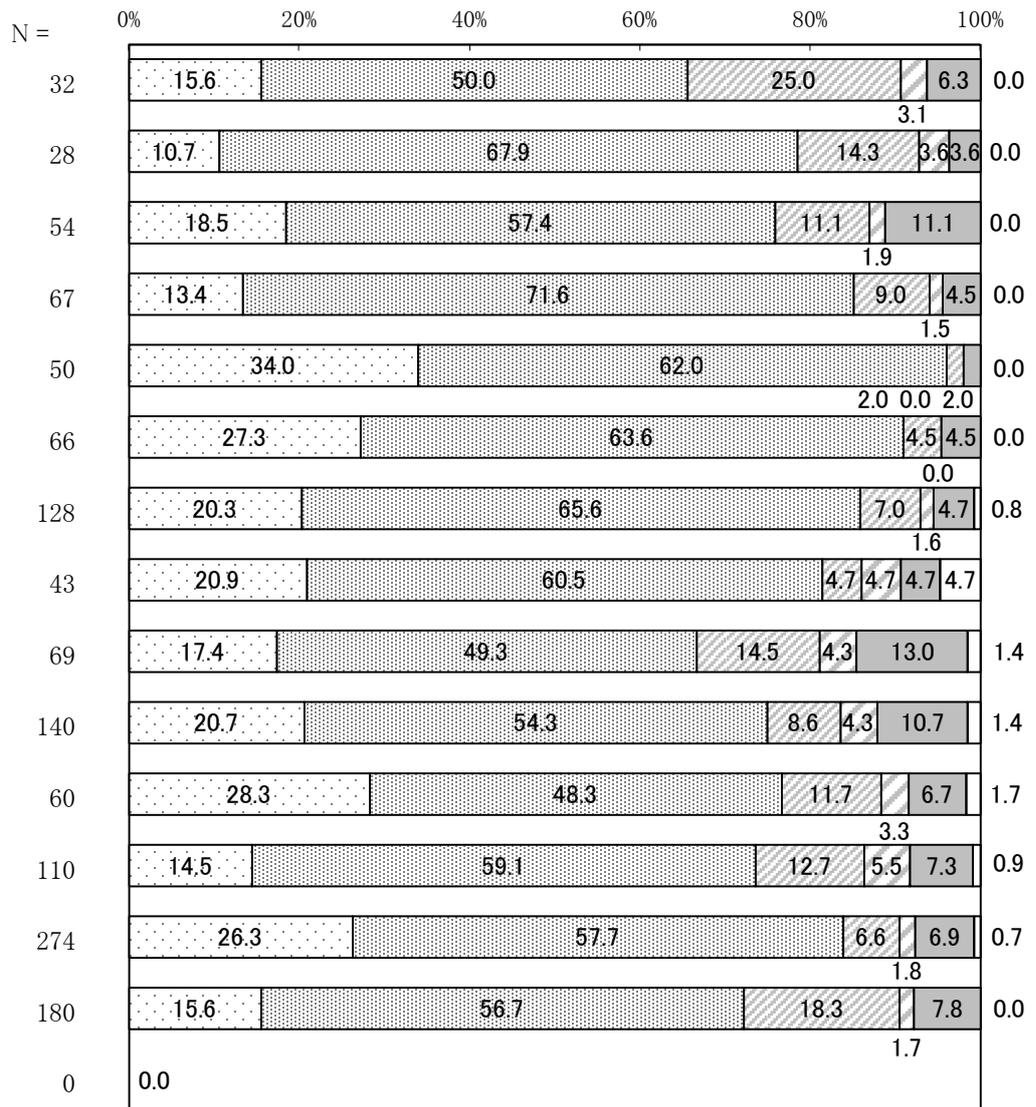
【性別】



【年代別】



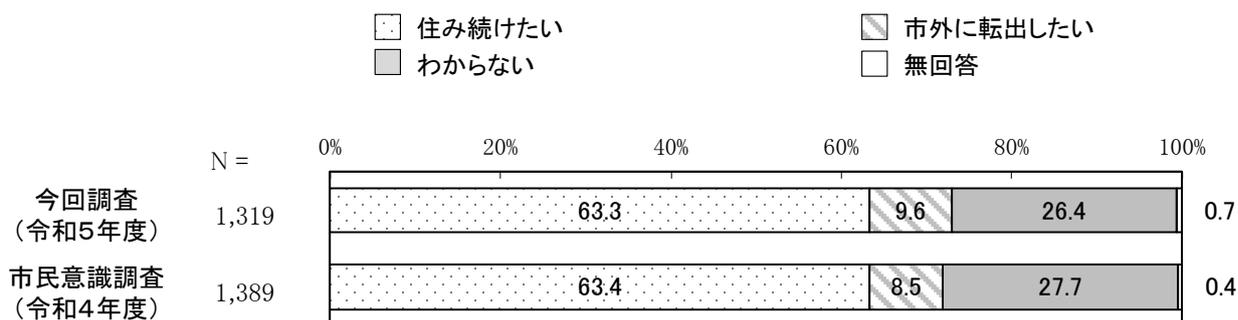
【居住地区別】



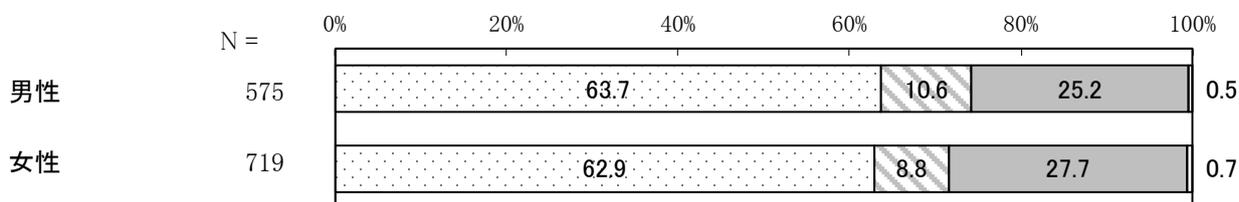
問5 あなたは、東近江市にずっと住み続けたいと思いますか。《○1つ》

6割が東近江市に住み続けたい

- ・ 東近江市にずっと住み続けたいかについては、「住み続けたい」が63.3%で6割の人が東近江市に住み続けたいと回答しています。一方、「市外に転出したい」が9.6%で、「わからない」とする人も26.4%と3割近くいます。
- ・ 年代別では、「住み続けたい」の割合は、年齢が上がるほど高くなる傾向があり、60歳代では7割近く、70歳以上は8割を超えています。
- ・ 居住地区別では、「住み続けたい」の割合が、御園地区、建部地区、平田地区で8割近くと高い一方、八日市地区では半数とほかの地区に比べ低くなっています。

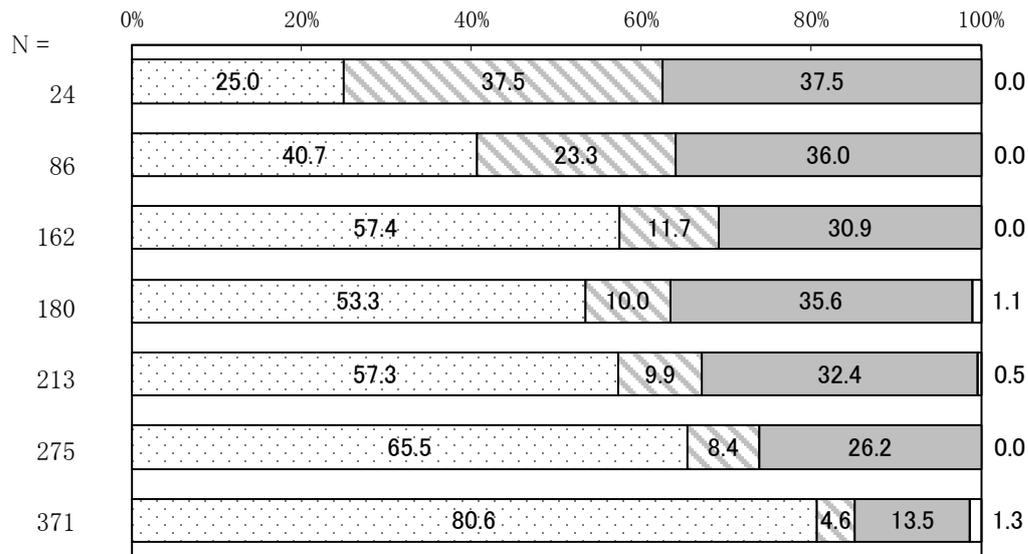


【性別】

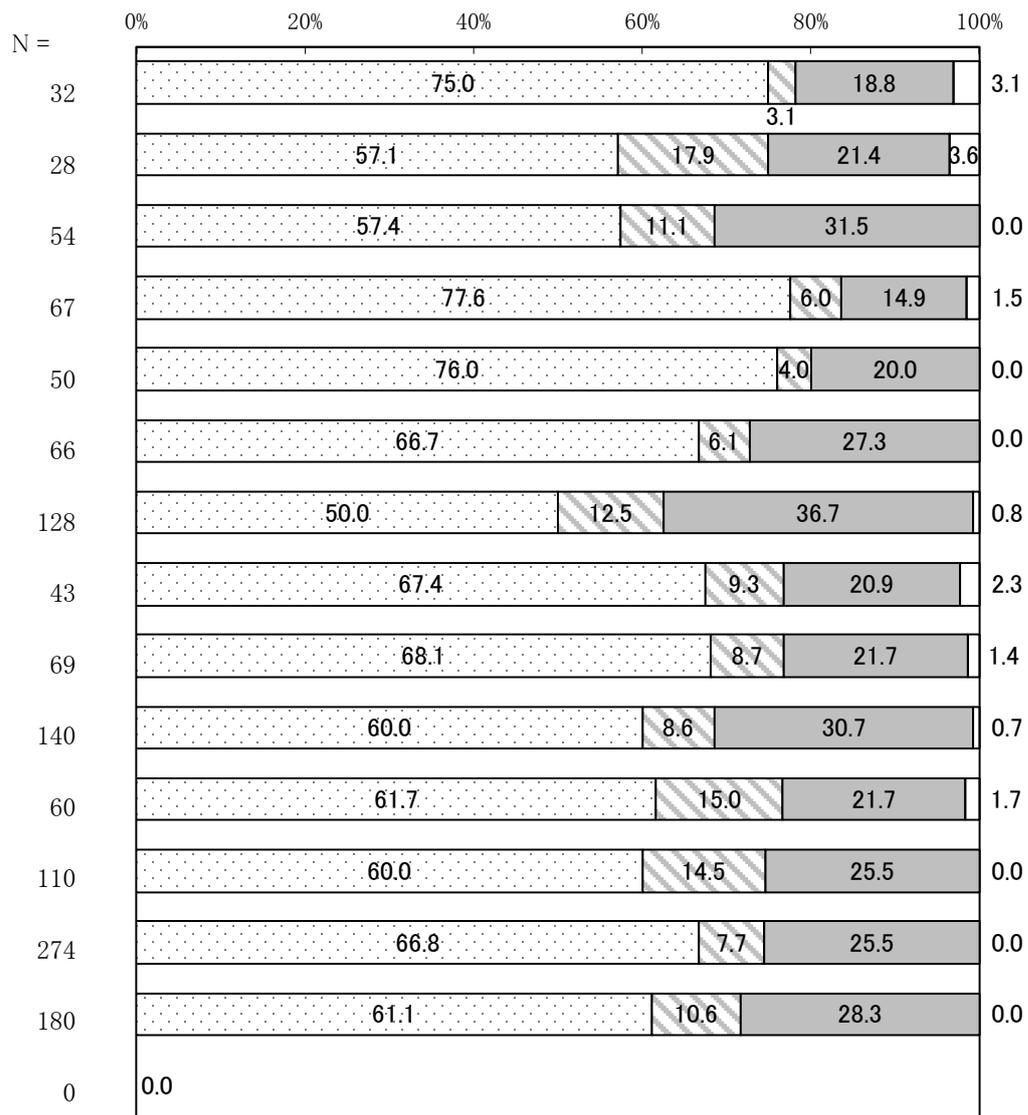


【年代別】

住み続けたい 市外に転出したい
 わからない 無回答



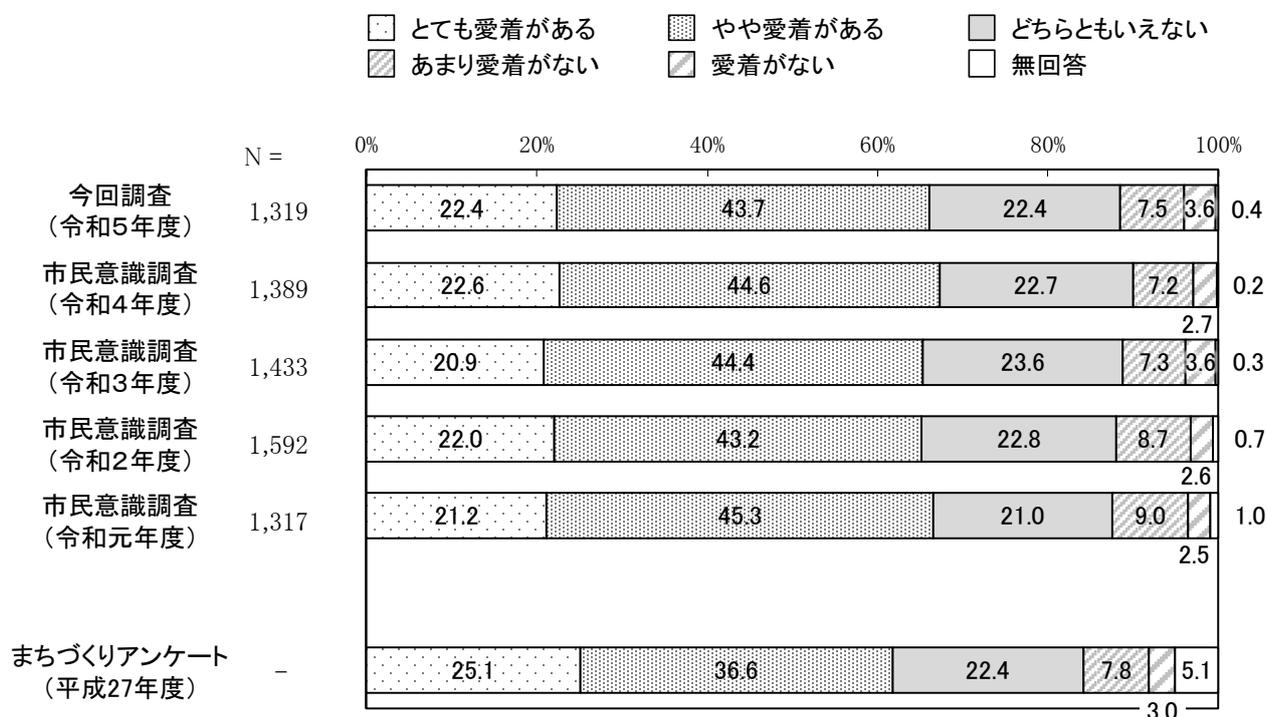
【居住地区別】



問6 あなたは、東近江市に対して愛着がありますか。《○1つ》

7割近くが東近江市に対して愛着がある

- ・ 東近江市に対する愛着については、「とても愛着がある」が22.4%、「やや愛着がある」が43.7%で、これらを合わせると66.1%となり、7割近くの人が東近江市に愛着があると回答しています。一方、「あまり愛着がない」と「愛着がない」を合わせると11.1%となっています。また、「どちらともいえない」とする人も22.4%と2割います。
- ・ 年代別では、愛着がある（「とても愛着がある」と「やや愛着がある」の合計）の割合は、20歳以上で年齢が上がるほど高くなる傾向があり、60歳代で7割近く、70歳以上で8割近くとなっています。
- ・ 居住地区別では、愛着がある（前述）の割合が、中野地区で8割以上と高く、市辺地区、湖東地区、八日市地区で低くなっています。



単位：%

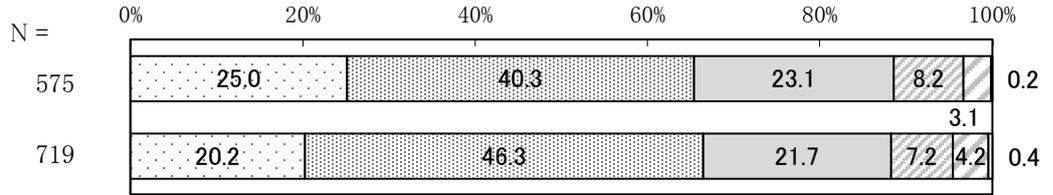
	愛着がある*	愛着がない*	差
①今回調査(令和5年度)	66.1	11.1	55.0
②市民意識調査(令和4年度)	67.2	9.9	57.3
③市民意識調査(令和3年度)	65.3	10.9	54.4
④市民意識調査(令和2年度)	65.2	11.3	53.9
⑤市民意識調査(令和元年度)	66.5	11.5	55.0
①-⑤	-0.4	-0.4	0.0
まちづくりアンケート(平成27年度)	61.7	10.8	50.9

* 愛着がある:「とても愛着がある」と「やや愛着がある」の合計

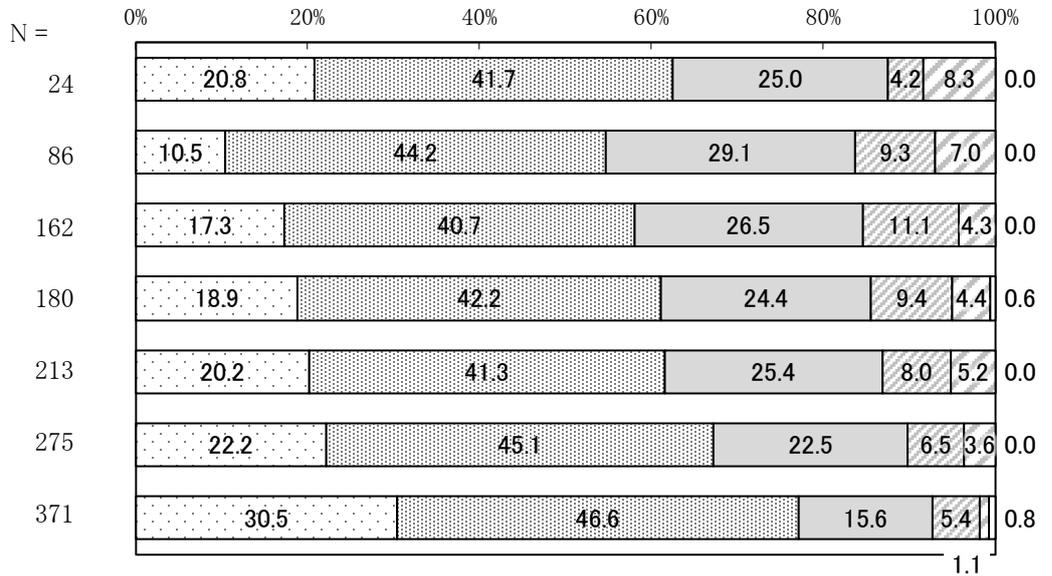
* 愛着がない:「あまり愛着がない」と「愛着がない」の合計

とても愛着がある
 やや愛着がある
 どちらともいえない
 あまり愛着がない
 愛着がない
 無回答

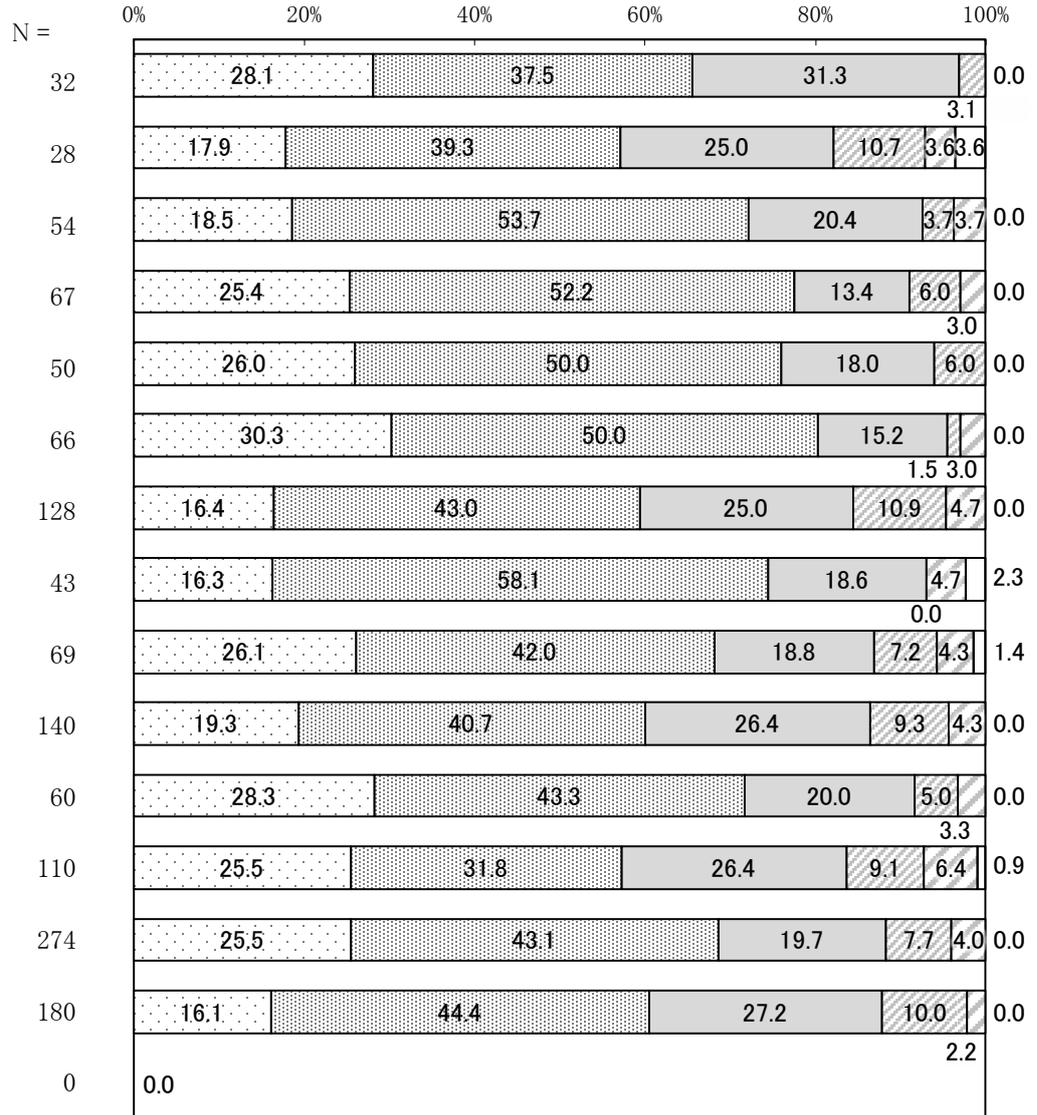
【性別】



【年代別】



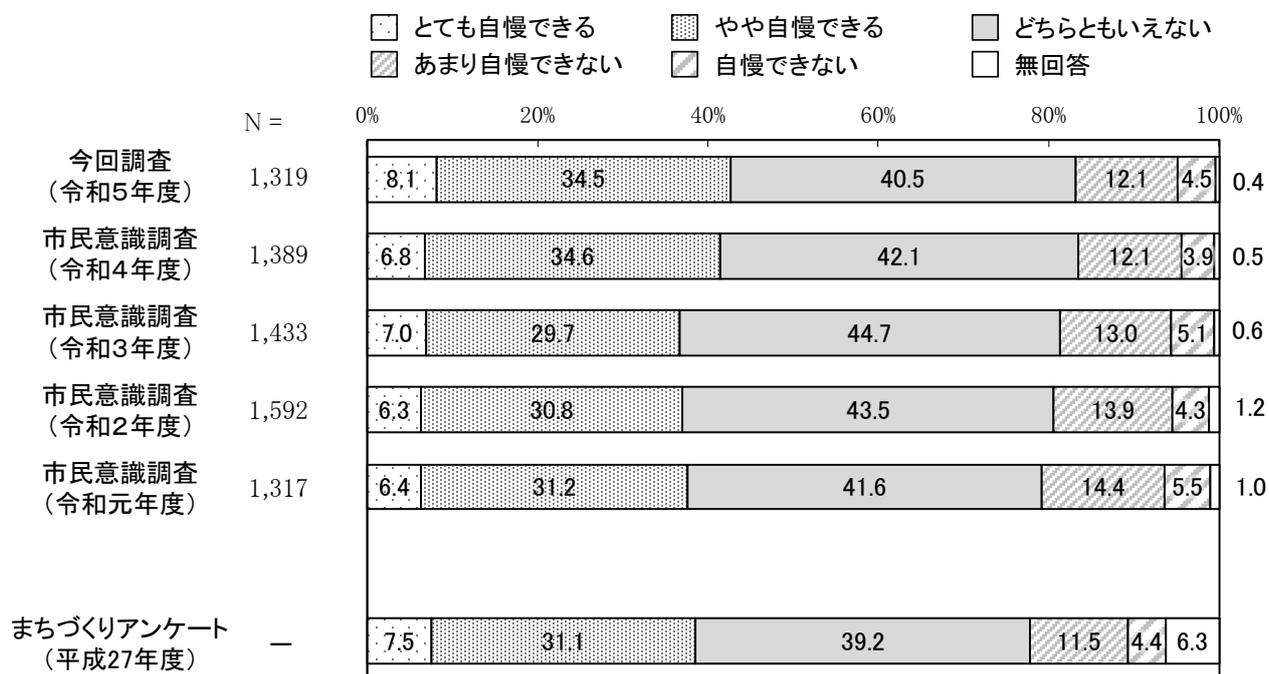
【居住地区別】



問7 あなたは、東近江市を自慢できますか。《○1つ》

4割が自慢できる、4割が「どちらともいえない」

- ・ 東近江市を自慢できるかについては、「どちらともいえない」が40.5%と最も多くなっています。また、「とても自慢できる」が8.1%、「やや自慢できる」が34.5%で、これらを合わせると42.6%となり、4割の人が自慢できるとしています。一方、「あまり自慢できない」と「自慢できない」を合わせると16.6%となっています。
- ・ 年代別では、自慢できる（「とても自慢できる」と「やや自慢できる」の合計）の割合は、70歳以上で半数を超えています。
- ・ 居住地区別では、自慢できる（前述）の割合が、建部地区で6割と高く、蒲生地区、平田地区で3割と低くなっています。



単位：%

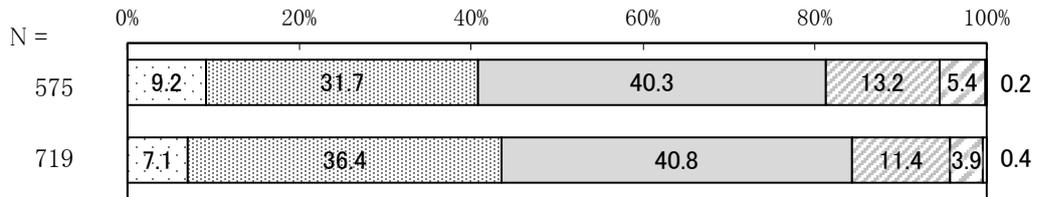
	自慢できる*	自慢できない*	差
①今回調査(令和5年度)	42.6	16.6	26.0
②市民意識調査(令和4年度)	41.4	16.0	25.4
③市民意識調査(令和3年度)	36.7	18.1	18.6
④市民意識調査(令和2年度)	37.1	18.2	18.9
⑤市民意識調査(令和元年度)	37.6	19.9	17.7
①-⑤	5.0	-3.3	8.3
まちづくりアンケート(平成27年度)	38.6	15.9	22.7

* 自慢できる:「とても自慢できる」と「やや自慢できる」の合計

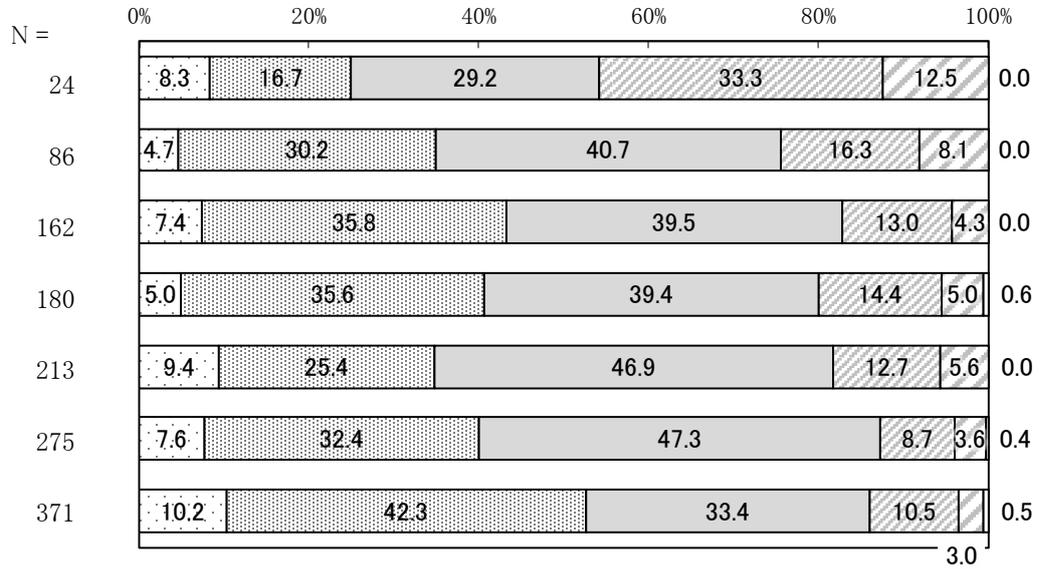
* 自慢できない:「あまり自慢できない」と「自慢できない」の合計

とても自慢できる
 やや自慢できる
 どちらともいえない
 あまり自慢できない
 自慢できない
 無回答

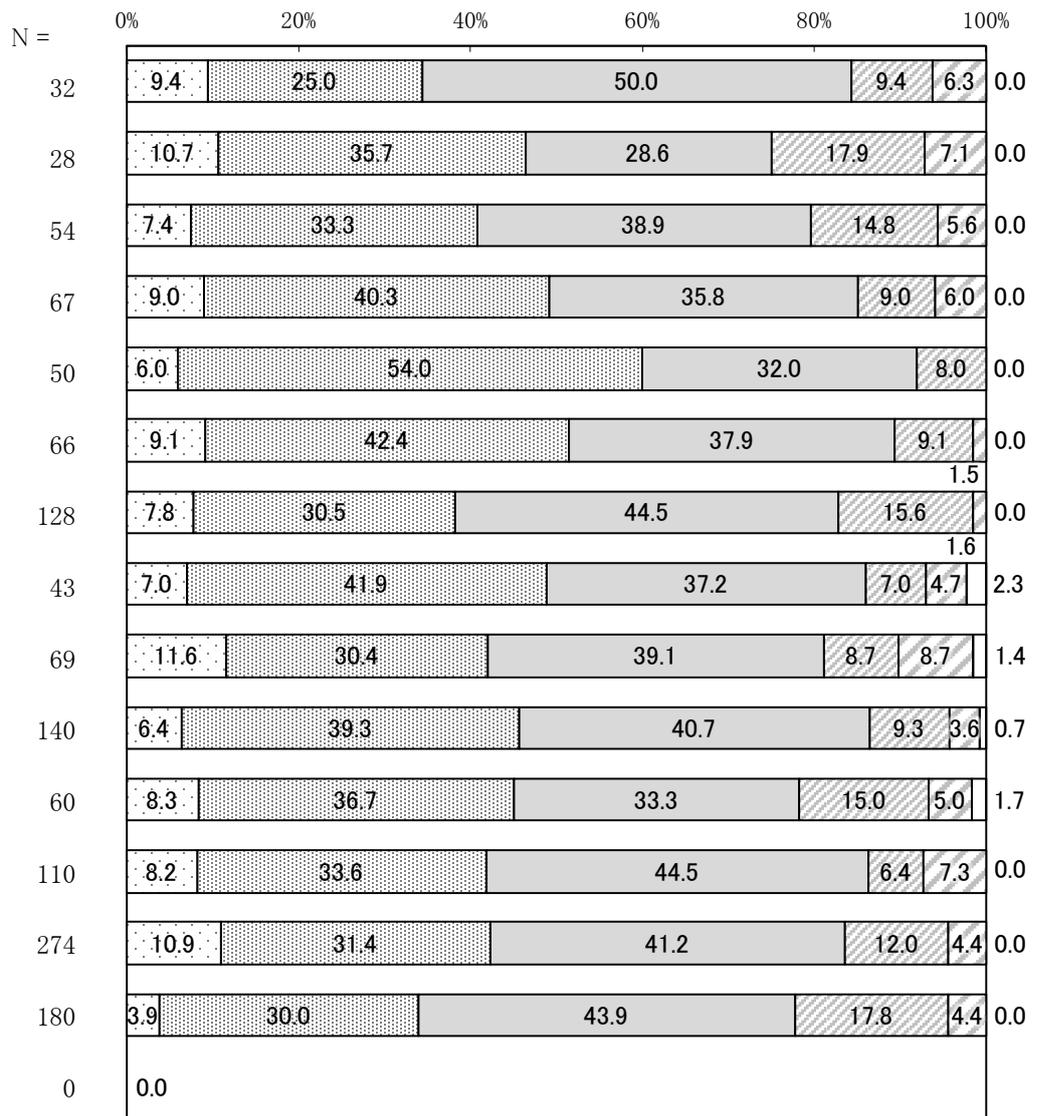
【性別】



【年代別】



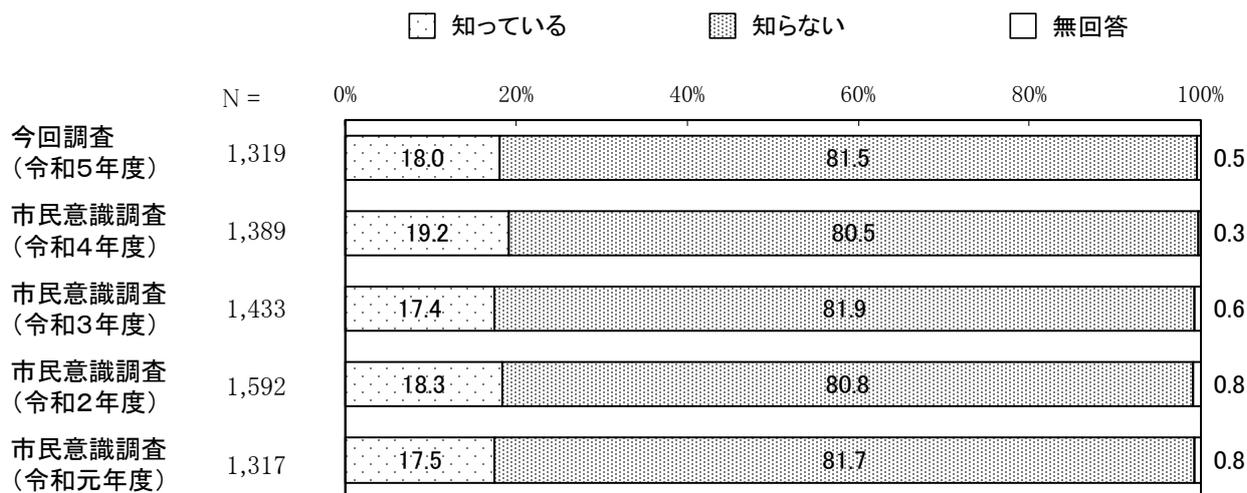
【居住地区別】



問8 東近江市では、平成27年度に鈴鹿の山々から「鈴鹿10座」を選定し、鈴鹿山脈の素晴らしさと存在意義を広く周知するとともに、市の知名度アップに取り組んでいます。
あなたは、「鈴鹿10座」を知っていますか。《○1つ》

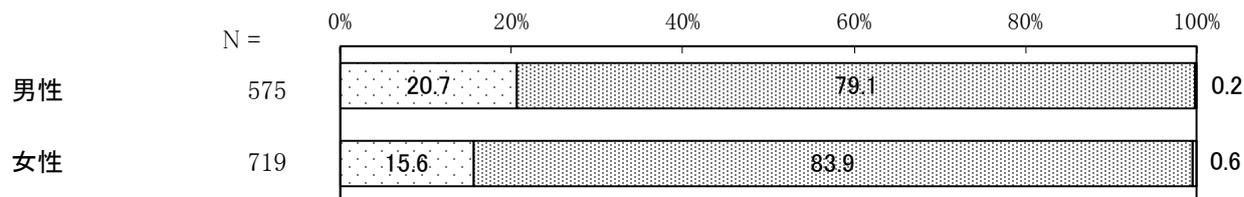
8割が「知らない」、認知度は2割近く

- ・ 「鈴鹿10座」については、「知らない」が81.5%と8割を占めています。一方、「知っている」は18.0%で、認知度（「知っている」の割合）は2割近くとなっています。
- ・ 性別では女性より男性で、年代別では20歳以上で年齢が上がるほど、居住地区別では永源寺地区で「鈴鹿10座」の認知度（前述）が高くなっています。

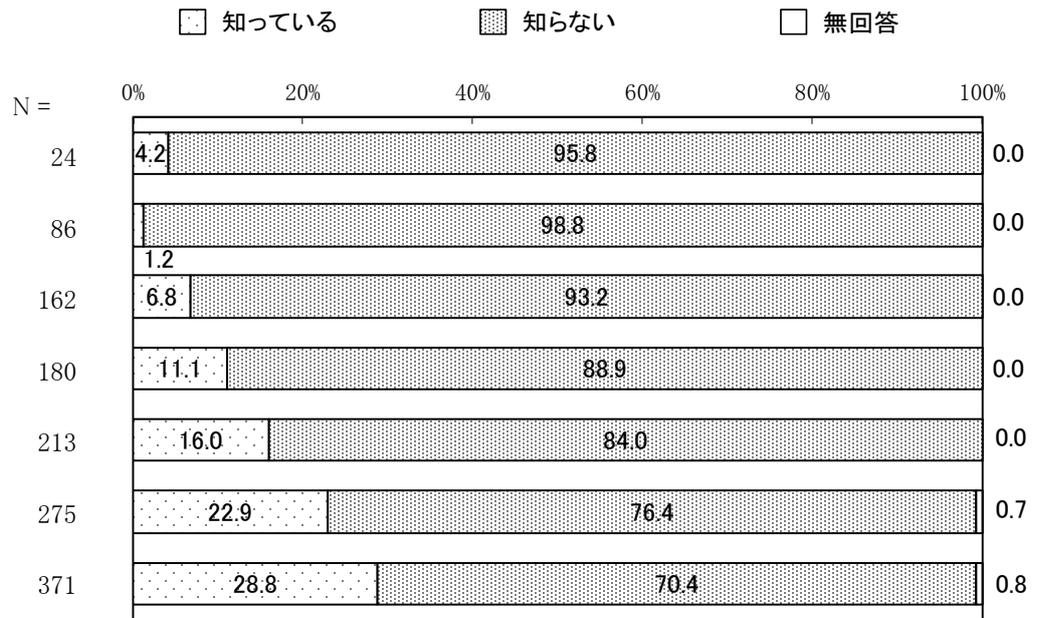


※令和2年度～令和3年度までの設問は、「鈴鹿10座が選定されたことを知っていますか。」

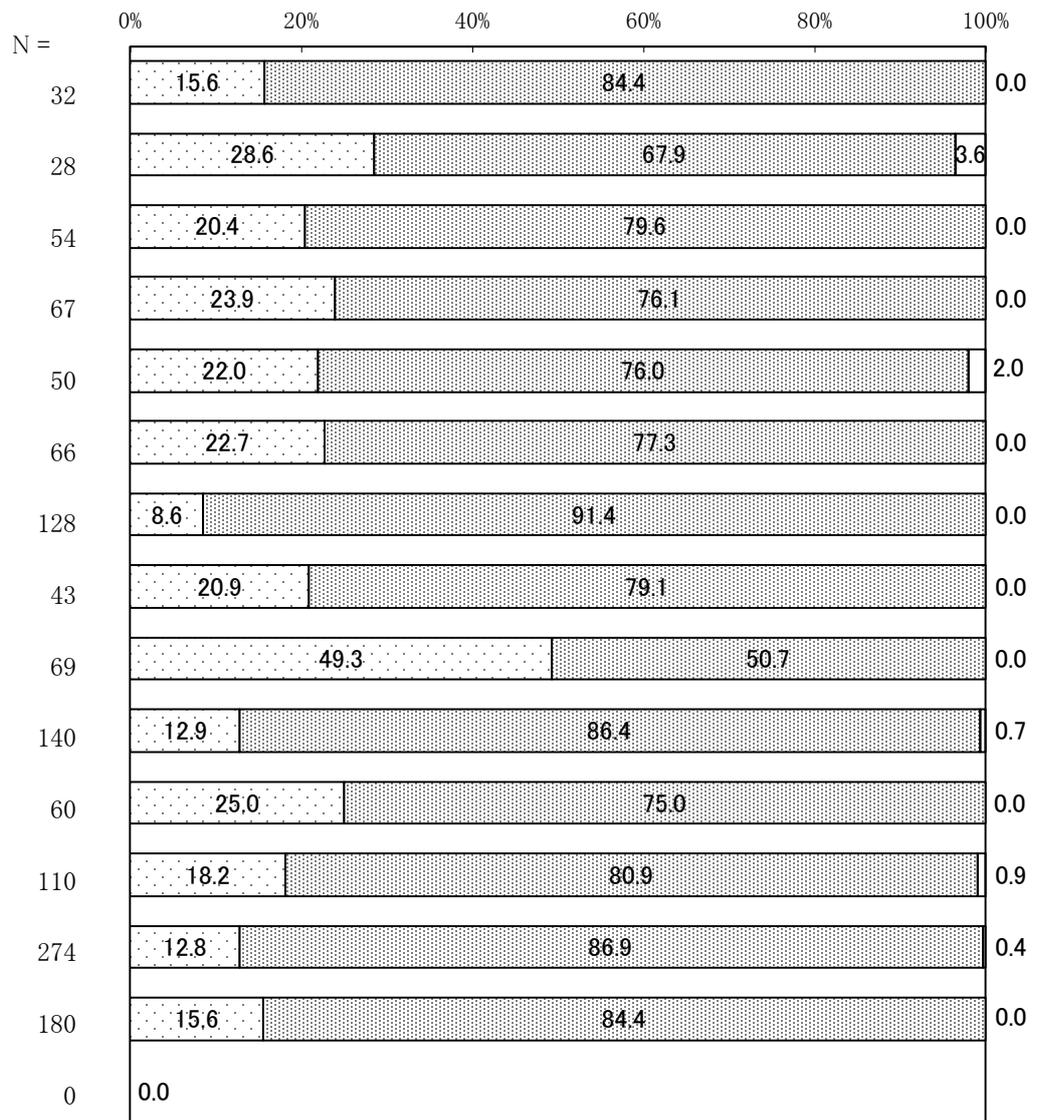
【性別】



【年代別】



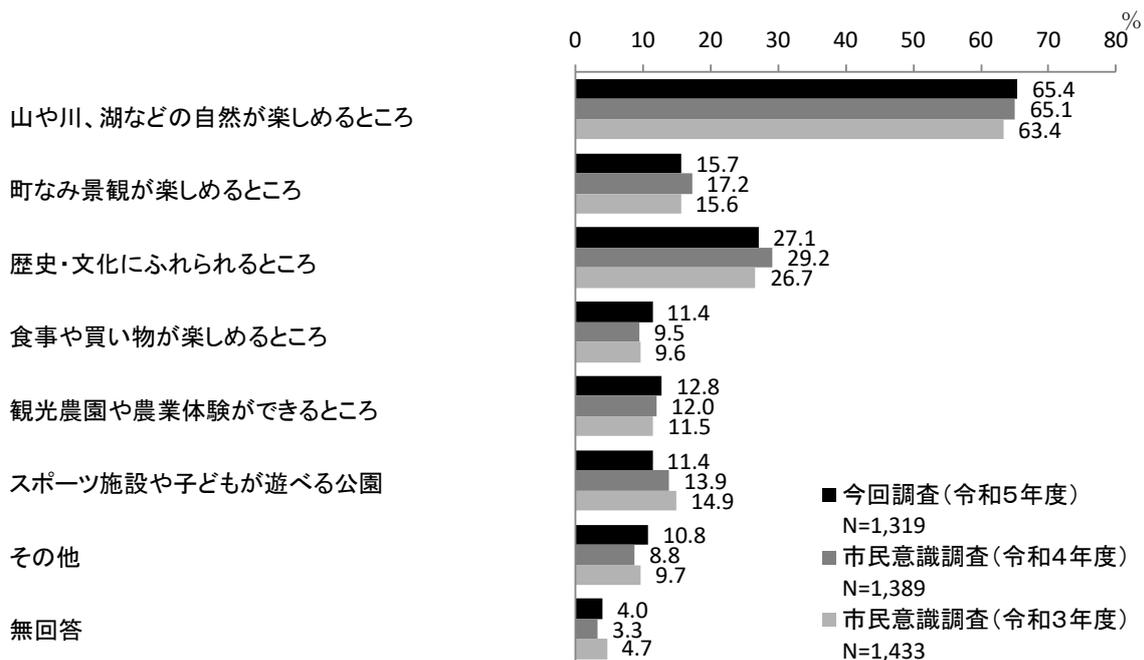
【居住地区別】



問9 あなたは、友人・知人に東近江市を紹介する場合、どのようなところを紹介しますか。
《あてはまるものすべてに○》

7割近くが「山や川、湖などの自然が楽しめるところ」を紹介

- 友人・知人に東近江市を紹介するところとしては、「山や川、湖などの自然が楽しめるところ」が最も多く、65.4%と7割近くの方があげています。次いで「歴史・文化にふれられるところ」が27.1%、「町なみ景観が楽しめるところ」が15.7%、「観光農園や農業体験ができるところ」が12.8%と続きます。
- 性別、年代別、居住地区別のいずれも、「山や川、湖などの自然が楽しめるところ」が最も多くあげられています。
- 年代別では、20～30歳代で「食事や買い物が楽しめるところ」が、30～40歳代で「スポーツ施設や子どもが遊べる公園」が、50歳以上で「町なみ景観が楽しめるところ」や「歴史・文化にふれられるところ」が、60歳代で「観光農園や農業体験ができるところ」がほかの年代より多くあげられています。
- 居住地区別では、特に永源寺地区で「山や川、湖などの自然が楽しめるところ」が9割近く、五個荘地区で「町なみ景観が楽しめるところ」が半数近く、愛東地区で「観光農園や農業体験ができるところ」が4割など、ほかの地区より多くあげられています。



【性別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	山や川、湖などの自然が楽しめる	町なみ景観が楽しめる	歴史・文化にふれられる	食事や買い物を楽しめる	観光農園や農業体験ができる	スポーツ施設や子どもが遊べる公園	その他	無回答
男性	575	96.7	62.6	13.4	25.6	10.6	9.9	9.0	3.3
女性	719	95.5	68.2	17.4	27.8	11.7	15.4	12.8	4.5

【年代別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	山や川、湖などの自然が楽しめる	町なみ景観が楽しめる	歴史・文化にふれられる	食事や買い物を楽しめる	観光農園や農業体験ができる	スポーツ施設や子どもが遊べる公園	その他	無回答
10歳代	24	70.8	8.3	16.7	8.3	8.3	8.3	12.5	0.0
20歳代	86	65.1	9.3	12.8	19.8	10.5	7.0	16.3	1.2
30歳代	162	64.2	11.7	17.3	19.1	11.1	19.8	8.0	3.1
40歳代	180	71.7	12.2	19.4	11.1	13.9	18.9	7.2	3.3
50歳代	213	66.7	20.7	29.1	9.4	14.1	8.0	12.7	5.2
60歳代	275	66.2	17.8	31.3	10.9	18.2	9.5	13.1	2.2
70歳以上	371	61.5	16.2	34.2	7.8	8.9	8.6	9.7	6.2

【居住地区別】

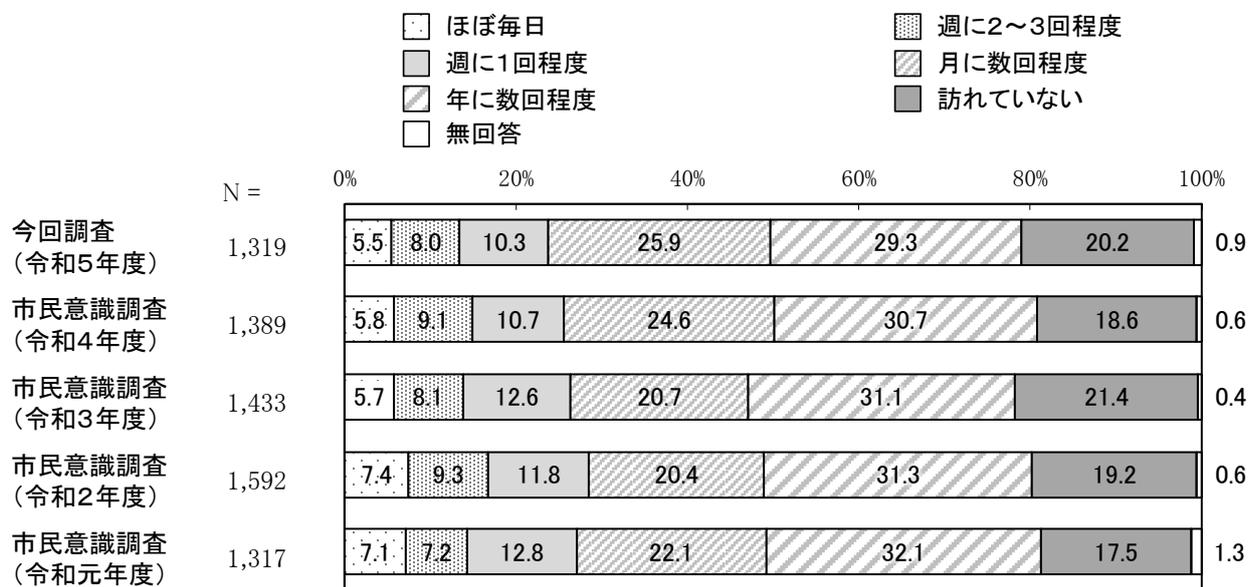
単位:%

区分	有効回答数(件)	山や川、湖などの自然が楽しめる	町なみ景観が楽しめる	歴史・文化にふれられる	食事や買い物を楽しめる	観光農園や農業体験ができる	スポーツ施設や子どもが遊べる公園	その他	無回答
平田地区	32	40.6	9.4	34.4	9.4	6.3	15.6	15.6	12.5
市辺地区	28	60.7	3.6	32.1	17.9	21.4	25.0	3.6	7.1
玉緒地区	54	72.2	3.7	18.5	14.8	13.0	13.0	9.3	0.0
御園地区	67	73.1	13.4	32.8	13.4	13.4	7.5	7.5	4.5
建部地区	50	56.0	16.0	36.0	26.0	10.0	12.0	8.0	6.0
中野地区	66	63.6	19.7	13.6	10.6	7.6	19.7	10.6	4.5
八日市地区	128	62.5	10.2	18.8	17.2	12.5	10.2	15.6	4.7
南部地区	43	46.5	7.0	18.6	16.3	11.6	14.0	34.9	4.7
永源寺地区	69	89.9	11.6	26.1	4.3	7.2	2.9	7.2	5.8
五個荘地区	140	53.6	45.7	41.4	7.9	10.0	6.4	9.3	2.1
愛東地区	60	61.7	10.0	33.3	11.7	41.7	10.0	11.7	0.0
湖東地区	110	74.5	10.9	26.4	8.2	13.6	22.7	10.0	3.6
能登川地区	274	76.3	16.4	23.0	8.8	6.6	10.6	8.4	4.7
蒲生地区	180	53.9	10.6	30.6	11.7	20.6	9.4	11.1	2.2
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-

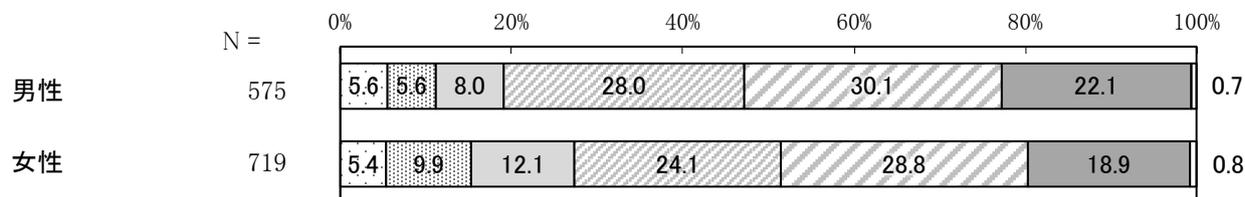
問10 あなたは、この1年間で近江鉄道八日市駅周辺（市役所周辺を含む。）にどの程度訪れましたか。《○1つ》

週1回以上訪れる人が2割、月に数回又は年に数回が半数以上

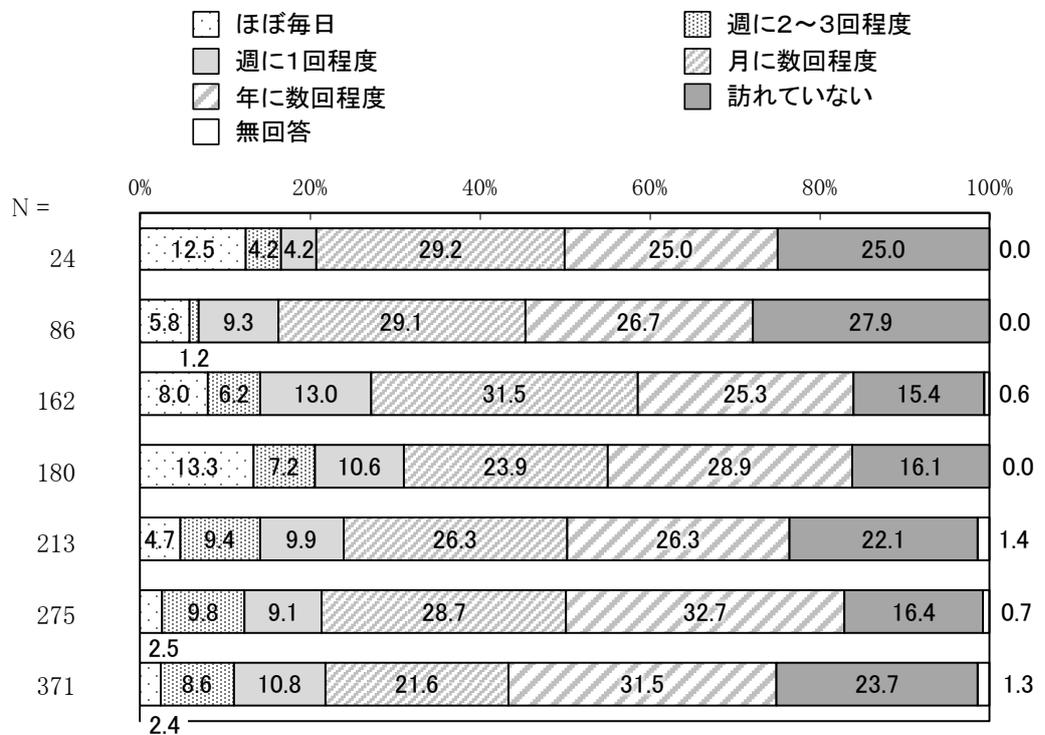
- この1年間で近江鉄道八日市駅周辺を訪れた頻度は、週に1回以上訪れる人が23.8%となっています。また、「月に数回程度」と「年に数回程度」を合わせると55.2%となり、6割近くとなっています。一方で、「訪れていない」人は20.2%と2割見られます。
- 性別では、男性より女性で訪問頻度が高い傾向があります。
- 年代別では、30歳代までは「月に数回程度」が、40歳以上で「年に数回程度」が最も多くなっています。50歳代は、「月に数回程度」も同率で最も多くなっています。一方、訪れていない人は10～20歳代で3割近く見られます。
- 居住地区別では、週1回以上訪れる人の割合が、建部地区で7割近くと高く、能登川地区や平田地区で1割未満と低くなっています。



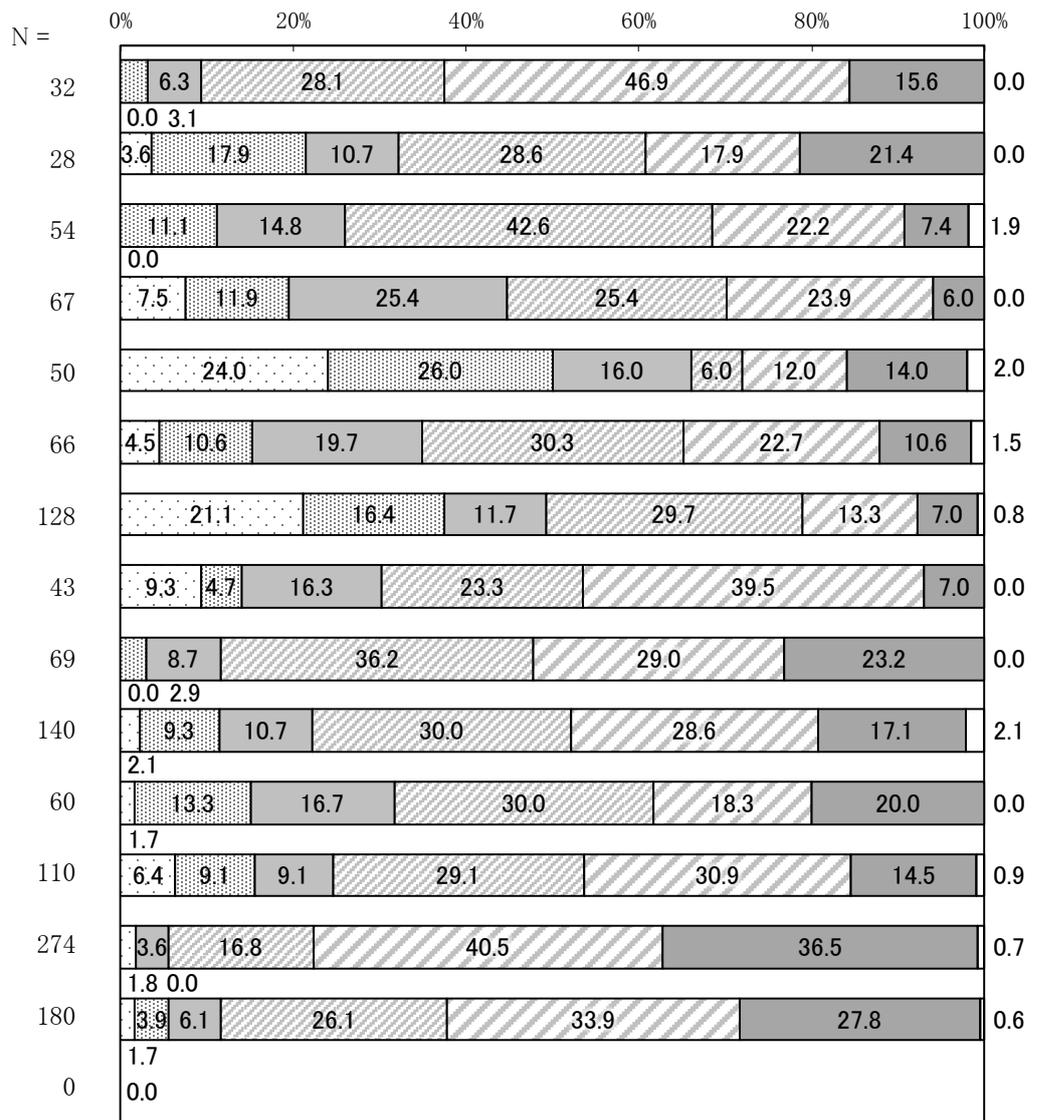
【性別】



【年代別】



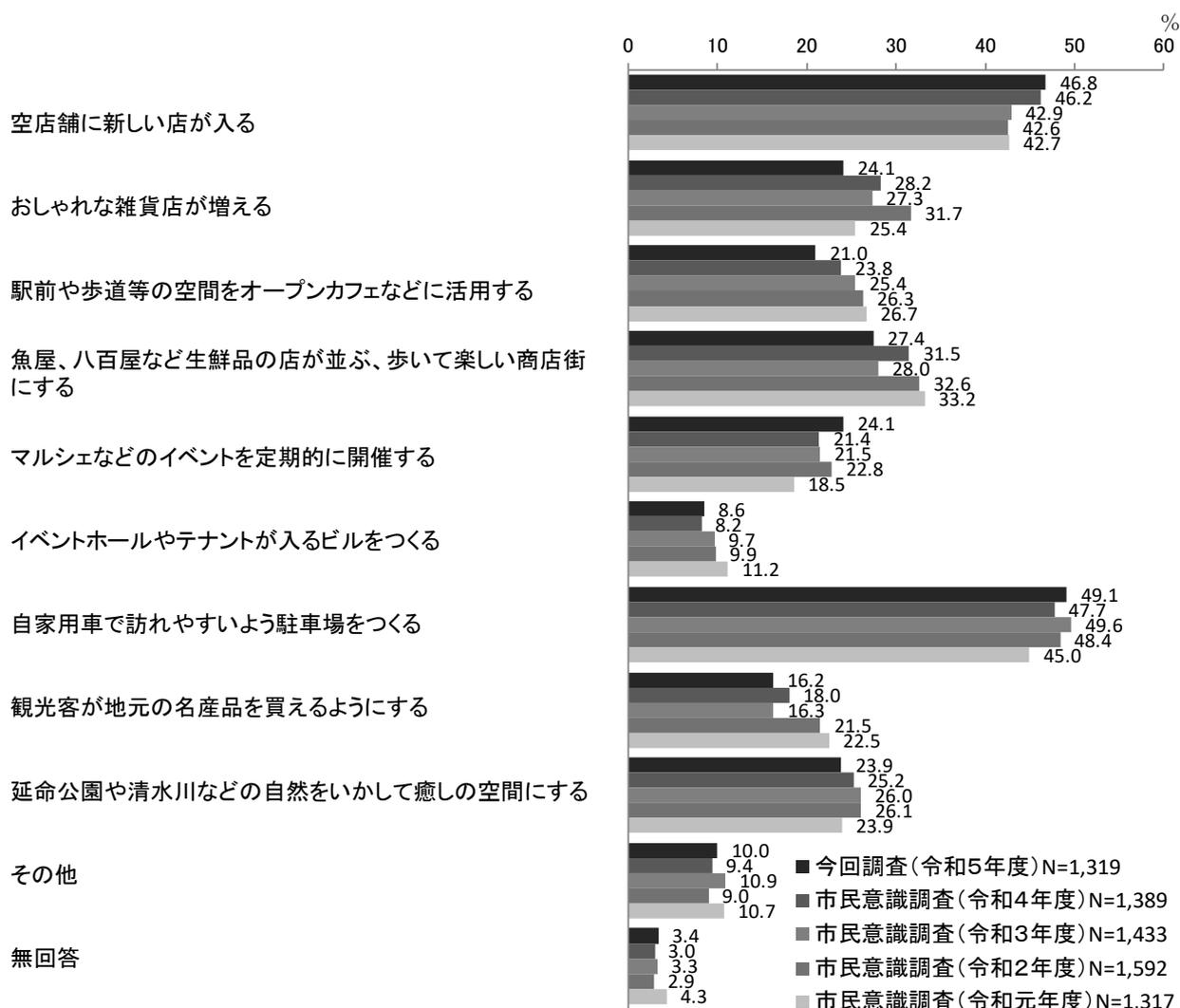
【居住地区別】



問 11 あなたは、八日市駅周辺の中心市街地が活性化するには、どのようなお店や施設、イベントなどの開催が必要だと思いますか。《あてはまるものすべてに○》

駐車場の整備、空店舗の解消が上位

- ・ 八日市駅周辺の中心市街地が活性化するために必要なことは、「自家用車で訪れやすいよう駐車場をつくる」が49.1%と最も多く、次いで「空店舗に新しい店が入る」が46.8%と続きます。
- ・ 性別では、男女ともに最も多いのは駐車場の整備ですが、特に、女性は男性より「マルシェなどのイベントを定期的を開催する」が多くあげられています。
- ・ 年代別では、50歳代までは「空店舗に新しい店が入る」、60歳以上は「自家用車で訪れやすいよう駐車場をつくる」が最も多くなっています。そのほか、20～30歳代で「おしゃれな雑貨店が増える」が、30～40歳代で「マルシェなどのイベントを定期的を開催する」が、60歳代で「延命公園や清水川などの自然をいかして癒しの空間にする」が、70歳以上で「魚屋、八百屋など生鮮品の店が並ぶ、歩いて楽しい商店街にする」がほかの年代より多くあげられています。
- ・ 居住地区別では、建部地区、市辺地区、八日市地区、中野地区、湖東地区は「空店舗に新しい店が入る」が、そのほかの地区は「自家用車で訪れやすいよう駐車場をつくる」が最も多くなっています。



【性別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	空店舗に新しい店が入る	おしゃれな雑貨店が増える	活用する	駅前や歩道等の空間を	品が並ぶ、歩いて楽しい商店街にする	魚屋、八百屋など生鮮品の店が並ぶ、歩いて楽しい商店街にする	マルシェなどのイベントを定期的に開催する	イベントが入るビルやテナントが入るビルをつくる	よう専用車で訪れやすい	観光客が地元の名産品を買いやすいようにする	の自然をいかして癒しの空間にする	延命公園や清水川などの自然をいかして癒しの空間にする	その他	無回答
男性	575	44.9	20.5	17.7	25.9	18.4	11.7	46.4	14.8	19.8	12.5	2.8			
女性	719	48.5	27.3	23.8	28.7	29.3	6.0	51.5	17.1	27.3	7.9	3.6			

【年代別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	空店舗に新しい店が入る	おしゃれな雑貨店が増える	活用する	駅前や歩道等の空間を	品が並ぶ、歩いて楽しい商店街にする	魚屋、八百屋など生鮮品の店が並ぶ、歩いて楽しい商店街にする	マルシェなどのイベントを定期的に開催する	イベントが入るビルやテナントが入るビルをつくる	よう専用車で訪れやすい	観光客が地元の名産品を買いやすいようにする	の自然をいかして癒しの空間にする	延命公園や清水川などの自然をいかして癒しの空間にする	その他	無回答
10歳代	24	54.2	29.2	29.2	16.7	20.8	20.8	41.7	12.5	20.8	12.5	0.0			
20歳代	86	52.3	39.5	27.9	18.6	29.1	14.0	50.0	8.1	19.8	14.0	0.0			
30歳代	162	50.6	38.3	29.0	25.9	35.8	11.7	47.5	14.2	15.4	11.1	3.1			
40歳代	180	55.0	29.4	22.8	25.6	35.6	8.9	48.3	16.7	25.6	13.3	0.6			
50歳代	213	56.3	27.2	19.7	23.5	27.2	10.8	44.6	18.3	24.4	9.9	0.9			
60歳代	275	45.1	19.3	19.3	27.6	22.2	5.1	53.8	16.0	30.5	8.4	2.2			
70歳以上	371	35.6	13.2	16.2	34.0	12.4	5.7	49.9	18.3	22.4	8.4	8.1			

【居住地区別】

単位:%

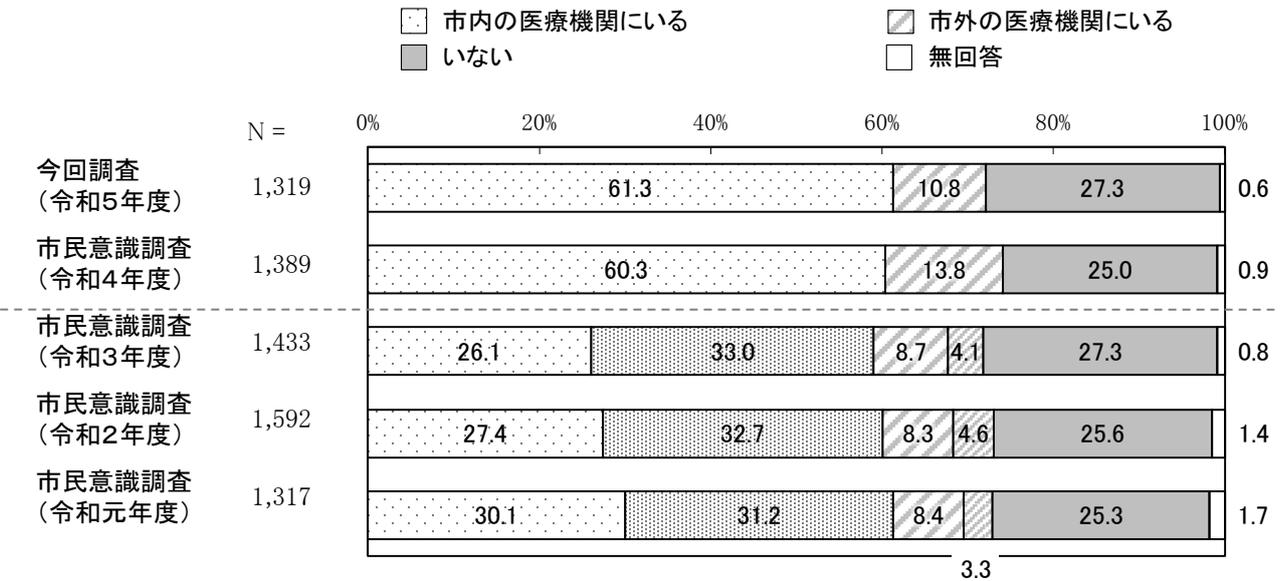
区分	有効回答数(件)	空店舗に新しい店が入る	おしゃれな雑貨店が増える	活用する	駅前や歩道等の空間を	品が並ぶ、歩いて楽しい商店街にする	魚屋、八百屋など生鮮品の店が並ぶ、歩いて楽しい商店街にする	マルシェなどのイベントを定期的に開催する	イベントが入るビルやテナントが入るビルをつくる	よう専用車で訪れやすい	観光客が地元の名産品を買いやすいようにする	の自然をいかして癒しの空間にする	延命公園や清水川などの自然をいかして癒しの空間にする	その他	無回答
平田地区	32	40.6	18.8	6.3	31.3	18.8	6.3	53.1	12.5	12.5	12.5	6.3			
市辺地区	28	57.1	25.0	32.1	39.3	14.3	10.7	50.0	7.1	50.0	3.6	3.6			
玉緒地区	54	44.4	20.4	11.1	29.6	29.6	7.4	57.4	16.7	29.6	3.7	1.9			
御園地区	67	49.3	25.4	16.4	35.8	28.4	13.4	64.2	19.4	32.8	3.0	3.0			
建部地区	50	66.0	22.0	22.0	36.0	30.0	8.0	42.0	18.0	30.0	12.0	2.0			
中野地区	66	54.5	21.2	19.7	24.2	25.8	6.1	42.4	10.6	22.7	6.1	3.0			
八日市地区	128	55.5	23.4	17.2	23.4	25.8	5.5	39.8	13.3	28.1	15.6	0.8			
南部地区	43	58.1	14.0	7.0	23.3	18.6	0.0	62.8	23.3	25.6	14.0	0.0			
永源寺地区	69	50.7	23.2	18.8	34.8	18.8	11.6	56.5	15.9	15.9	4.3	4.3			
五個荘地区	140	42.1	30.0	30.0	30.0	28.6	7.9	52.1	20.7	28.6	7.9	5.0			
愛東地区	60	48.3	38.3	20.0	41.7	21.7	5.0	53.3	20.0	15.0	10.0	1.7			
湖東地区	110	49.1	20.9	20.0	26.4	21.8	13.6	44.5	14.5	16.4	9.1	2.7			
能登川地区	274	35.4	20.1	20.8	21.5	23.0	8.8	42.3	15.7	19.3	15.3	5.8			
蒲生地区	180	46.7	28.9	26.7	24.4	24.4	8.9	56.1	16.7	26.7	7.8	1.7			
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

(3) 健康や福祉について

問 12 あなたには、日常的な診療や健康の管理をしてくれるお医者さん（かかりつけ医）はいますか。《○1つ》

6割が市内の医療機関にかかりつけ医がいる

- ・ かかりつけ医がいるかどうかについては、「市内の医療機関にいる」が61.3%と最も多く、「市外の医療機関にいる」と回答した10.8%と合わせて7割がかかりつけ医がいると回答しています。また、「いない」と回答した人は27.3%でした。
- ・ 年代別では、市外も含めてかかりつけ医がいる人の割合は、30歳代が半数で最も低く、30歳以上は年齢が上がるほどその割合が高くなる傾向があり、70歳以上は9割以上（市内が8割以上）となっています。一方、10歳代と30歳代は半数近くがかかりつけ医が「いない」と回答しています。
- ・ 居住地区別では、市内の医療機関にかかりつけ医がいる人の割合は、愛東地区で8割以上と高くなっています。一方、八日市地区、南部地区ではかかりつけ医がいない人が4割前後います。また、平田地区では、かかりつけ医が市外にいる人が3割近くとほかの地区より多くなっています。

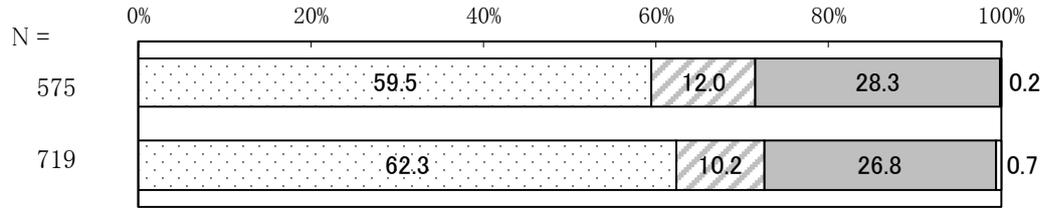


※令和3年度までの選択肢(令和4年度から選択肢を変更)

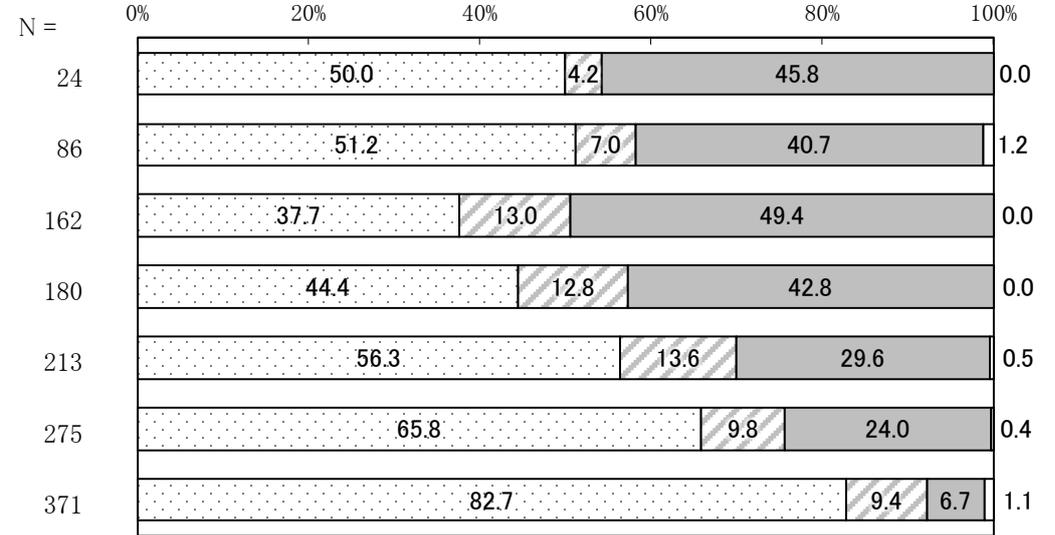


市内の医療機関にいる
 市外の医療機関にいる
 いない
 無回答

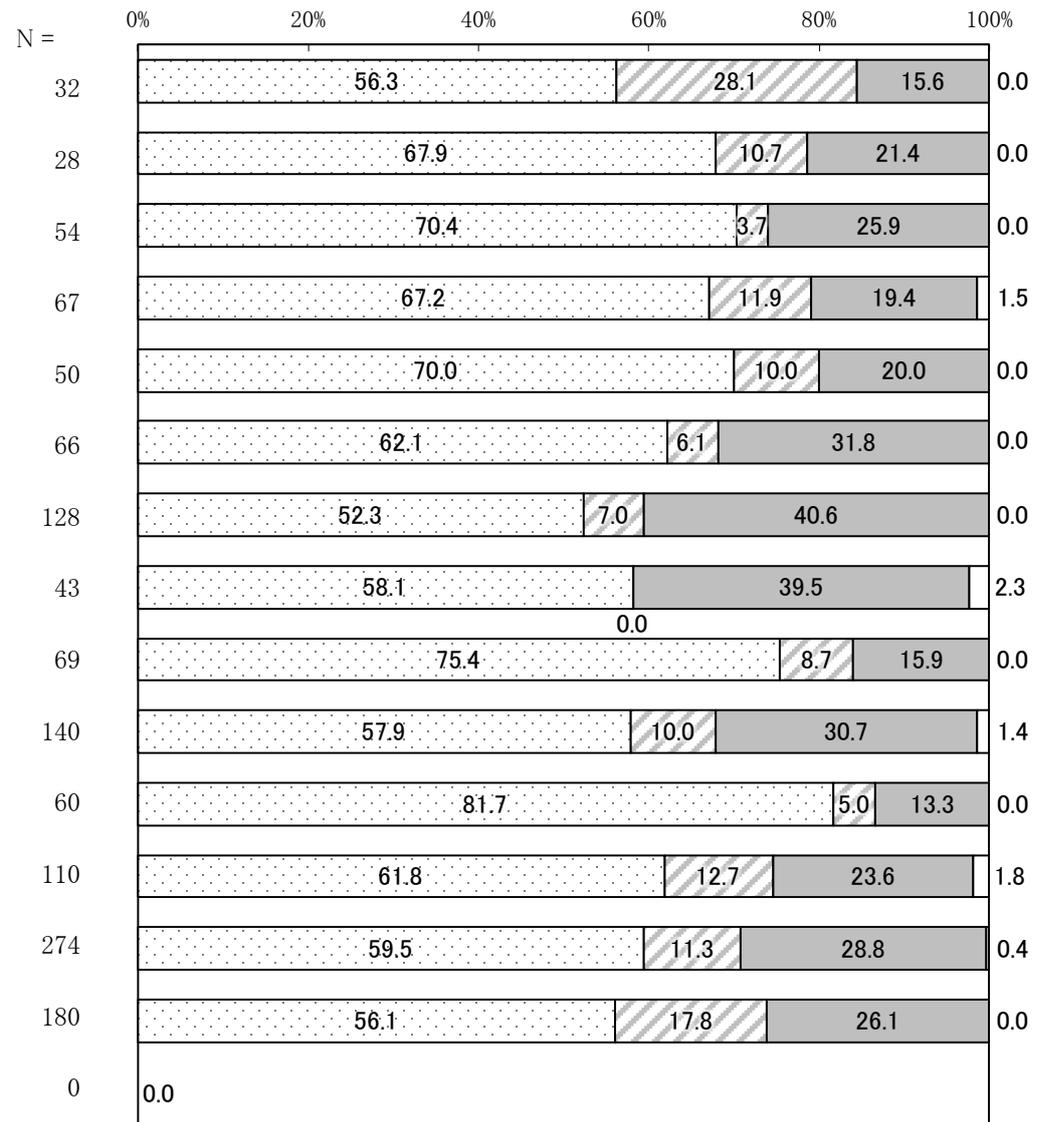
【性別】



【年代別】



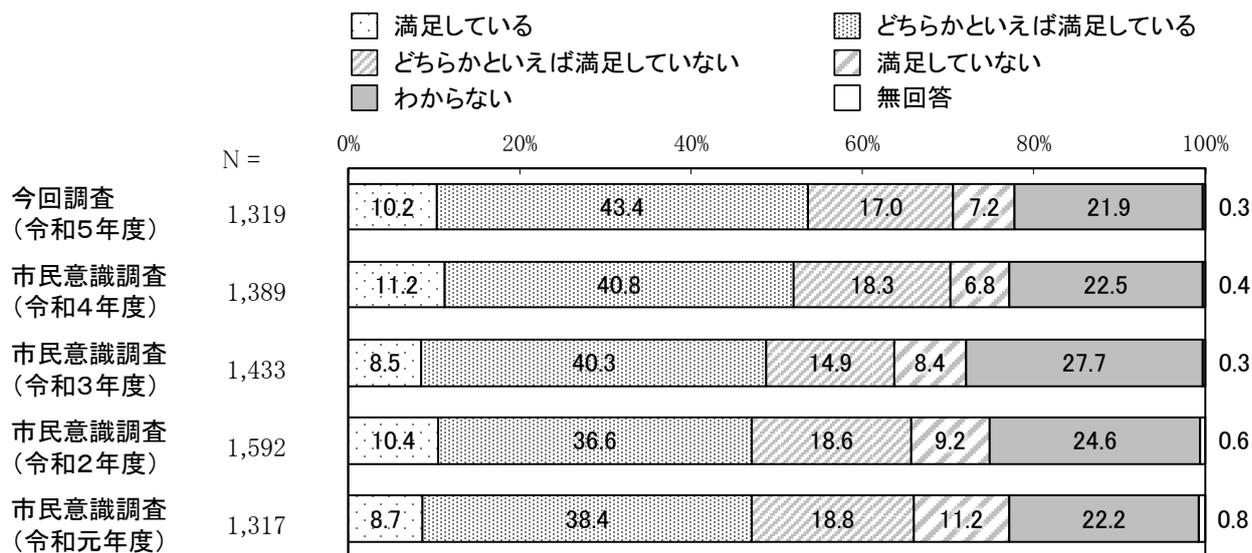
【居住地区別】



問 13 あなたは、病院や救急時の医療体制に満足していますか。《○1つ》

半数以上が満足、評価は向上傾向

- ・ 病院や救急時の医療体制についての満足度については、「満足している」が10.2%、「どちらかといえば満足している」が43.4%で、これらを合わせると53.6%となり、半数以上の人が満足していると回答しています。一方、「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」を合わせると24.2%で、「わからない」と回答した人は21.9%でした。
- ・ 過去の調査と比較すると、満足（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）の割合が増加傾向、不満（「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計）の割合は減少傾向にあります。
- ・ 年代別では、全ての年代で満足（前述）の割合が不満（「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計）より高くなっています。特に、10歳代、60歳以上で満足（前述）の割合が高く、70歳以上は7割を超えています。
- ・ 居住地区別では、建部地区で7割と満足（前述）の割合が高く、蒲生地区で不満（前述）の割合が3割とほかの地区より高くなっています。

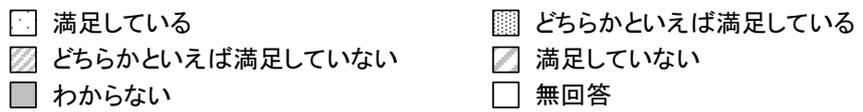


単位：%

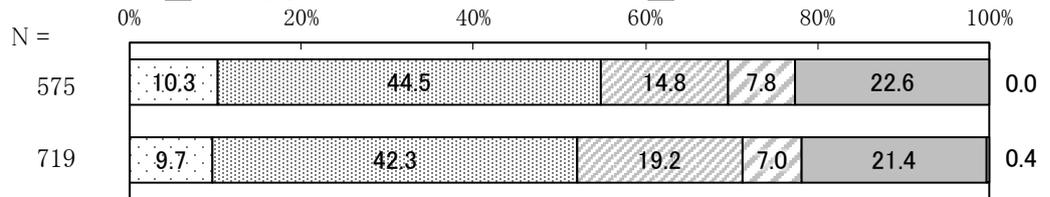
	満足*	不満*	差
①今回調査(令和5年度)	53.6	24.2	29.4
②市民意識調査(令和4年度)	52.0	25.1	26.9
③市民意識調査(令和3年度)	48.8	23.3	25.5
④市民意識調査(令和2年度)	47.0	27.8	19.2
⑤市民意識調査(令和元年度)	47.1	30.0	17.1
①-⑤	6.5	-5.8	12.3

* 満足:「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計

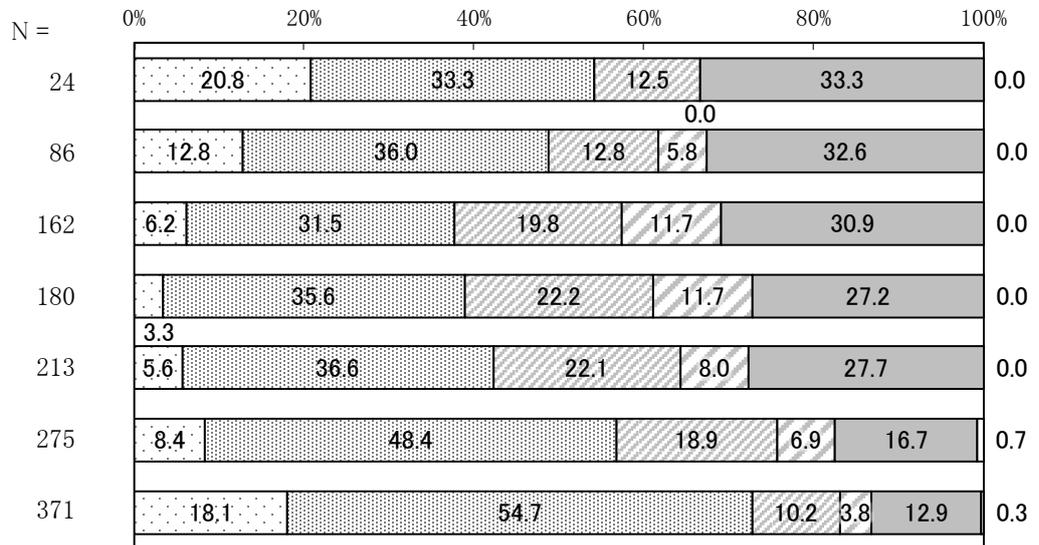
* 不満:「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計



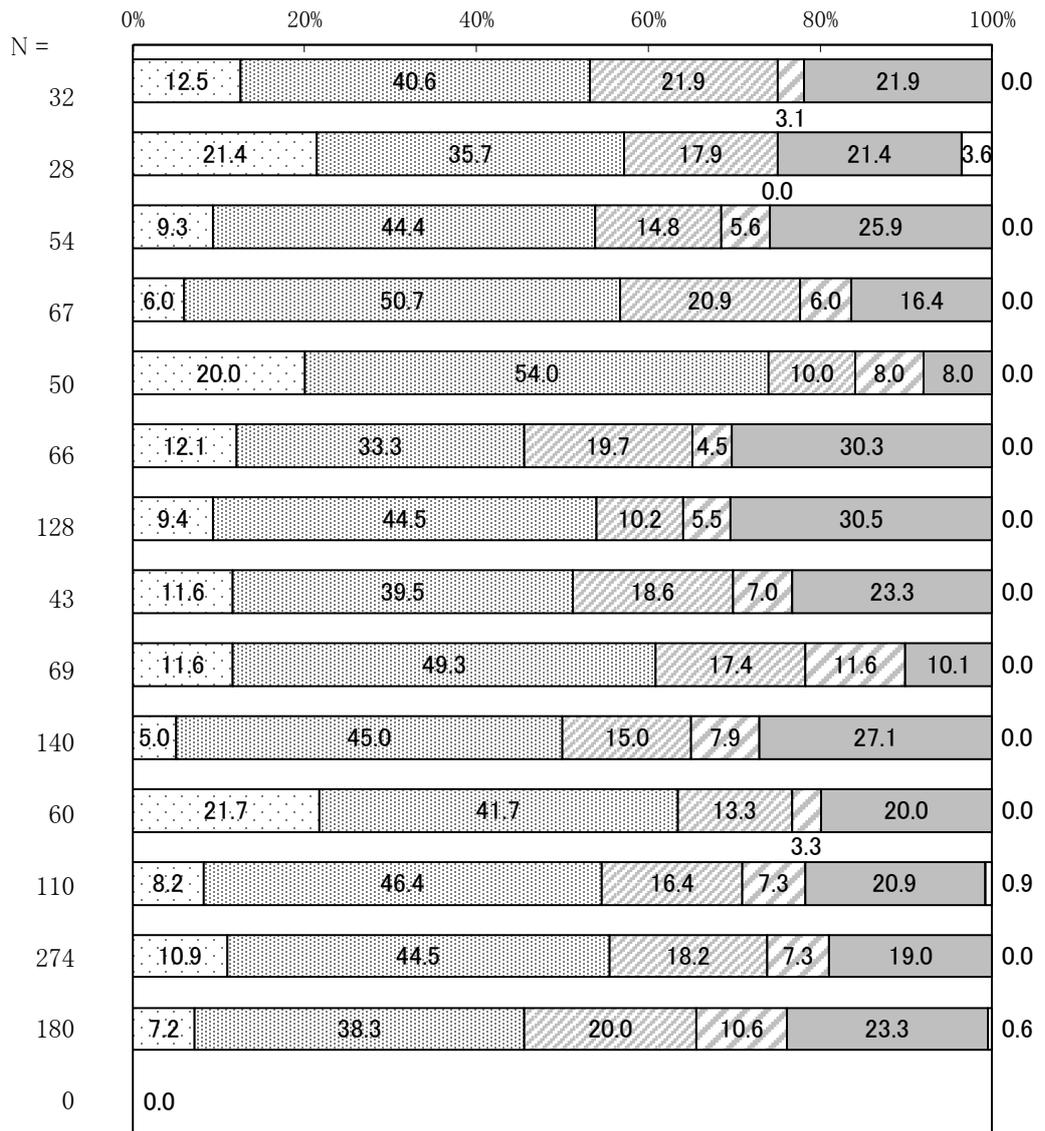
【性別】



【年代別】



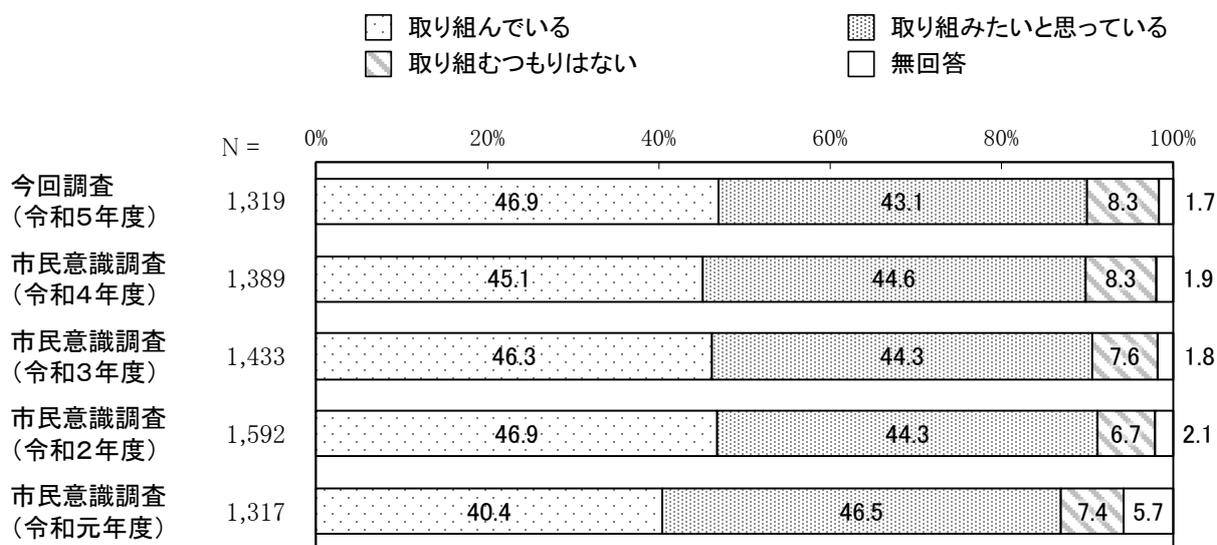
【居住地区別】



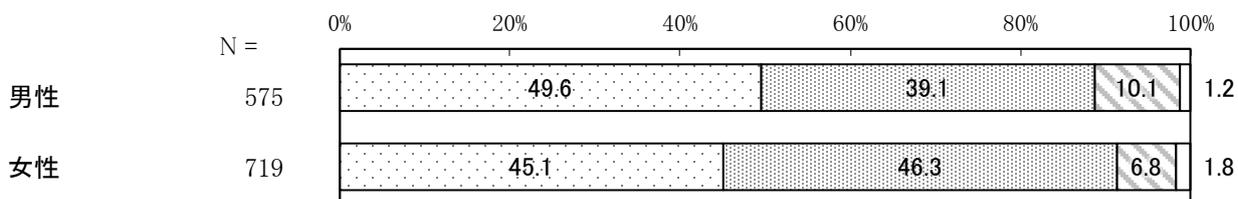
問 14 あなたは、自分の健康づくりのために何か取り組んでいますか。《○1つ》

半数近くが健康づくりを実践、取り組みたいを合わせると9割に

- ・ 自分の健康づくりのために何か取り組んでいるかについては、「取り組んでいる」が46.9%と最も多く、次の「取り組みたいと思っている」の43.1%を合わせると90.0%となり、9割の人が関心を持っていることが分かります。
- ・ 性別では、男性は「取り組んでいる」人の割合が女性より高い一方、「取り組みたいと思っている」人を合わせた、健康づくりに関心を持っている人の割合は男性より女性が高くなっています。
- ・ 年代別では70歳以上で、居住地区別では御園地区、蒲生地区、平田地区、中野地区で半数以上と、自分の健康づくりのために何か「取り組んでいる」人が多く見られます。

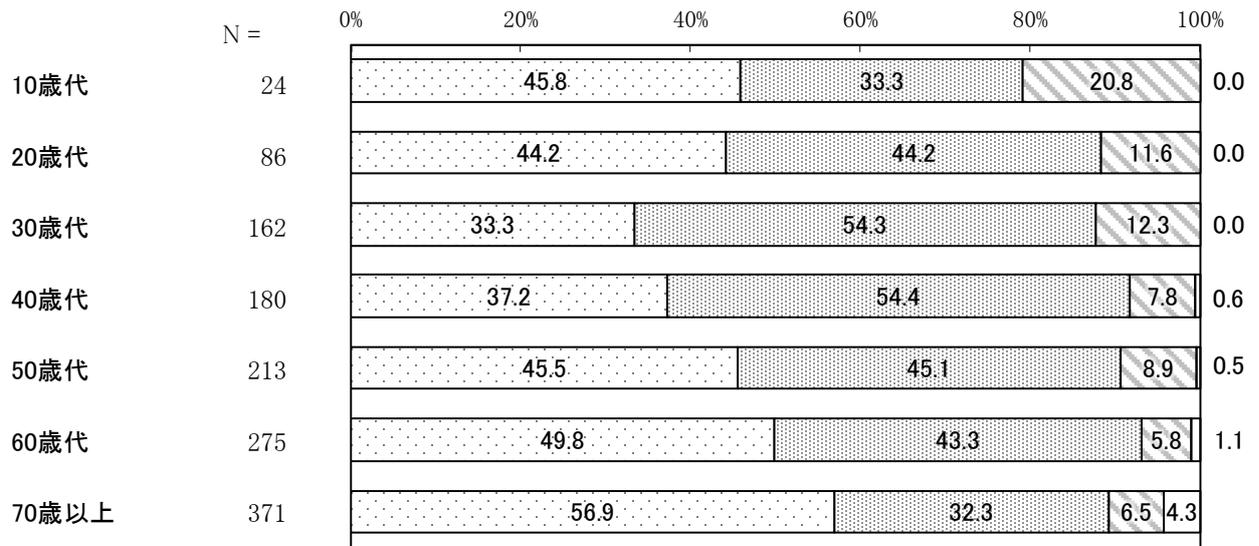


【性別】

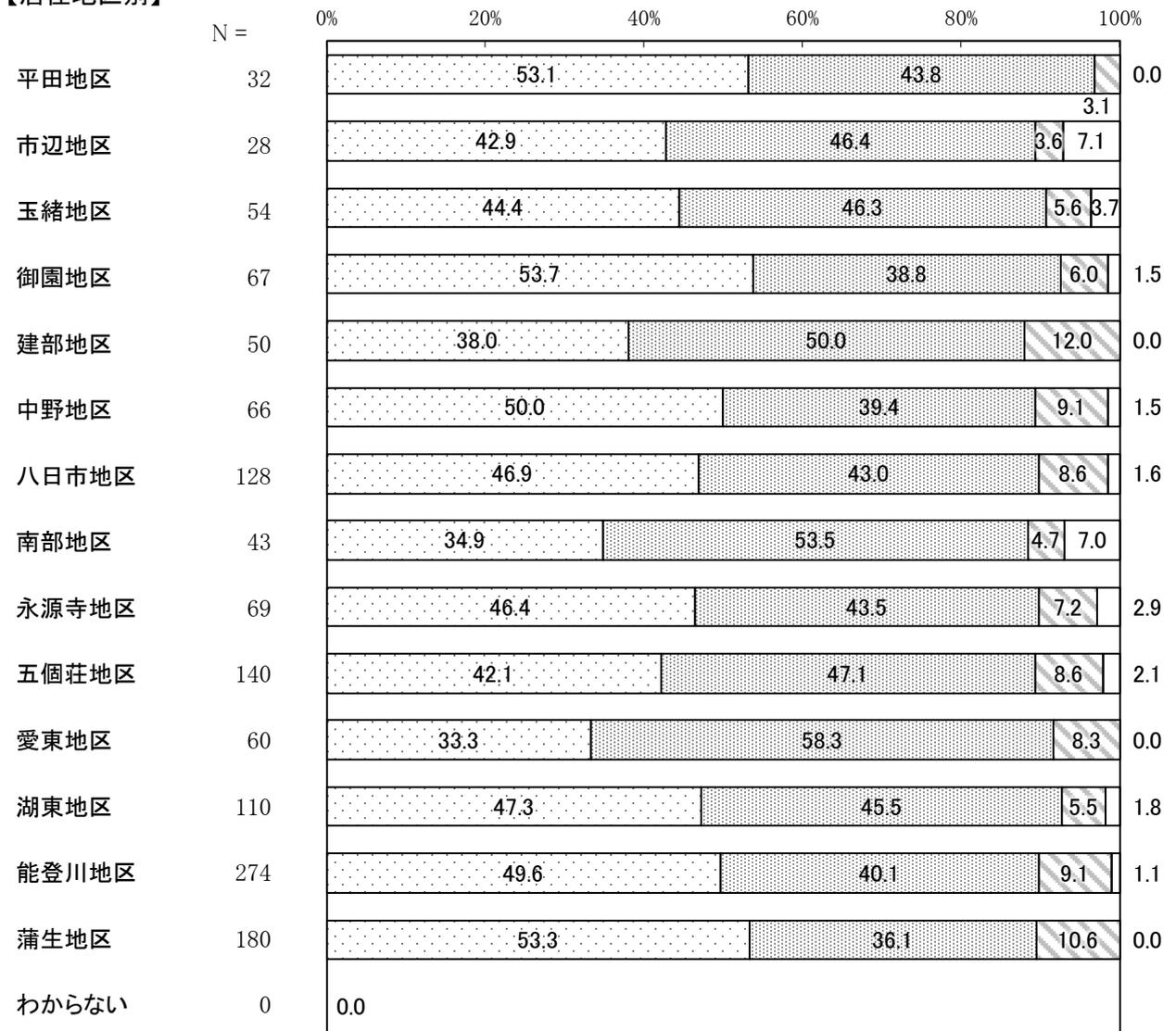


【年代別】

取り組んでいる 取り組みたいと思っている
 取り組むつもりはない 無回答



【居住地区別】

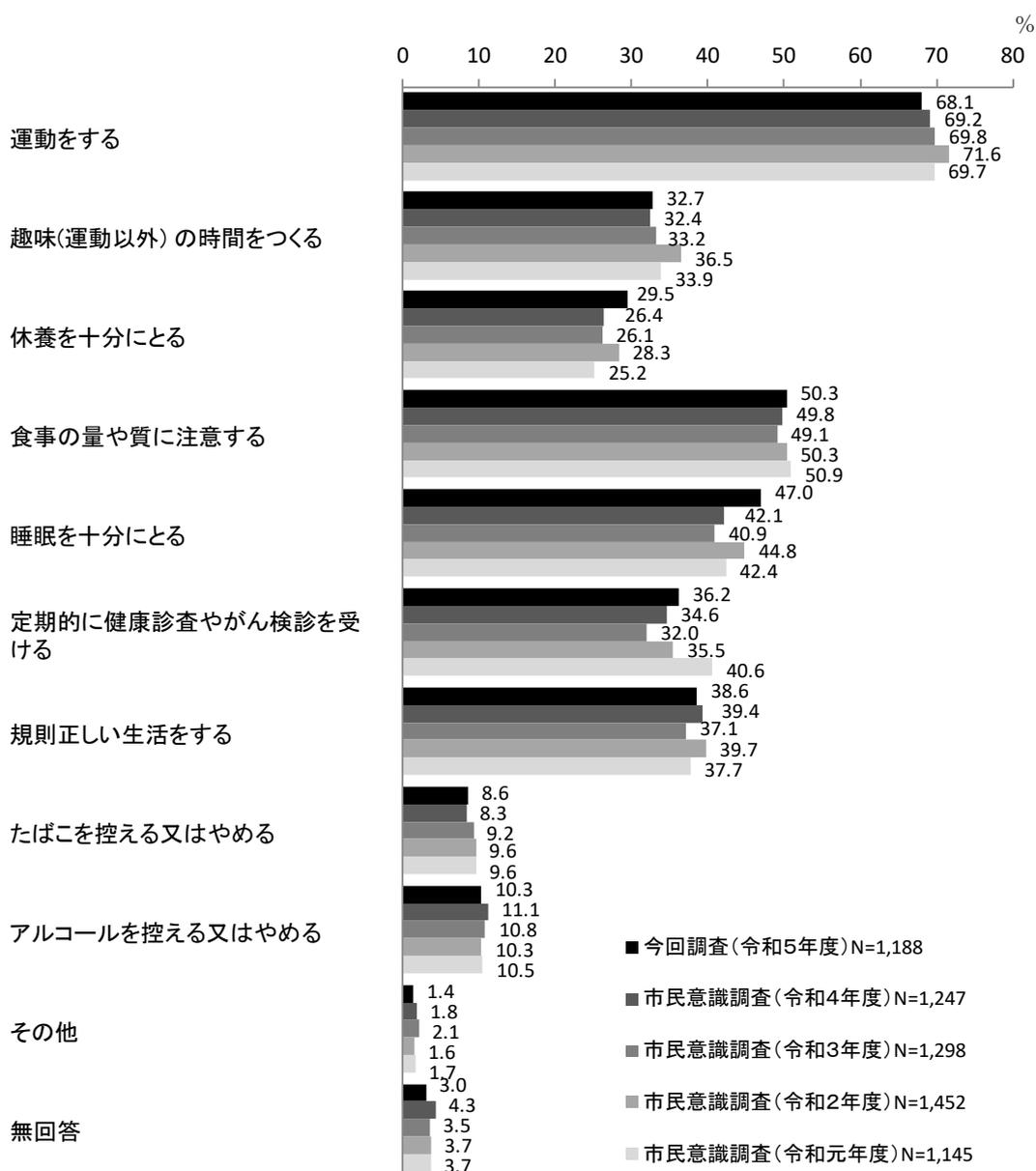


問 14-1 問 14で「1. 取り組んでいる」「2. 取り組みたいと思っている」とお答えの方におたずねします。

具体的にどのような取組をしていますか、又は取り組みたいと思っていますか。《あてはまるものすべてに○》

「運動をする」、「食事の量や質に注意する」、「睡眠を十分にとる」が上位

- ・ 実際に取り組んでいる（取り組みたい）こととしては、「運動をする」が68.1%と最も多く、次いで「食事の量や質に注意する」が50.3%、「睡眠を十分にとる」が47.0%と続きます。
- ・ 性別では、男女ともに「運動をする」が最も多くなっています。女性は規則正しい生活や定期的な健康診査等の受診、食事の配慮などをあげる人が男性より多く、男性は禁煙や禁酒などが女性より多くあげられています。
- ・ 年代別では、全ての年齢で「運動をする」が最も多くなっています。20歳代は、「睡眠を十分にとる」も同率で最も多くなっています。「定期的に健康診査やがん検診を受ける」の割合は、おおむね年齢が上がるほど高くなる傾向があります。



【性別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	運動をする	趣味(運動以外)の時間をつくる	休養を十分にとる	食事の量や質に注意する	睡眠を十分にとる	定期的に健康診査やがん検診を受ける	規則正しい生活をする	たばこを控える又はやめる	アルコールを控える又はやめる	その他	無回答
男性	510	65.7	29.6	27.3	44.9	42.4	29.4	28.6	12.4	13.9	2.2	3.3
女性	657	69.7	35.5	31.2	55.3	50.8	41.7	46.4	5.6	7.5	0.9	2.9

【年代別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	運動をする	趣味(運動以外)の時間をつくる	休養を十分にとる	食事の量や質に注意する	睡眠を十分にとる	定期的に健康診査やがん検診を受ける	規則正しい生活をする	たばこを控える又はやめる	アルコールを控える又はやめる	その他	無回答
10歳代	19	78.9	31.6	26.3	42.1	52.6	15.8	26.3	10.5	5.3	0.0	5.3
20歳代	76	56.6	34.2	36.8	43.4	56.6	22.4	40.8	6.6	15.8	1.3	2.6
30歳代	142	71.1	26.1	26.8	55.6	46.5	29.6	40.1	9.9	11.3	0.0	2.8
40歳代	165	68.5	28.5	33.9	49.1	49.7	36.4	37.6	10.9	10.9	1.2	1.8
50歳代	193	71.0	30.6	32.1	47.7	50.8	37.8	26.4	7.8	10.9	1.0	2.1
60歳代	256	73.0	32.4	26.2	50.4	45.3	42.6	41.0	7.0	8.6	2.0	2.7
70歳以上	331	63.1	38.4	27.8	52.0	42.0	36.9	43.8	8.8	9.4	2.1	4.5

【居住地区別】

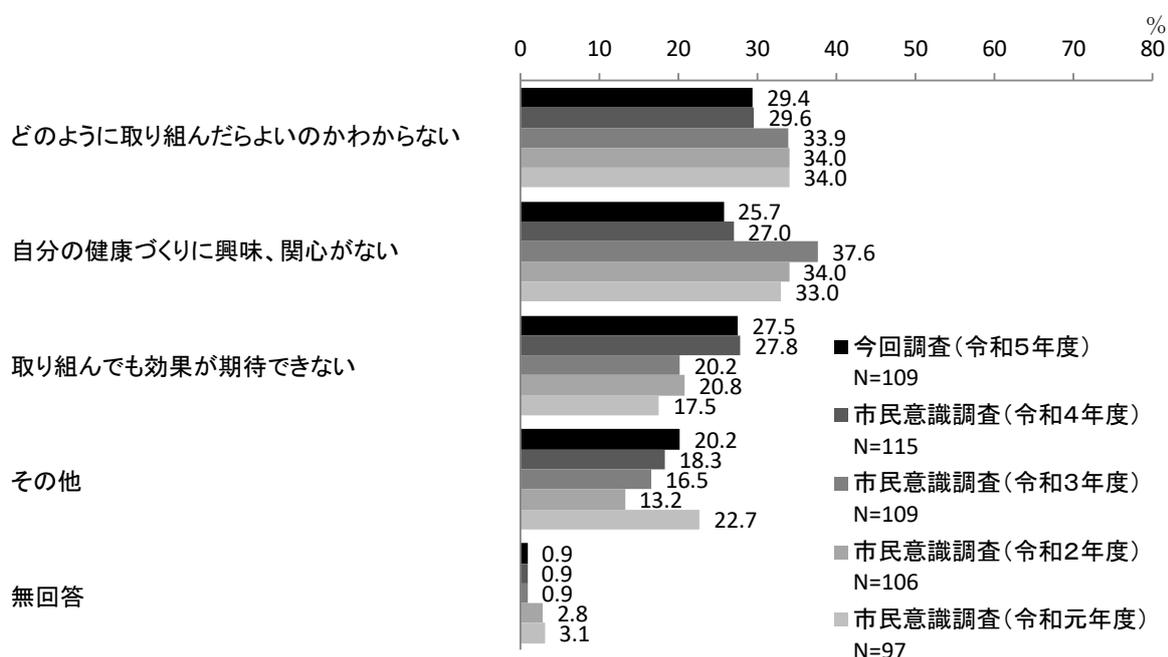
単位:%

区分	有効回答数(件)	運動をする	趣味(運動以外)の時間をつくる	休養を十分にとる	食事の量や質に注意する	睡眠を十分にとる	定期的に健康診査やがん検診を受ける	規則正しい生活をする	たばこを控える又はやめる	アルコールを控える又はやめる	その他	無回答
平田地区	31	64.5	38.7	25.8	38.7	54.8	35.5	38.7	16.1	22.6	0.0	3.2
市辺地区	25	52.0	36.0	24.0	60.0	64.0	32.0	40.0	4.0	16.0	4.0	0.0
玉緒地区	49	73.5	26.5	30.6	53.1	57.1	38.8	53.1	12.2	16.3	0.0	0.0
御園地区	62	67.7	19.4	30.6	58.1	46.8	37.1	38.7	14.5	14.5	0.0	11.3
建部地区	44	61.4	29.5	31.8	52.3	47.7	31.8	52.3	6.8	9.1	2.3	0.0
中野地区	59	69.5	33.9	30.5	44.1	42.4	35.6	37.3	8.5	10.2	3.4	5.1
八日市地区	115	69.6	32.2	31.3	57.4	49.6	30.4	32.2	6.1	8.7	0.9	2.6
南部地区	38	76.3	31.6	26.3	47.4	50.0	42.1	47.4	10.5	7.9	5.3	5.3
永源寺地区	62	69.4	35.5	29.0	45.2	43.5	41.9	33.9	1.6	3.2	0.0	4.8
五個荘地区	125	73.6	32.8	34.4	49.6	46.4	37.6	33.6	8.0	14.4	1.6	3.2
愛東地区	55	58.2	30.9	38.2	49.1	54.5	36.4	52.7	3.6	3.6	1.8	3.6
湖東地区	102	63.7	34.3	27.5	48.0	45.1	37.3	41.2	9.8	5.9	0.0	0.0
能登川地区	246	67.5	33.7	28.9	52.0	47.6	38.6	35.8	9.3	9.3	1.6	2.0
蒲生地区	161	70.8	34.8	22.4	47.2	37.9	31.1	37.3	8.7	11.2	1.9	3.1
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 14-2 問 14 で「3. 取り組むつもりはない」とお答えの方におたずねします。
その理由はどのようなことですか。《あてはまるものすべてに○》

取り組むつもりがない理由は、「どのように取り組んだらよいかわからない」、「取り組んでも効果が期待できない」が上位

- ・ 自分の健康づくりに取り組むつもりはない人の理由としては、「どのように取り組んだらよいかわからない」が 29.4%と最も多く、次いで「取り組んでも効果が期待できない」が 27.5%、「自分の健康づくりに興味、関心がない」が 25.7%となっています。
- ・ 性別では、男女ともに「どのように取り組んだらよいかわからない」が最も多くなっていますが、女性は「取り組んでも効果が期待できない」を理由にあげる人も同率で最も多くなっています。



【性別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	どのように取り組んだらよいかわからない	自分の健康づくりに興味、関心がない	取り組んでも効果が期待できない	その他	無回答
男性	58	27.6	25.9	24.1	22.4	1.7
女性	49	32.7	22.4	32.7	18.4	0.0

【年代別】

単位:%

区 分	有効回答数（件）	ら ど の よ う の か に わ か り 組 ん だ	味、 関 心 が な い	自 分 の 健 康 づ く り に 興	待 取 り 組 ん だ も 効 果 が 期	そ の 他	無 回 答
10歳代	5	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0
20歳代	10	50.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	20	15.0	45.0	10.0	25.0	5.0	0.0
40歳代	14	28.6	28.6	28.6	21.4	0.0	0.0
50歳代	19	42.1	10.5	31.6	21.1	0.0	0.0
60歳代	16	25.0	18.8	37.5	25.0	0.0	0.0
70歳以上	24	29.2	20.8	33.3	20.8	0.0	0.0

【居住地区別】

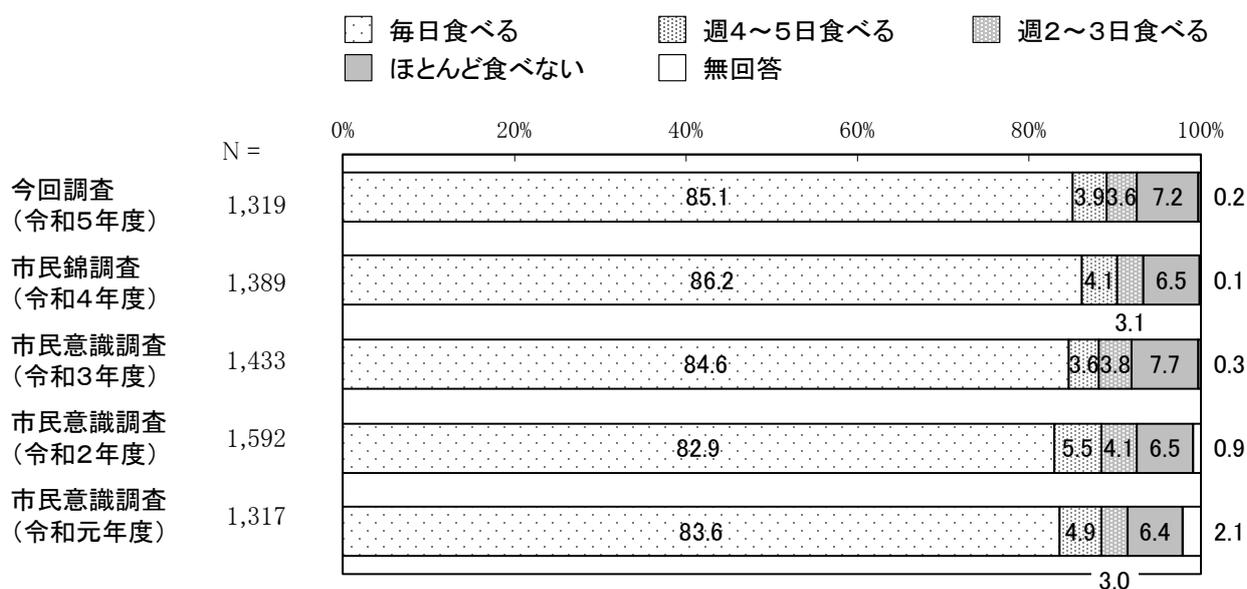
単位:%

区 分	有効回答数（件）	ら ど の よ う の か に わ か り 組 ん だ	味、 関 心 が な い	自 分 の 健 康 づ く り に 興	待 取 り 組 ん だ も 効 果 が 期	そ の 他	無 回 答
平田地区	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
市辺地区	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
玉緒地区	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
御園地区	4	50.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
建部地区	6	16.7	0.0	66.7	16.7	0.0	0.0
中野地区	6	50.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0
八日市地区	11	18.2	54.5	9.1	36.4	0.0	0.0
南部地区	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
永源寺地区	5	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0
五個荘地区	12	33.3	25.0	16.7	33.3	0.0	0.0
愛東地区	5	40.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0
湖東地区	6	16.7	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0
能登川地区	25	36.0	32.0	20.0	8.0	4.0	0.0
蒲生地区	19	21.1	21.1	36.8	21.1	0.0	0.0
わからない	0	-	-	-	-	-	-

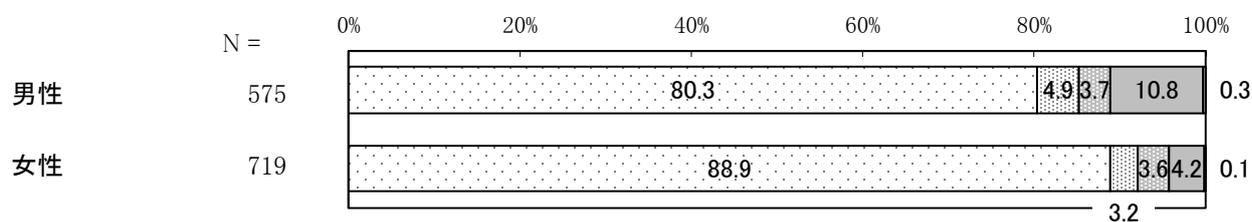
問 15 あなたは、朝食を食べていますか。《○1つ》

9割近くが朝食は「毎日食べる」

- ・ 朝食を食べているかについては、「毎日食べる」と回答した人が85.1%と、9割近くとなっています。次いで、「ほとんど食べない」が7.2%、「週4～5日食べる」が3.9%、「週2～3日食べる」が3.6%と続きます。
- ・ 性別では女性が9割近く、年代別では60歳以上で、居住地区別では平田地区、御園地区、市辺地区、玉緒地区、南部地区で、9割以上の人朝食を毎日食べています。
- ・ 一方、「ほとんど食べない」人の割合は、年代別では30歳代で2割近く、居住地区別では八日市地区で2割近くと最も多くなっています。

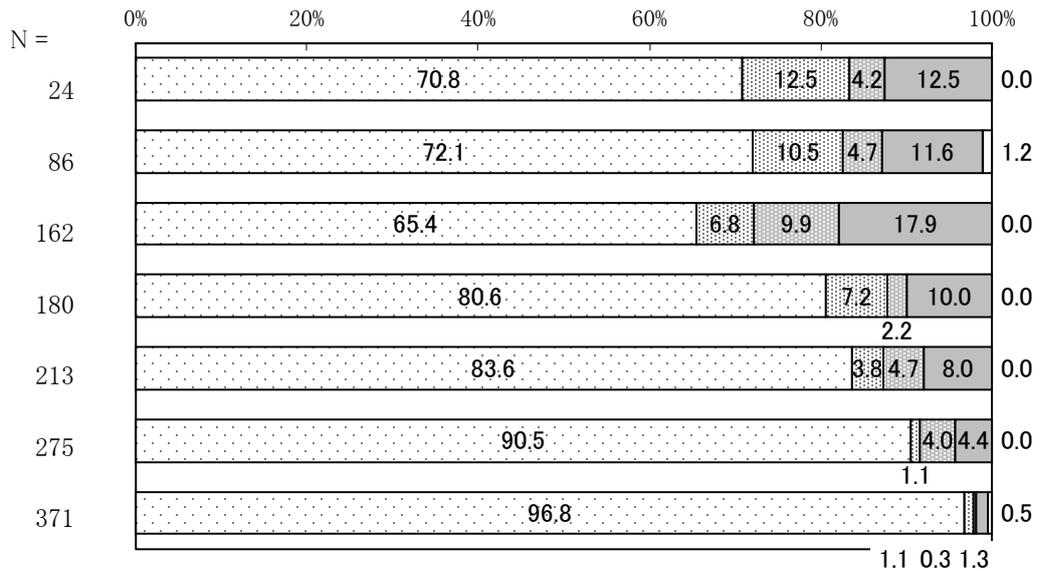


【性別】

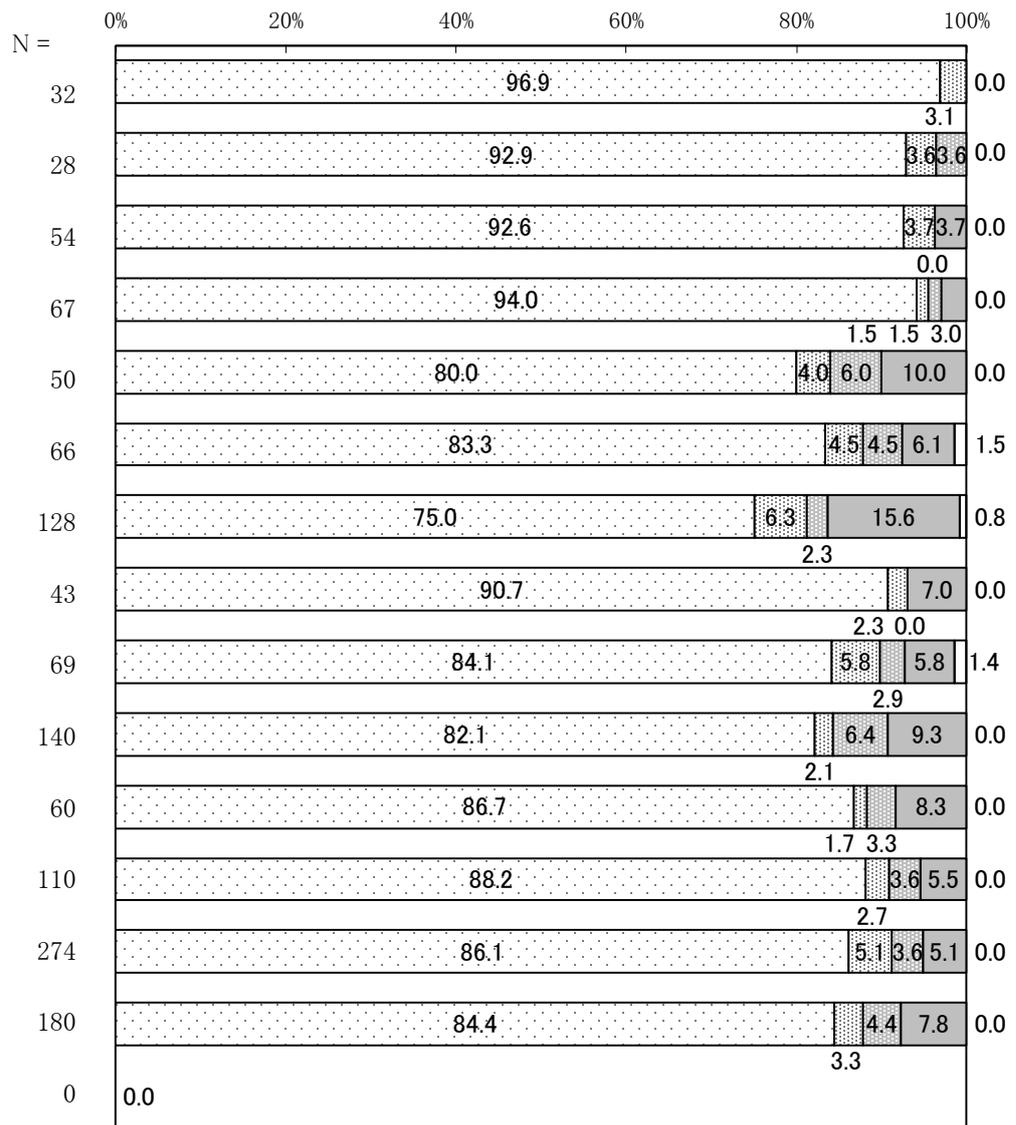


【年代別】

毎日食べる
 週4~5日食べる
 週2~3日食べる
 ほとんど食べない
 無回答



【居住地区別】

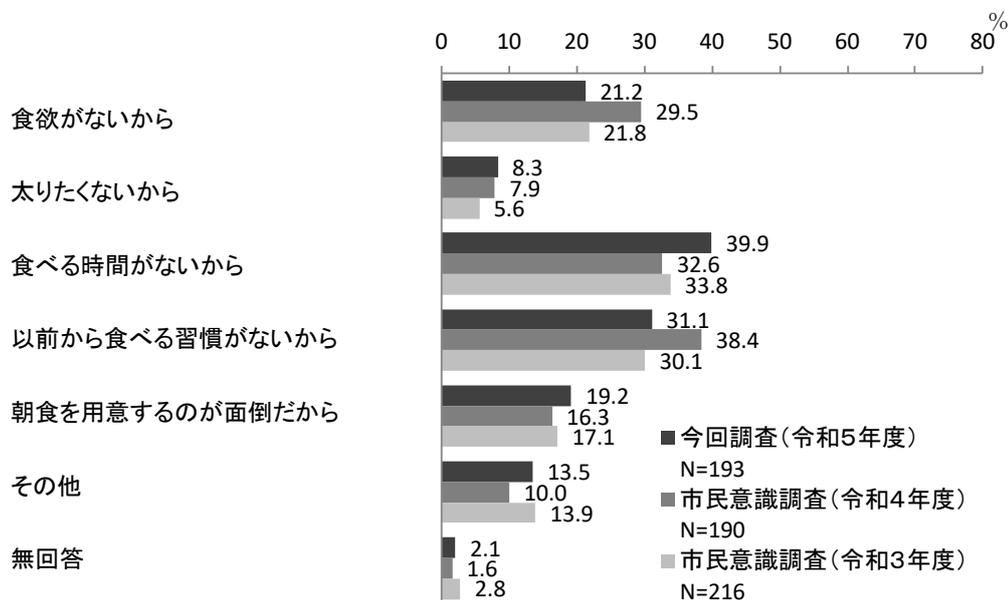


問 15-1 問 15 で「2. 週 4～5 日食べる」「3. 週 2～3 日食べる」「4. ほとんど食べない」とお答えの方におたずねします。

食べない日がある理由はどのようなことですか。《あてはまるものすべてに○》

朝食を食べない理由は、食べる時間がない、習慣がないなど

- ・ 朝食を食べない日がある方にその理由を聞いたところ、「食べる時間がないから」が 39.9%と最も多く、次いで「以前から食べる習慣がないから」が 31.1%と続きます。
- ・ 過去の調査と比較すると、今回の調査では、「食べる時間がないから」と回答した人の割合が大きく増加し、習慣がない、食欲がないと回答した人の割合が減少しています。
- ・ 性別では、男女ともに「食べる時間がないから」が最も多く、男性は「以前から食べる習慣がないから」も同率で最も多くあげられています。
- ・ 年代別では、有効回答数が少ないため単純比較はできませんが、40 歳代までは「食べる時間がないから」、50 歳以上は「以前から食べる習慣がないから」が最も多くなっています。



【性別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	食欲がないから	太りたくないから	食べる時間がないから	以前から食べる習慣がないから	朝食を用意するのが面倒だから	その他	無回答
男性	111	18.0	7.2	36.0	36.0	22.5	13.5	0.9
女性	79	26.6	10.1	45.6	24.1	15.2	13.9	2.5

【年代別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	食欲がないから	太りたくないから	食べる時間がないから	以前から食べる習慣がないから	朝食を用意するのが面倒だから	その他	無回答
10歳代	7	28.6	14.3	57.1	14.3	28.6	14.3	0.0
20歳代	23	13.0	8.7	43.5	30.4	13.0	13.0	0.0
30歳代	56	30.4	10.7	46.4	30.4	28.6	8.9	1.8
40歳代	35	11.4	2.9	54.3	20.0	17.1	20.0	2.9
50歳代	35	20.0	11.4	28.6	34.3	17.1	17.1	0.0
60歳代	26	26.9	3.8	23.1	42.3	15.4	7.7	7.7
70歳以上	10	10.0	10.0	10.0	50.0	0.0	20.0	0.0

【居住地区別】

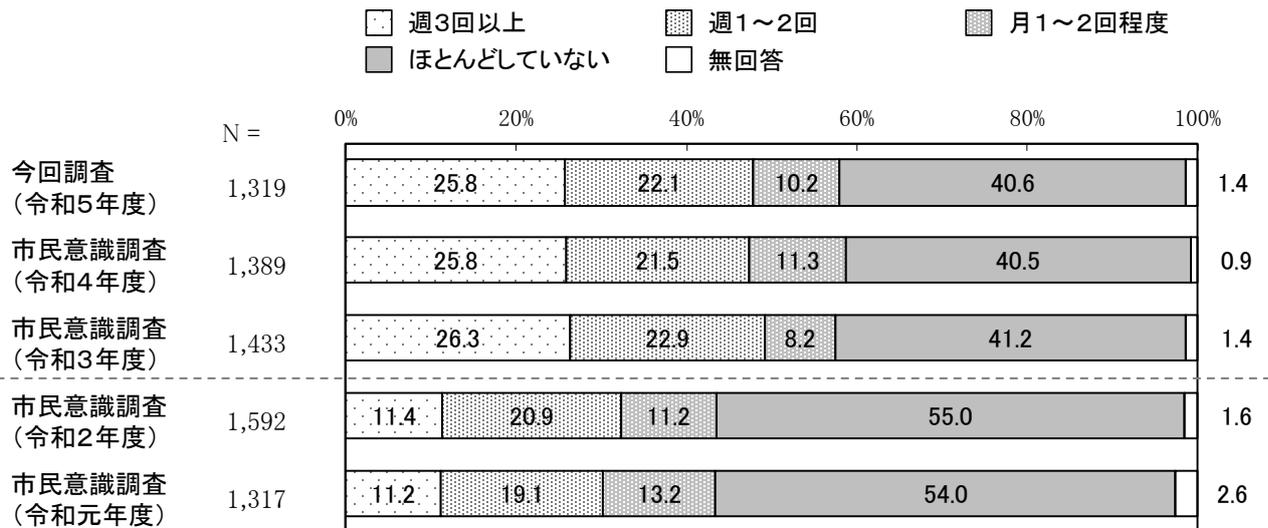
単位:%

区分	有効回答数(件)	食欲がないから	太りたくないから	食べる時間がないから	以前から食べる習慣がないから	朝食を用意するのが面倒だから	その他	無回答
平田地区	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
市辺地区	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0
玉緒地区	4	0.0	0.0	75.0	25.0	25.0	25.0	0.0
御園地区	4	50.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
建部地区	10	20.0	20.0	50.0	10.0	30.0	30.0	0.0
中野地区	10	30.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	10.0
八日市地区	31	19.4	9.7	35.5	25.8	22.6	12.9	6.5
南部地区	4	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
永源寺地区	10	20.0	0.0	50.0	50.0	10.0	0.0	0.0
五個荘地区	25	8.0	12.0	36.0	24.0	16.0	24.0	4.0
愛東地区	8	62.5	12.5	12.5	25.0	25.0	25.0	0.0
湖東地区	13	23.1	7.7	38.5	38.5	30.8	7.7	0.0
能登川地区	38	18.4	5.3	44.7	28.9	18.4	13.2	0.0
蒲生地区	28	25.0	7.1	28.6	39.3	21.4	10.7	0.0
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-

問 16 あなたは、スポーツやレクリエーション等の運動をどの程度行っていますか（運動には、散歩やラジオ体操といった簡単に体を動かすものも含まれます。）。《○1つ》

週1回以上運動している人は半数近く

- ・ スポーツやレクリエーション等の運動をどの程度行っているかについては、「ほとんどしていない」が40.6%と最も多く、4割を占めています。次いで、「週3回以上」が25.8%、「週1～2回」が22.1%と続き、週1回以上運動をしている人は47.9%と半数近くとなっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、運動の定義を示した令和3年度以降、特に「週3回以上」が1割から3割近くに増加し、週1回以上運動をしている人の割合も3割から半数近くへ大きく増加しました。
- ・ 週1回以上運動をしている人の割合は、性別では男性で、年代別では10歳代と70歳以上で、居住地区別では永源寺地区、御園地区で高くなっています。
- ・ 一方、スポーツやレクリエーション等の運動をほとんどしていない人は、年代別では30～40歳代で、居住地区別では建部地区で、半数以上となっています。
- ・ なお、平田地区では、週1回以上運動をしている人とほとんどしていない人が同率となっています。



※令和2年度までは、設問の括弧書き(運動の定義)なし。

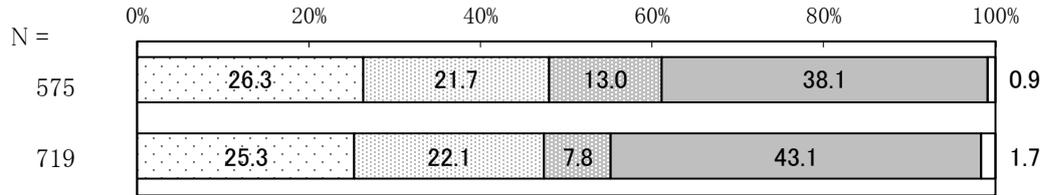
単位：%

	週1回以上運動をしている*	ほとんどしていない
①今回調査(令和5年度)	47.9	40.6
②市民意識調査(令和4年度)	47.3	40.5
③市民意識調査(令和3年度)	49.2	41.2
④市民意識調査(令和2年度)	32.3	55.0
⑤市民意識調査(令和元年度)	30.3	54.0
①～⑤	17.6	-13.4

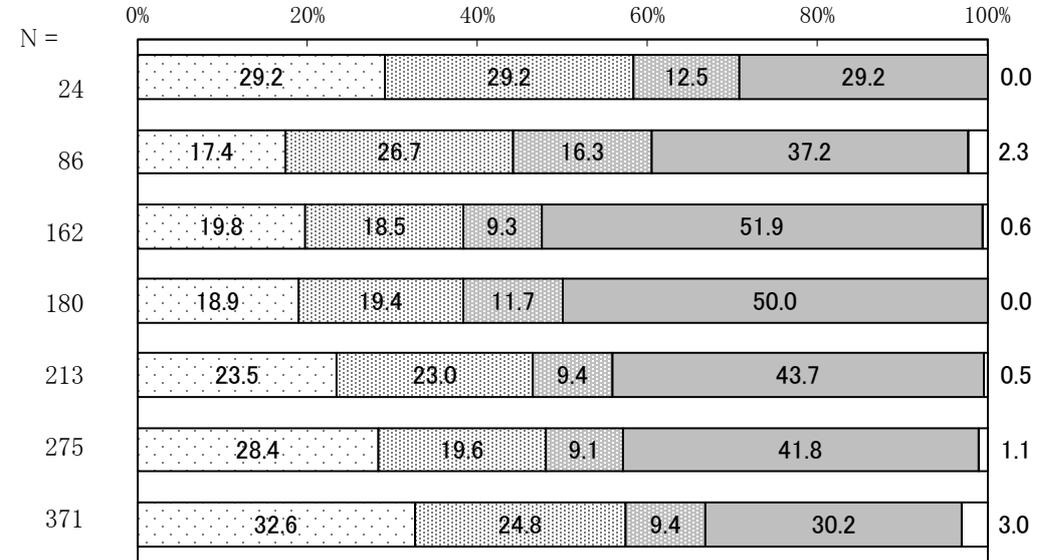
* 週1回以上運動をしている:「週3回以上」と「週1～2回」の合計

週3回以上
 週1~2回
 月1~2回程度
 ほとんどしていない
 無回答

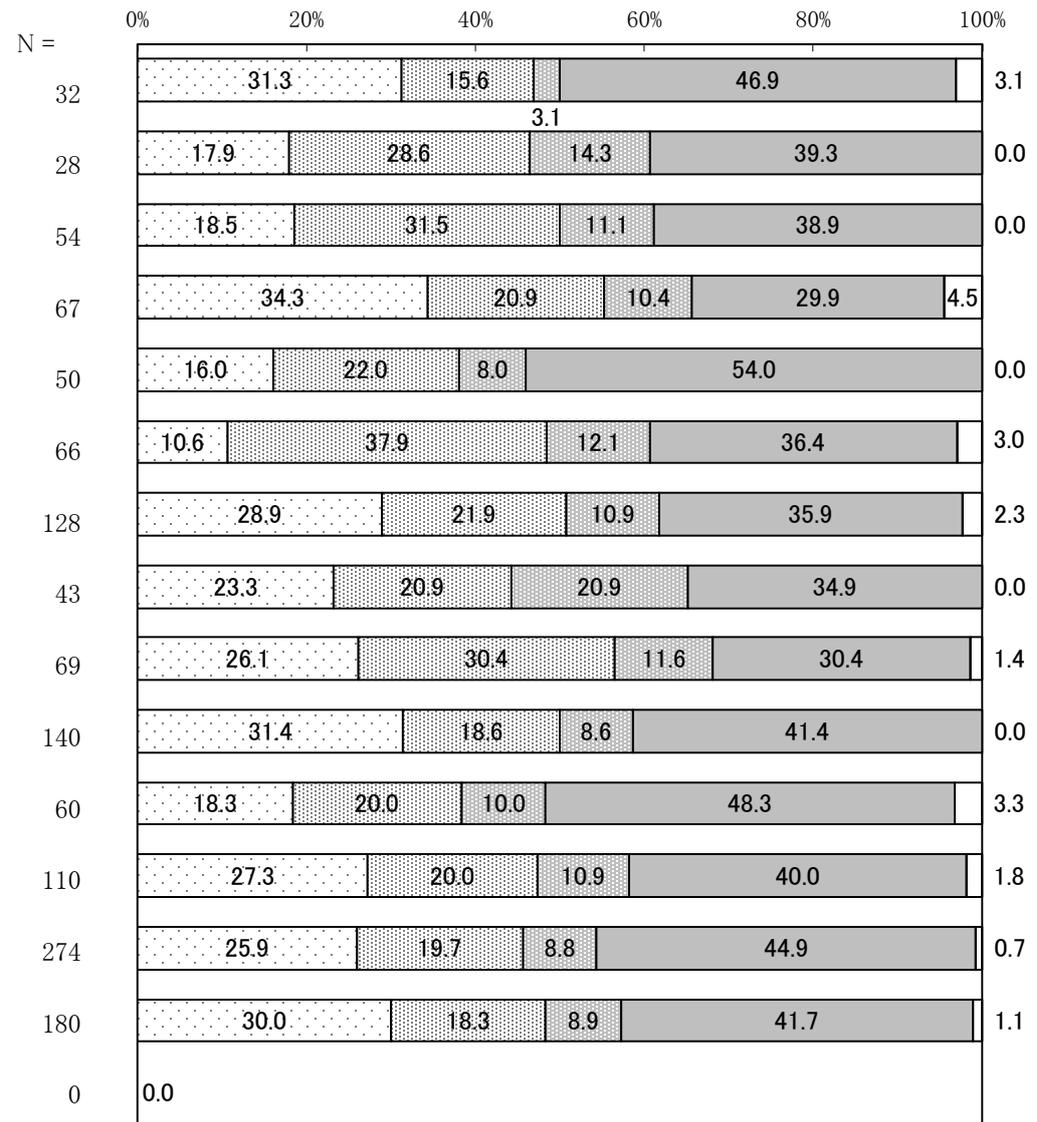
【性別】



【年代別】



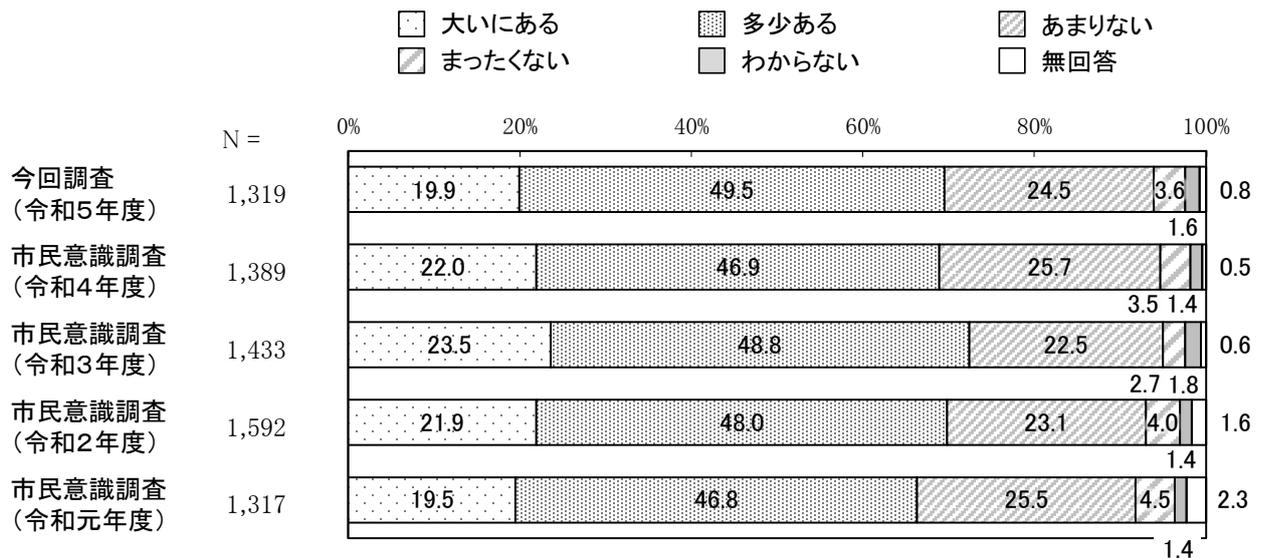
【居住地区別】



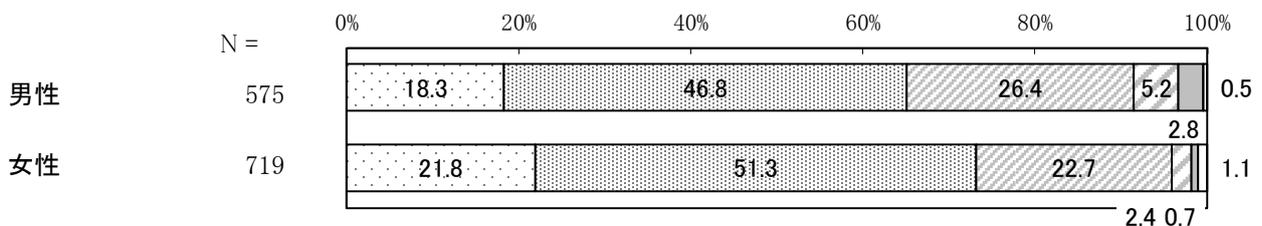
問 17 あなたはこの1箇月間に、不安、悩み、ストレスを感じましたか。《○1つ》

7割近くが不安、悩み、ストレスを感じている

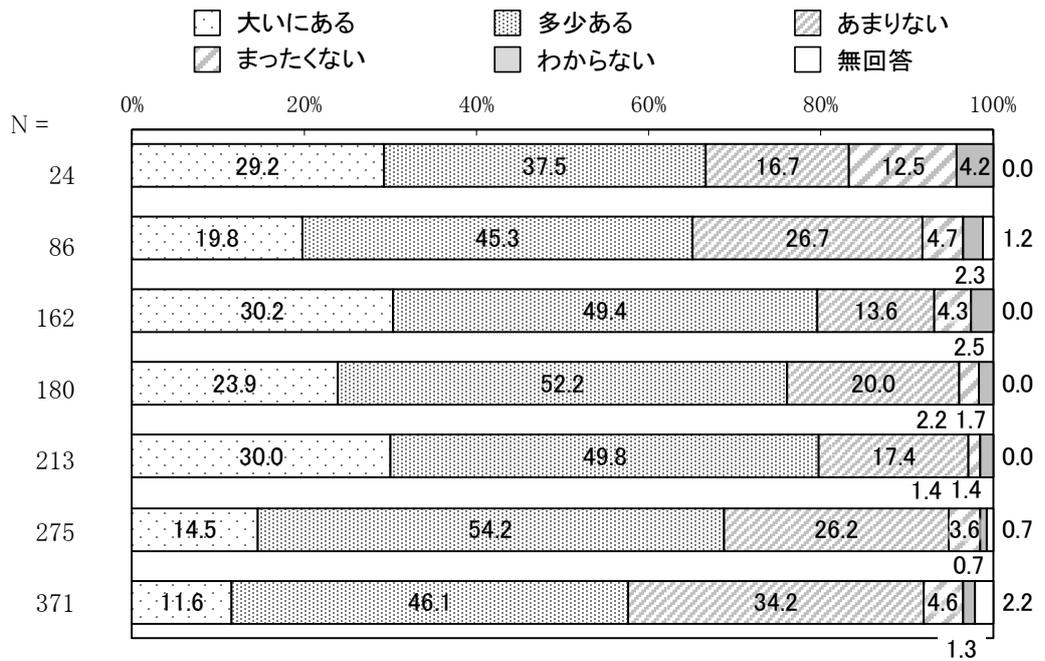
- ・ この1箇月間に、不安、悩み、ストレスを感じたかどうかについては、「大いにある」が19.9%、「多少ある」が49.5%で、合わせて69.4%と7割近くの人が不安、悩み、ストレスを感じたと回答しています。一方、「あまりない」と「まったくない」を合わせると28.1%で、3割近くの人が感じていないと回答しています。
- ・ 過去の調査と比較すると、不安、悩み、ストレスが「大いにある」と回答した人の割合は、令和3年度をピークに、減少傾向にあります。
- ・ 性別では、女性は7割以上が不安、悩み、ストレスを感じている（「大いにある」と「多少ある」の合計）と回答しており、男性よりも多くなっています。
- ・ 年代別では、30～50歳代で不安、悩み、ストレスを感じている人（前述）が8割近くいるのに対し、70歳以上で4割近くが感じていない（「あまりない」と「まったくない」の合計）と回答しています。
- ・ 居住地区別では、多くの地区で6割から7割前後が不安、悩み、ストレスを感じている（前述）のに対し、愛東地区で4割近くが感じていない（前述）と回答しています。



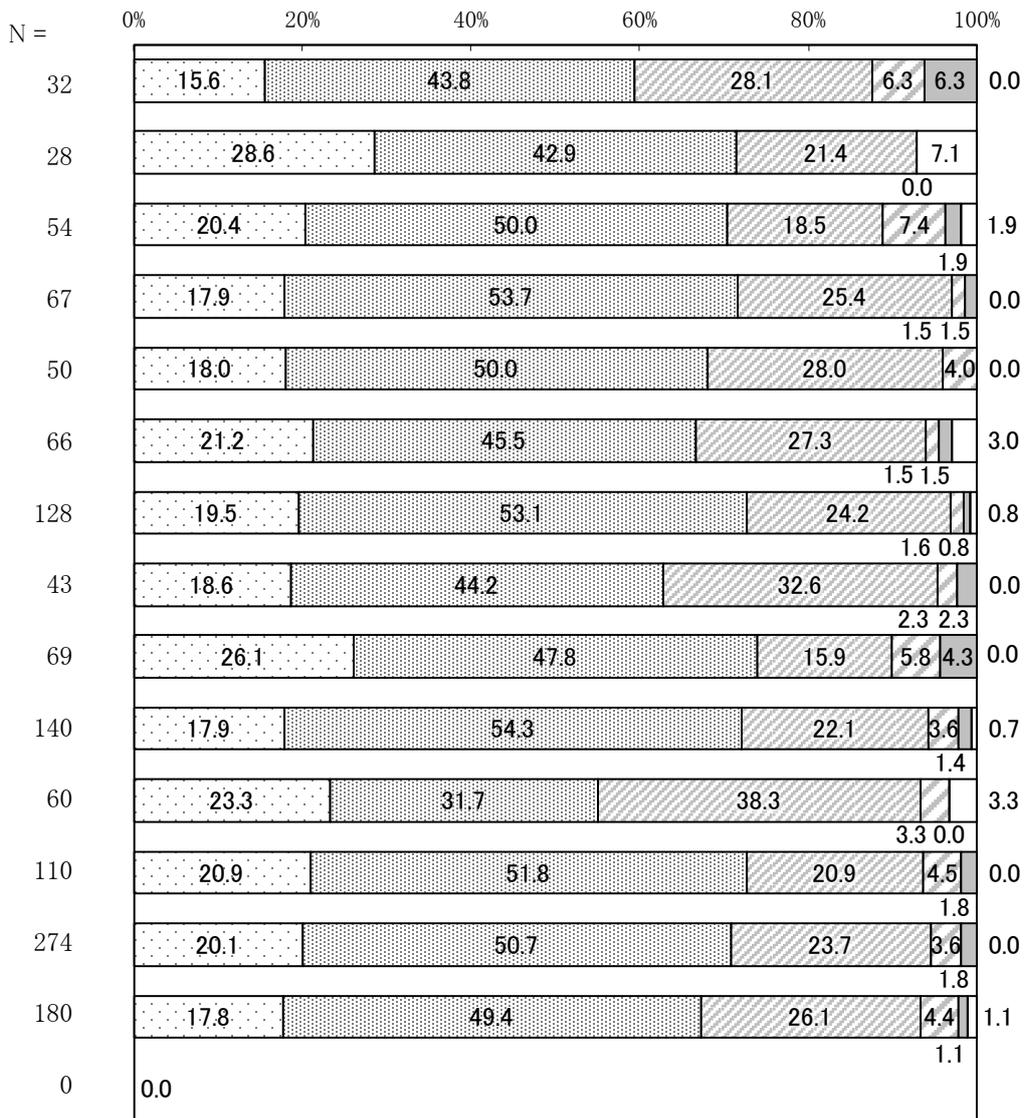
【性別】



【年代別】



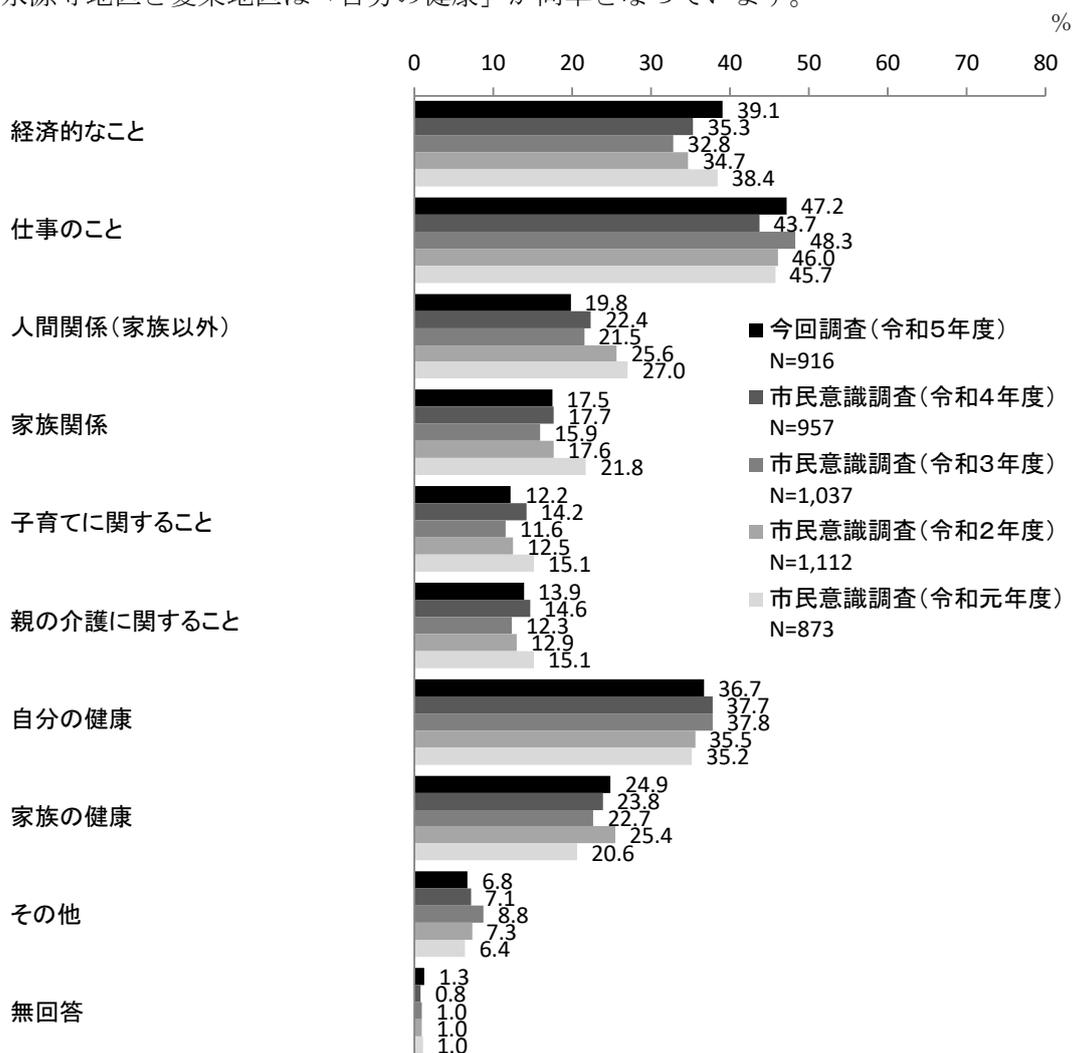
【居住地区別】



問 17-1 問 17 で「1. 大いにある」「2. 多少ある」とお答えの方におたずねします。
 あなたの不安、悩み、ストレスの原因は何ですか。《あてはまるものすべてに○》

半数近くが「仕事のこと」

- 不安、悩み、ストレスの原因としては、「仕事のこと」が47.2%と最も多く、半数近くとなっています。次いで「経済的なこと」が39.1%、「自分の健康」が36.7%と続きます。
- 過去の調査と比較すると、令和3年度まで減少傾向にあった「経済的なこと」が増加傾向に転じています。一方、「人間関係（家族以外）」は減少傾向にあります。
- 性別では、男女ともに「仕事のこと」が最も多くなっていますが、女性が4割なのに対し、男性は6割近くと高くなっています。また、女性は、「子育てに関すること」のほか、自分や家族の健康についても原因としてあげる人が男性よりも多く見られます。
- 年代別では、50歳代までは「仕事のこと」、60歳以上は「自分の健康」が最も多くあげられています。そのほか、10歳代で「人間関係（家族以外）」が、30歳代で「家族関係」が、「30～40歳代」で「子育てに関すること」が、50～60歳代で「親の介護に関すること」がほかの年代より多くあげられており、それぞれのライフステージに応じた要因があることがうかがえます。
- 居住地区別では、御園地区は「自分の健康」が、建部地区、五個荘地区、永源寺地区、市辺地区、愛東地区、平田地区は「経済的なこと」が、そのほかの地区は「仕事のこと」が最も多くあげられています。また、平田地区は「仕事のこと」や「人間関係（家族以外）」、「自分の健康」が、永源寺地区と愛東地区は「自分の健康」が同率となっています。



【性別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	経済的なこと	仕事のこと	人間関係(家族以外)	家族関係	子育てに関すること	親の介護に関すること	自分の健康	家族の健康	その他	無回答
男性	374	40.4	57.5	19.3	16.0	7.5	14.7	32.9	20.1	7.8	0.5
女性	526	38.2	40.7	20.5	18.6	16.0	13.7	39.5	28.7	6.1	1.7

【年代別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	経済的なこと	仕事のこと	人間関係(家族以外)	家族関係	子育てに関すること	親の介護に関すること	自分の健康	家族の健康	その他	無回答
10歳代	16	31.3	50.0	31.3	0.0	0.0	0.0	6.3	18.8	12.5	0.0
20歳代	56	46.4	67.9	14.3	16.1	12.5	3.6	16.1	8.9	14.3	1.8
30歳代	129	43.4	73.6	26.4	26.4	36.4	9.3	22.5	17.1	5.4	0.0
40歳代	137	42.3	65.7	19.0	17.5	26.3	13.9	27.0	20.4	5.1	1.5
50歳代	170	41.8	61.8	17.6	14.7	10.6	27.1	32.4	21.8	4.7	1.8
60歳代	189	37.6	38.6	19.6	21.2	1.6	21.2	41.3	28.6	10.6	1.1
70歳以上	214	32.2	8.9	18.2	12.6	0.5	3.3	59.3	36.0	4.7	1.9

【居住地区別】

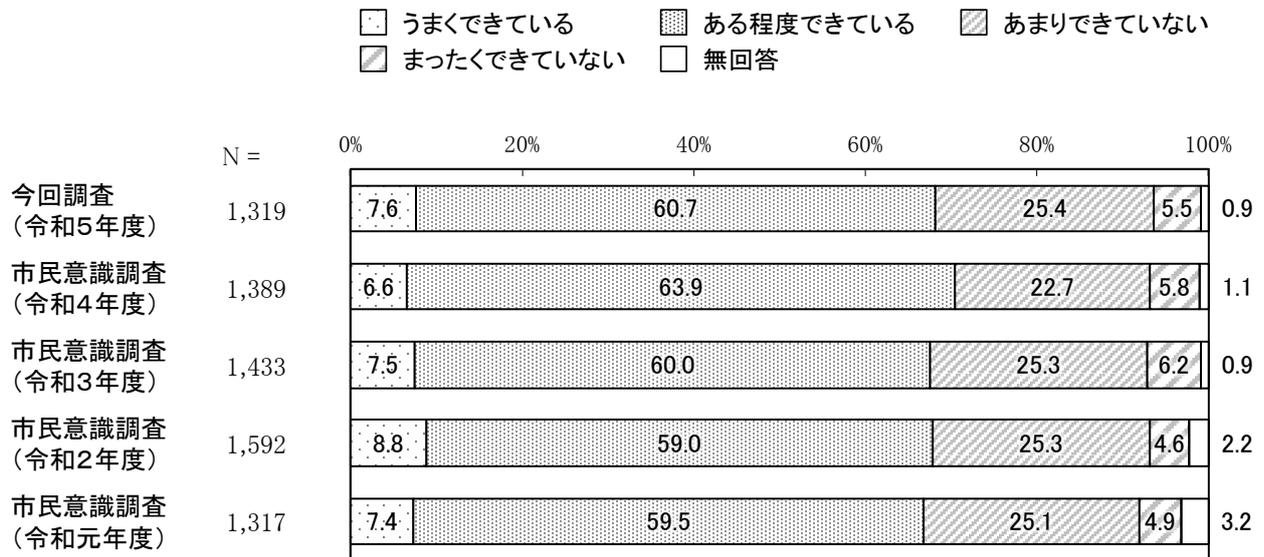
単位:%

区分	有効回答数(件)	経済的なこと	仕事のこと	人間関係(家族以外)	家族関係	子育てに関すること	親の介護に関すること	自分の健康	家族の健康	その他	無回答
平田地区	19	31.6	31.6	31.6	10.5	0.0	15.8	31.6	10.5	10.5	5.3
市辺地区	20	40.0	40.0	25.0	25.0	10.0	15.0	35.0	20.0	5.0	5.0
玉緒地区	38	42.1	60.5	15.8	26.3	13.2	18.4	47.4	23.7	7.9	0.0
御園地区	48	41.7	37.5	20.8	25.0	10.4	8.3	47.9	37.5	8.3	2.1
建部地区	34	47.1	38.2	17.6	14.7	17.6	20.6	38.2	20.6	8.8	2.9
中野地区	44	40.9	54.5	18.2	11.4	15.9	9.1	25.0	11.4	2.3	2.3
八日市地区	93	51.6	61.3	19.4	19.4	11.8	14.0	35.5	20.4	6.5	1.1
南部地区	27	37.0	40.7	14.8	18.5	11.1	11.1	33.3	29.6	7.4	0.0
永源寺地区	51	43.1	41.2	17.6	17.6	7.8	13.7	43.1	27.5	9.8	0.0
五箇荘地区	101	46.5	43.6	19.8	19.8	15.8	15.8	32.7	18.8	3.0	2.0
愛東地区	33	39.4	36.4	21.2	18.2	12.1	15.2	39.4	27.3	9.1	6.1
湖東地区	80	37.5	53.8	28.8	16.3	10.0	18.8	30.0	15.0	11.3	0.0
能登川地区	194	29.9	41.8	18.6	13.9	12.9	9.3	37.6	34.5	7.2	0.5
蒲生地区	121	34.7	49.6	15.7	17.4	11.6	18.2	39.7	27.3	5.0	0.8
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

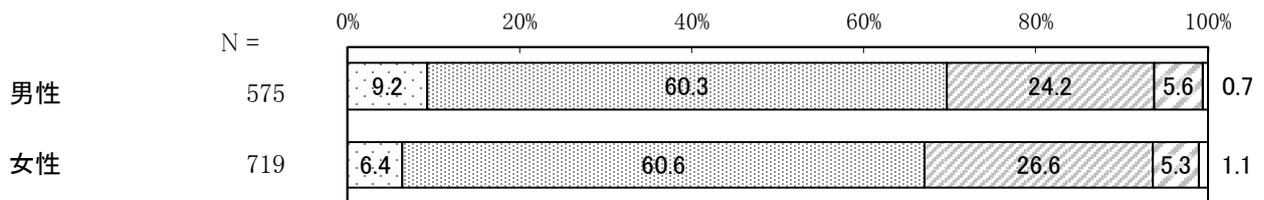
問 18 あなたの不安や悩み、ストレスは解消できていますか。《○1つ》

7割近くが、不安や悩み、ストレスの解消はできている

- 不安や悩み、ストレスが解消できているかどうかについては、「うまくできている」が7.6%、「ある程度できている」が60.7%で、これらを合わせると68.3%となり、7割近くの人が解消できていると回答しています。一方、「あまりできていない」と「まったくできていない」を合わせると30.9%で、3割の人が解消できていないと回答しています。
- 年代別では、10～20歳代で8割近くが不安や悩み、ストレスの解消ができていない（「うまくできている」と「ある程度できている」の合計）と回答しているのに対し、30～50歳代は4割前後ができていない（「あまりできていない」と「まったくできていない」の合計）と回答しています。
- 居住地区別では、平田地区、玉緒地区、蒲生地区、愛東地区で8割近くの人が不安や悩み、ストレスの解消ができていない（前述）と回答しているのに対し、建部地区、永源寺地区、市辺地区で4割近くの人ができていない（前述）と回答しています。

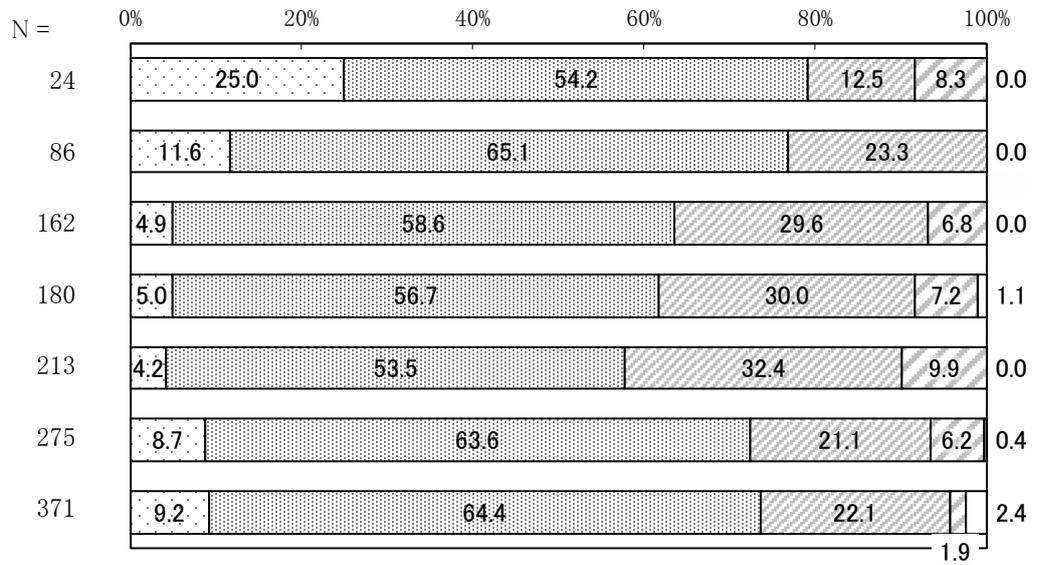


【性別】

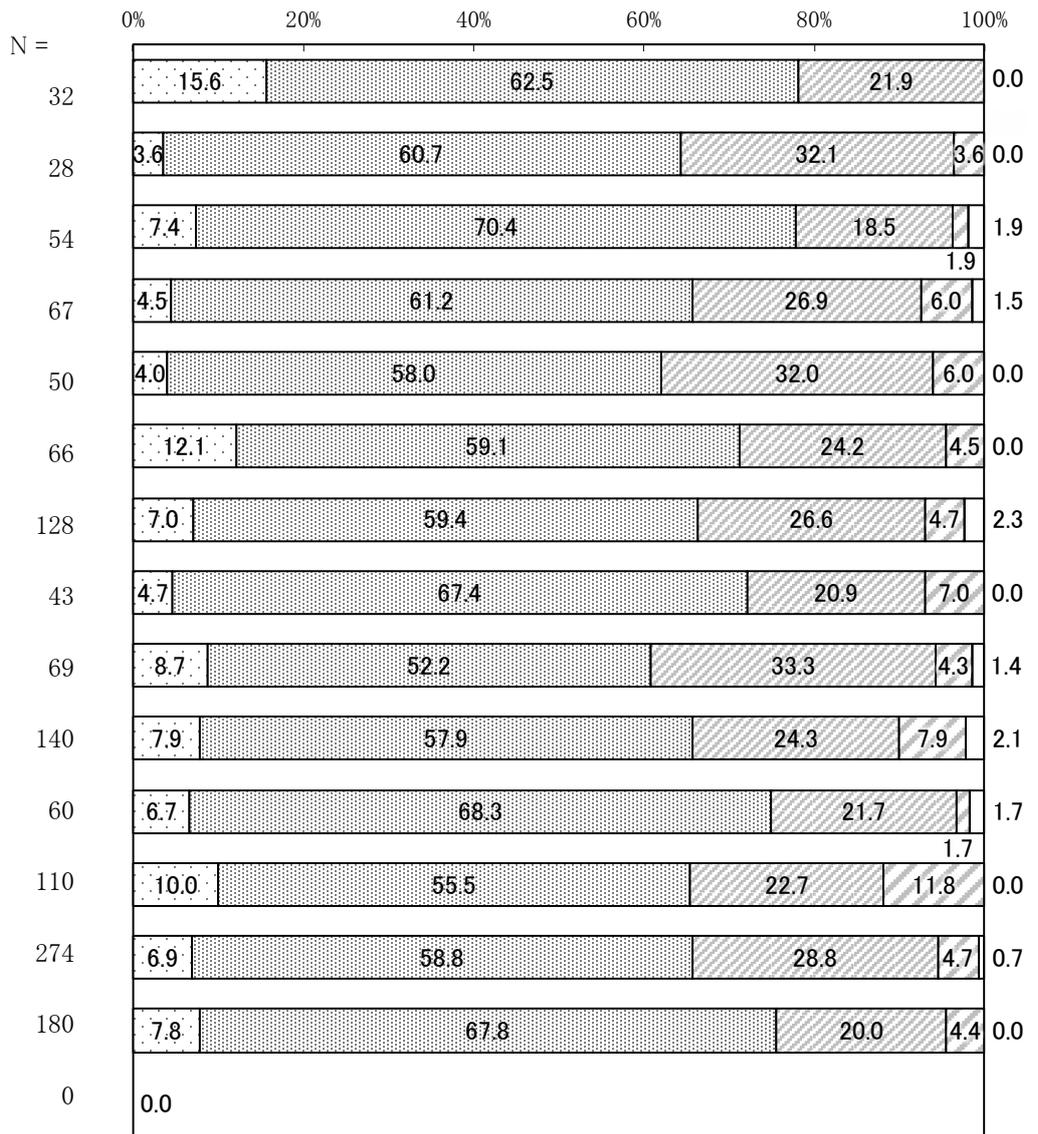


【年代別】

うまくできている
 ある程度できている
 あまりできていない
 まったくできていない
 無回答



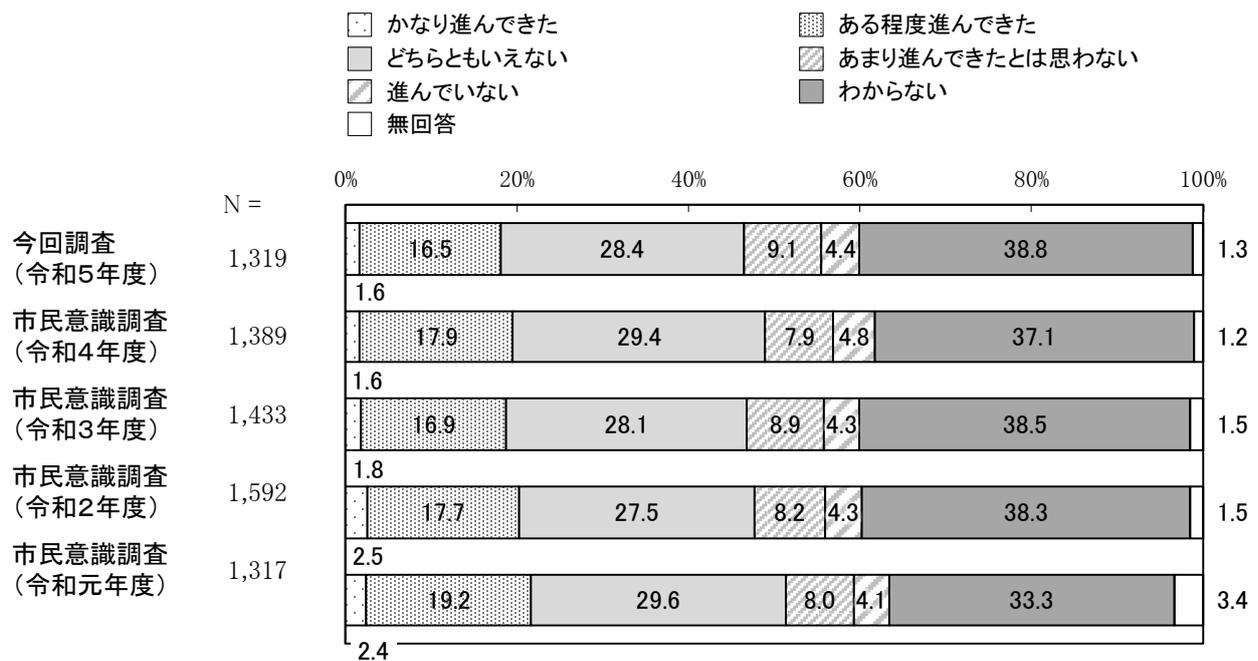
【居住地区別】



問 19 あなたは、東近江市民の障害者に対する理解は進んできたと思いますか。《○1つ》

「わからない」が4割近く

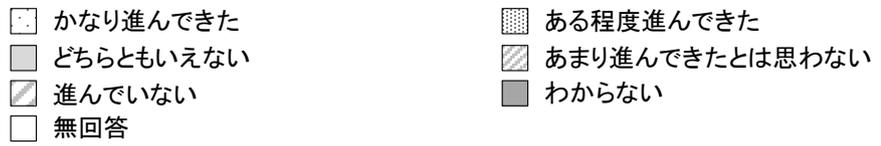
- 東近江市民の障害者に対する理解が進んできたと思うかについては、「かなり進んできた」が1.6%、「ある程度進んできた」が16.5%で、これらを合わせると18.1%となり、2割近くの人が進んできたと回答しています。一方、「あまり進んできたとは思わない」と「進んでいない」を合わせると13.5%となっています。なお、「わからない」と回答した人が38.8%となっています。
- 過去の調査と比較すると、理解が進んできたと思う人（「かなり進んできた」と「ある程度進んできた」の合計）が今年度はやや減少し、理解が進んでいないと思う人（「あまり進んできたとは思わない」と「進んでいない」の合計）と、「わからない」人は今年度やや増加しています。
- 年代別では50歳以上で年齢が上がるほど、居住地区別では平田地区、愛東地区で、障害者に対する理解が進んできたと思う人（前述）が多く見られます。
- 一方、年代別では10歳代、30歳代、50歳代で、居住地区別では南部地区、湖東地区、能登川地区で、障害者に対する理解が進んできたと思う人（前述）より進んでいないと思う人（前述）が多く見られます。



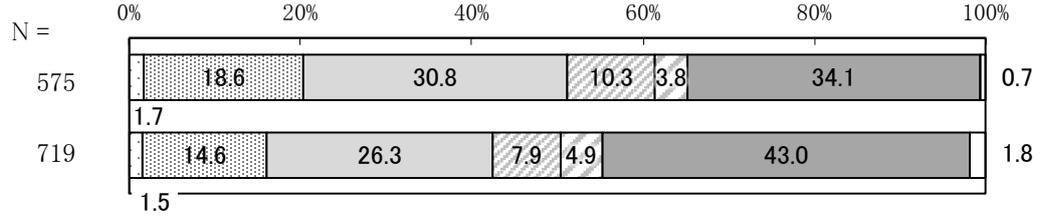
	進んできた*	進んでいない*	差
①今回調査（令和5年度）	18.1	13.5	4.6
②市民意識調査（令和4年度）	19.5	12.7	6.8
③市民意識調査（令和3年度）	18.7	13.2	5.5
④市民意識調査（令和2年度）	20.2	12.5	7.7
⑤市民意識調査（令和元年度）	21.6	12.1	9.5
①－⑤	-3.5	1.4	-4.9

* 進んできた：「かなり進んできた」と「ある程度進んできた」の合計

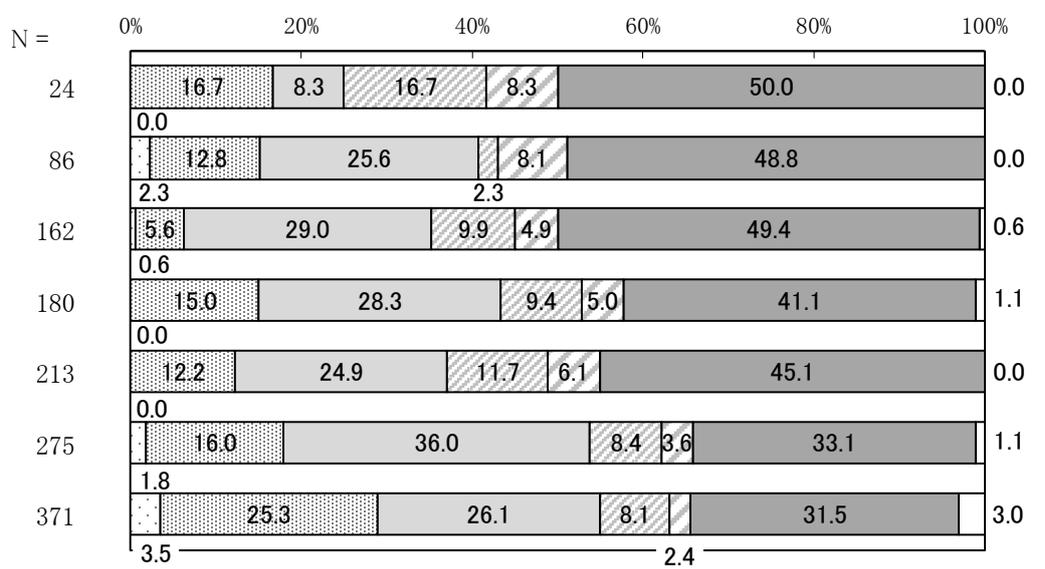
* 進んでいない：「あまり進んできたとは思わない」と「進んでいない」の合計



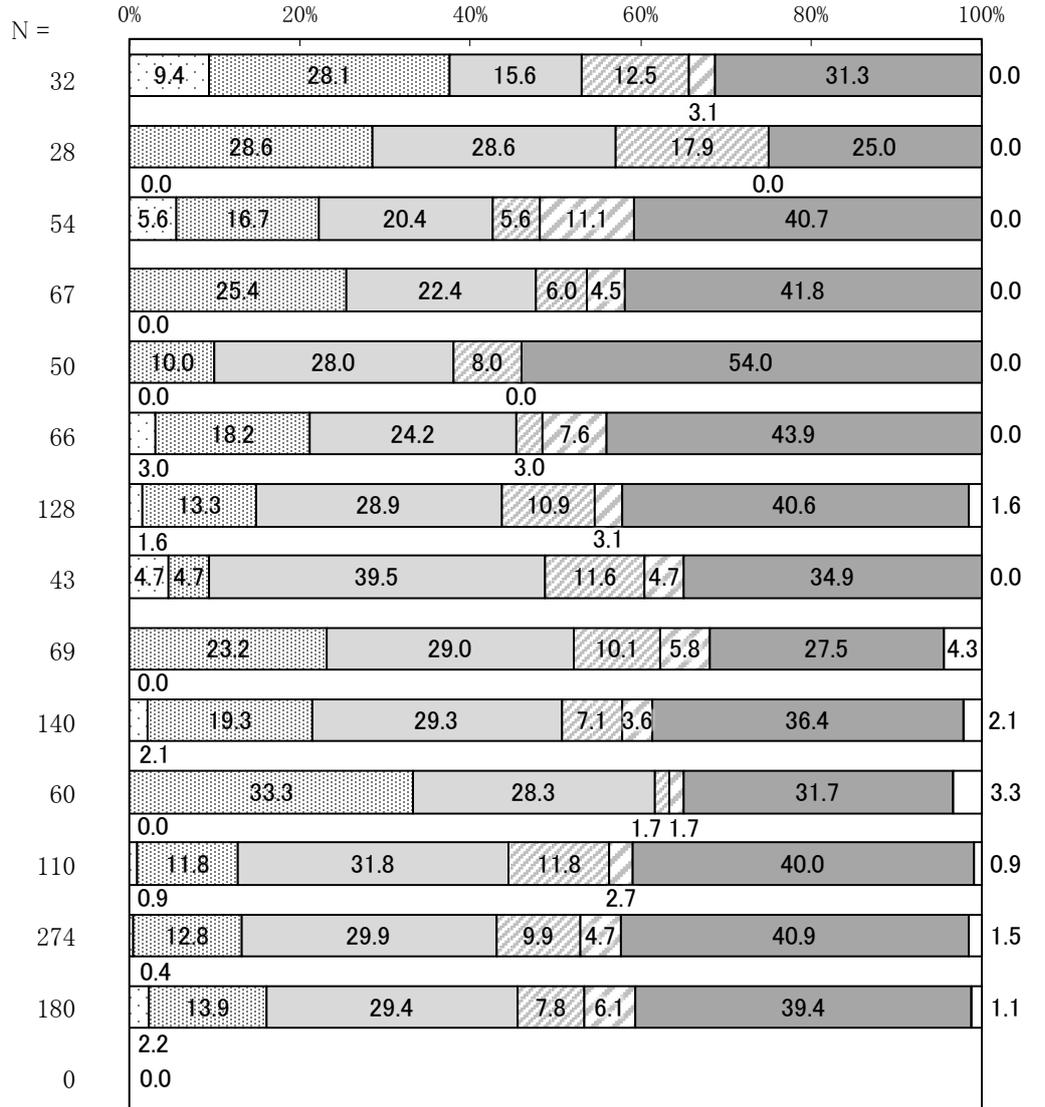
【性別】



【年代別】



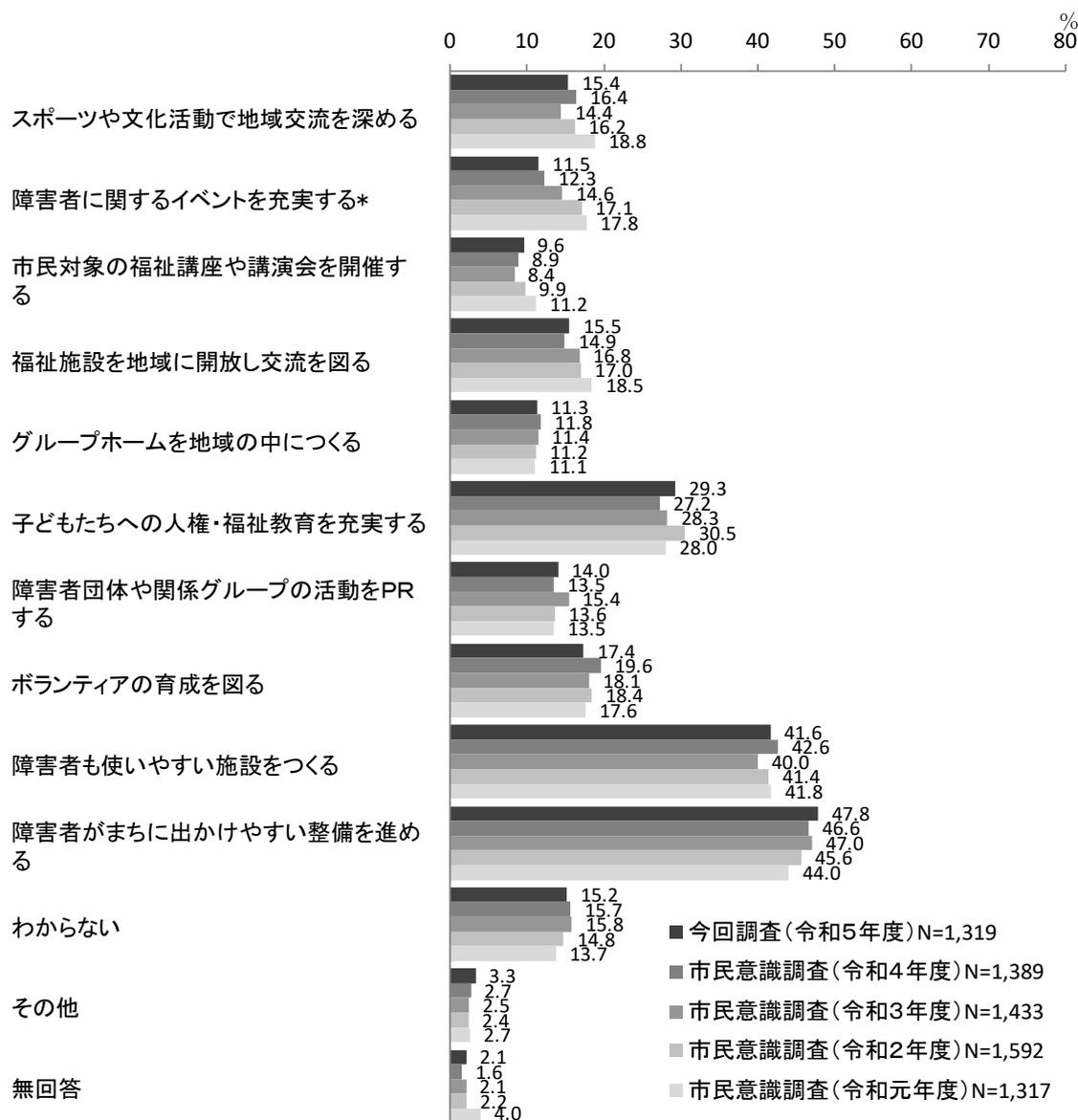
【居住地区別】



問 20 あなたは、障害者に対する理解を深めるために、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。《あてはまるものすべてに○》

特に力を入れるべき取組は、バリアフリーのまちづくりや施設整備

- ・ 障害者に対する理解を深めるために、今後どのようなことに特に力を入れるべきかについては、「障害者がまちに出かけやすい整備を進める」が47.8%と最も多く、次いで「障害者も使いやすい施設をつくる」が41.6%と、バリアフリーやユニバーサルデザインのまちづくりや施設整備をあげる人が多くなっています。
- ・ 年代別では、20歳代や40歳代で「障害者も使いやすい施設をつくる」が、そのほかの年代で「障害者がまちに出かけやすい整備を進める」が最も多くなっています。また、20～30歳代で「子どもたちへの人権・福祉教育を充実する」がほかの年代より多くあげられています。



*令和3年度まで「ふれあいの集い」などのイベントを充実する」

【性別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	スポーツや文化交流を深める	スポーツや文化交流で地域交流を深める	障害者に関するイベントを充実する	市民対象の福祉講座や講演会を開催する	福祉施設を地域に開放し交流を図る	グループホームを地域の中につくる	子どもたちへの人権・福祉教育を充実する	障害者団体や関係グループの活動をPRする	ボランティアの育成を図る	障害者も使いやすい施設をつくる	障害者がまちに出かけやすい整備を進める	わからない	その他	無回答
男性	575	17.2	13.6	9.7	14.3	8.0	25.2	15.0	16.2	39.1	41.9	17.9	3.5	1.6	
女性	719	13.9	10.0	9.3	16.1	13.9	33.2	13.4	17.9	43.8	52.4	13.2	3.3	2.5	

【年代別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	スポーツや文化交流を深める	スポーツや文化交流で地域交流を深める	障害者に関するイベントを充実する	市民対象の福祉講座や講演会を開催する	福祉施設を地域に開放し交流を図る	グループホームを地域の中につくる	子どもたちへの人権・福祉教育を充実する	障害者団体や関係グループの活動をPRする	ボランティアの育成を図る	障害者も使いやすい施設をつくる	障害者がまちに出かけやすい整備を進める	わからない	その他	無回答
10歳代	24	16.7	4.2	4.2	12.5	4.2	33.3	8.3	25.0	33.3	41.7	20.8	4.2	0.0	
20歳代	86	7.0	14.0	3.5	12.8	7.0	39.5	4.7	9.3	50.0	47.7	18.6	3.5	0.0	
30歳代	162	12.3	13.6	8.6	13.6	11.7	42.6	8.0	9.3	44.4	46.9	16.7	6.2	0.0	
40歳代	180	15.6	11.7	6.1	17.8	8.3	31.1	11.7	15.6	53.3	52.2	11.7	5.0	0.6	
50歳代	213	16.4	9.4	12.7	11.3	12.2	27.2	12.2	16.9	43.7	53.5	11.3	5.6	0.5	
60歳代	275	16.0	11.6	11.3	15.6	15.3	26.5	17.5	20.7	39.6	50.5	14.9	1.8	1.8	
70歳以上	371	17.3	11.3	10.2	18.1	10.2	23.2	18.9	19.9	33.7	41.8	17.8	1.1	5.7	

【居住地区別】

単位:%

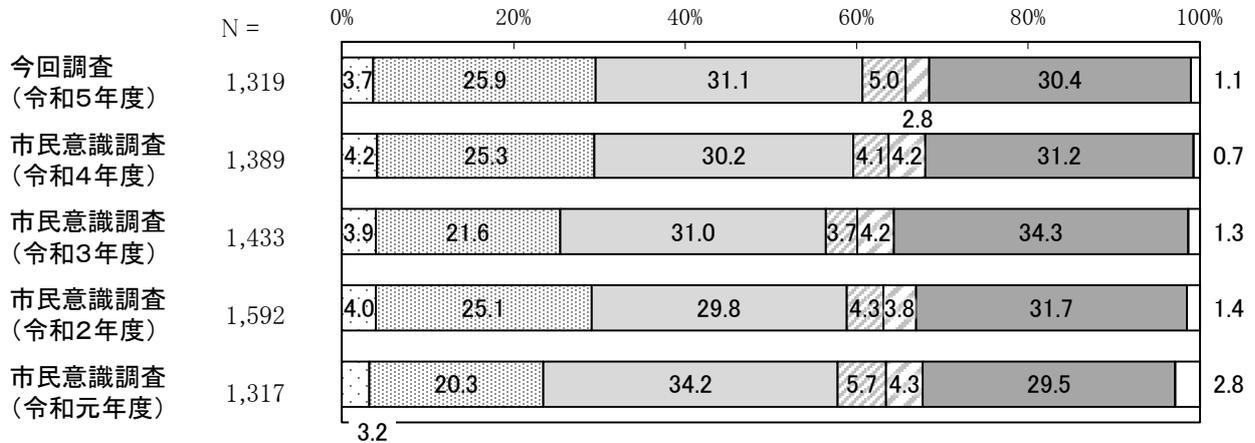
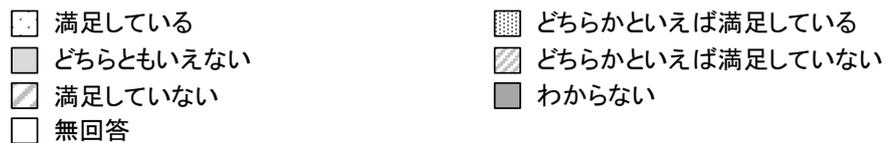
区分	有効回答数(件)	スポーツや文化交流を深める	スポーツや文化交流で地域交流を深める	障害者に関するイベントを充実する	市民対象の福祉講座や講演会を開催する	福祉施設を地域に開放し交流を図る	グループホームを地域の中につくる	子どもたちへの人権・福祉教育を充実する	障害者団体や関係グループの活動をPRする	ボランティアの育成を図る	障害者も使いやすい施設をつくる	障害者がまちに出かけやすい整備を進める	わからない	その他	無回答
平田地区	32	18.8	0.0	12.5	25.0	12.5	25.0	12.5	25.0	43.8	40.6	15.6	3.1	0.0	
市辺地区	28	17.9	14.3	14.3	14.3	14.3	3.6	25.0	17.9	14.3	39.3	46.4	14.3	0.0	7.1
玉緒地区	54	16.7	11.1	11.1	13.0	3.7	27.8	7.4	14.8	40.7	51.9	20.4	0.0	1.9	
御園地区	67	16.4	10.4	16.4	16.4	22.4	40.3	17.9	25.4	47.8	53.7	13.4	0.0	1.5	
建部地区	50	16.0	10.0	4.0	18.0	10.0	32.0	16.0	12.0	48.0	48.0	8.0	8.0	0.0	
中野地区	66	12.1	10.6	7.6	13.6	6.1	25.8	16.7	15.2	34.8	37.9	21.2	3.0	0.0	
八日市地区	128	16.4	13.3	7.0	11.7	9.4	31.3	10.9	11.7	42.2	51.6	14.8	5.5	2.3	
南部地区	43	7.0	4.7	4.7	16.3	4.7	25.6	16.3	14.0	41.9	53.5	16.3	4.7	2.3	
永源寺地区	69	14.5	8.7	10.1	13.0	14.5	24.6	14.5	26.1	42.0	44.9	14.5	1.4	2.9	
五個荘地区	140	19.3	14.3	11.4	15.0	12.9	30.0	14.3	15.7	40.7	47.1	18.6	5.0	2.9	
愛東地区	60	11.7	11.7	16.7	18.3	15.0	38.3	11.7	20.0	45.0	45.0	13.3	1.7	5.0	
湖東地区	110	13.6	10.9	7.3	16.4	5.5	28.2	18.2	10.9	35.5	47.3	17.3	3.6	4.5	
能登川地区	274	15.7	12.8	8.8	17.2	12.4	29.6	14.2	16.1	41.6	46.7	14.6	3.6	1.8	
蒲生地区	180	16.1	12.2	9.4	13.9	14.4	25.6	11.1	22.2	43.3	50.0	12.8	2.8	0.6	
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(4) 環境や暮らしについて

問 21 あなたは、東近江市の自然環境保全の取組について満足していますか。《○1つ》

3割近くが満足、6割が「どちらともいえない」又は「わからない」

- ・ 東近江市の自然環境保全の取組についての満足度は、「どちらともいえない」が31.1%と最も多く、次いで「わからない」が30.4%、これらを合わせると61.5%となっています。
- ・ 「満足している」が3.7%、「どちらかといえば満足している」が25.9%、これらを合わせると29.6%となり、3割近くの人が満足しています。一方、「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」を合わせると7.8%で、1割未満となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、変動があるものの、満足（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）の割合は、2～3割で推移しています。
- ・ 年代別では、満足（前述）の割合が、20～40歳代、70歳以上で3割前後とやや高くなっています。また、10～20歳代で「わからない」の割合が半数近くと高くなっています。
- ・ 居住地区別では、平田地区、市辺地区、愛東地区で満足（前述）の割合が4割以上と高く、玉緒地区、南部地区、建部地区で不満（「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計）の割合が1割以上とやや高くなっています。

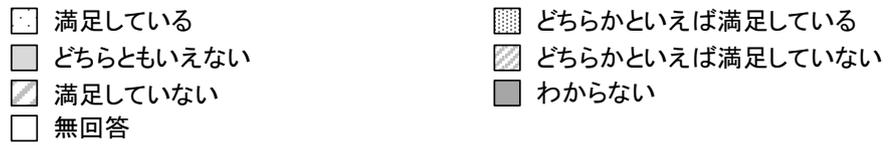


単位：%

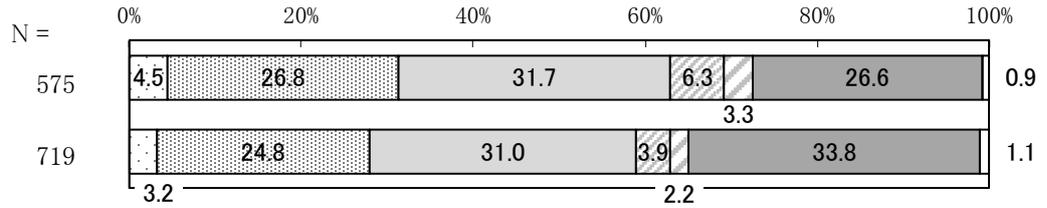
	満足*	不満*	差
①今回調査(令和5年度)	29.6	7.8	21.8
②市民意識調査(令和4年度)	29.5	8.3	21.2
③市民意識調査(令和3年度)	25.5	7.9	17.6
④市民意識調査(令和2年度)	29.1	8.1	21.0
⑤市民意識調査(令和元年度)	23.5	10.0	13.5
①－⑤	6.1	-2.2	8.3

* 満足:「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計

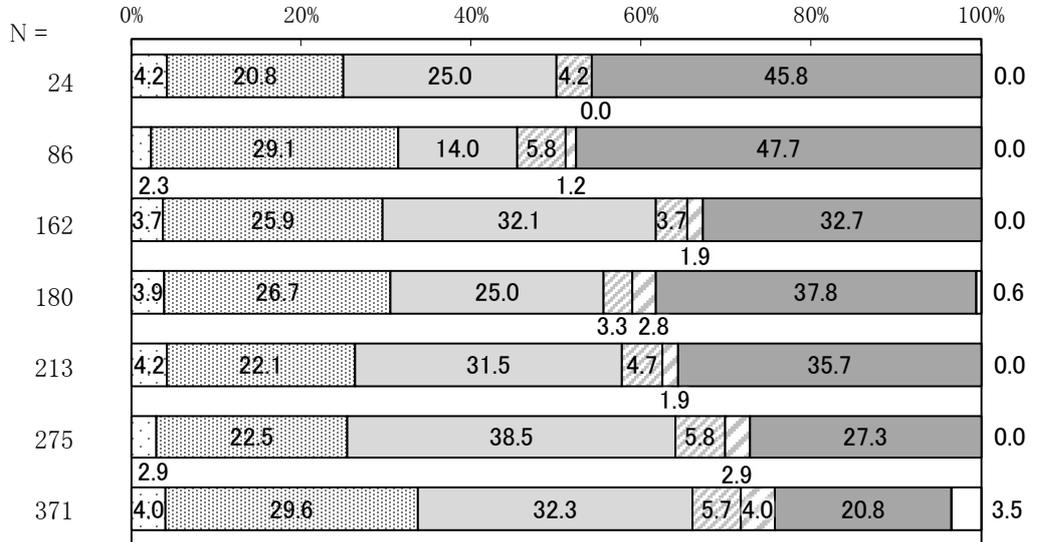
* 不満:「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計



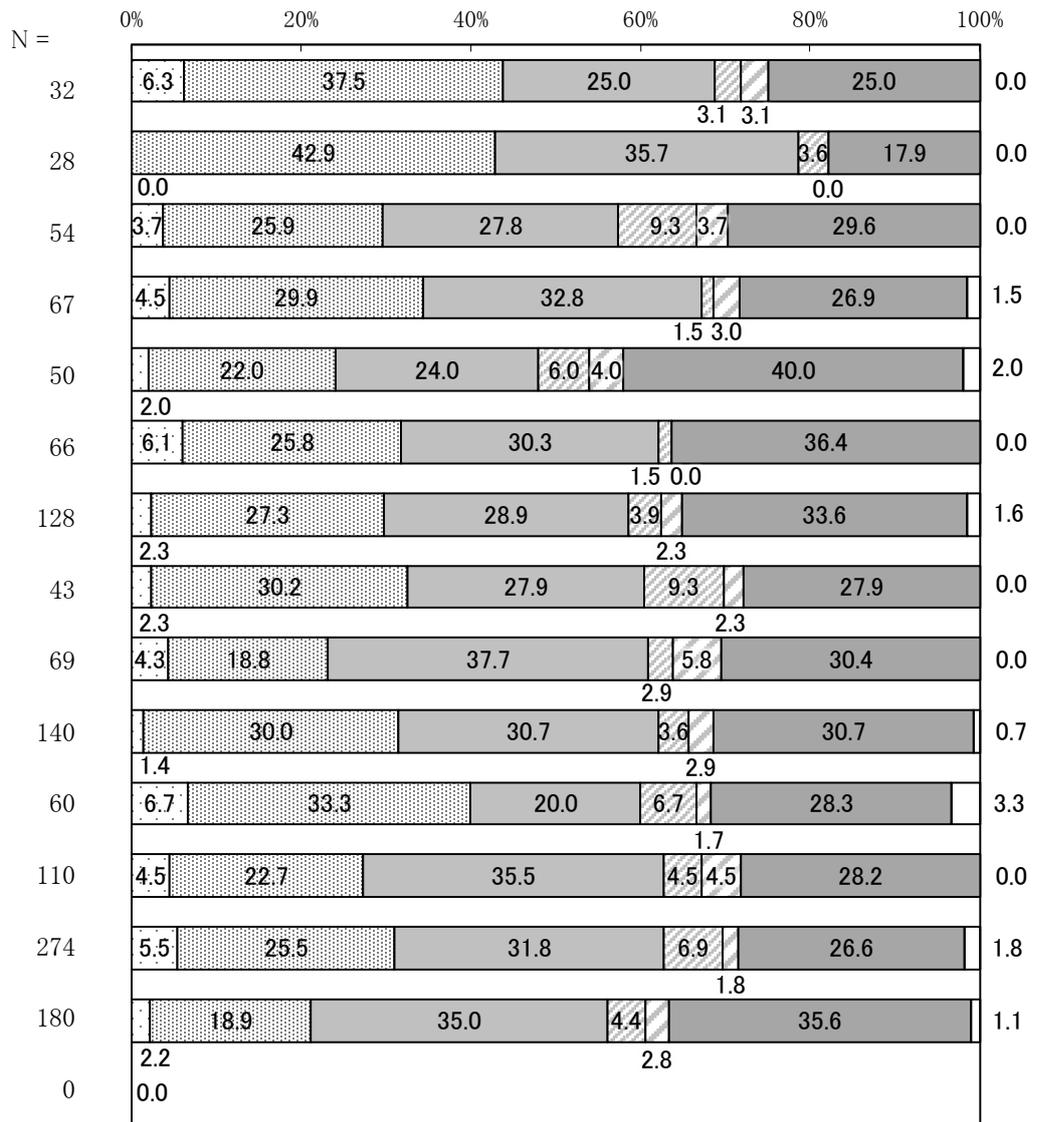
【性別】



【年代別】



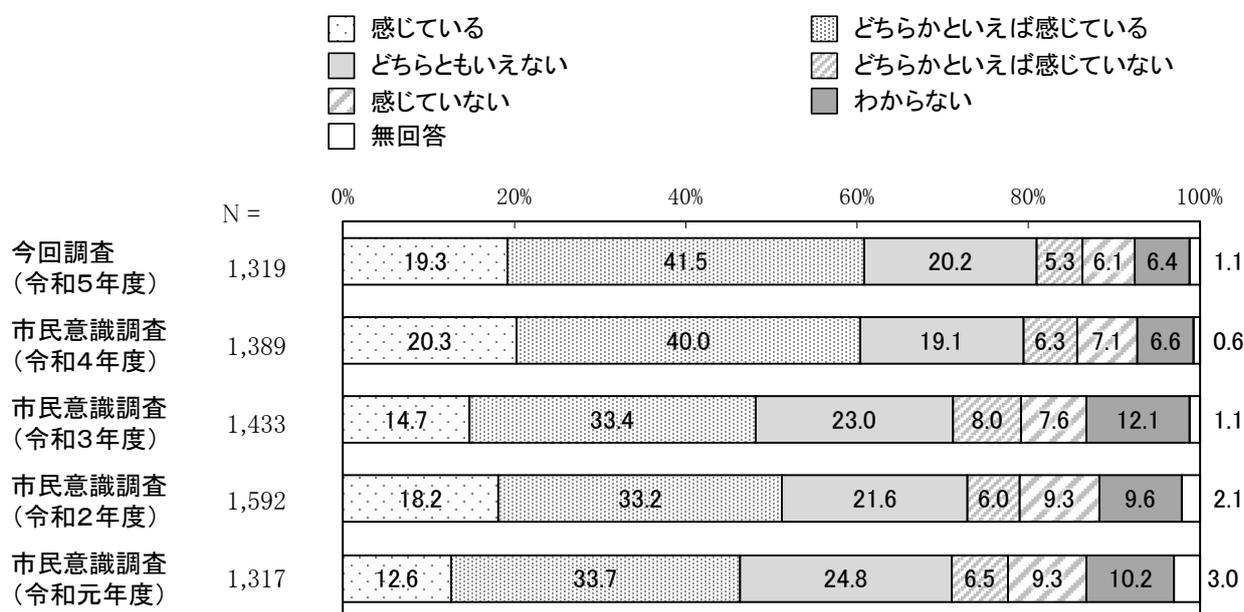
【居住地区別】



問 22 あなたは、暮らしや仕事等日々の営みの中で自然との関わりを感じていますか。《○1つ》

6割が自然との関わりを感じている

- ・ 日々の営みの中で自然との関わりを感じているかについては、「感じている」が19.3%、「どちらかといえば感じている」が41.5%で、これらを合わせると60.8%となり、6割の人が自然との関わりを感じています。一方、「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」を合わせると11.4%となっています。また、「どちらともいえない」が20.2%、「わからない」が6.4%となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、自然との関わりを感じている人（「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計）の割合が、5年間で1割以上増加しています。
- ・ 性別では男性より女性で、年代別では10歳代、30歳代、70歳以上で、居住地区別では市辺地区、永源寺地区、愛東地区で、自然との関わりを感じている人（前述）がやや多く見られます。



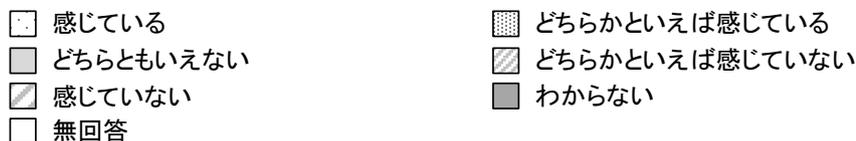
※令和3年度までは「自然環境との関わりを感じていますか。」

単位：%

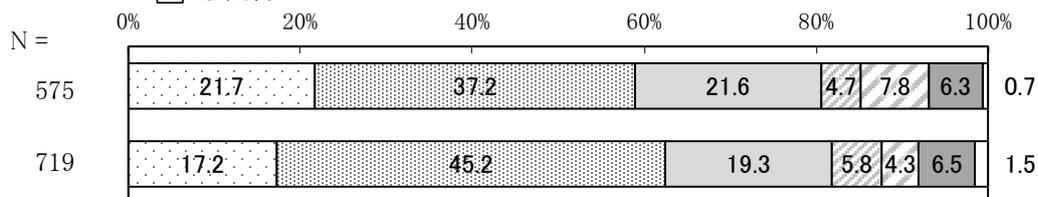
	感じている*	感じていない*	差
①今回調査(令和5年度)	60.8	11.4	49.4
②市民意識調査(令和4年度)	60.3	13.4	46.9
③市民意識調査(令和3年度)	48.1	15.6	32.5
④市民意識調査(令和2年度)	51.4	15.3	36.1
⑤市民意識調査(令和元年度)	46.3	15.8	30.5
①-⑤	14.5	-4.4	18.9

* 感じている:「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計

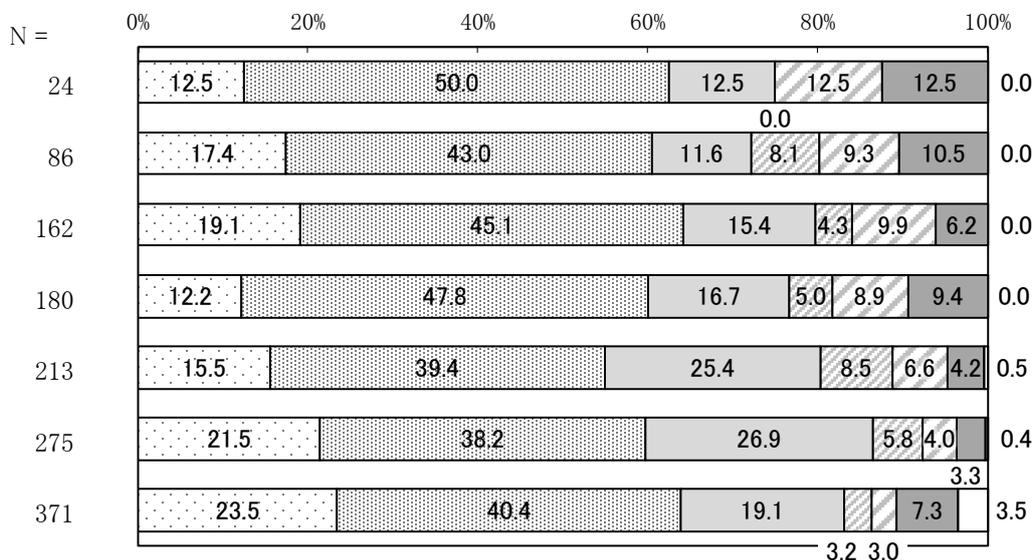
* 感じていない:「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」の合計



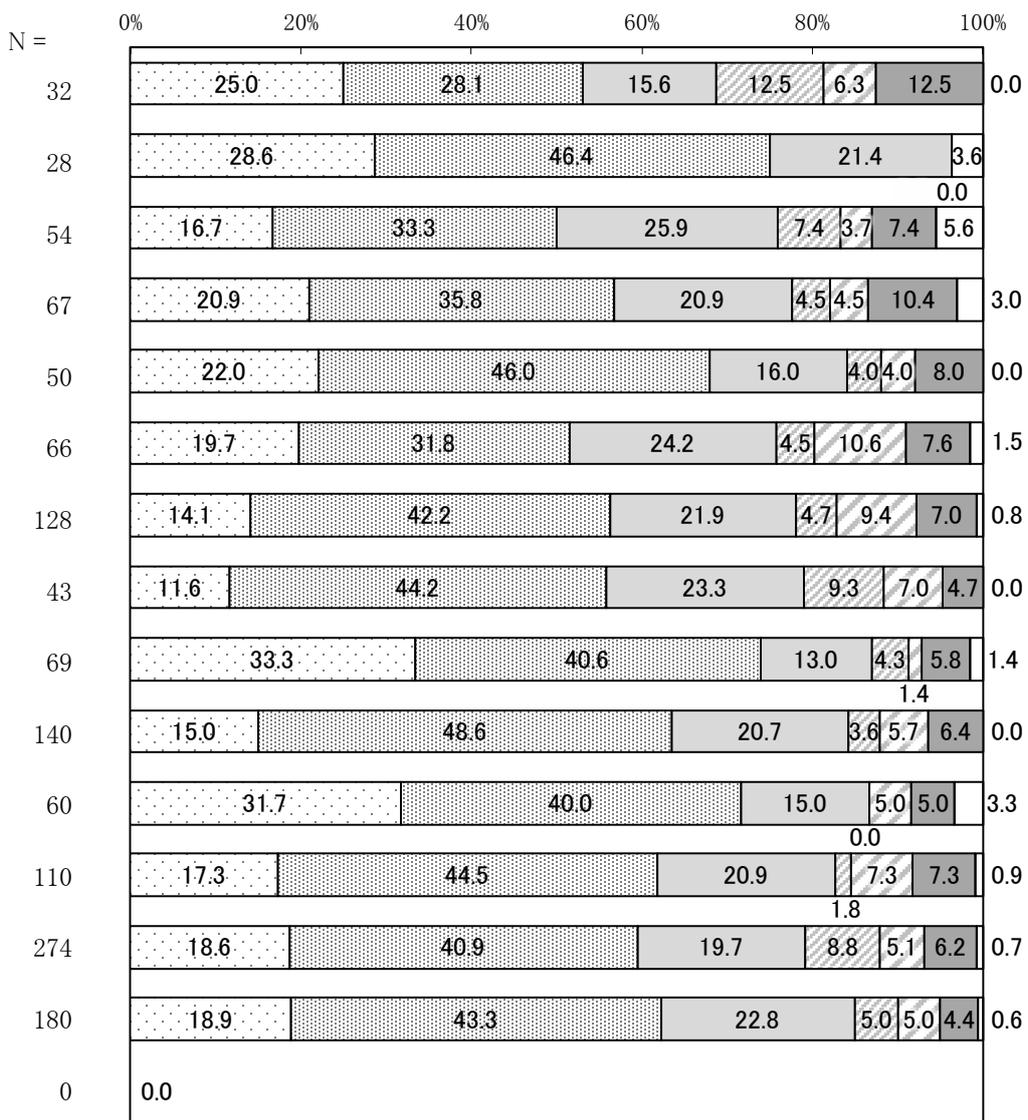
【性別】



【年代別】



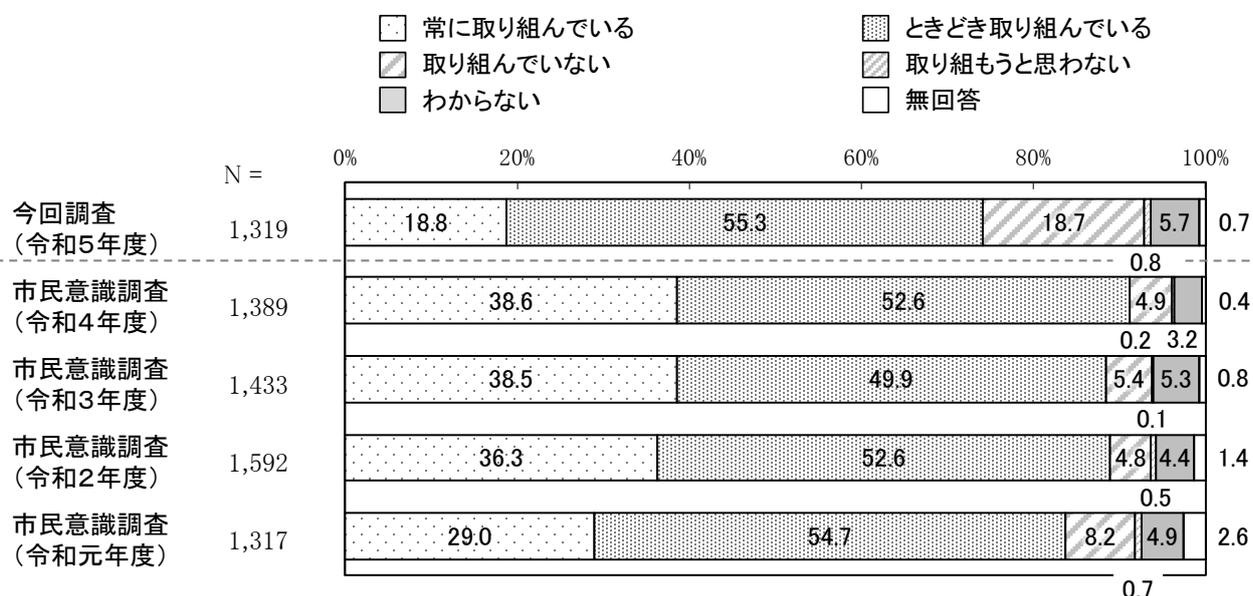
【居住地区別】



問 23 あなたは、環境にやさしい取組を行っていますか（節電や節水、太陽光発電等の設置、省エネ機器への買替え、自転車や公共交通機関の利用等）。《○1つ》

7割以上が環境にやさしい取組を行っている

- ・ 環境にやさしい取組の実施状況については、「常に取り組んでいる」が18.8%、「ときどき取り組んでいる」が55.3%で、これらを合わせると74.1%となり、7割以上の人が取り組んでいると回答しています。一方、「取り組んでいない」は18.7%と2割近くで、「取り組もうと思わない」は0.8%とわずかでした。
- ・ 過去の調査と比較すると、今年度から環境にやさしい取組の例示内容を変更したため、「常に取り組んでいる」と回答した人の割合は、大きく減少しました。
- ・ 性別では男性より女性で、年代別では10歳代、40歳代、60歳以上で、居住地区別では市辺地区、愛東地区、能登川地区、建部地区で、環境にやさしい取組を行っている人（「常に取り組んでいる」と「ときどき取り組んでいる」の合計）が8割前後と多く見られます。



※令和4年度までは、環境にやさしい取組の例が、「使用していない電気の消灯、マイバツクの持参、省エネ機器の選択、自転車や公共交通機関の利用等」

単位：%

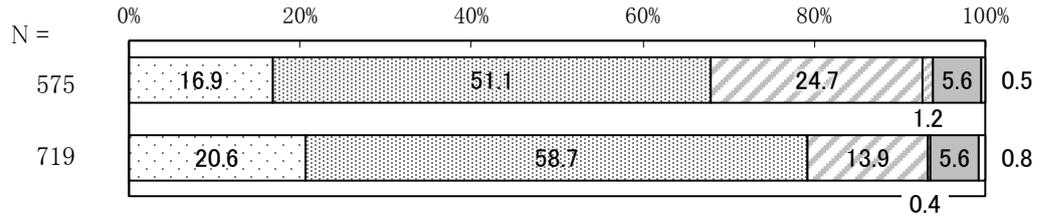
	取り組んでいる*	取り組んでいない*	差
①今回調査(令和5年度)	74.1	19.5	54.6
②市民意識調査(令和4年度)	91.2	5.1	86.1
③市民意識調査(令和3年度)	88.4	5.5	82.9
④市民意識調査(令和2年度)	88.9	5.3	83.6
⑤市民意識調査(令和元年度)	83.7	8.9	74.8
①-⑤	-9.6	10.6	-20.2

* 取り組んでいる:「常に取り組んでいる」と「ときどき取り組んでいる」の合計

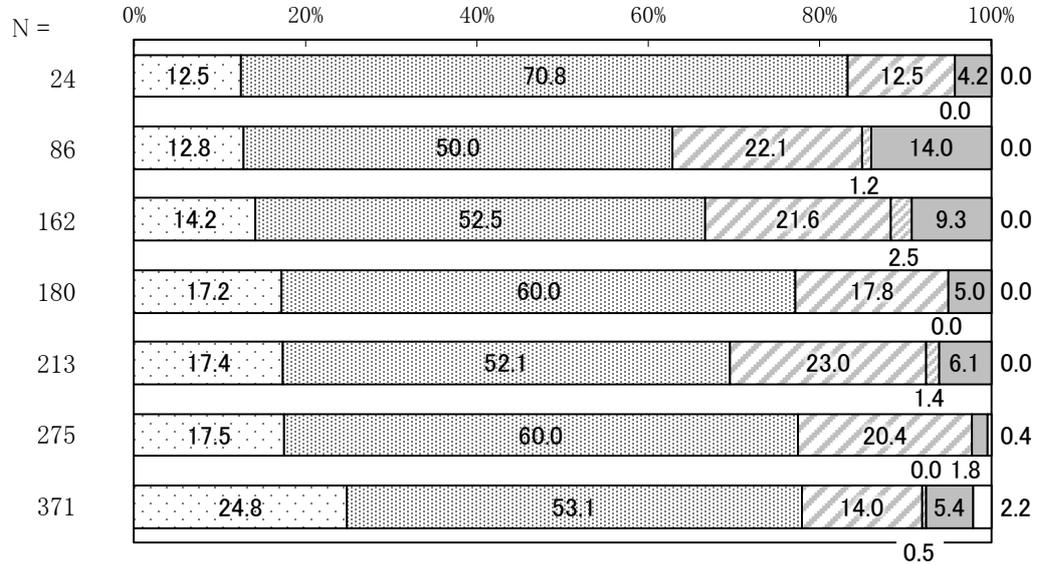
* 取り組んでいない:「取り組んでいない」と「取り組もうと思わない」の合計



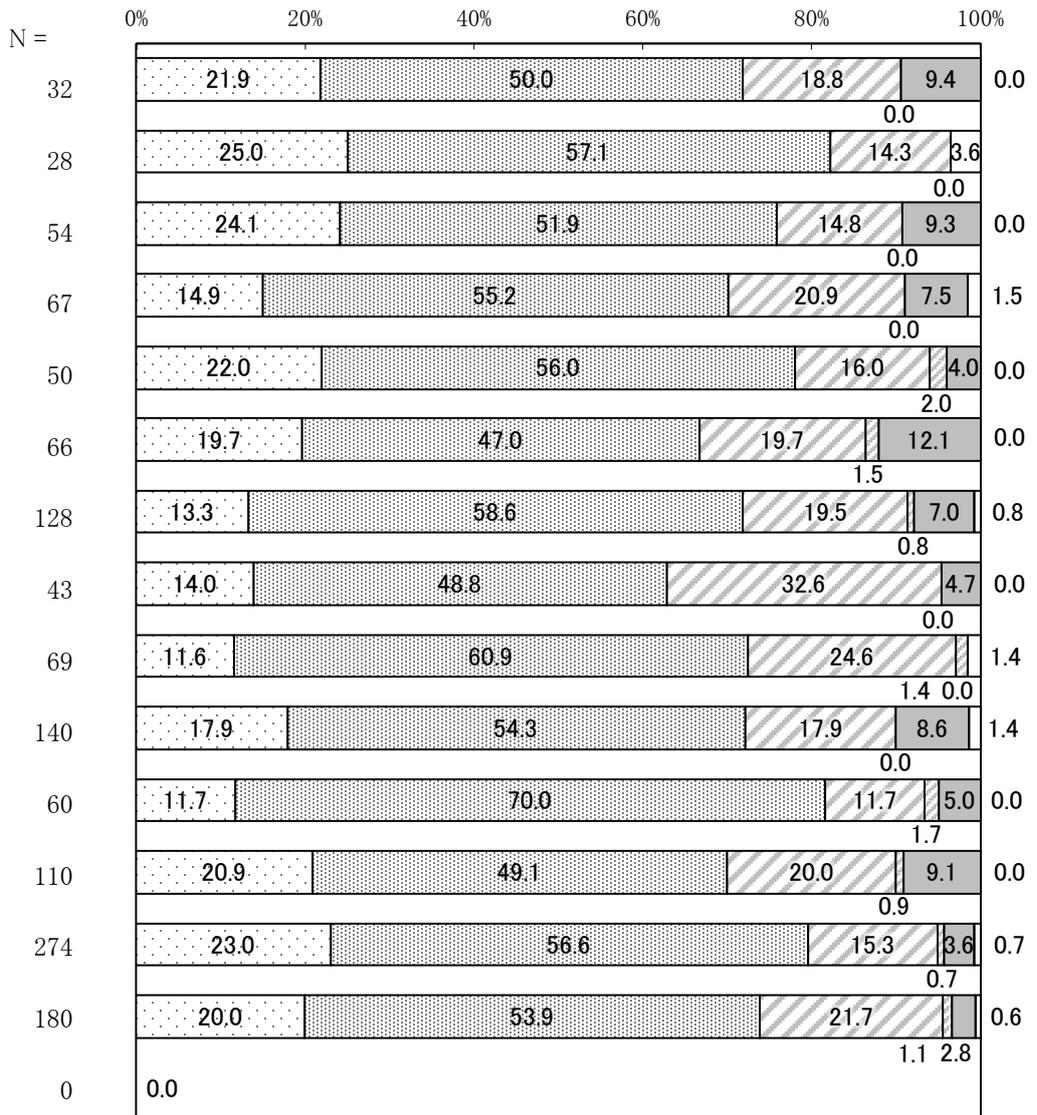
【性別】



【年代別】



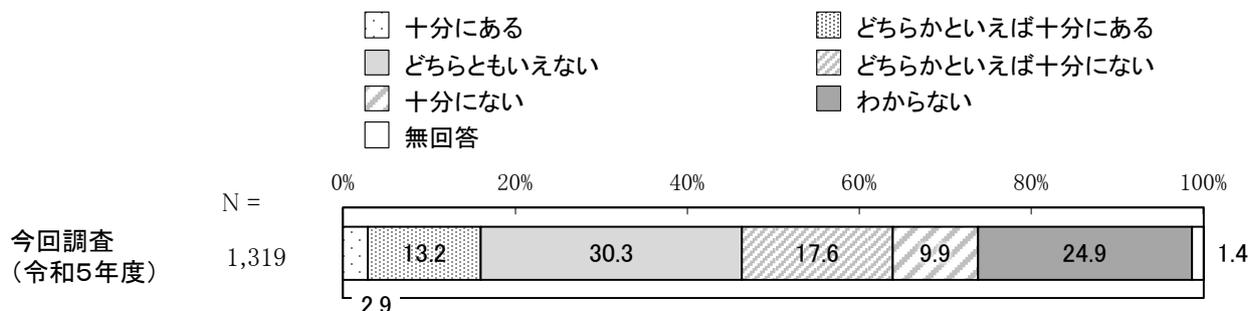
【居住地区別】



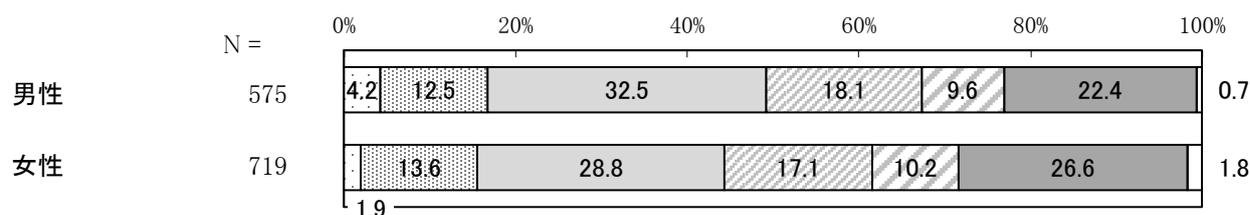
問 24 あなたは、東近江市の働く場所（希望する業種・職種）について、どのように考えていますか。《○1つ》

6割近くがどちらともいえない・わからない、「十分ではない」と考える人のほうが多い

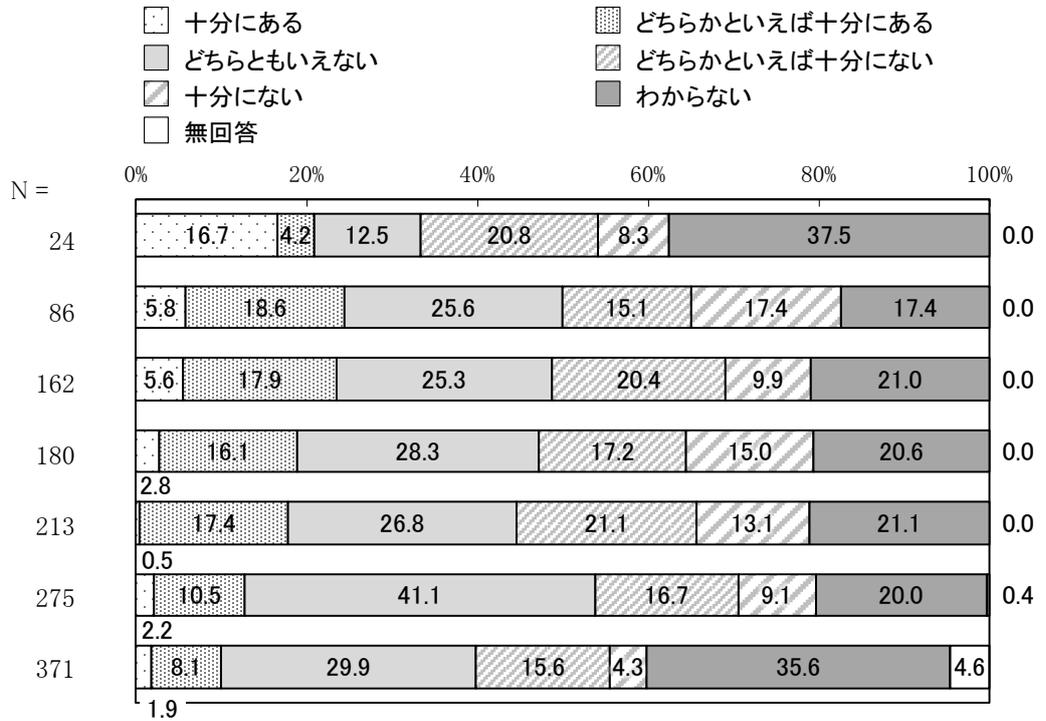
- ・ 東近江市の働く場所（希望する業種・職種）については、「どちらともいえない」が30.3%で最も多く、「わからない」が24.9%と続きます。
- ・ 「十分にある」が2.9%、「どちらかといえば十分にある」が13.2%で、これらを合わせると16.1%となり、2割近くの人が十分にあると回答しています。一方、「十分はない」は9.9%、「どちらかといえば十分はない」が17.6%で、これらを合わせると27.5%と3割近くとなり、十分はないと考えている人（「どちらかといえば十分はない」と「十分はない」の合計）が、十分にあると考えている人（「十分にある」と「どちらかといえば十分にある」の合計）を上回っています。
- ・ 性別、年代別、南部地区、御園地区、建部地区を除く居住地区別のいずれも十分はないと考えている人（前述）が十分にあると考えている人（前述）を上回っており、特に蒲生地区、平田地区、能登川地区でその差が大きくなっています。



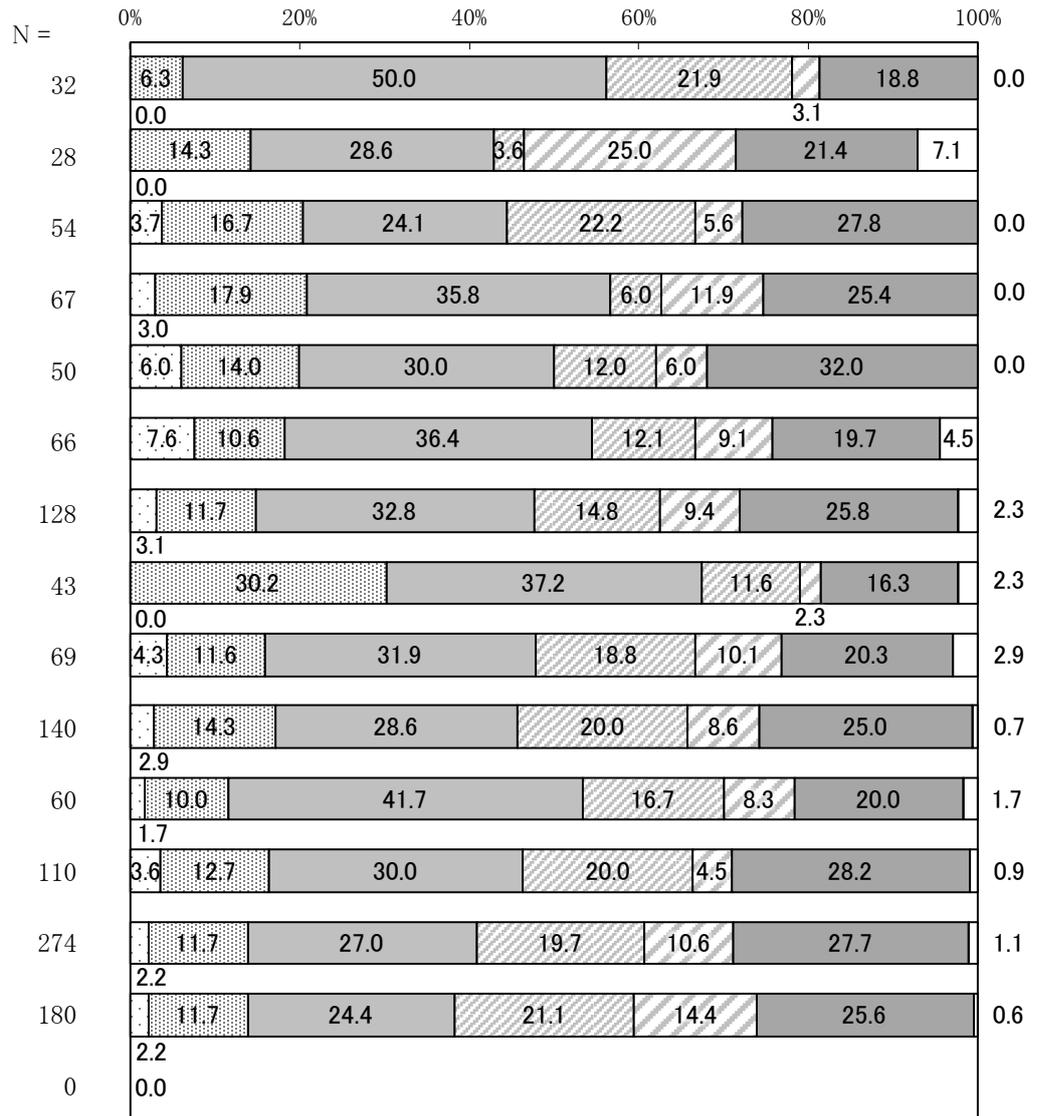
【性別】



【年代別】



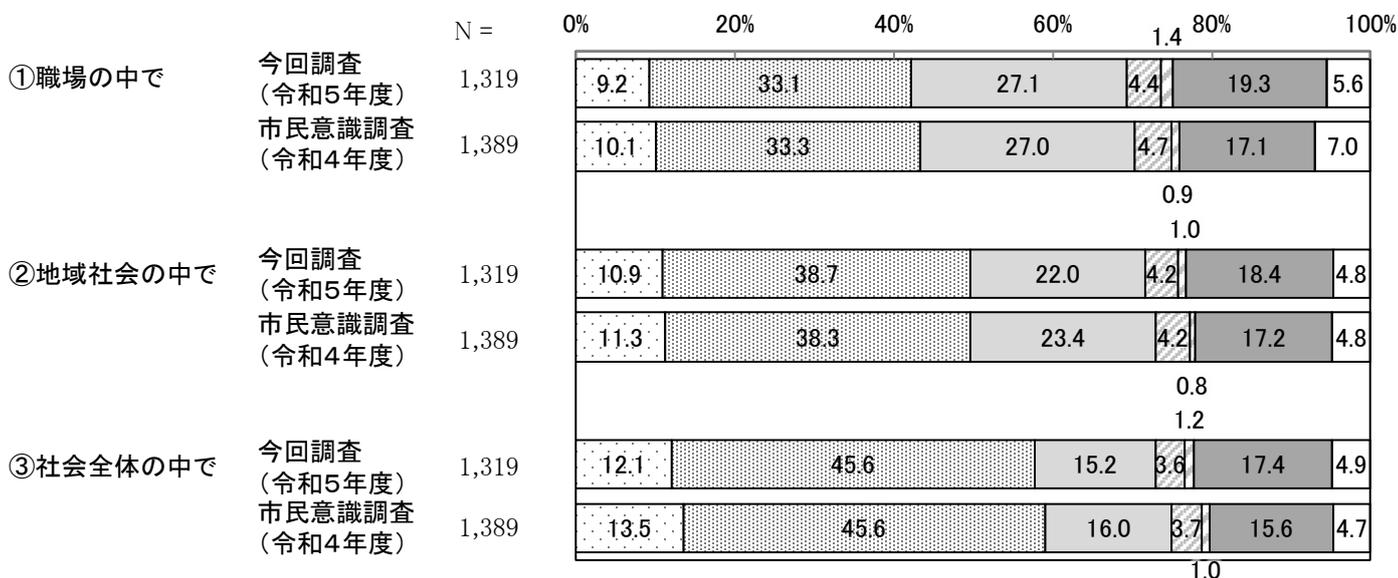
【居住地区別】



問 25 あなたは次のような分野で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。《①～③それぞれの項目に○1つ》

職場では4割、地域社会では半数近く、社会全体では6割近くが男性が優遇されていると評価

- ・ 男性が優遇されている（「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計）と回答した人の割合は、①職場の中では4割（42.3%）、②地域社会の中では半数近く（49.6%）、③社会全体の中では6割近く（57.7%）といずれも高くなっています。
- ・ 「平等である」と回答した人の割合は、①職場の中では3割近く（27.1%）、②地域社会の中では2割（22.0%）、③社会全体の中では2割近く（15.2%）と一定数見られる一方、女性が優遇されている（「女性が優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」の合計）の割合は、いずれも1割未満と非常に低くなっています。



① 職場の中で

- ・ 年代別では、10歳代で「わからない」が、20～30歳代と50歳代で「平等である」が、そのほかの年代で「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も高くなっています。また、男性が優遇されている（前述）の割合は60歳代で最も高く、半数となっています。
- ・ 居住地区別では、平田地区で「わからない」が、八日市地区、蒲生地区、永源寺地区で「平等である」が、そのほかの地区で「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も高くなっています。また、男性が優遇されている（前述）の割合は市辺地区で最も高く、6割近くとなっています。

② 地域社会の中で

- ・ 性別では、女性は、男性が優遇されている（前述）の割合が男性より高く、6割近くとなっています。一方、男性は、「平等である」が3割と女性より高くなっています。
- ・ 年代別では、20歳代で「平等である」が、そのほかの年代で、「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も高くなっています。男性が優遇されている（前述）の割合は、20～60歳代で年齢が上がるほど高くなる傾向があり、60歳代では6割以上となっています。
- ・ 居住地区別では、八日市地区で「平等である」が、そのほかの地区で「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も高くなっています。男性が優遇されている（前述）の割合は、特に五個荘地区では6割と高くなっています。

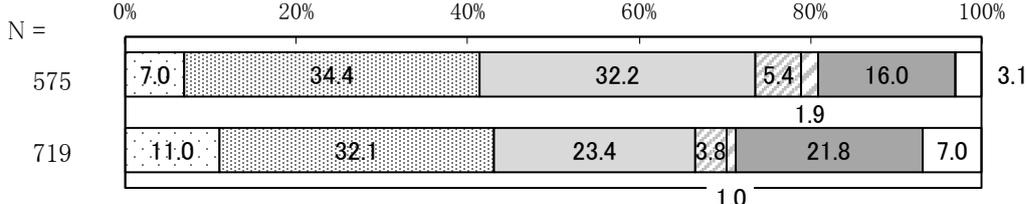
③ 社会全体の中で

- ・ 性別では、女性は、男性が優遇されている（前述）の割合が男性より高く6割以上となっています。一方、男性は、「平等である」が2割と女性より高くなっています。
- ・ 年代別では、50～60歳代で、男性が優遇されている（前述）の割合がほかの年代と比べ高く、7割近くとなっています。
- ・ 居住地区別では、全ての地区で男性が優遇されている（前述）の割合が、「平等である」と女性が優遇されている（前述）を合わせた割合より高く、特に建部地区、市辺地区では7割前後となっています。また、八日市地区では「平等である」が2割と、ほかの地区に比べ高くなっています。

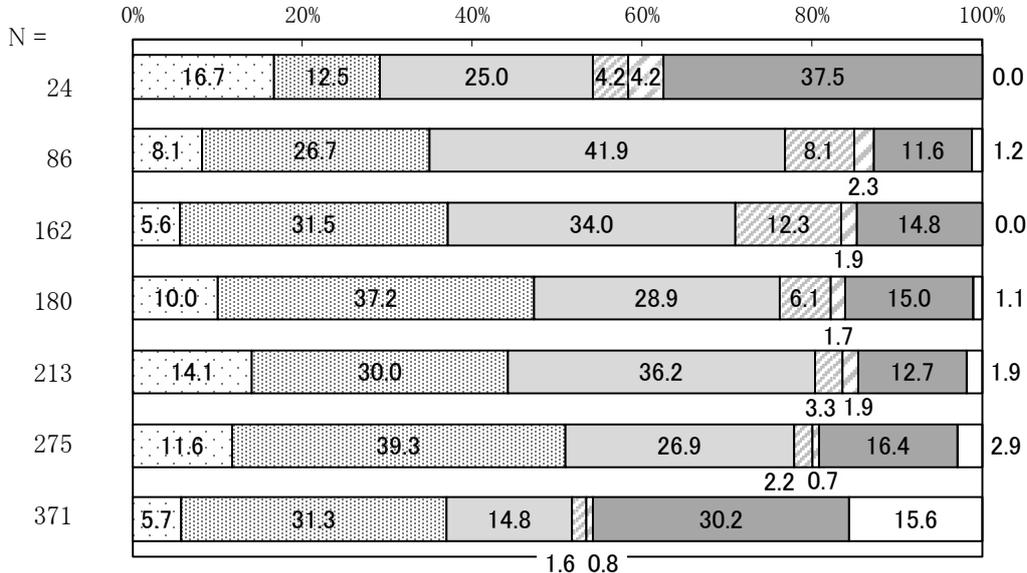
① 職場の中で

- 男性が優遇されている
- 平等である
- 女性が優遇されている
- 無回答
- どちらかといえば男性が優遇されている
- どちらかといえば女性が優遇されている
- わからない

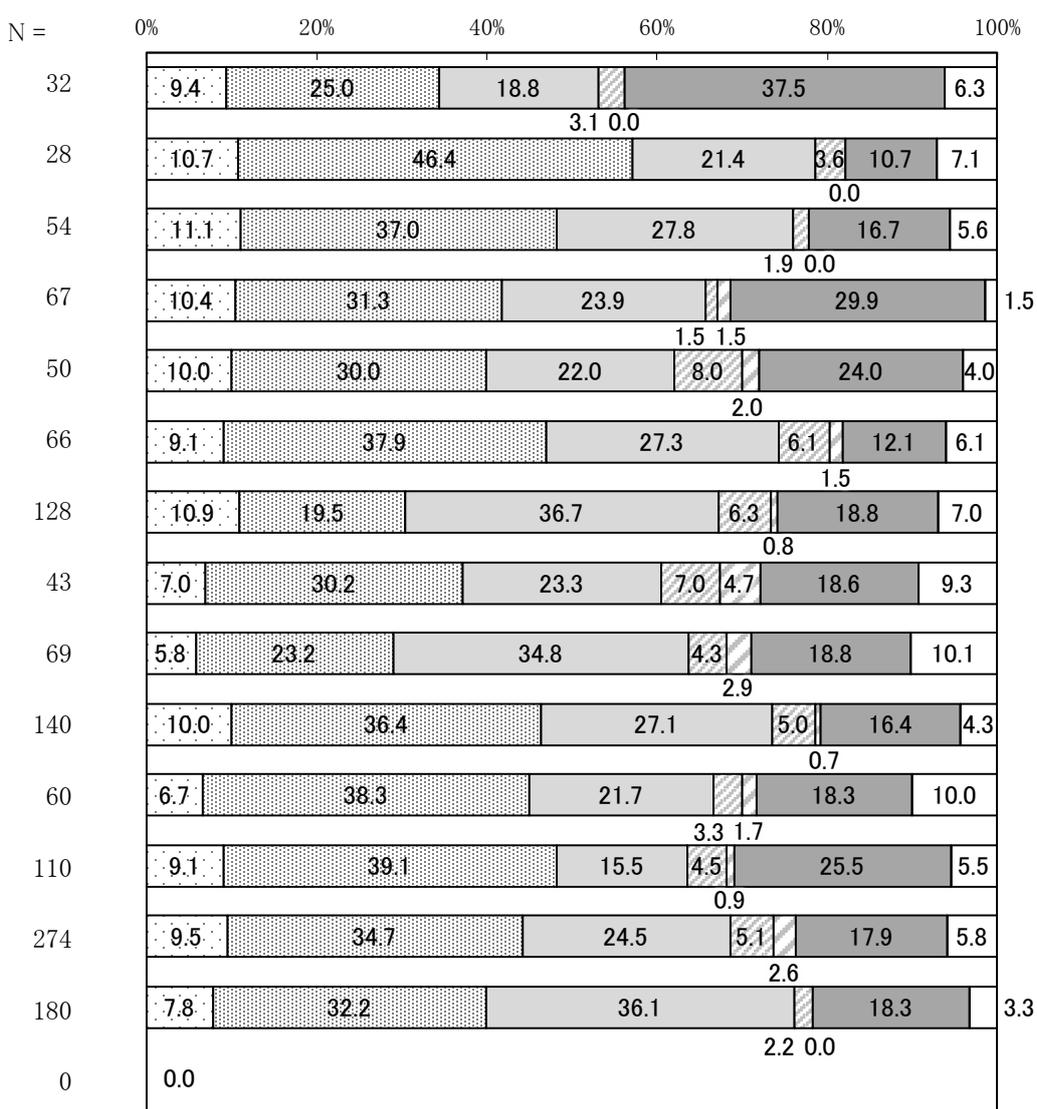
【性別】



【年代別】



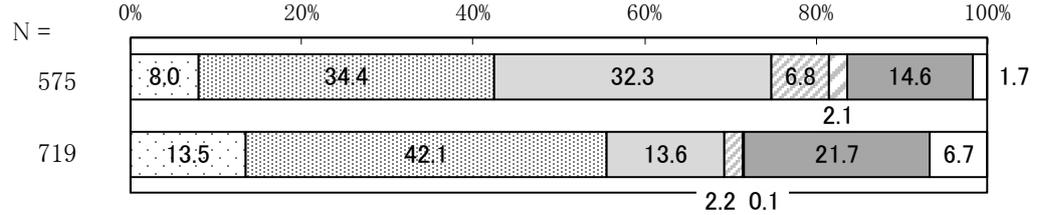
【居住地区別】



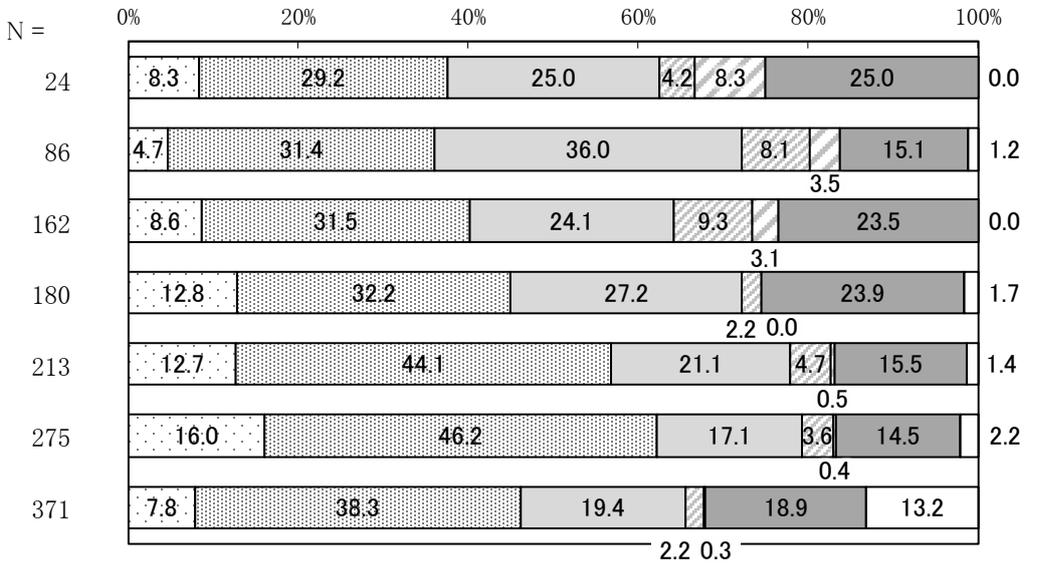
② 地域社会の中で

- 男性が優遇されている
- 平等である
- 女性が優遇されている
- どちらかといえば男性が優遇されている
- どちらかといえば女性が優遇されている
- わからない
- 無回答

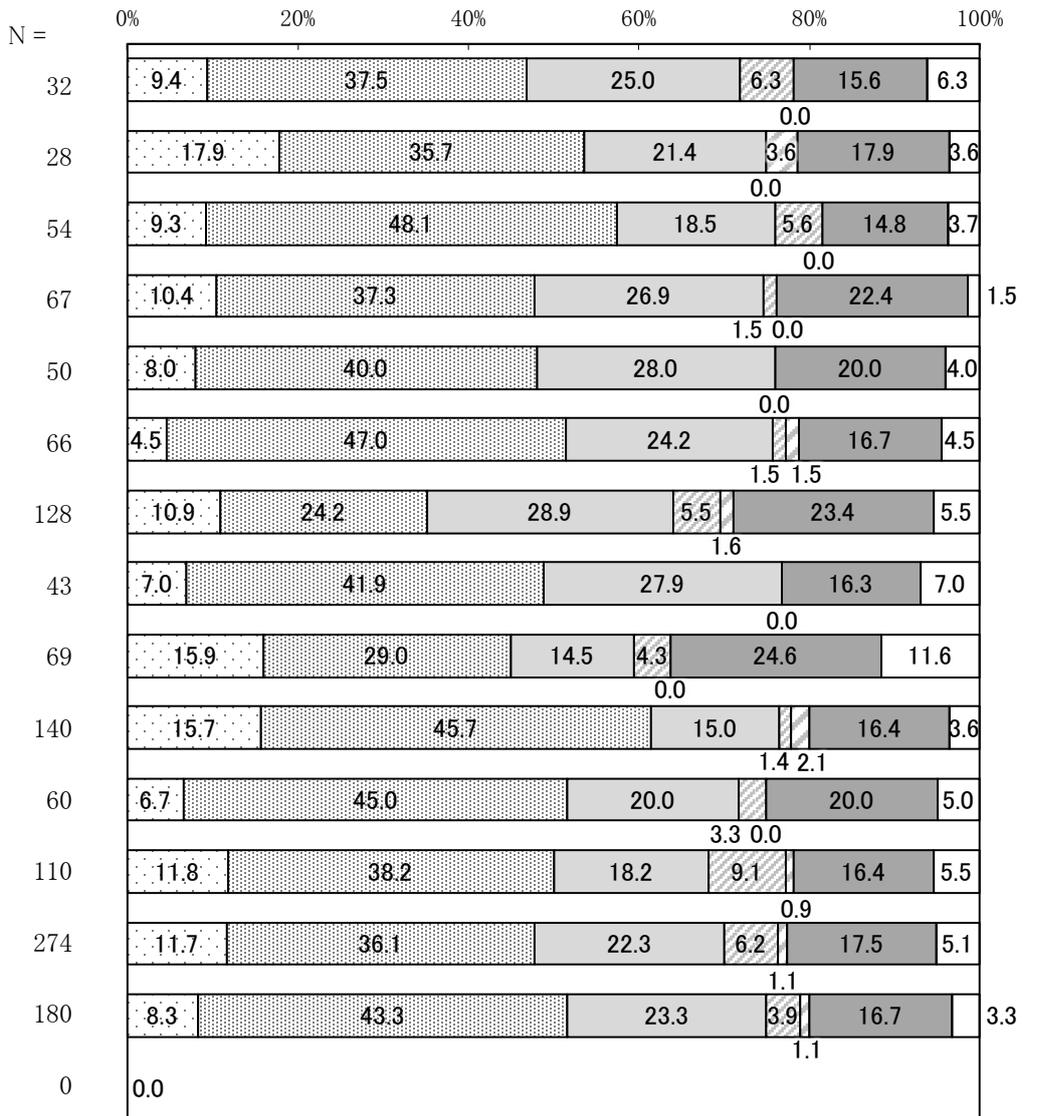
【性別】



【年代別】

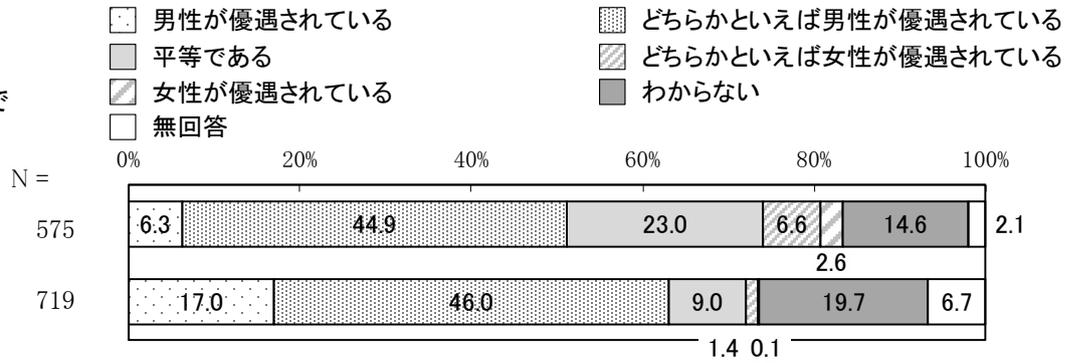


【居住地区別】

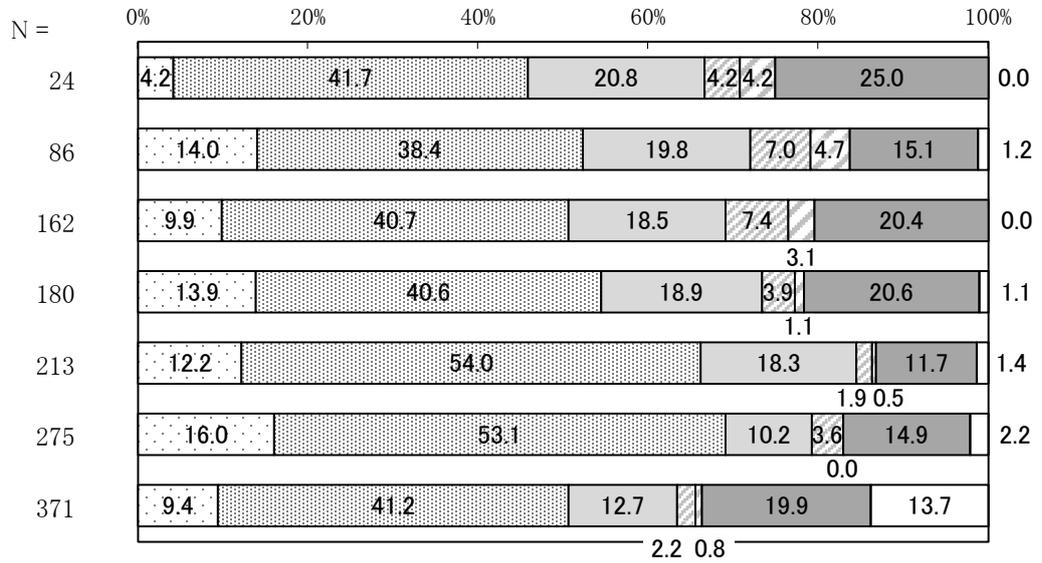


③ 社会全体の中で

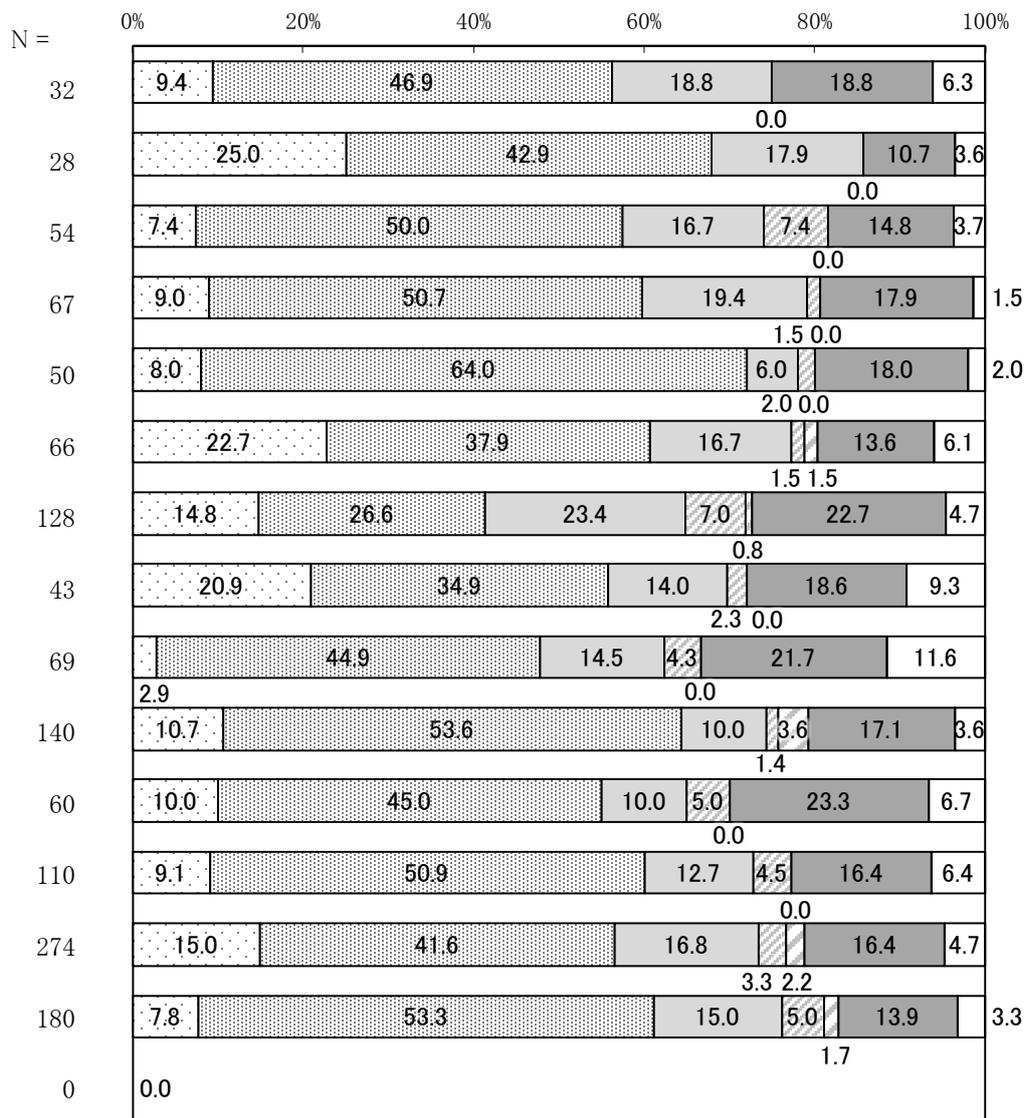
【性別】



【年代別】



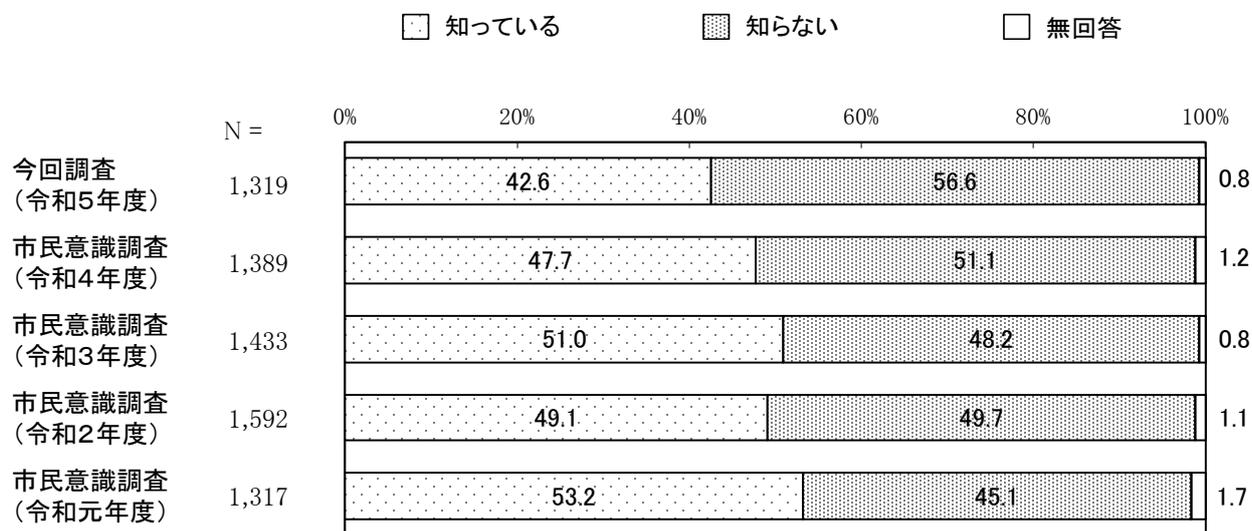
【居住地区別】



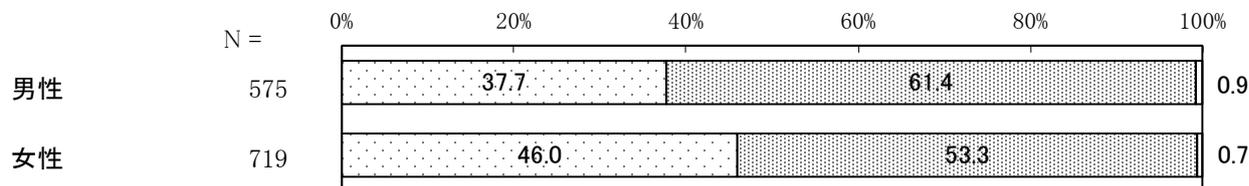
問 26 あなたは、消費者トラブルに巻きこまれたときや、多重債務に陥ったときの相談窓口として、市役所内に消費生活センターがあることを知っていますか。《○1つ》

6割近くが「知らない」、認知度は42.6%

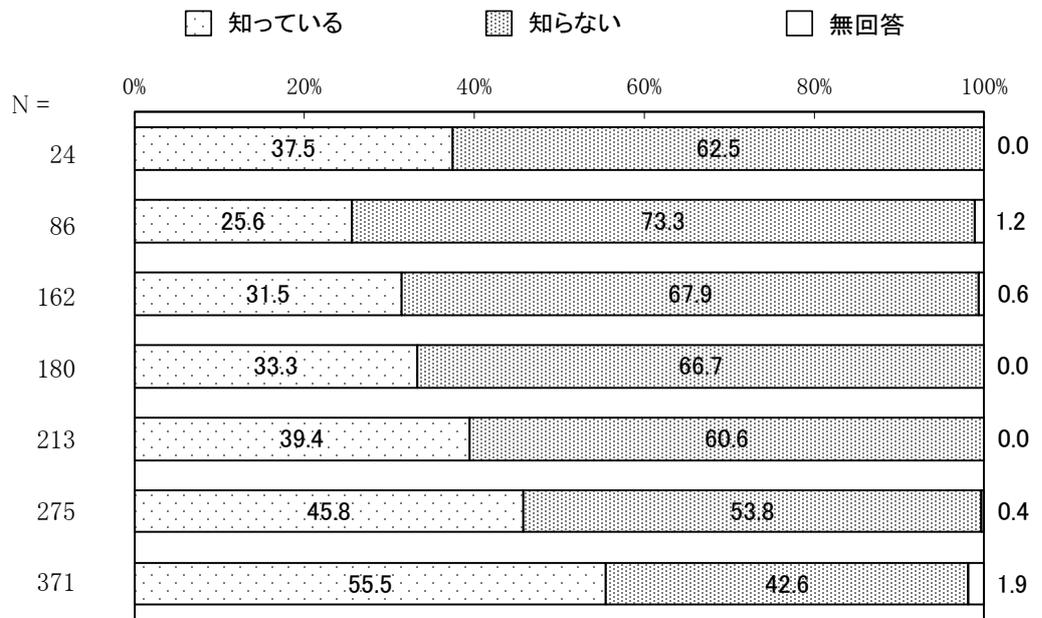
- ・ 市役所内に消費生活センターがあることを知っているかについては、「知っている」が42.6%、「知らない」が56.6%と、知らない人が多くなっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、変動があるものの、認知度（「知っている」の割合）は低下しています。
- ・ 性別では、認知度（前述）は女性が半数近くと、男性よりも女性が高くなっています。
- ・ 年代別では、20歳代の認知度（前述）が25.6%と、最も低くなっています。20歳以上で年齢が上がるほど認知度（前述）が高くなる傾向があり、70歳以上では6割近くとなっています。
- ・ 居住地区別では、能登川地区で半数近くと認知度（前述）が高くなっています。一方、「知らない」と回答した人の割合は、八日市地区、南部地区で6割以上と高くなっています。



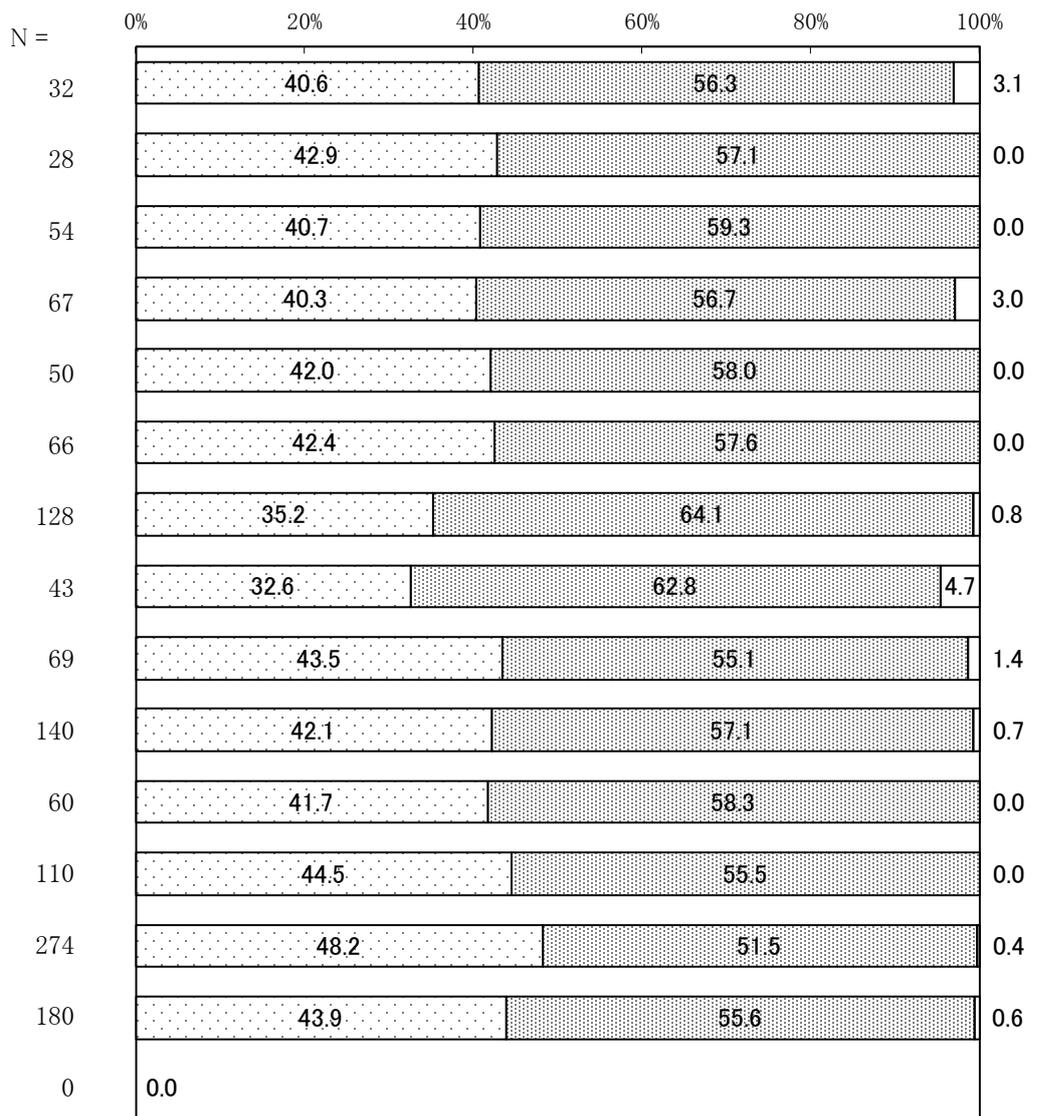
【性別】



【年代別】



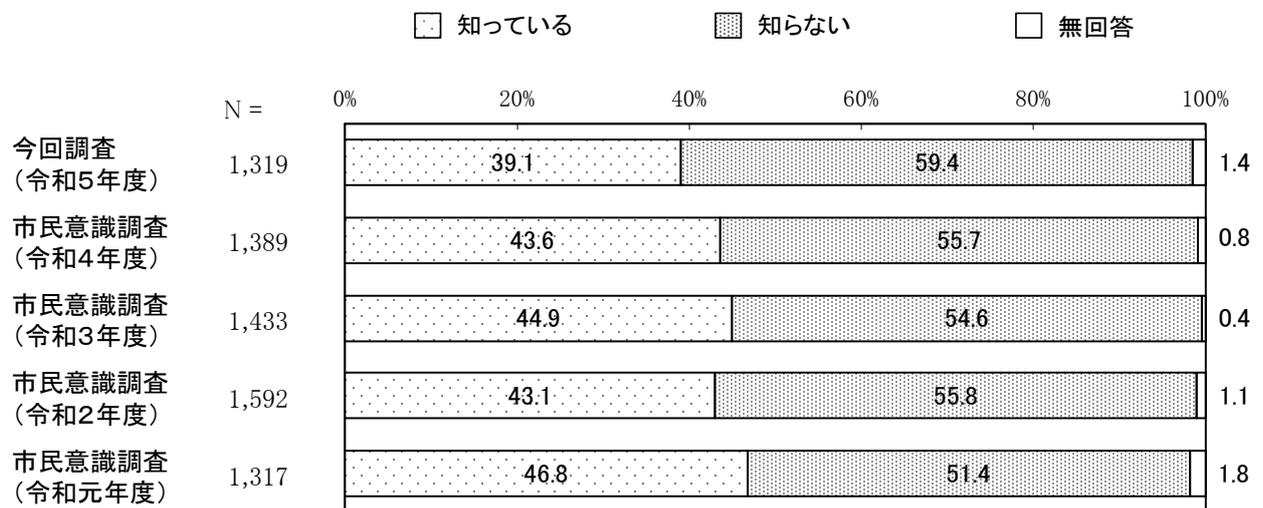
【居住地区別】



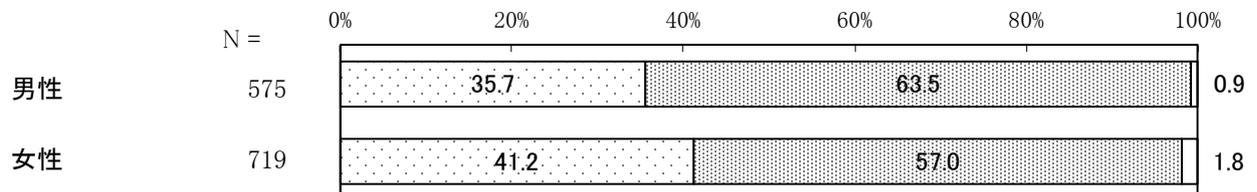
問 27 あなたは、市役所内の市民生活相談課で、暮らしの困りごとに関して法律相談や登記相談等を受けられることを知っていますか。《○1つ》

6割近くが「知らない」、認知度は39.1%

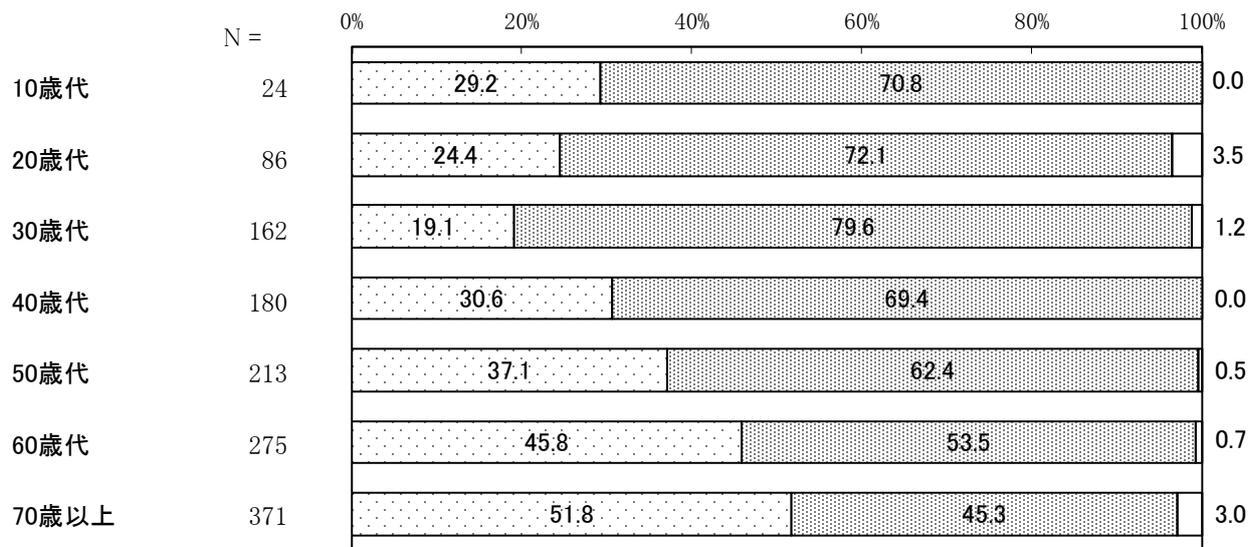
- ・ 市役所内の市民生活相談課で法律相談や登記相談等を受けられることについては、「知っている」が39.1%、「知らない」が59.4%と、知らない人が多くなっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、変動があるものの、認知度（「知っている」の割合）は低下しています。
- ・ 性別では、男性より女性で認知度（前述）が高くなっています。
- ・ 年代別では、認知度（前述）は30歳代が19.1%と最も低く、30歳以上で年齢が上がるほど高くなる傾向があり、70歳以上では半数以上が認知しています。
- ・ 居住地区別では、市辺地区で半数と認知度（前述）が高く、八日市地区で3割近くと低くなっています。



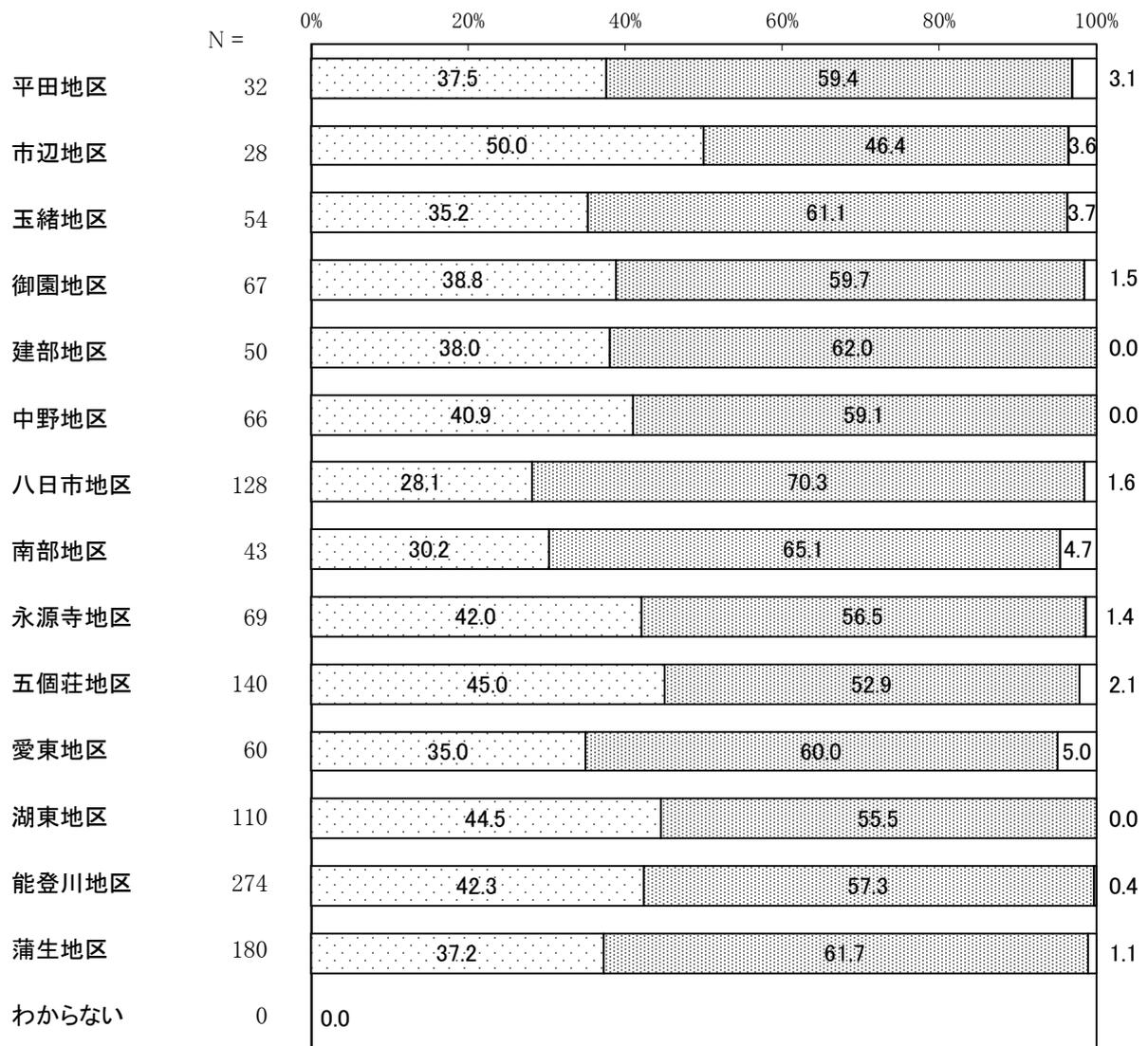
【性別】



【年代別】



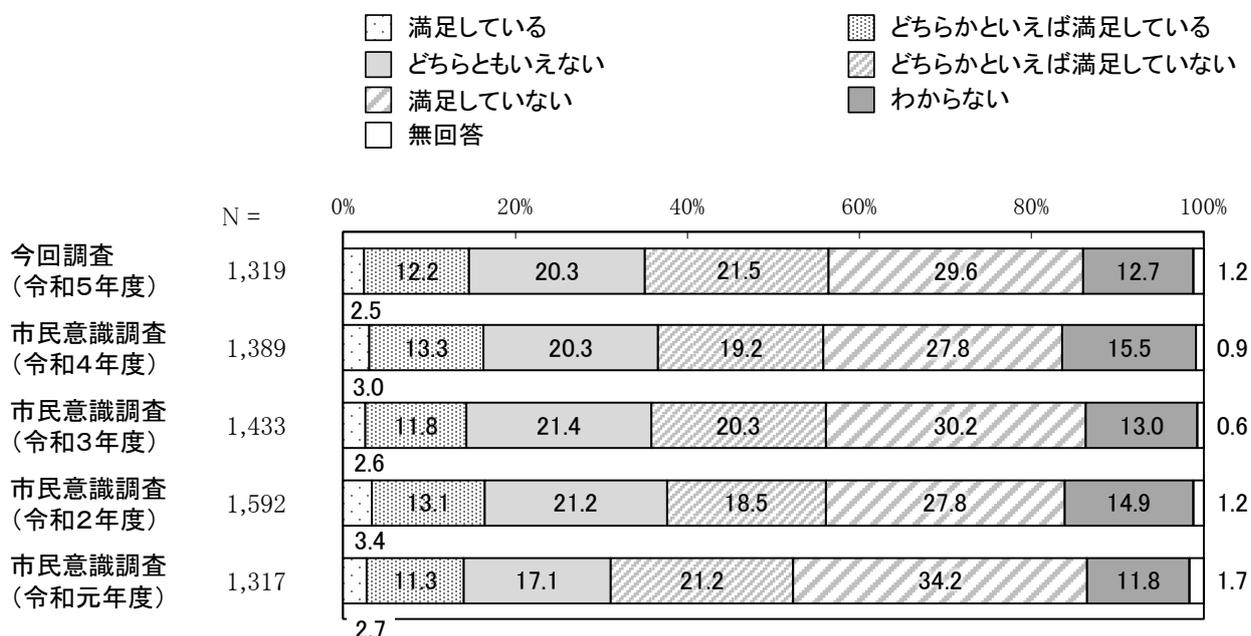
【居住地区別】



問 28 あなたは、市内の鉄道やバス等の公共交通に対して満足していますか。《○1つ》

半数以上が満足していない

- ・ 公共交通に対する満足度については、「満足していない」が29.6%、「どちらかといえば満足していない」が21.5%で、これらを合わせると51.1%となり、半数以上の人満足していないと回答しています。一方、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると14.7%となり、1割は満足しています。
- ・ 性別、年代別、居住地区別のいずれも、満足している人（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）の割合よりも満足していない人（「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計）の割合が高くなっています。
- ・ 年代別では10歳代と40～50歳代で、居住地区別では特に湖東地区、蒲生地区、五個荘地区、平田地区で満足していない人（前述）の割合が高くなっています。

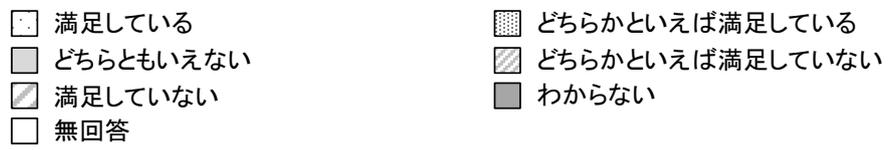


単位：%

	満足*	不満*	差
①今回調査(令和5年度)	14.7	51.1	-36.4
②市民意識調査(令和4年度)	16.3	47.0	-30.7
③市民意識調査(令和3年度)	14.4	50.5	-36.1
④市民意識調査(令和2年度)	16.5	46.3	-29.8
⑤市民意識調査(令和元年度)	14.0	55.4	-41.4
①-⑤	0.7	-4.3	5.0

* 満足:「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計

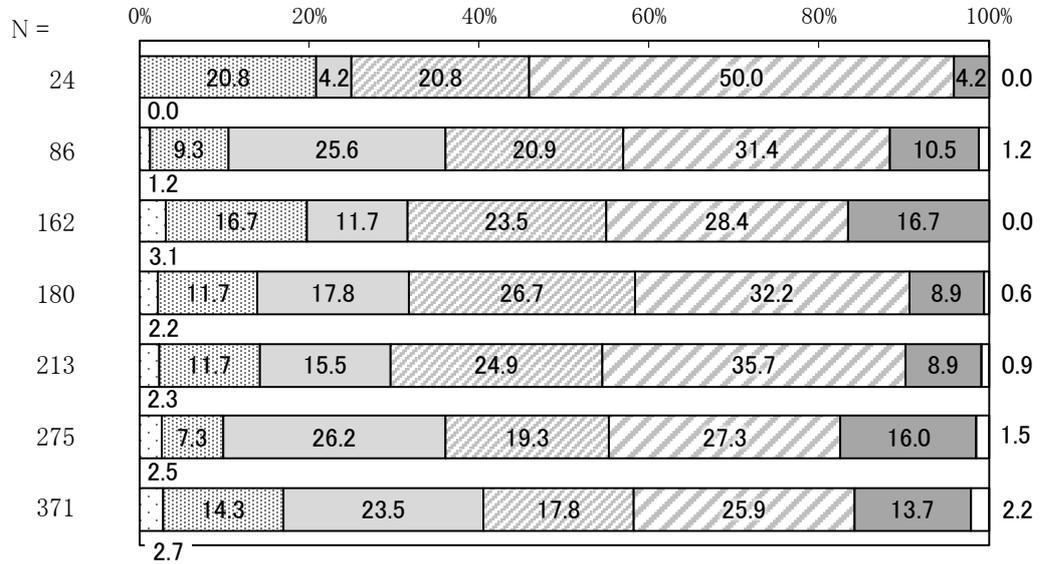
* 不満:「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計



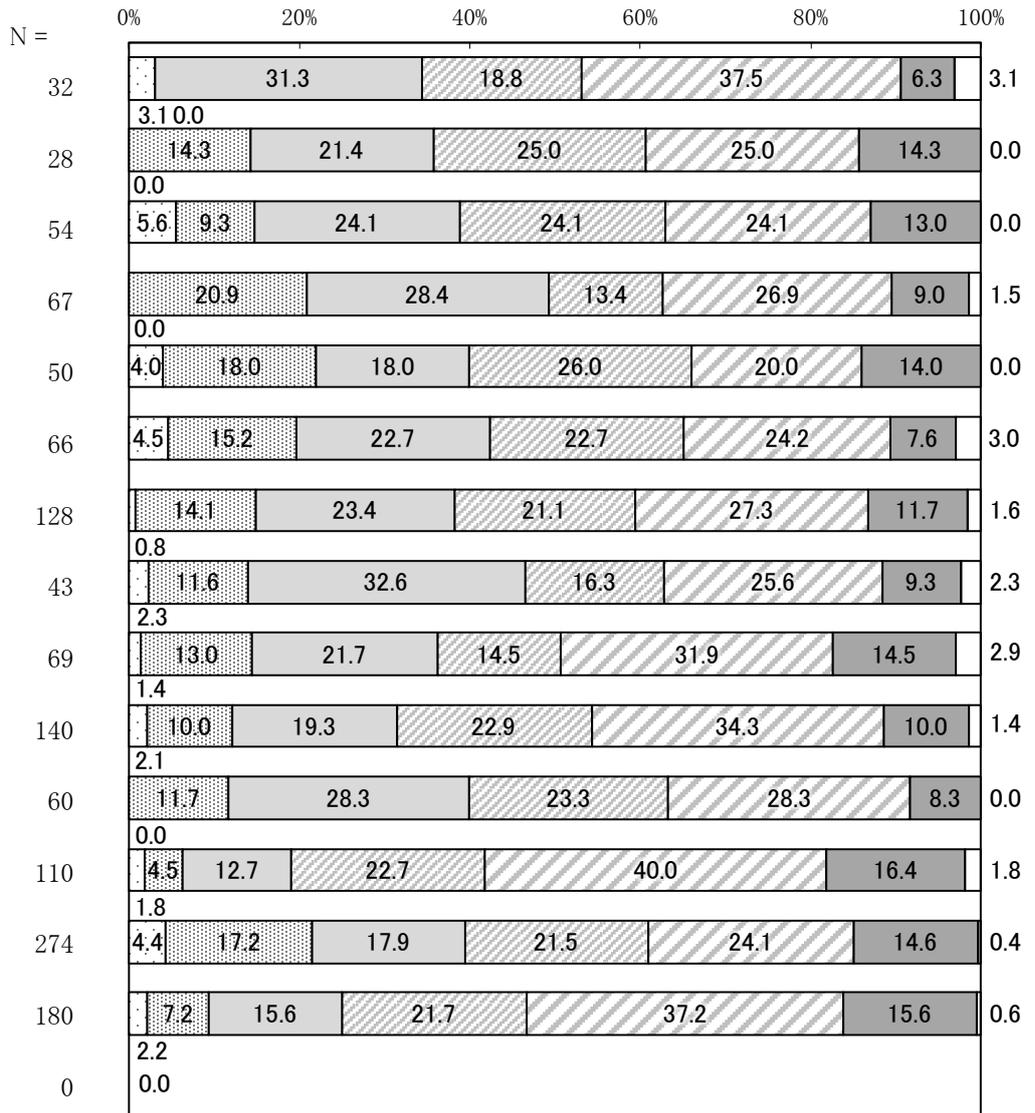
【性別】



【年代別】



【居住地区別】

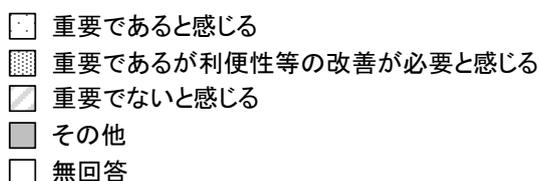


問 29 市内には近江鉄道の駅が 13 箇所あり、全線を将来にわたって存続させていくために、様々な検討をしているところです。

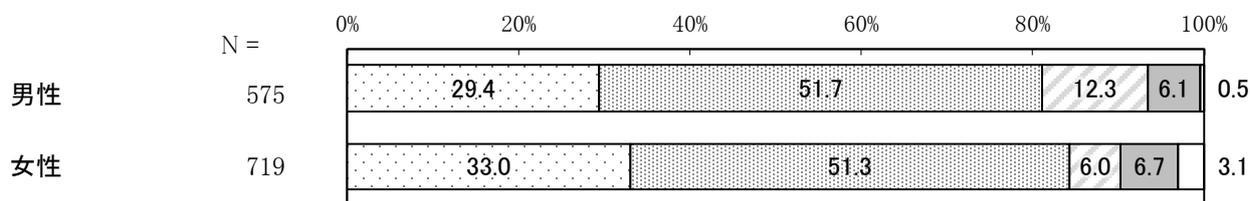
あなたは、近江鉄道線についてどう感じていますか。《○1つ》

8割以上が重要と感じている、半数以上が改善を望む

- ・ 近江鉄道線については、「重要であるが利便性等の改善が必要と感じる」が 51.6%と最も多く、次いで「重要であると感じる」が 31.3%と続きます。これらを合わせると 82.9%となり、8割以上の方が近江鉄道線は重要であると考えています。
- ・ 年代別では 20 歳代と 40 歳代で 9 割近く、居住地区別では建部地区、御園地区、中野地区、玉緒地区、南部地区、平田地区で、重要であると感じている人（「重要であると感じる」と「重要であるが利便性等の改善が必要と感じる」の合計）が 9 割以上と多く見られます。

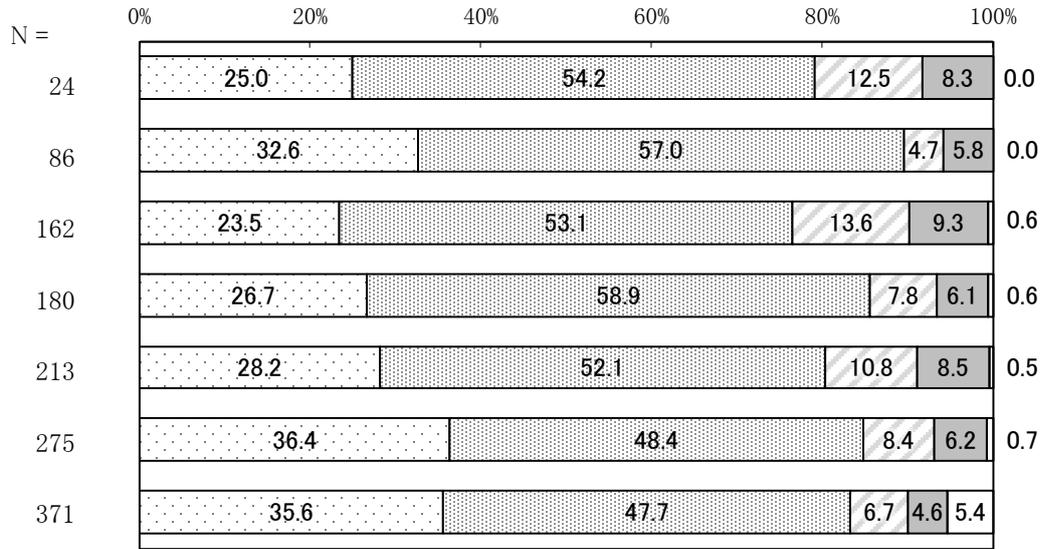


【性別】

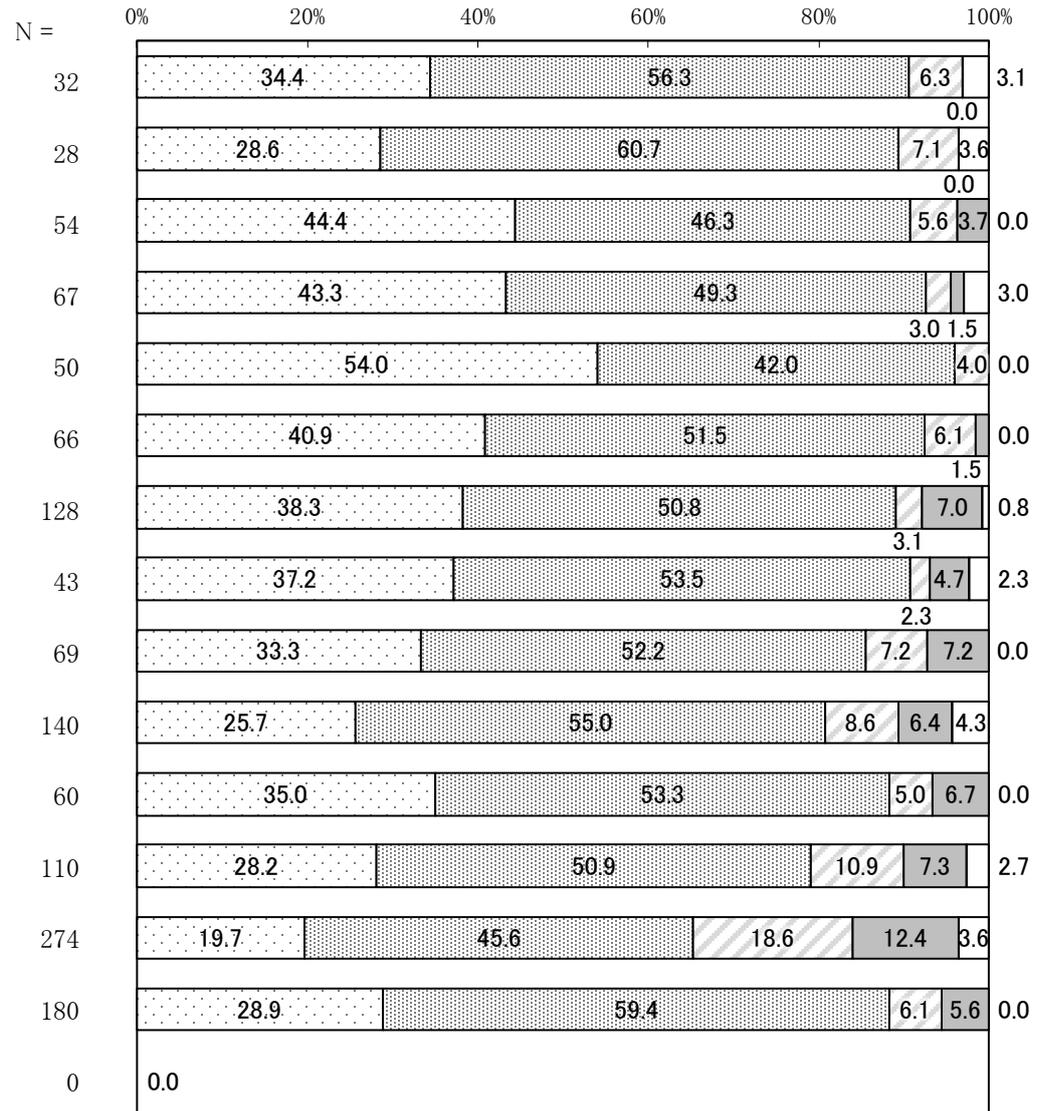


-  重要であると感じる
-  重要であるが利便性等の改善が必要と感じる
-  重要でないと感じる
-  その他
-  無回答

【年代別】



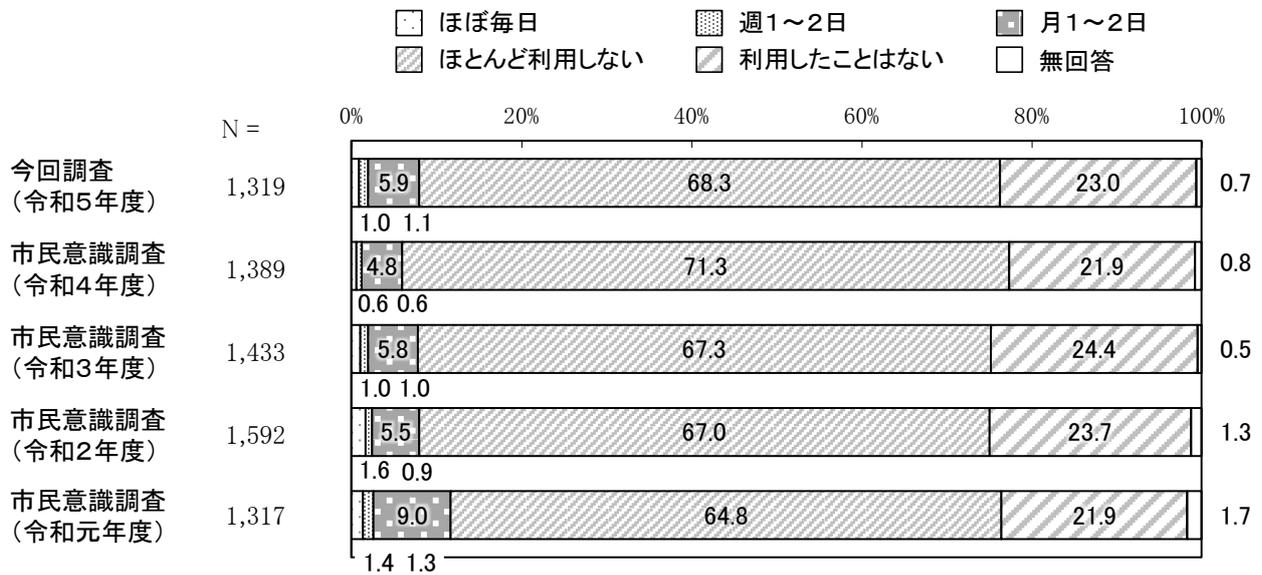
【居住地区別】



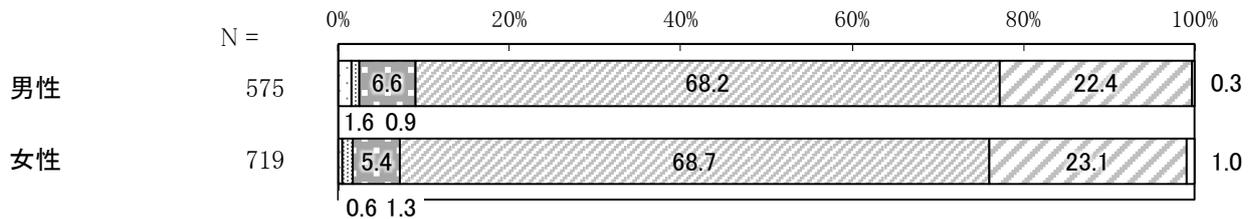
問 30 あなたは、近江鉄道をどの程度利用しますか。《○1つ》

9割が利用していない

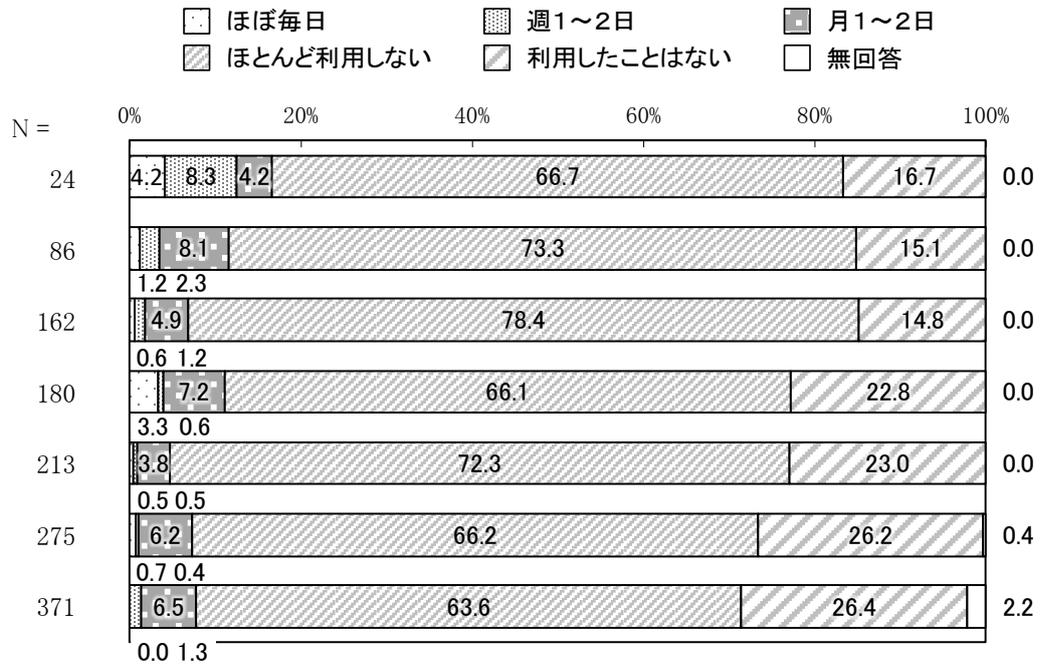
- ・ 近江鉄道の利用頻度については、「ほとんど利用しない」が68.3%と最も多く、次の「利用したことはない」の23.0%を合わせると91.3%となり、9割の人が利用していないと回答しています。一方、利用している人は8.0%で、その内訳は「月1～2日」が5.9%と最も多く、次いで「週1～2日」が1.1%、「ほぼ毎日」が1.0%となっています。
- ・ 利用している人の割合は、年代別では10歳代のみが2割近くですが、ほかの年代は1割又は1割未満となっています。また、居住地区別では、八日市地区で3割近く、中野地区、建部地区で2割近くと比較的多くの人に利用されています。
- ・ 一方、利用していない人の割合は、特に能登川地区、永源寺地区、蒲生地区で高くなっています。



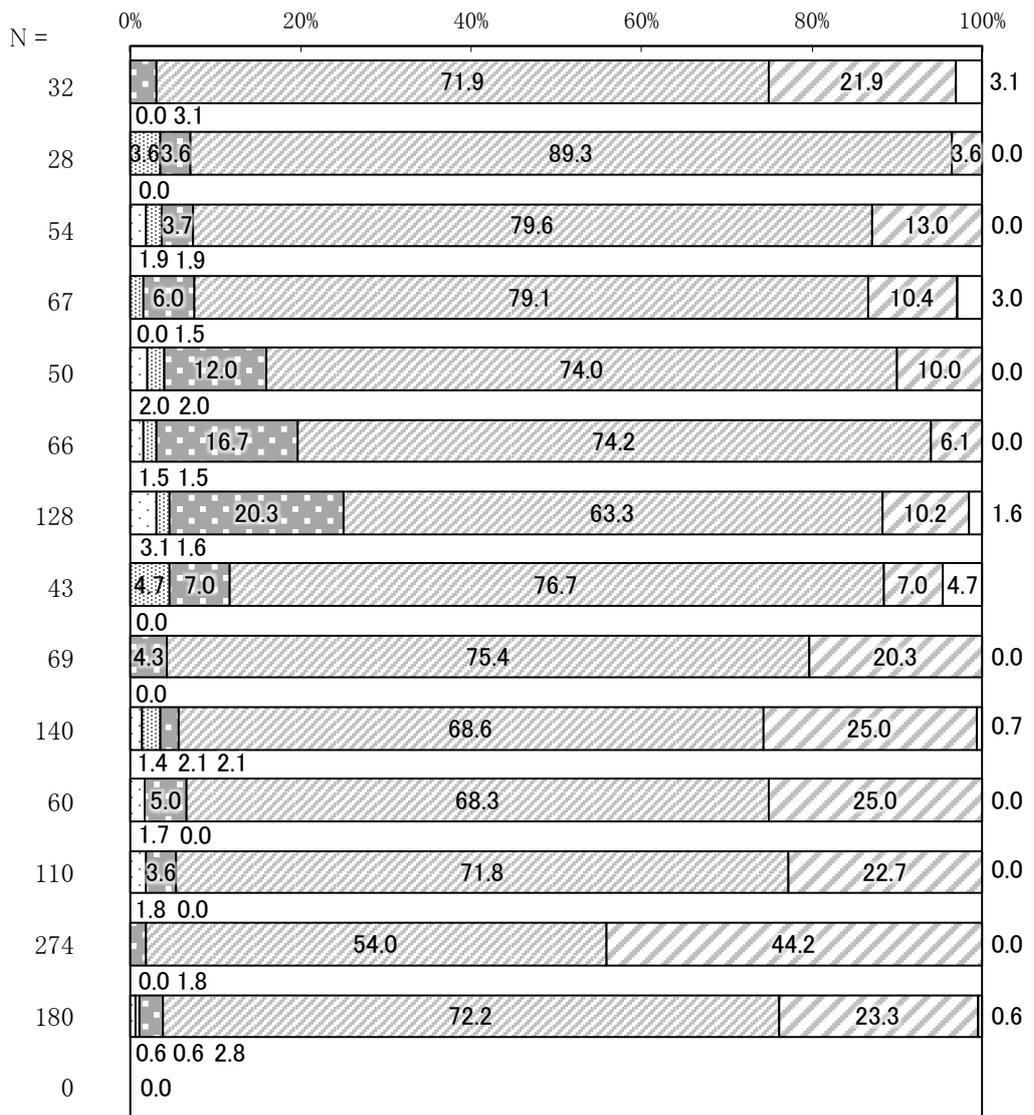
【性別】



【年代別】



【居住地区別】

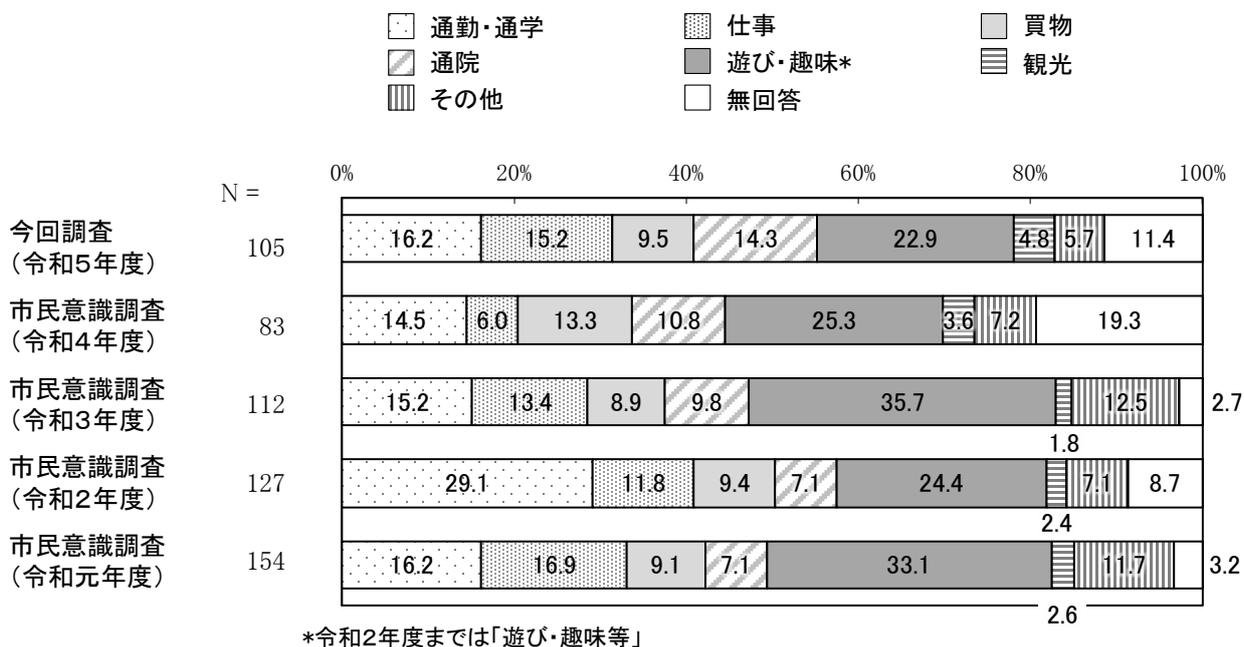


問 30-1 問 30 で「1. ほぼ毎日」「2. 週1～2日」「3. 月1～2日」とお答えの方におたずねします。

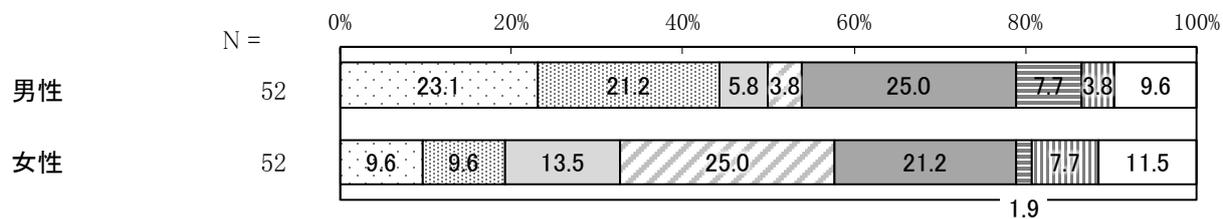
近江鉄道を利用する目的は何ですか。《○1つ》

近江鉄道の利用目的は「遊び・趣味」、「通勤・通学」、「仕事」

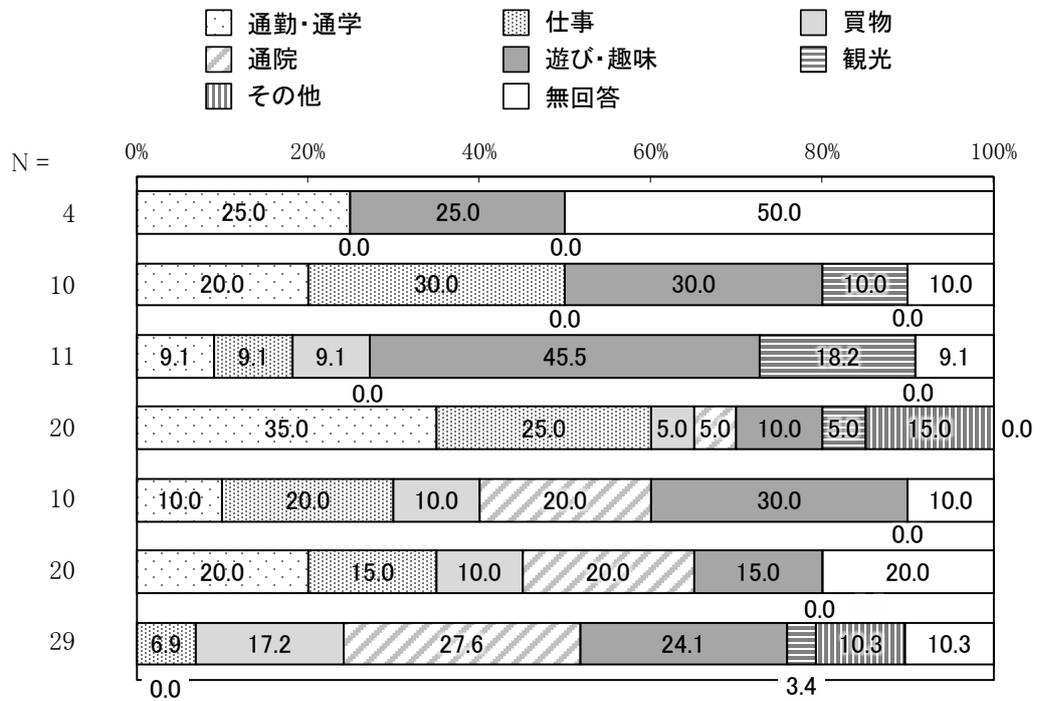
- ・ 近江鉄道の利用目的は、「遊び・趣味」が22.9%と最も多く、次いで「通勤・通学」が16.2%、「仕事」が15.2%と続きます。
- ・ 性別では、男性は「遊び・趣味」、女性は「通院」での利用が最も多くなっています。男性は女性より「通勤・通学」や「仕事」での利用が、女性は男性より「買物」などでの利用が多くあげられています。



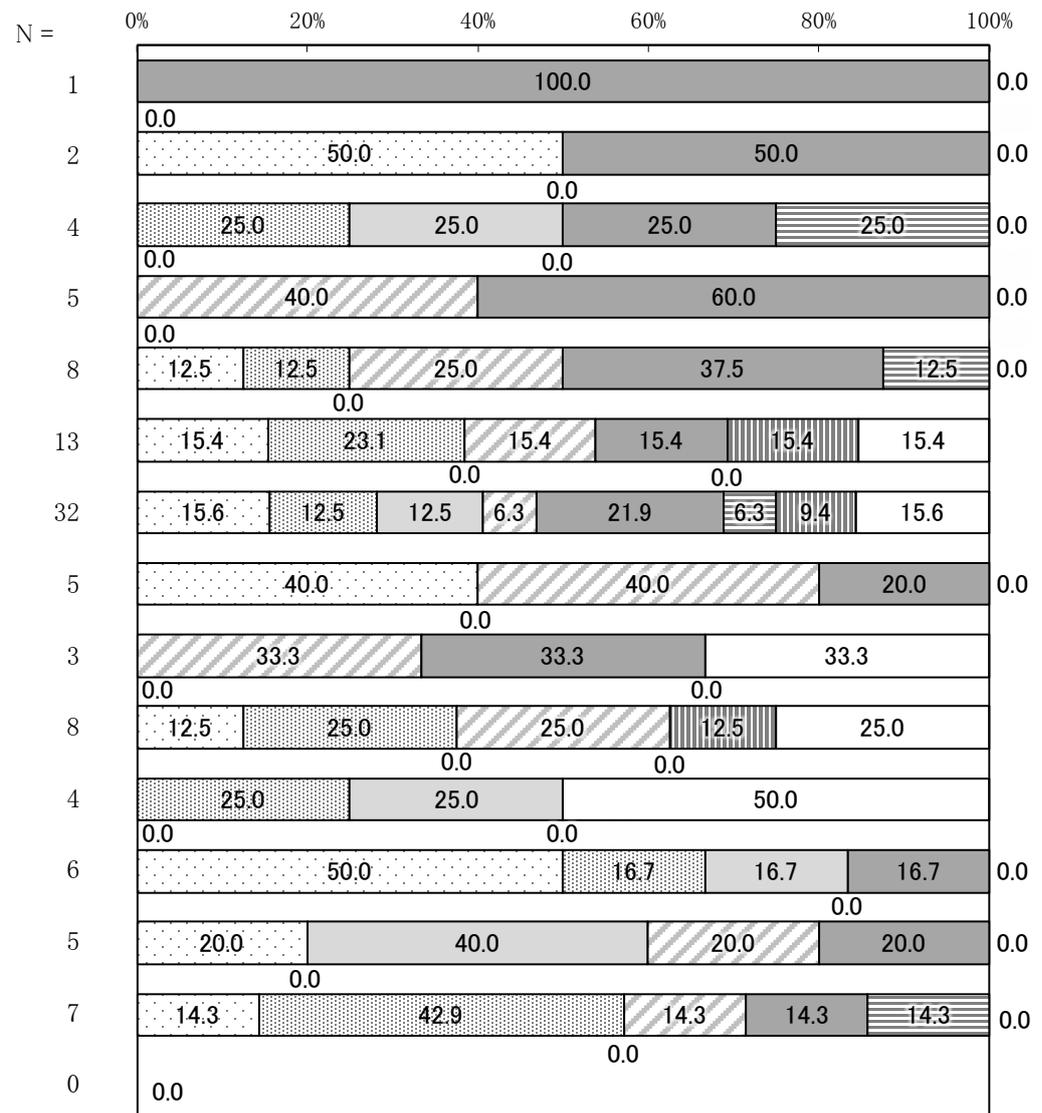
【性別】



【年代別】



【居住地区別】

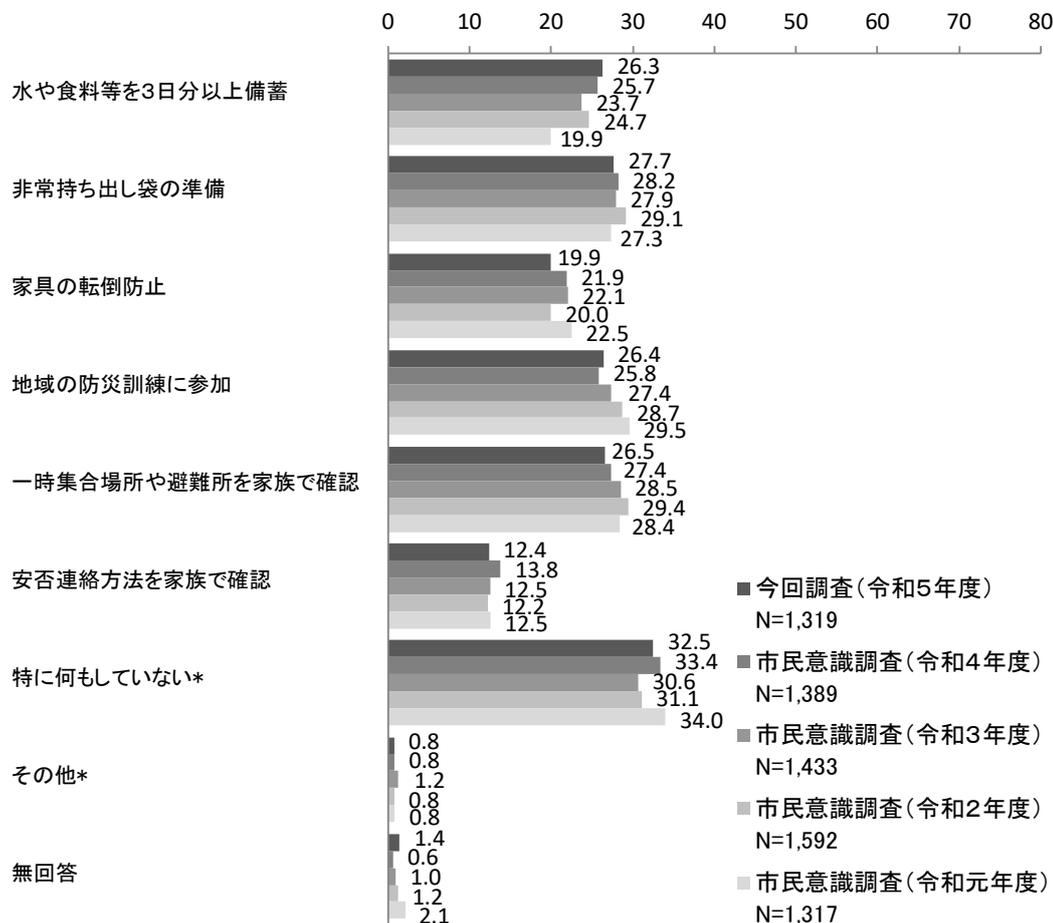


問 31 あなたは、地震等の災害に備えてどのような準備をしていますか。《あてはまるものすべてに○》

7割近くが何らかの災害への備えをしている

- ・ 災害への備えについては、何らかの備えをしている人は66.0%*で、7割近くとなっています。その内容は、「非常持ち出し袋の準備」が27.7%と最も多く、次いで「一時集合場所や避難所を家族で確認」が26.5%、「地域の防災訓練に参加」が26.4%、「水や食料等を3日分以上備蓄」が26.3%と続きます。一方で、「特に何もしていない」は32.5%となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、変動があるものの、「地域の防災訓練に参加」や「一時集合場所や避難所を家族で確認」などの割合が減少傾向にある一方で、「水や食料等を3日分以上備蓄」などの割合が増加しています。
- ・ 性別では、男女ともに「特に何もしていない」が最も多くなっていますが、女性は「非常持ち出し袋の準備」も同率で最も多くあげられています。男性は女性より「地域の防災訓練に参加」が、女性は男性より「水や食料等を3日分以上備蓄」が多くあげられています。
- ・ 年代別では、50歳代までは「特に何もしていない」が、60歳代は「非常持ち出し袋の準備」が、70歳以上は「地域の防災訓練に参加」が最も多くあげられています。
- ・ 居住地区別では、建部地区、南部地区で「非常持ち出し袋の準備」が、愛東地区、永源寺地区、五個荘地区、能登川地区、湖東地区で「地域の防災訓練に参加」が最も多くあげられています。そのほかの地区では「特に何もしていない」が最も多くあげられています。なお、建部地区、南部地区は、「特に何もしていない」も同率で最も多くなっています。

*有効回答数(1,319件)に対する「特に何もしていない」と「無回答」を除いた871件の割合 %



*令和2年度に設問の順番入れ替え

【性別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	水や食料等を3日分以上備蓄	非常持ち出し袋の準備	家具の転倒防止	地域の防災訓練に参加	一時集合場所や避難所を家族で確認	安否連絡方法を家族で確認	特に何もしていない	その他	無回答
男性	575	23.0	24.3	20.0	30.1	25.4	10.8	34.8	0.9	0.5
女性	719	29.3	30.5	19.6	23.6	27.5	13.9	30.5	0.7	2.1

【年代別】

単位:%

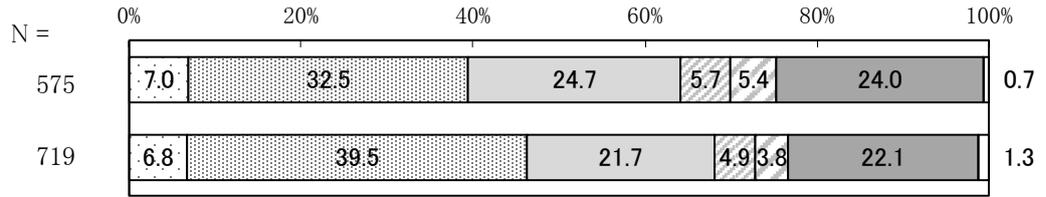
区分	有効回答数(件)	水や食料等を3日分以上備蓄	非常持ち出し袋の準備	家具の転倒防止	地域の防災訓練に参加	一時集合場所や避難所を家族で確認	安否連絡方法を家族で確認	特に何もしていない	その他	無回答
10歳代	24	12.5	8.3	12.5	16.7	33.3	16.7	54.2	0.0	0.0
20歳代	86	22.1	15.1	18.6	7.0	15.1	11.6	54.7	0.0	0.0
30歳代	162	19.1	27.8	15.4	9.3	17.3	9.3	44.4	1.9	0.6
40歳代	180	27.2	29.4	20.6	23.3	29.4	13.9	30.0	0.6	0.0
50歳代	213	28.2	27.2	20.7	24.4	20.2	12.7	34.7	0.5	0.5
60歳代	275	22.2	32.4	20.0	32.0	28.7	10.2	27.6	0.7	1.8
70歳以上	371	32.9	27.8	21.6	36.9	32.9	13.7	24.5	0.8	3.2

【居住地区別】

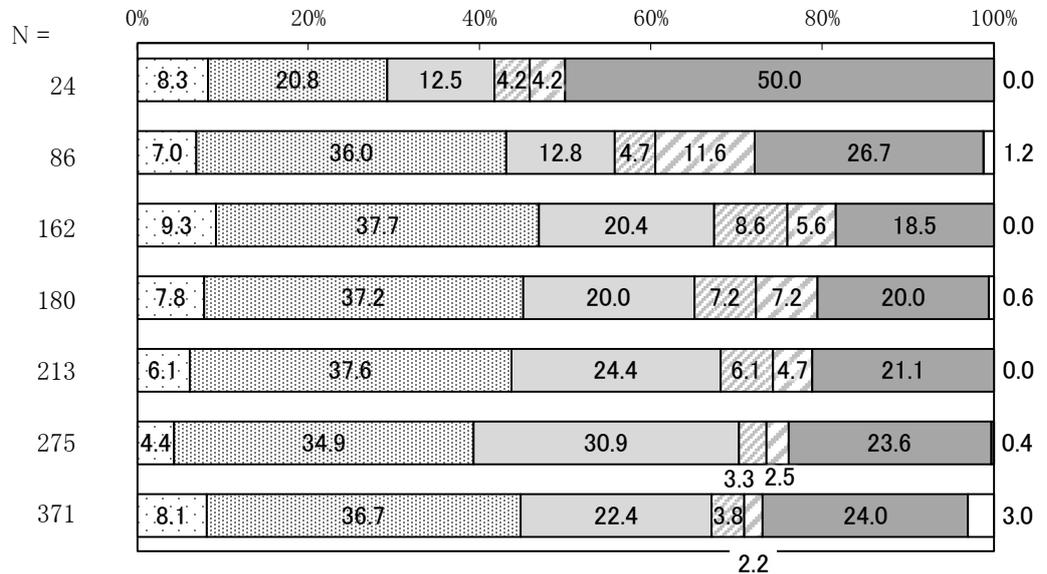
単位:%

区分	有効回答数(件)	水や食料等を3日分以上備蓄	非常持ち出し袋の準備	家具の転倒防止	地域の防災訓練に参加	一時集合場所や避難所を家族で確認	安否連絡方法を家族で確認	特に何もしていない	その他	無回答
平田地区	32	25.0	25.0	12.5	28.1	25.0	15.6	37.5	0.0	3.1
市辺地区	28	28.6	17.9	25.0	25.0	28.6	7.1	32.1	0.0	3.6
玉緒地区	54	24.1	24.1	18.5	25.9	22.2	11.1	31.5	0.0	0.0
御園地区	67	16.4	25.4	20.9	10.4	23.9	10.4	35.8	0.0	4.5
建部地区	50	22.0	36.0	18.0	16.0	28.0	14.0	36.0	0.0	0.0
中野地区	66	24.2	22.7	18.2	9.1	16.7	10.6	47.0	0.0	1.5
八日市地区	128	21.1	24.2	15.6	10.9	18.0	8.6	42.2	1.6	2.3
南部地区	43	25.6	34.9	16.3	20.9	23.3	14.0	34.9	0.0	0.0
永源寺地区	69	29.0	26.1	24.6	42.0	31.9	14.5	24.6	1.4	2.9
五個荘地区	140	26.4	32.9	22.1	35.7	33.6	15.0	25.0	0.0	0.0
愛東地区	60	20.0	26.7	13.3	48.3	28.3	13.3	30.0	0.0	3.3
湖東地区	110	20.0	20.9	14.5	32.7	27.3	8.2	31.8	0.0	2.7
能登川地区	274	31.8	30.3	25.2	34.3	32.1	15.3	25.9	1.8	0.7
蒲生地区	180	33.9	26.7	20.0	17.8	22.8	11.7	37.2	1.1	0.6
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

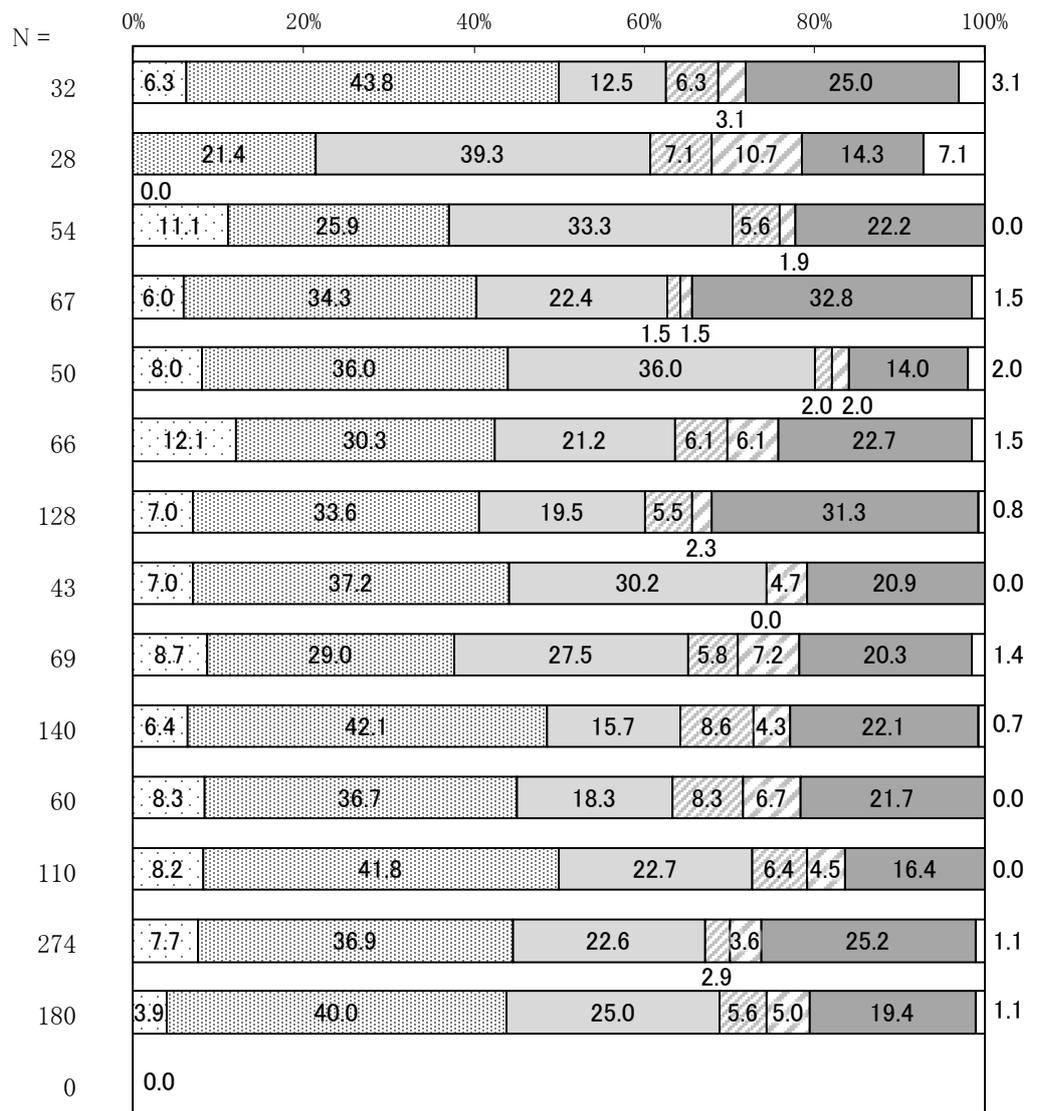
【性別】



【年代別】



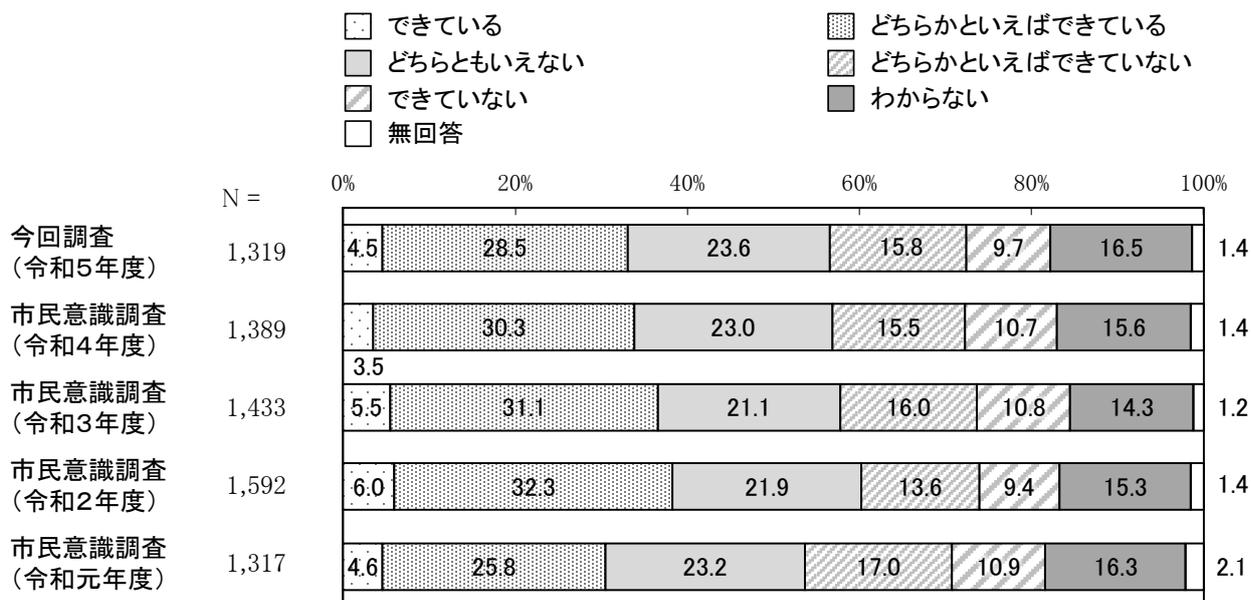
【居住地区別】



問 33 あなたは、市内において児童・生徒の通学路の安全は確保できていると思いますか。《○1つ》

3割が通学路の安全は確保できている

- ・ 通学路の安全確保については、「できている」と「どちらかといえばできている」を合わせると33.0%となり、3割の人ができていると考えています。「どちらかといえばできていない」と「できていない」を合わせると25.5%であり、通学路の安全確保はできていると考えている人のほうが多くなっています。
- ・ 性別では、女性より男性で通学路の安全確保ができていない（「どちらかといえばできていない」と「できていない」の合計）と考えている人が多く見られます。
- ・ 年代別では、50歳代で通学路の安全確保ができていない（前述）と考えている人が、できている（「できている」と「どちらかといえばできている」の合計）と考えている人より多くなっています。一方、10～20歳代と70歳以上で通学路の安全確保ができていない（前述）と考えている人が4割前後と多くなっています。
- ・ 居住地区別では、建部地区、中野地区、市辺地区、玉緒地区、蒲生地区、五個荘地区でできている（前述）と考えている人ができていない（前述）と考えている人より多い一方で、湖東地区、平田地区、愛東地区、南部地区では、できていない（前述）と考えている人が多くなっています。

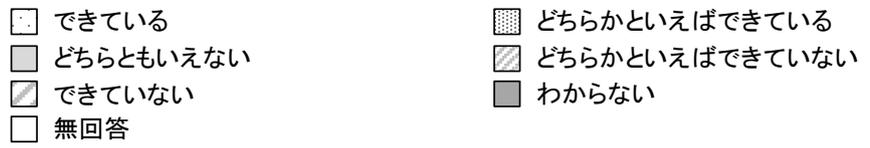


単位：%

	できている*	できていない*	差
①今回調査(令和5年度)	33.0	25.5	7.5
②市民意識調査(令和4年度)	33.8	26.2	7.6
③市民意識調査(令和3年度)	36.6	26.8	9.8
④市民意識調査(令和2年度)	38.3	23.0	15.3
⑤市民意識調査(令和元年度)	30.4	27.9	2.5
①－⑤	2.6	-2.4	5.0

* できている:「できている」と「どちらかといえばできている」の合計

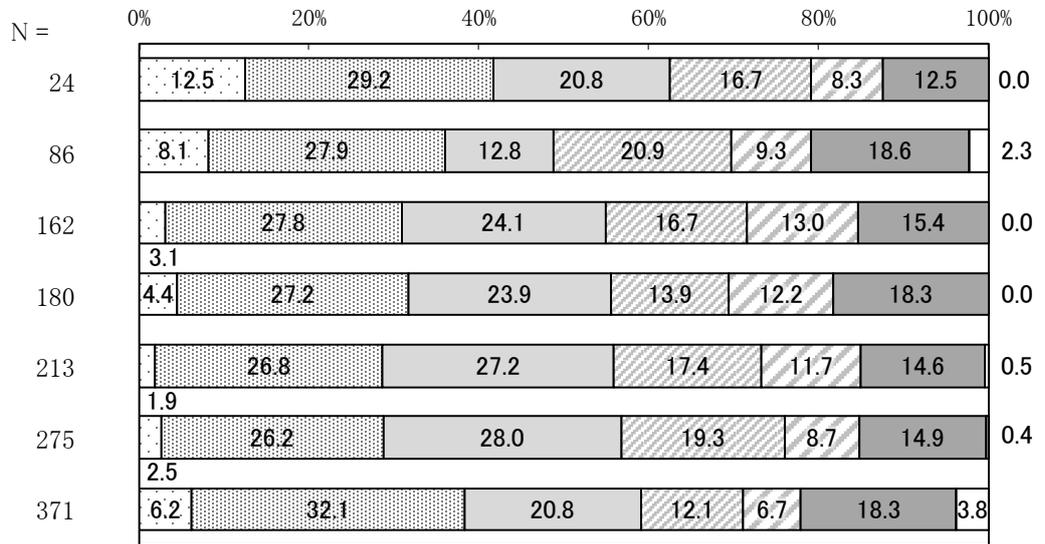
* できていない:「どちらかといえばできていない」と「できていない」の合計



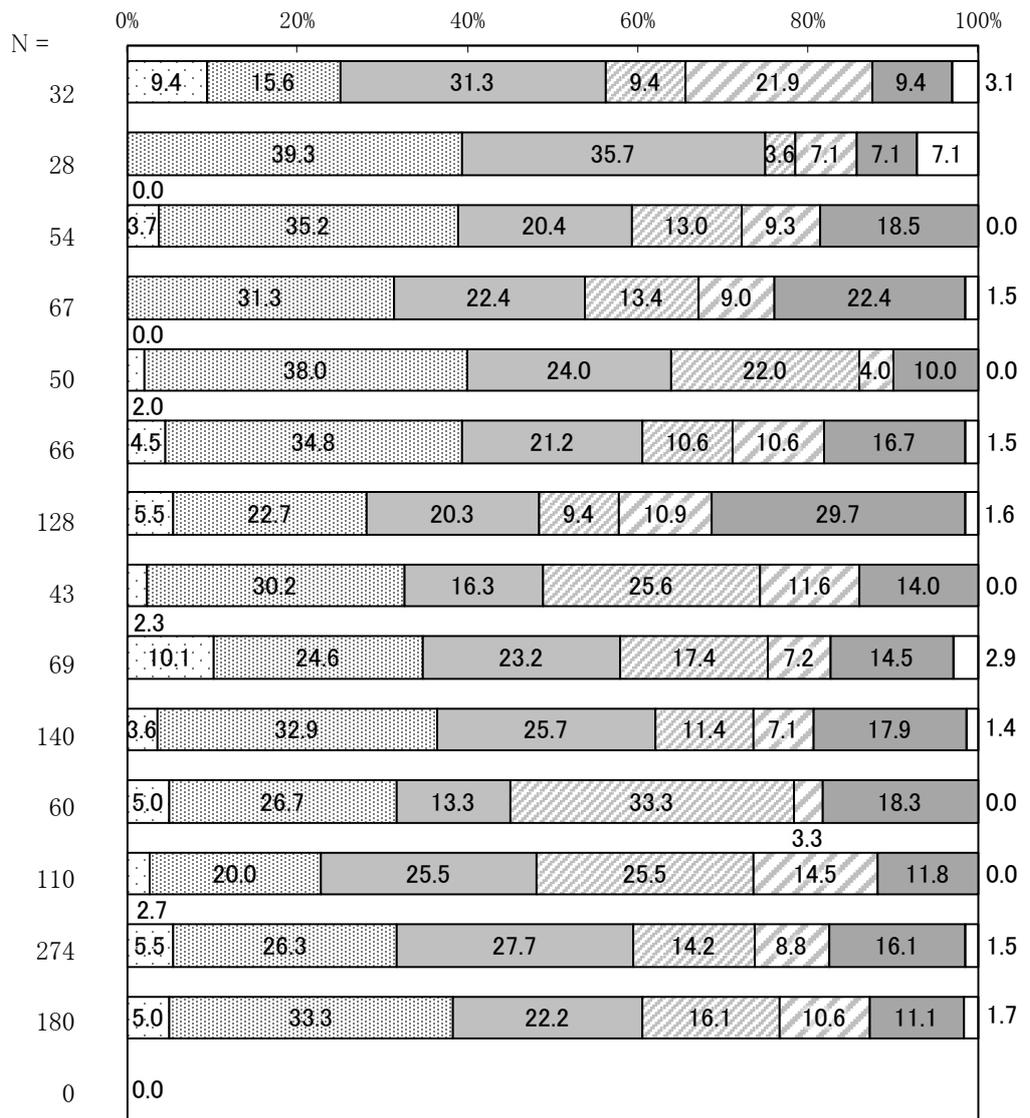
【性別】



【年代別】



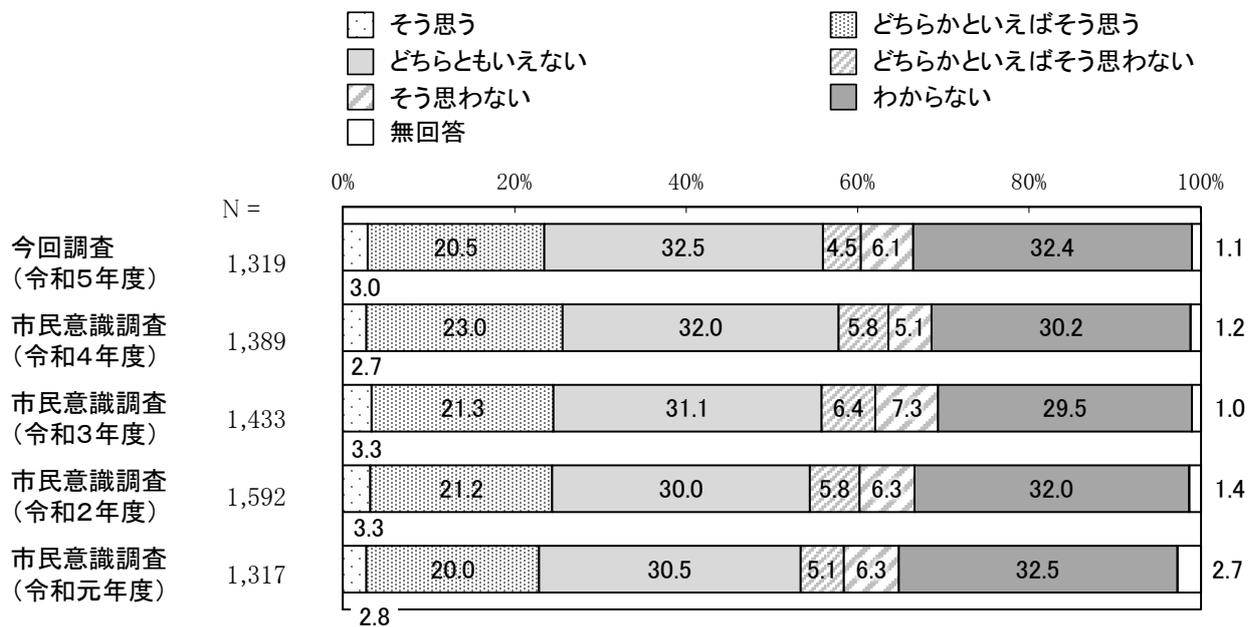
【居住地区別】



問 34 あなたは、「東近江市は人権が尊重されるまち」になっていると思いますか。《○1つ》

2割が人権が尊重されるまちに「なっている」、6割が「どちらともいえない」又は「わからない」

- ・ 東近江市は人権が尊重されるまちになっていると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）人の割合は23.5%で、そう思わない（「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計）人の割合の10.6%より高くなっています。一方、人権が尊重されるまちになっているかについて、「どちらともいえない」と回答した人は32.5%と最も多く、「わからない」と回答した人も32.4%見られ、これらを合計すると64.9%になります。
- ・ 性別では男性で3割近く、年代別では70歳以上で3割、居住地区別では愛東地区で4割近くが、人権が尊重されるまちになっていると思う（前述）と回答しています。一方、市辺地区、永源寺地区では、そう思わない（前述）人の割合が2割近くと、ほかの地区よりやや高くなっています。

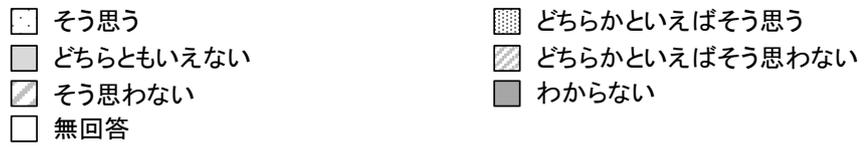


単位：%

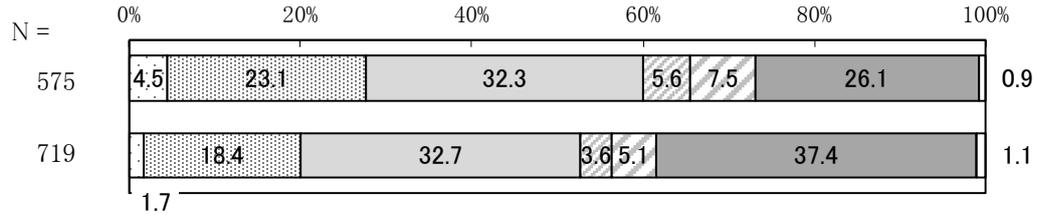
	そう思う*	そう思わない*	差
①今回調査(令和5年度)	23.5	10.6	12.9
②市民意識調査(令和4年度)	25.7	10.9	14.8
③市民意識調査(令和3年度)	24.6	13.7	10.9
④市民意識調査(令和2年度)	24.5	12.1	12.4
⑤市民意識調査(令和元年度)	22.8	11.4	11.4
①－⑤	0.7	-0.8	1.5

* そう思う:「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計

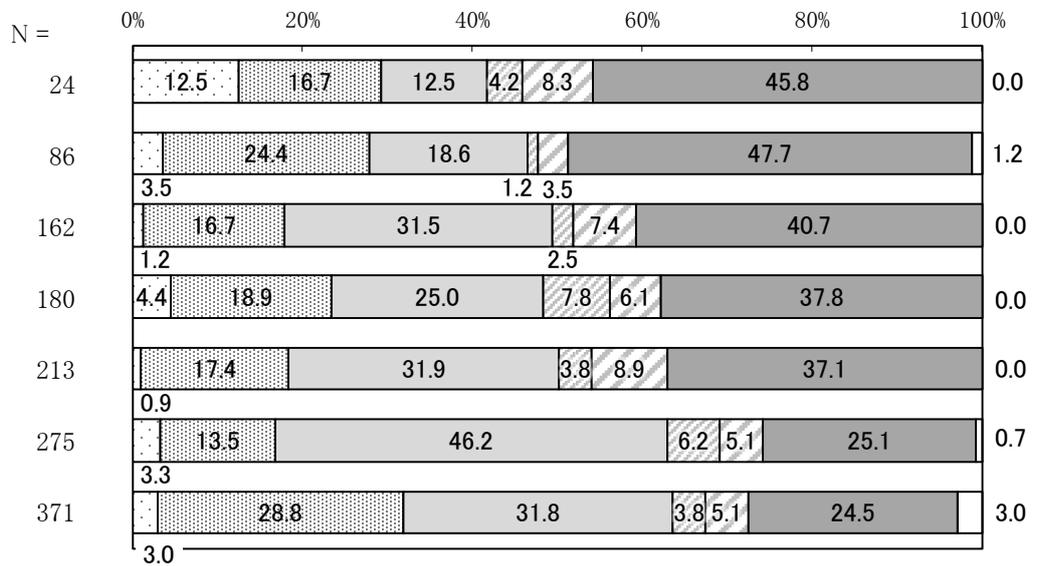
* そう思わない:「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計



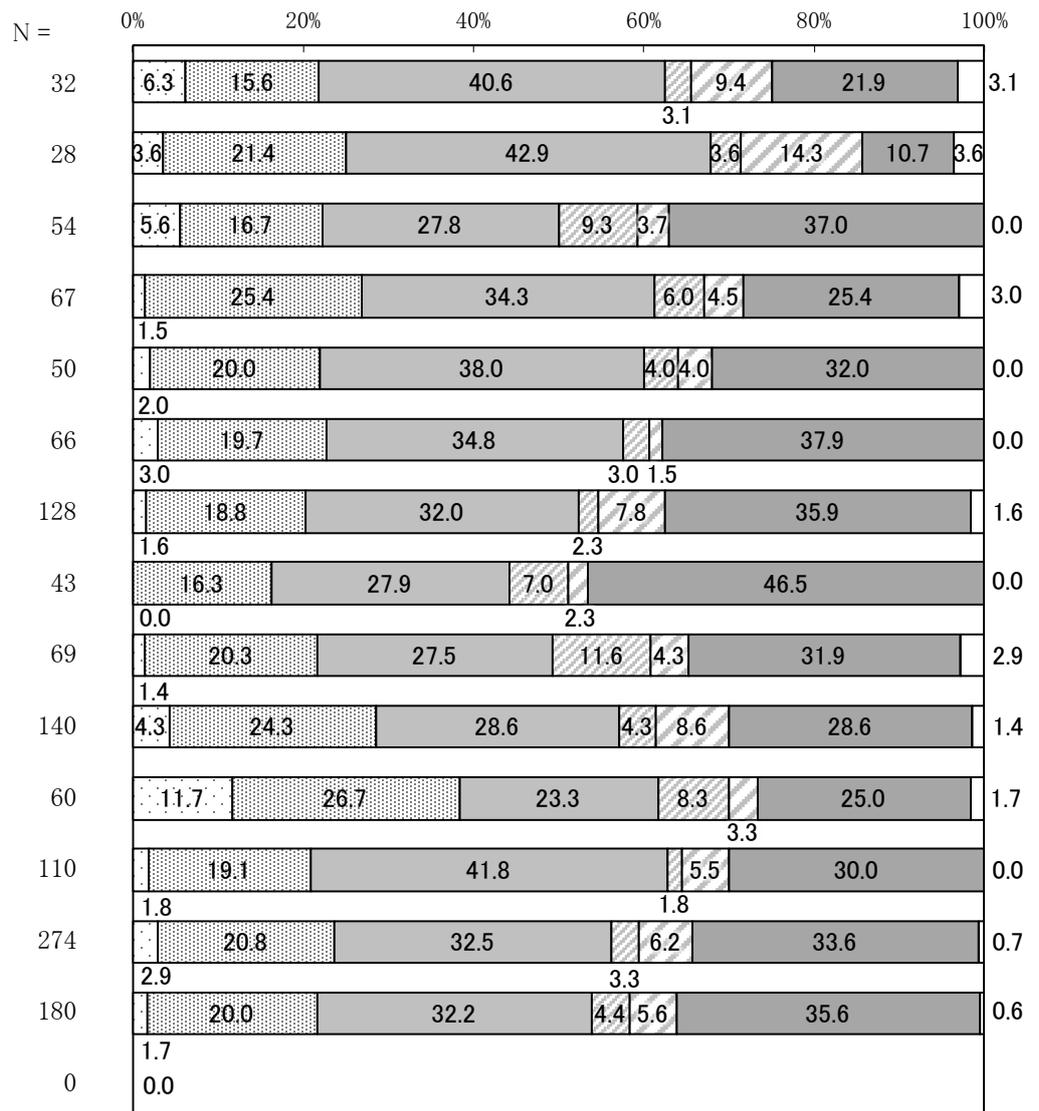
【性別】



【年代別】



【居住地区別】

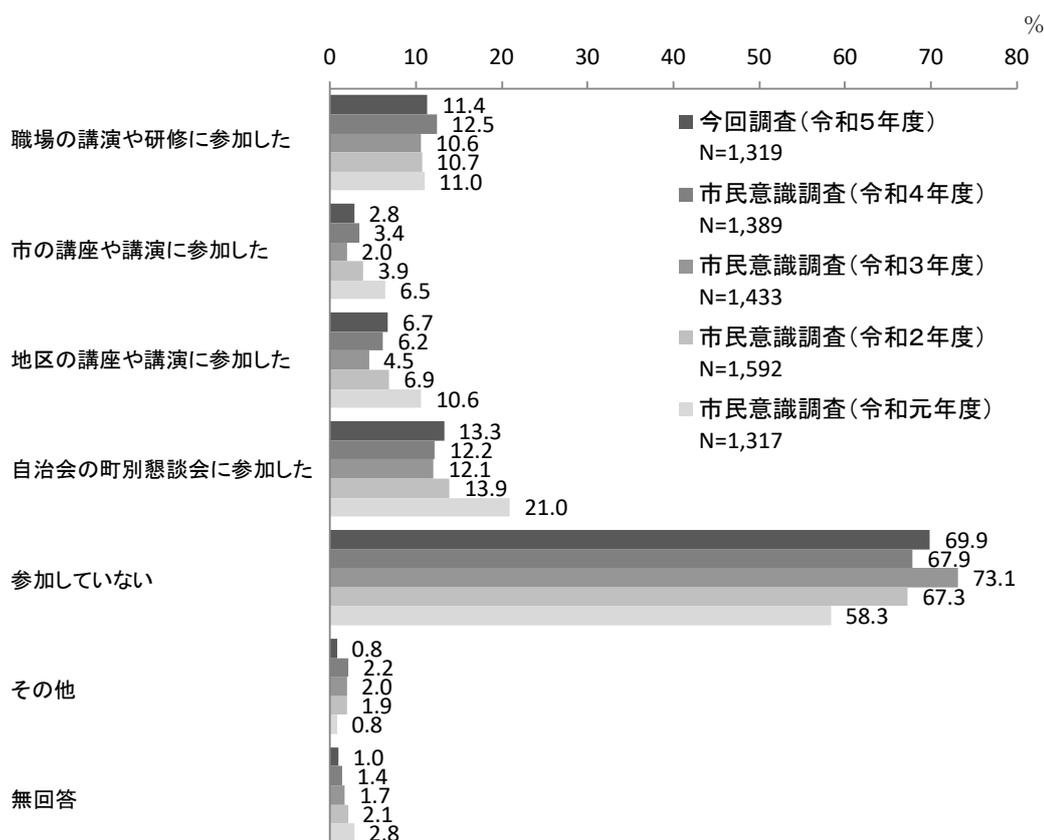


問 35 あなたは、この1年間に職場、市又は地区等が開催する人権に関する講座や講演、研修等に参加しましたか。《あてはまるものすべてに○》

講座や講演、研修等に参加した人は3割近く

- ・ この1年間に人権に関する講座や講演、研修等に参加したかどうかについては、参加した人の割合*は29.1%、「参加していない」が69.9%、無回答が1.0%となっています。参加した講座等の内容は、「自治会の町別懇談会」が13.3%と最も多く、次いで「職場の講演や研修」が11.4%と続きます。
- ・ 過去の調査と比較すると、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染防止のため講座等の開催が見送られたことなどもあり、「参加していない」と回答した人の割合は令和3年度まで増加傾向にあり、昨年度はやや改善が見られたものの、今年度は増加しています。
- ・ 性別、年代別、居住地区別のいずれも、「参加していない」が最も多くなっています。
- ・ 性別では、女性より男性で人権に関する講座等に参加した人の割合が高く、「自治会の町別懇談会」などへの参加が多くあげられています。
- ・ 年代別では、年齢が上がるほど人権に関する講座等に参加した人の割合が高くなる傾向があり、その中でも「自治会の町別懇談会」への参加割合が高くなる傾向があります。一方、30～50歳代は「職場の講演や研修」への参加がほかの年代より多くあげられています。

*有効回答数(1,319件)に対する「参加していない」と「無回答」を除いた384件の割合



【性別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	加した職場の講演や研修に参加	市の講座や講演に参加	加した地区の講座や講演に参加	自治会の町別懇談会に参加した	参加していない	その他	無回答
男性	575	10.4	3.0	8.3	19.0	66.6	0.5	0.5
女性	719	12.2	2.8	5.6	8.6	72.5	1.1	1.4

【年代別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	加した職場の講演や研修に参加	市の講座や講演に参加	加した地区の講座や講演に参加	自治会の町別懇談会に参加した	参加していない	その他	無回答
10歳代	24	8.3	0.0	0.0	4.2	91.7	0.0	0.0
20歳代	86	12.8	1.2	2.3	1.2	80.2	0.0	2.3
30歳代	162	16.0	0.6	3.1	1.2	80.2	0.0	0.0
40歳代	180	17.8	1.1	3.9	7.8	73.3	0.0	0.6
50歳代	213	17.8	2.8	5.2	11.3	70.9	0.5	0.0
60歳代	275	12.4	3.3	8.7	18.5	64.4	0.4	0.4
70歳以上	371	1.3	4.9	10.2	22.1	63.6	2.4	2.4

【居住地区別】

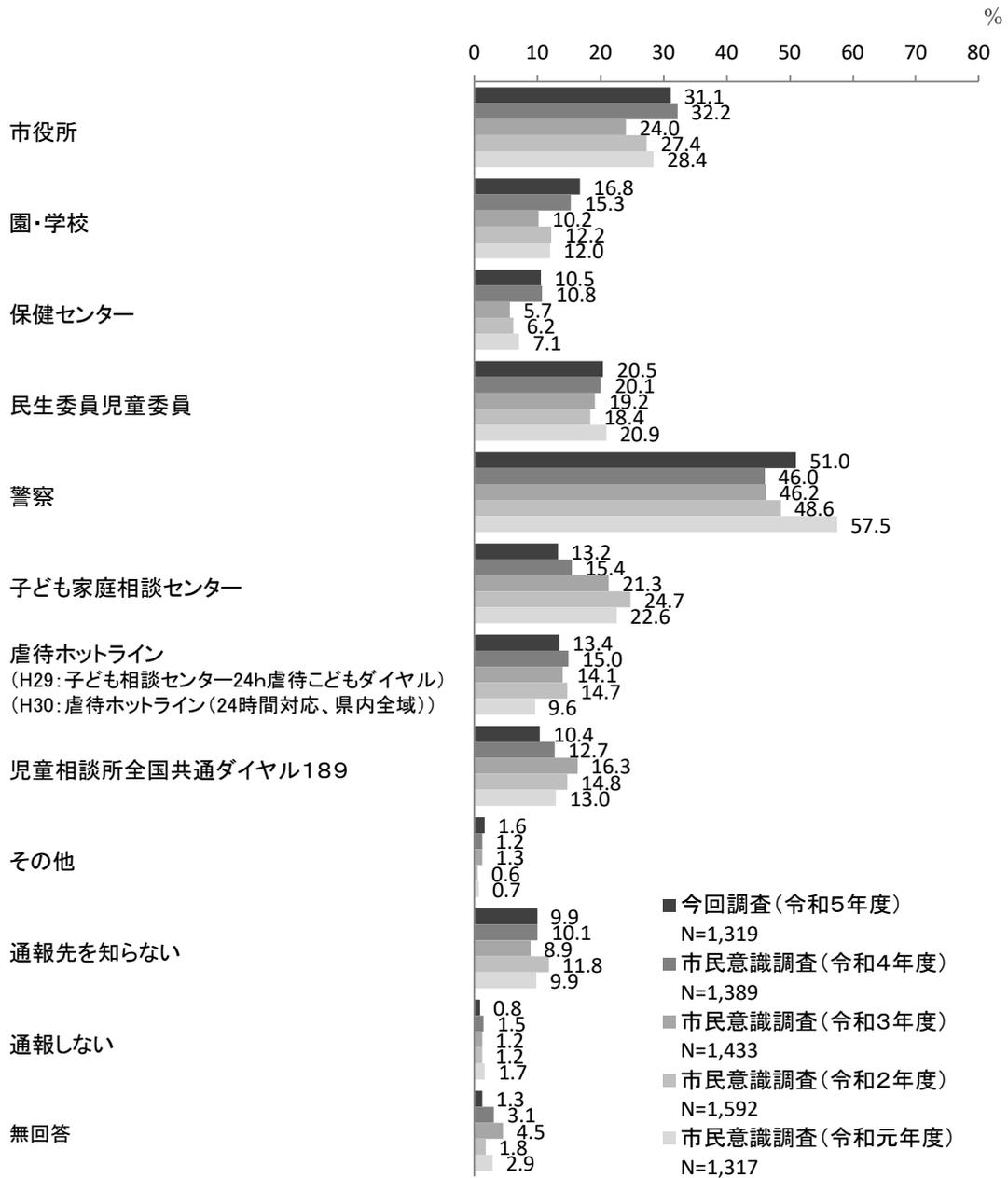
単位:%

区分	有効回答数(件)	加した職場の講演や研修に参加	市の講座や講演に参加	加した地区の講座や講演に参加	自治会の町別懇談会に参加した	参加していない	その他	無回答
平田地区	32	18.8	3.1	9.4	18.8	56.3	0.0	3.1
市辺地区	28	7.1	0.0	10.7	25.0	60.7	0.0	3.6
玉緒地区	54	16.7	1.9	0.0	13.0	72.2	0.0	0.0
御園地区	67	7.5	6.0	6.0	17.9	65.7	1.5	1.5
建部地区	50	12.0	0.0	8.0	14.0	70.0	2.0	0.0
中野地区	66	12.1	1.5	4.5	10.6	74.2	0.0	0.0
八日市地区	128	14.8	1.6	2.3	3.9	77.3	0.8	1.6
南部地区	43	7.0	2.3	2.3	11.6	76.7	0.0	2.3
永源寺地区	69	13.0	5.8	10.1	23.2	58.0	1.4	0.0
五個荘地区	140	7.9	0.7	8.6	17.1	70.7	1.4	0.0
愛東地区	60	13.3	3.3	10.0	21.7	53.3	3.3	3.3
湖東地区	110	10.9	4.5	6.4	15.5	68.2	0.9	2.7
能登川地区	274	9.9	2.9	5.8	13.9	71.2	0.4	0.4
蒲生地区	180	11.1	3.9	10.6	6.1	75.0	0.6	0.6
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-

問 36 あなたは、児童虐待が疑われるときに、どこに通報しますか。《あてはまるものすべてに○》

通報先は、警察、市役所、民生委員児童委員等

- ・ 児童虐待が疑われるときの通報先については、「警察」が 51.0%と最も多く、次いで「市役所」が 31.1%、「民生委員児童委員」が 20.5%と続きます。一方、「通報先を知らない」は 9.9%と約 1 割、「通報しない」は 0.8%となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、設問の順番変更による影響も考えられますが、減少傾向にあった「市役所」、「園・学校」、「保健センター」などの割合は増加した昨年度と同程度で、「子ども家庭相談センター」の割合は令和 3 年度以降、「児童相談所全国共通ダイヤル 189」の割合は令和 4 年度以降減少傾向にあります。今回調査では、減少傾向にあった「警察」の割合が増加しています。
- ・ 性別、年代別、市辺地区を除く居住地区別のいずれも「警察」が最も多くなっています。市辺地区では、「市役所」が最も多くなっています。
- ・ 年代別では、特に「園・学校」が 10 歳代で、「保健センター」が 30 歳代で、「市役所」や「民生委員児童委員」が 70 歳以上で、「警察」が 10～20 歳代で、「児童相談所全国共通ダイヤル 189」が 10～20 歳代で、また「通報先を知らない」は 10～30 歳代でほかの年代より多くあげられています。
- ・ 居住地区別では、特に平田地区、南部地区で「市役所」が、永源寺地区で「園・学校」が、愛東地区、永源寺地区、平田地区で「民生委員児童委員」が、平田地区で「子ども家庭相談センター」が、五個荘地区で「虐待ホットライン」がほかの地区より多くあげられています。



※令和4年度に設問の順番入れ替え

【性別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	市役所	園・学校	保健センター	民生委員児童委員	警察	子ども家庭相談センター	虐待ホットライン	児童相談所全国共通ダイヤル189	その他	通報先を知らない	通報しない	無回答
男性	575	30.8	14.1	7.5	19.3	56.7	10.4	11.3	9.2	1.0	11.5	0.9	0.7
女性	719	30.9	19.1	12.9	21.3	46.7	14.7	15.3	11.3	2.1	8.9	0.8	1.7

【年代別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	市役所	園・学校	保健センター	民生委員児童委員	警察	子ども家庭相談センター	虐待ホットライン	児童相談所全国共通ダイヤル189	その他	通報先を知らない	通報しない	無回答
10歳代	24	20.8	25.0	8.3	0.0	58.3	12.5	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
20歳代	86	31.4	12.8	12.8	7.0	55.8	18.6	14.0	17.4	1.2	15.1	0.0	1.2
30歳代	162	31.5	16.0	16.0	4.9	43.8	14.8	16.0	13.6	1.9	16.0	1.2	0.0
40歳代	180	28.9	18.9	13.3	4.4	53.9	16.7	14.4	13.9	2.8	7.8	0.6	0.0
50歳代	213	27.2	13.6	10.3	12.7	50.2	11.7	16.4	9.9	1.4	13.1	0.9	0.0
60歳代	275	30.5	18.2	8.0	28.0	50.9	15.6	16.7	8.0	0.4	10.5	1.8	0.4
70歳以上	371	35.0	17.0	8.6	38.0	51.8	7.8	7.5	7.3	2.2	4.6	0.3	4.0

【居住地区別】

単位:%

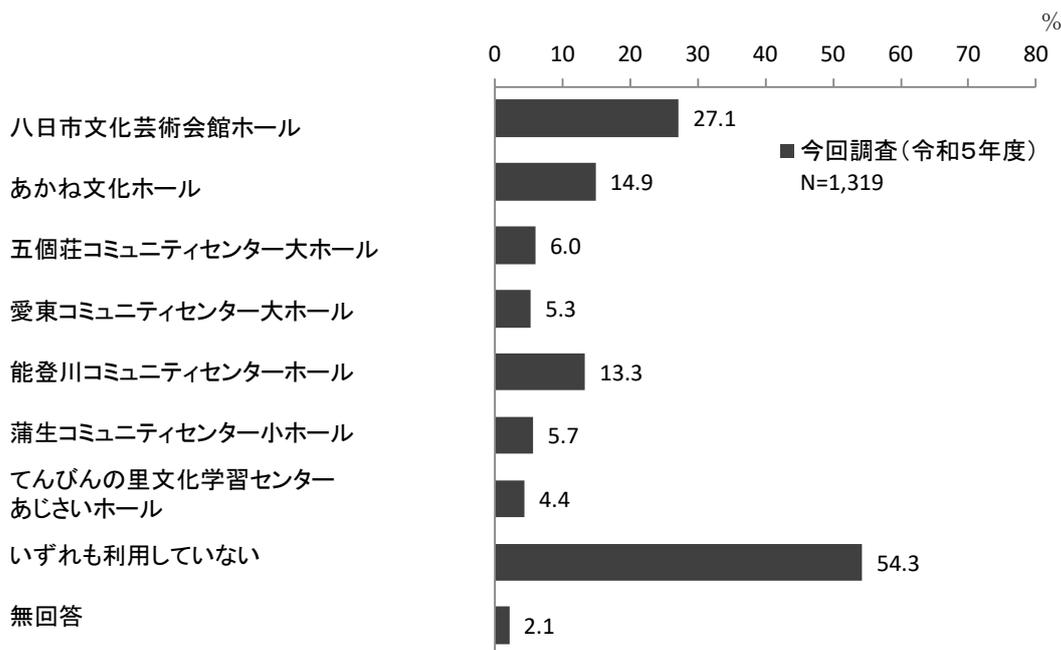
区分	有効回答数(件)	市役所	園・学校	保健センター	民生委員児童委員	警察	子ども家庭相談センター	虐待ホットライン	児童相談所全国共通ダイヤル189	その他	通報先を知らない	通報しない	無回答
平田地区	32	43.8	12.5	12.5	31.3	56.3	18.8	9.4	3.1	0.0	9.4	0.0	3.1
市辺地区	28	35.7	7.1	10.7	28.6	32.1	10.7	14.3	3.6	0.0	7.1	3.6	3.6
玉緒地区	54	24.1	22.2	13.0	22.2	42.6	13.0	13.0	14.8	0.0	14.8	0.0	0.0
御園地区	67	26.9	17.9	9.0	25.4	62.7	10.4	4.5	13.4	0.0	7.5	0.0	1.5
建部地区	50	30.0	16.0	16.0	24.0	52.0	14.0	8.0	8.0	2.0	14.0	0.0	0.0
中野地区	66	30.3	16.7	13.6	12.1	50.0	13.6	16.7	9.1	1.5	9.1	1.5	0.0
八日市地区	128	26.6	12.5	8.6	7.0	57.0	10.2	9.4	13.3	3.9	12.5	1.6	1.6
南部地区	43	41.9	23.3	9.3	7.0	51.2	16.3	11.6	11.6	0.0	11.6	2.3	0.0
永源寺地区	69	34.8	27.5	11.6	34.8	60.9	13.0	11.6	10.1	0.0	7.2	0.0	1.4
五個荘地区	140	30.7	19.3	12.9	20.0	52.1	15.0	21.4	9.3	2.9	6.4	0.0	0.7
愛東地区	60	31.7	18.3	8.3	35.0	43.3	8.3	13.3	15.0	3.3	8.3	0.0	0.0
湖東地区	110	30.0	15.5	13.6	21.8	44.5	13.6	13.6	7.3	1.8	10.0	2.7	2.7
能登川地区	274	32.5	14.6	7.3	24.8	45.6	15.0	13.5	10.6	1.8	8.8	1.1	1.8
蒲生地区	180	29.4	16.1	10.0	13.3	57.8	11.7	15.6	9.4	0.6	13.3	0.0	1.1
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 37 あなたはこの5年間に、文化芸術の鑑賞や活動を行うために、ホールを利用しましたか。以下のうち、利用したことのある施設をすべてお選びください。《あてはまるものすべてに○》※ホール以外の施設（会議室等）の利用は除く。

4割が文化芸術の鑑賞や活動のために八日市文化芸術会館ホールなどを利用

- ・ この5年間に、文化芸術の鑑賞や活動を行うためにホールを利用したかについては、「いずれも利用していない」が54.3%と半数が利用していないと回答しています。一方、利用した人の割合*は43.6%で、利用したことがある施設としては、「八日市文化芸術会館ホール」が27.1%で最も多く、次いで「あかね文化ホール」が14.9%、「能登川コミュニティセンターホール」が13.3%と続きます。
- ・ 性別、年代別、居住地区別のいずれも「いずれも利用していない」が最も多くなっています。
- ・ 特に、性別では男性で6割近く、年代別では20歳代で8割近く、居住地区別では平田地区で7割近くと、「いずれも利用していない」人の割合が高くなっています。
- ・ 「八日市文化芸術会館ホール」は御園地区、市辺地区、玉緒地区などを中心に比較的多くの地区で利用されていますが、ほかのホールについては、地元地区での利用が多い傾向があります。

*有効回答数（1,319件）に対する「いずれも利用していない」と「無回答」を除いた575件の割合



【性別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	八日市文化芸術会館ホール	あかね文化ホール	五個荘コミュニティセンター大ホール	愛東コミュニティセンター大ホール	能登川コミュニティセンターホール	蒲生コミュニティセンター小ホール	せんびんの里文化学習センターあじさいホール	いずれも利用していない	無回答
男性	575	24.7	12.0	5.6	4.9	11.8	4.0	4.0	58.1	1.4
女性	719	29.6	17.5	6.3	5.6	14.5	7.0	4.7	51.2	2.5

【年代別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	八日市文化芸術会館ホール	あかね文化ホール	五個荘コミュニティセンター大ホール	愛東コミュニティセンター大ホール	能登川コミュニティセンターホール	蒲生コミュニティセンター小ホール	せんびんの里文化学習センターあじさいホール	いずれも利用していない	無回答
10歳代	24	29.2	12.5	8.3	0.0	12.5	4.2	0.0	54.2	0.0
20歳代	86	9.3	4.7	1.2	2.3	2.3	3.5	1.2	79.1	1.2
30歳代	162	17.3	4.9	3.1	1.2	3.7	1.9	4.9	69.8	0.0
40歳代	180	28.3	17.8	6.1	3.3	15.0	5.0	2.8	55.6	1.7
50歳代	213	23.0	14.1	4.7	3.8	12.7	4.7	4.2	63.4	0.0
60歳代	275	28.4	15.3	6.2	8.7	11.6	4.7	4.4	52.0	1.1
70歳以上	371	36.1	20.2	8.9	7.5	20.8	9.4	6.2	37.7	5.7

【居住地区別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	八日市文化芸術会館ホール	あかね文化ホール	五個荘コミュニティセンター大ホール	愛東コミュニティセンター大ホール	能登川コミュニティセンターホール	蒲生コミュニティセンター小ホール	せんびんの里文化学習センターあじさいホール	いずれも利用していない	無回答
平田地区	32	18.8	15.6	0.0	3.1	9.4	9.4	0.0	68.8	9.4
市辺地区	28	39.3	21.4	3.6	10.7	7.1	17.9	0.0	50.0	3.6
玉緒地区	54	38.9	18.5	1.9	3.7	7.4	7.4	3.7	53.7	0.0
御園地区	67	40.3	16.4	3.0	9.0	4.5	4.5	7.5	50.7	3.0
建部地区	50	36.0	10.0	4.0	8.0	2.0	0.0	2.0	62.0	0.0
中野地区	66	37.9	13.6	1.5	1.5	7.6	6.1	4.5	54.5	3.0
八日市地区	128	26.6	9.4	1.6	3.1	2.3	1.6	1.6	64.8	4.7
南部地区	43	27.9	14.0	0.0	0.0	2.3	2.3	4.7	60.5	2.3
永源寺地区	69	31.9	8.7	4.3	10.1	2.9	0.0	2.9	59.4	2.9
五個荘地区	140	25.0	6.4	28.6	1.4	11.4	0.7	15.0	52.9	2.9
愛東地区	60	35.0	13.3	5.0	38.3	1.7	5.0	0.0	50.0	0.0
湖東地区	110	29.1	10.0	2.7	7.3	4.5	0.9	1.8	60.0	2.7
能登川地区	274	17.9	8.0	5.1	1.5	44.5	1.1	5.5	48.2	0.7
蒲生地区	180	22.2	39.4	2.8	2.2	2.2	24.4	1.7	50.0	1.1
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(6) 都市整備について

問 38 市内の都市基盤の整備に対する満足度をお答えください。《①～⑤それぞれの項目に○1つ》

総合評価は、主要幹線道路、雨水排水、河川、公園、地域の生活道路の順

- ・ 都市基盤の整備に対する満足度については、満足（「満足」と「どちらかといえば満足」の合計）の割合と、不満（「どちらかといえば不満」と「不満」の合計）の割合を比べると、②地域の生活道路の整備と⑤公園の整備を除き、満足の割合が高くなっています。
- ・ 満足（前述）とする人が多い順に並べると、①主要幹線道路の整備、②地域の生活道路の整備、④雨水排水の整備、⑤公園の整備、③河川の整備となっています。一方、不満（前述）とする人が多い項目は、②地域の生活道路の整備、①主要幹線道路の整備、⑤公園の整備となっています。
- ・ 満足と不満の両方から見た総合的な評価（加重平均）は、全てマイナス評価となっています。その中でも評価が高い順に並べると、①主要幹線道路の整備、④雨水排水の整備、③河川の整備、⑤公園の整備、②地域の生活道路の整備の順となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、総合評価では、④雨水排水の整備は評価が上がっていますが、ほかの項目では評価が下がっており、特に①主要幹線道路の整備はプラス評価からわずかですがマイナス評価へと転じています。

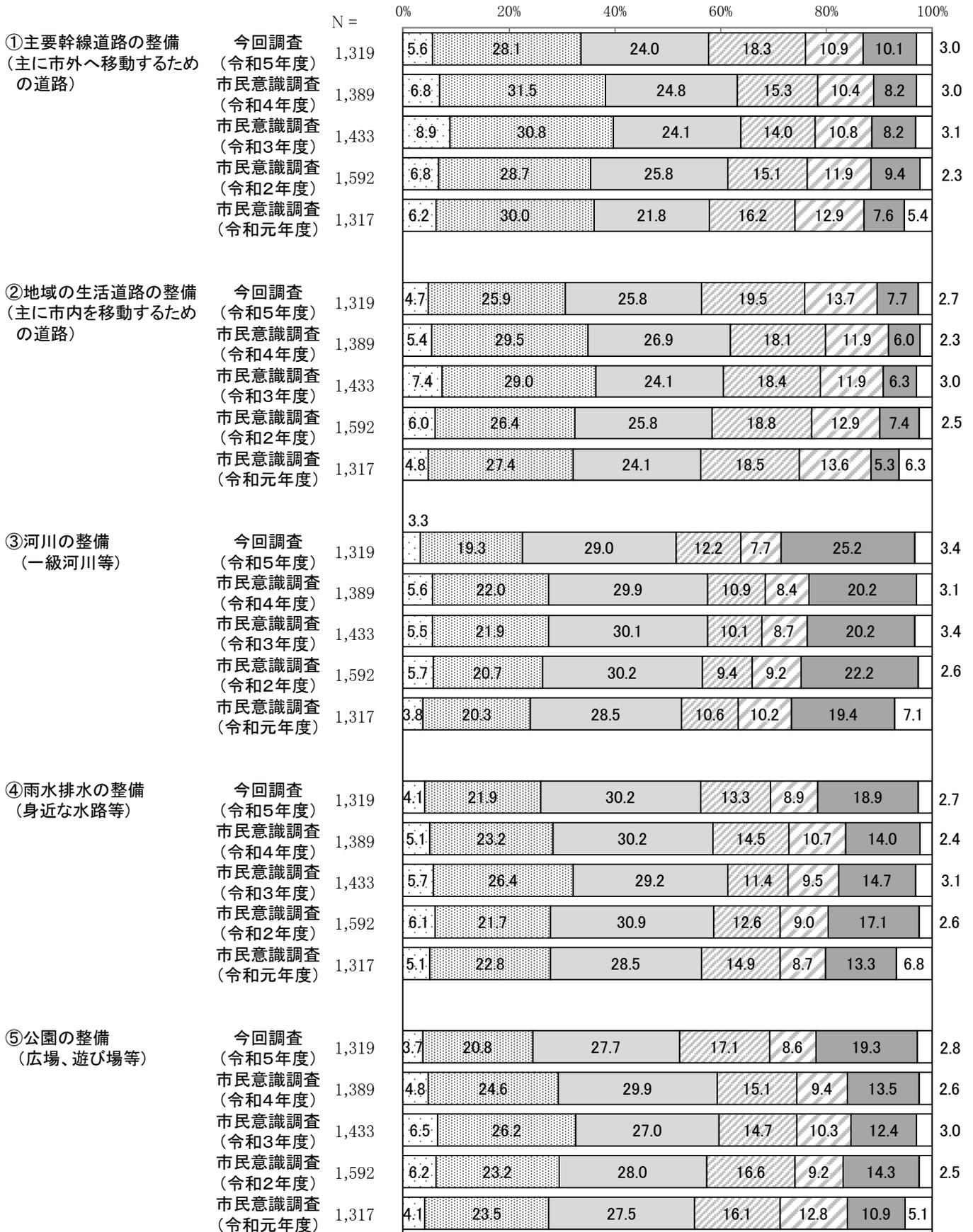
	満足*	不満*	加重平均*
①主要幹線道路の整備(主に市外へ移動するための道路)	33.7% (-4.6)	29.2% (+3.5)	-0.008 (-0.098)
②地域の生活道路の整備(主に市内を移動するための道路)	30.6% (-4.3)	33.2% (+3.2)	-0.117 (-0.102)
③河川の整備(一級河川等)	23.1% (-4.5)	19.9% (+0.6)	-0.017 (-0.083)
④雨水排水の整備(身近な水路等)	26.0% (-2.3)	22.2% (-3.0)	-0.011 (+0.013)
⑤公園の整備(広場、遊び場等)	24.5% (-4.9)	25.7% (+1.2)	-0.061 (-0.062)

* 満足:「満足」と「どちらかといえば満足」の合計

* 不満:「どちらかといえば不満」と「不満」の合計

* 加重平均:「満足」は+2点、「どちらかといえば満足」は+1点、「どちらかといえば不満」は-1点、「不満」は-2点、「どちらともいえない」と「わからない」は0点として加算し、その平均値を出したもの。値が大きいほど満足度が高く、値が小さいほど満足度が低いといえる。

※()内の数値は令和4年度との差を示している。



① 主要幹線道路の整備

- ・ 性別では、女性の満足度（加重平均による総合評価、以下同様）が男性より高くなっています（男性はマイナス評価）。
- ・ 年代別では、20歳代で満足度が高く、10歳代や50～60歳代で満足度が低くマイナス評価となっています。
- ・ 居住地区別では、愛東地区、中野地区、能登川地区などで満足度が高く、平田地区、湖東地区、南部地区などで満足度が低くマイナス評価となっています。

② 地域の生活道路の整備

- ・ 性別では、男女ともにマイナス評価ですが、男性より女性の評価が高くなっています。
- ・ 年代別では、20歳代はプラス評価、30歳代は土ゼロの評価ですが、ほかの年代はマイナス評価となっています。
- ・ 居住地区別では、建部地区、愛東地区、玉緒地区で満足度が高くプラス評価、中野地区で土ゼロの評価ですが、そのほかの地区はマイナス評価で、特に南部地区、平田地区、蒲生地区、湖東地区などで満足度が低くなっています。

③ 河川の整備

- ・ 性別では、女性の満足度が男性よりやや高くなっています（男性はマイナス評価）。
- ・ 年代別では、40歳代までで満足度が高く（20歳代が最も高い。）、50歳以上で満足度が低くマイナス評価となっています。
- ・ 居住地区別では、建部地区、八日市地区などで満足度が高い一方、マイナス評価の地区の中でも特に永源寺地区、平田地区などで満足度が低くなっています。

④ 雨水排水の整備

- ・ 性別では、女性の満足度が男性よりやや高くなっています（男性はマイナス評価）。
- ・ 年代別では、10～30歳代で満足度が高く、50～60歳代で満足度が低くマイナス評価となっています。
- ・ 居住地区別では、愛東地区、建部地区などで満足度が高く、南部地区、平田地区、蒲生地区などで満足度が低くマイナス評価となっています。

⑤ 公園の整備

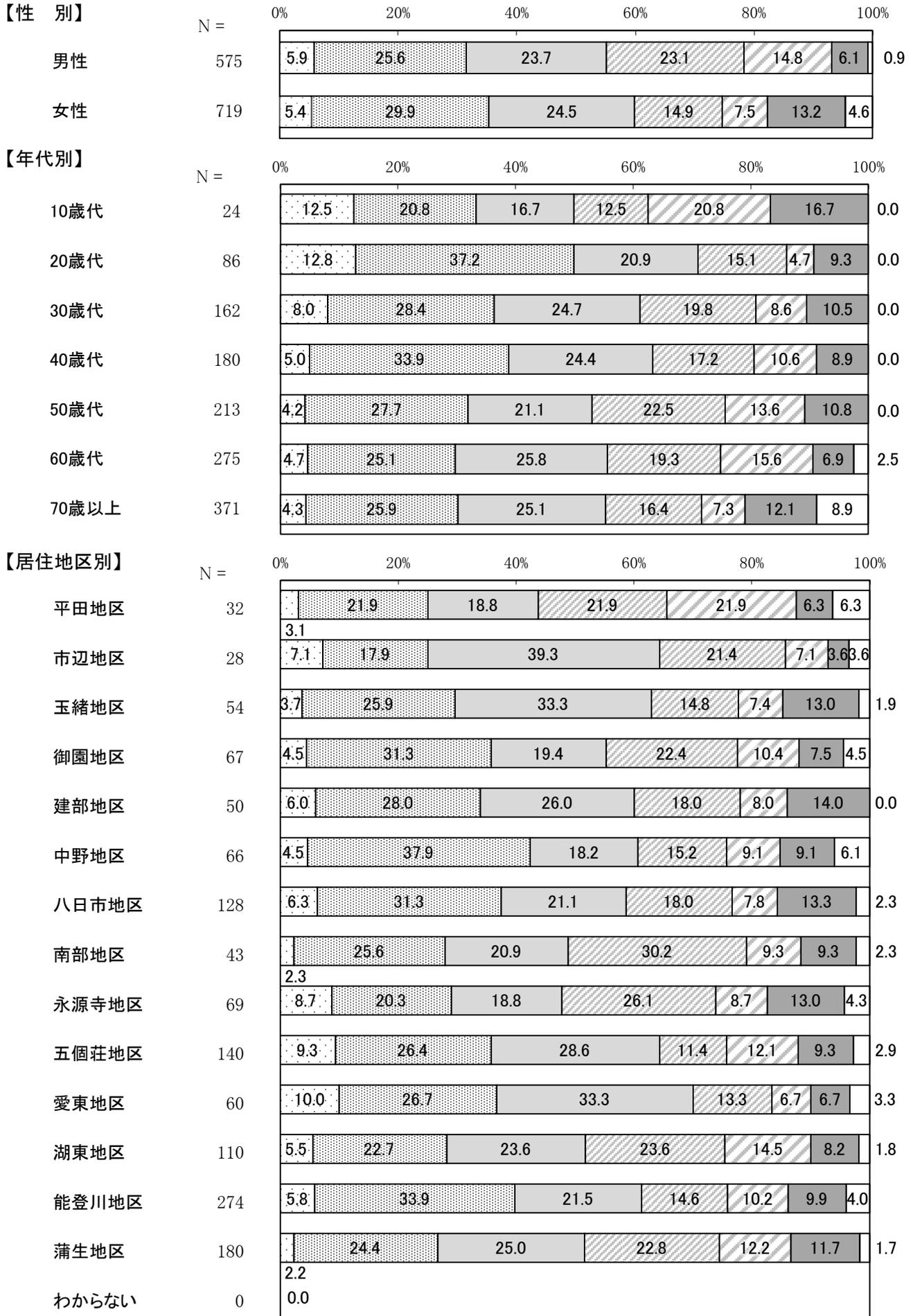
- ・ 性別では、男女ともにマイナス評価ですが、男性より女性の評価が高くなっています。
- ・ 年代別では、20歳代で満足度が高く、50歳以上で満足度が低くマイナス評価となっています（60歳代で最も低い。）。
- ・ 居住地区別では、市辺地区などで満足度が高い一方、マイナス評価の地区の中でも特に南部地区などで満足度が低くなっています。

■性別・年代別・居住地区別の比較(加重平均)

	①主要幹線道路	②地域の生活道路	③河川	④雨水排水	⑤公園
全体	-0.008	-0.117	-0.017	-0.011	-0.061
男性	-0.153	-0.256	-0.073	-0.057	-0.103
女性	0.108	-0.008	0.015	0.018	-0.036
10歳代	-0.083	-0.250	0.167	0.167	0.042
20歳代	0.384	0.035	0.256	0.186	0.209
30歳代	0.074	0.000	0.241	0.216	0.099
40歳代	0.056	-0.089	0.111	0.033	0.033
50歳代	-0.136	-0.324	-0.061	-0.136	-0.164
60歳代	-0.160	-0.196	-0.145	-0.171	-0.225
70歳以上	0.035	-0.024	-0.151	0.003	-0.070
平田地区	-0.375	-0.281	-0.406	-0.219	-0.156
市辺地区	-0.036	-0.143	0.071	0.000	0.143
玉緒地区	0.037	0.019	0.093	0.056	-0.093
御園地区	-0.030	-0.119	0.030	0.149	-0.030
建部地区	0.060	0.180	0.240	0.240	-0.220
中野地区	0.136	0.000	0.045	0.000	0.030
八日市地区	0.102	-0.023	0.203	0.039	0.047
南部地区	-0.186	-0.349	0.093	-0.256	-0.302
永源寺地区	-0.058	-0.130	-0.420	0.014	-0.217
五個荘地区	0.093	-0.129	0.050	0.043	0.064
愛東地区	0.200	0.133	-0.067	0.250	0.017
湖東地区	-0.191	-0.236	-0.082	-0.045	0.055
能登川地区	0.106	-0.091	-0.011	-0.026	-0.036
蒲生地区	-0.183	-0.250	-0.128	-0.206	-0.267



① 主要幹線道路の整備(主に市外へ移動するための道路)



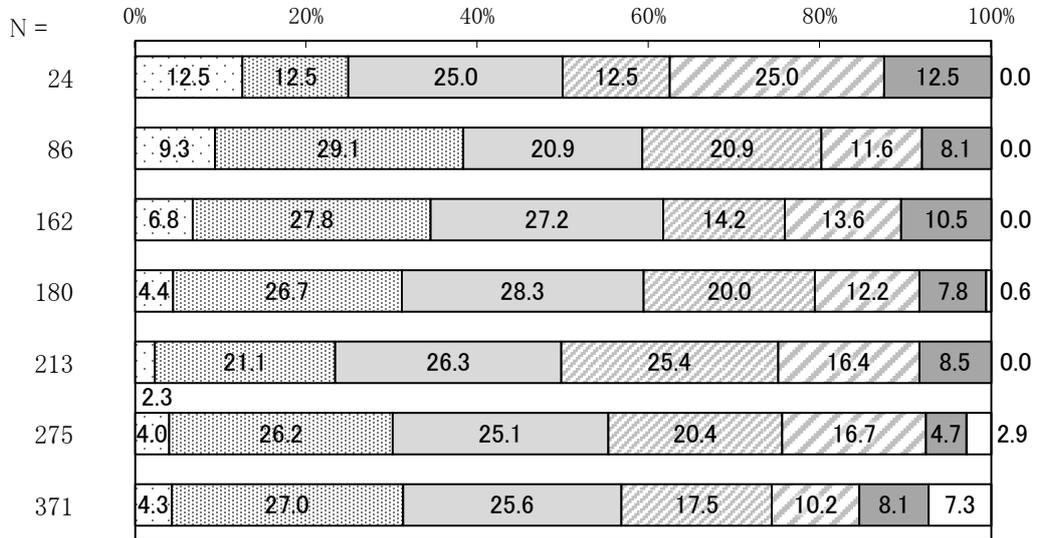


② 地域の生活道路の整備(主に市内を移動するための道路)

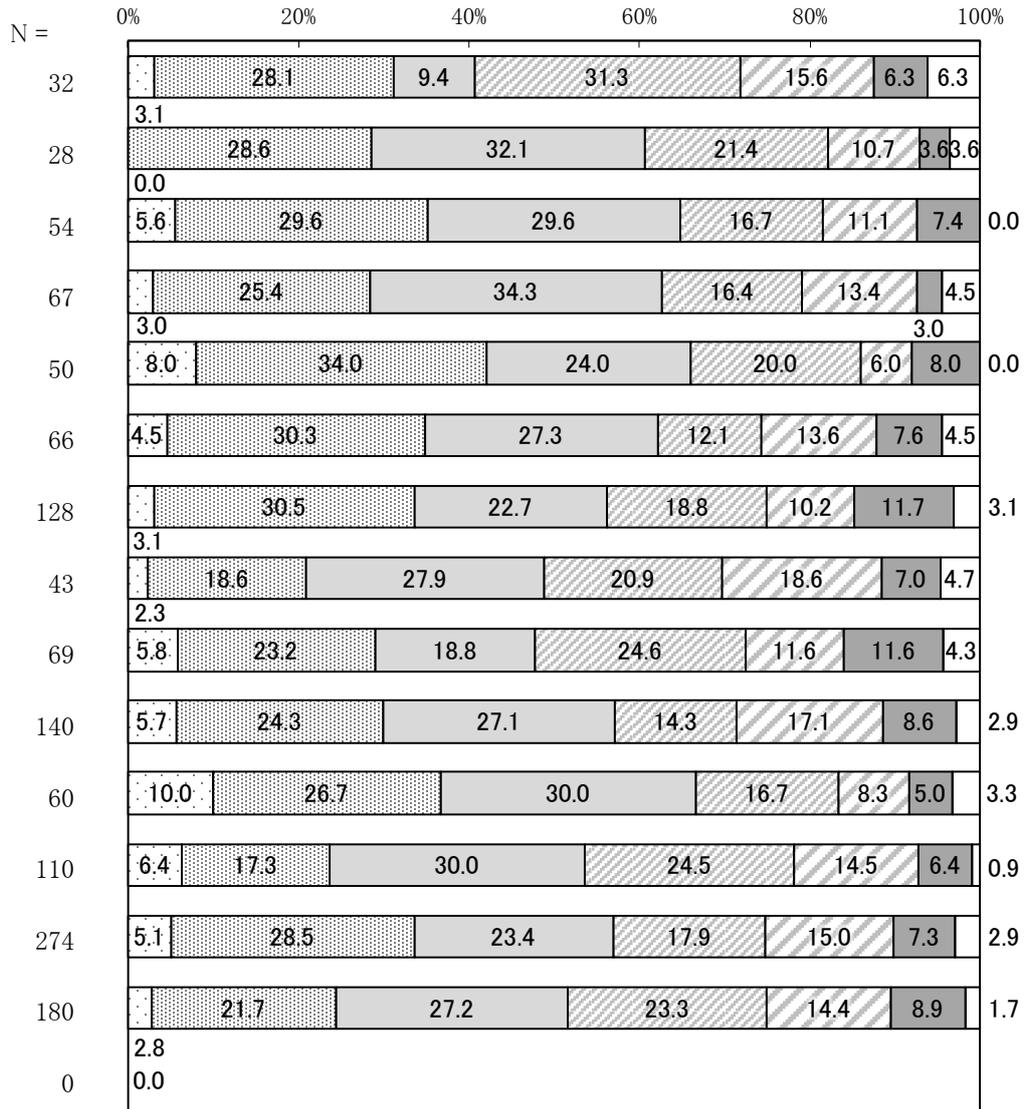
【性別】



【年代別】

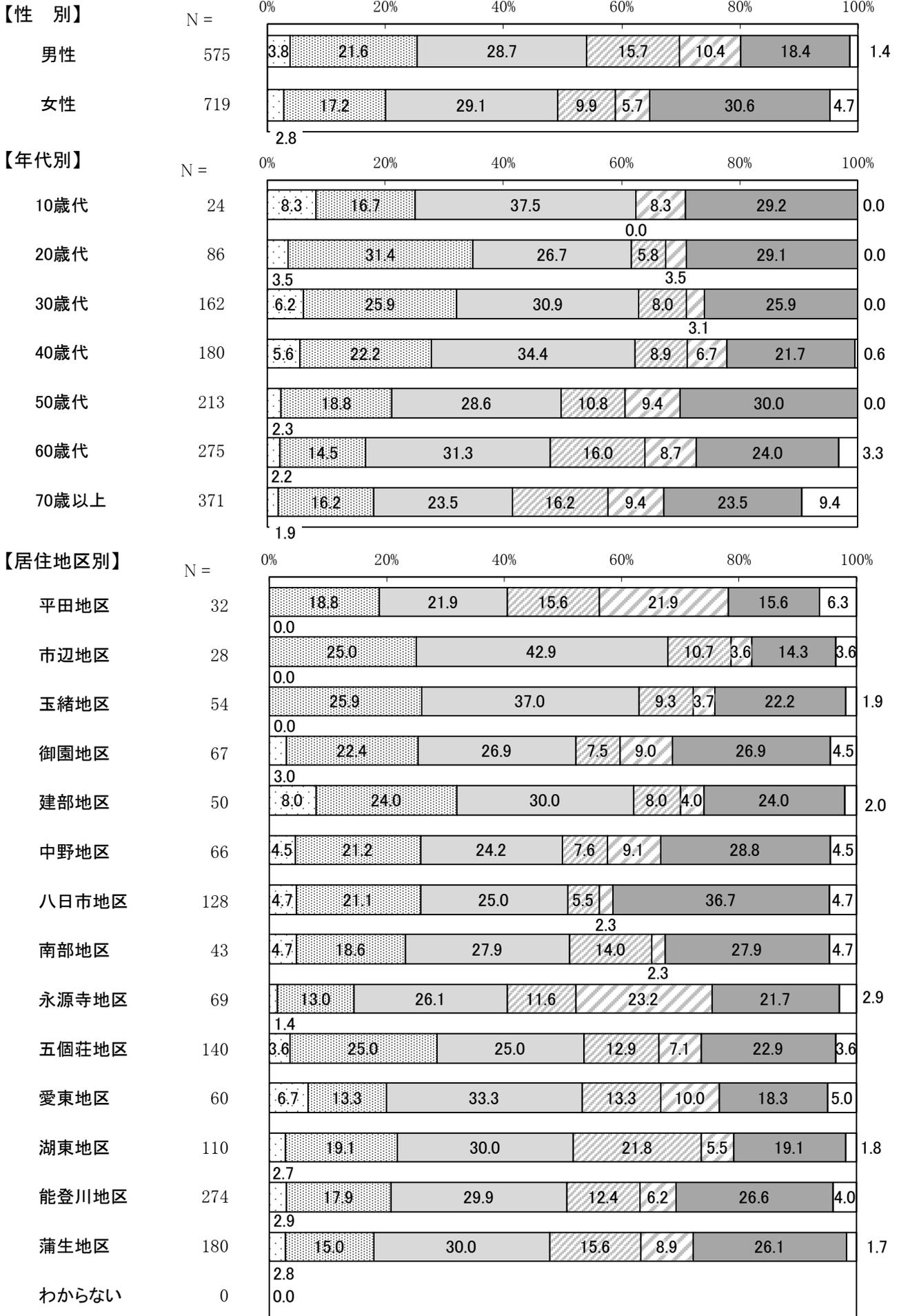


【居住地区別】





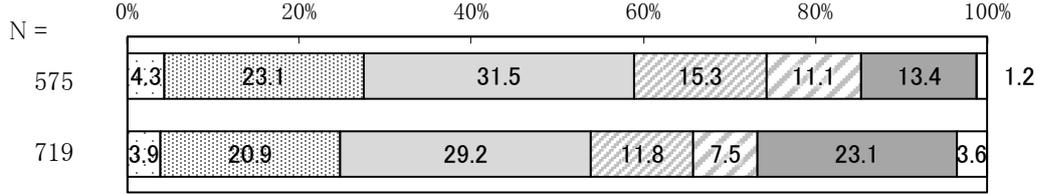
③ 河川の整備(一級河川等)



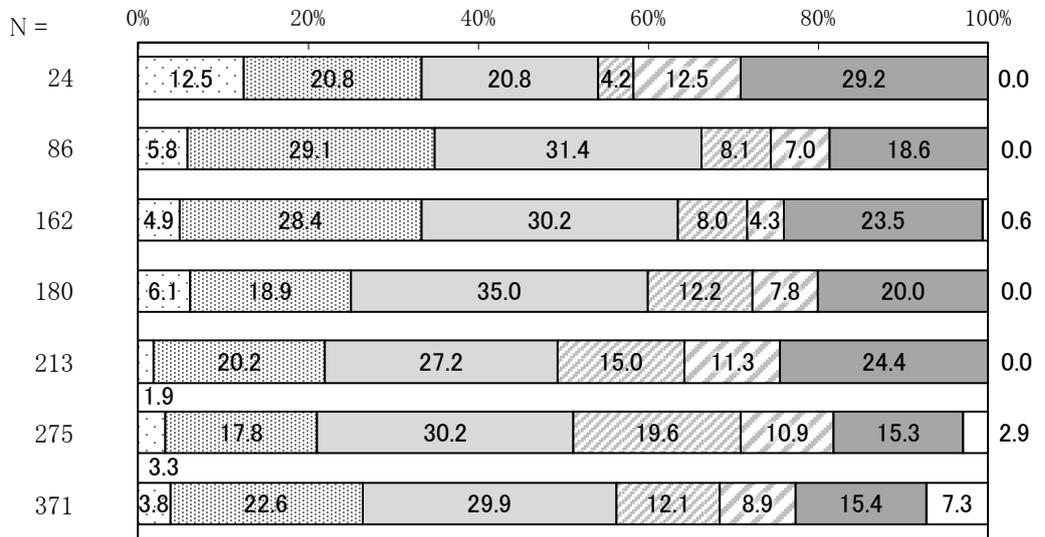


④ 雨水排水の整備(身近な水路等)

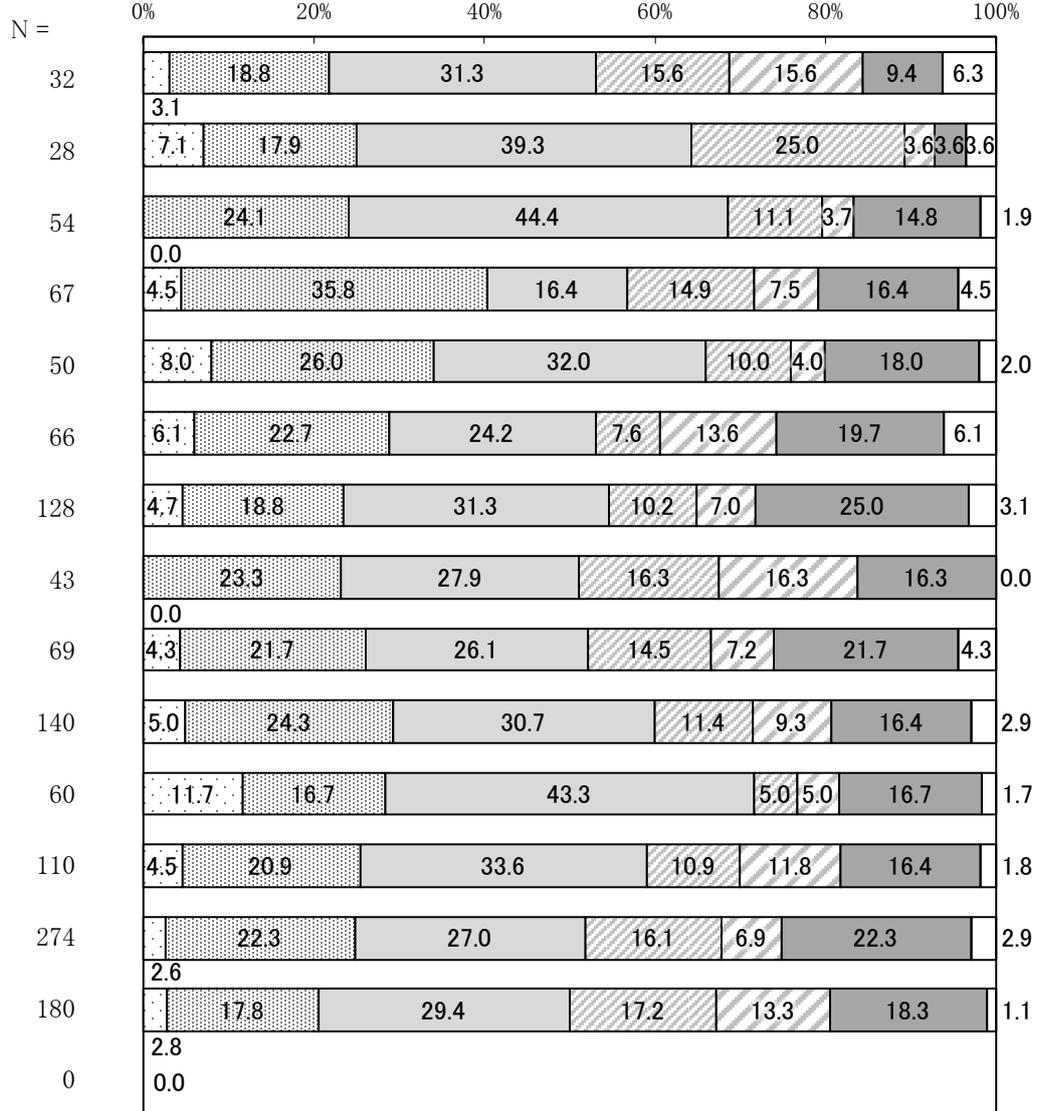
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



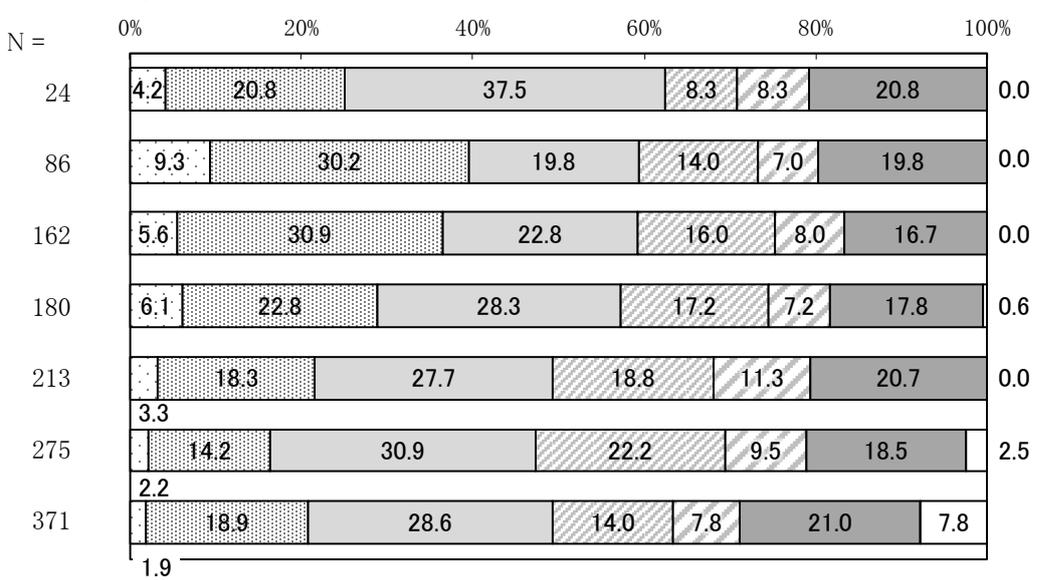


⑤ 公園の整備(広場、遊び場等)

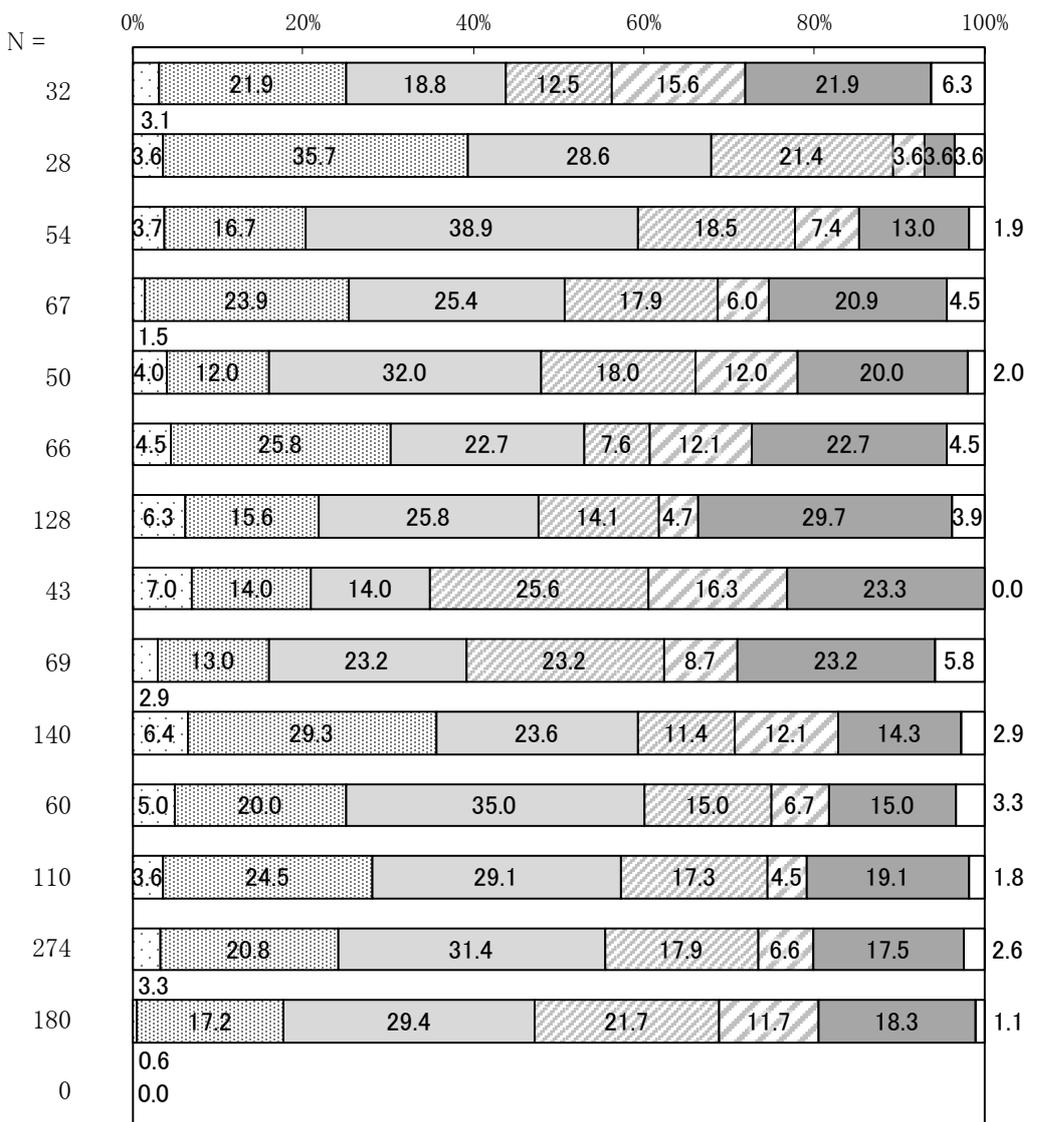
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



(7) 購買状況等について

問 39 あなたは、日頃、食品や日用雑貨品、衣料品を主にどこで購入しますか。《①～③それぞれの項目に○1つ》

食品は8割、日用雑貨品は7割が市内で購入、衣料品は4割が市外で購入

- ・ 食品、日用雑貨品、衣料品の購入先は、主に「東近江市内」で購入している人が①食品は80.1%で8割、②日用雑貨品は72.1%で7割となっています。一方、③衣料品については、42.7%が市外（カタログ通販やネットショッピング、その他を除く）で購入しており、その内訳としては「近江八幡市」が13.9%、「彦根市」が5.7%などとなっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、変動はあるものの過去5年間、①食品の購入先は「市内」がおおむね8割となっています。③衣料品の購入先として、「ネットショッピング」の割合が増加傾向にあります。

単位：%

		全 体	市 内	近江八幡市	彦根市	甲賀市	その他 県内市町	県 外	カタログ通販	ネット ショッピング	その他	無回答
①食品	今回調査 (令和5年度)	1,319	80.1	5.2	2.2	2.3	5.0	0.3	0.6	0.3	1.4	2.6
	市民意識調査 (令和4年度)	1,389	81.7	4.0	2.5	2.4	4.8	0.2	0.4	0.4	0.9	2.6
	市民意識調査 (令和3年度)	1,433	81.5	4.2	2.4	2.5	5.2	0.0	0.3	0.4	1.1	2.4
	市民意識調査 (令和2年度)	1,592	82.7	3.2	2.1	2.2	5.4	0.3	0.4	0.2	0.8	2.8
	市民意識調査 (令和元年度)	1,317	81.5	3.2	2.7	2.2	3.6	0.2	0.5	0.4	1.4	4.3

②日用雑貨品	今回調査 (令和5年度)	1,319	72.1	7.3	2.2	2.5	6.7	0.5	0.5	4.4	0.9	3.0
	市民意識調査 (令和4年度)	1,389	71.6	7.3	2.9	2.8	6.0	0.8	0.6	4.2	0.6	3.1
	市民意識調査 (令和3年度)	1,433	73.6	6.3	3.3	2.7	6.6	0.3	0.2	3.7	0.8	2.6
	市民意識調査 (令和2年度)	1,592	74.3	5.5	2.9	2.4	6.5	0.6	0.5	2.9	0.6	3.8
	市民意識調査 (令和元年度)	1,317	73.3	6.2	2.9	1.7	6.1	0.4	0.4	3.0	1.1	5.1

③衣料品	今回調査 (令和5年度)	1,319	37.8	13.9	5.7	2.1	15.5	5.5	2.1	11.8	1.0	4.4
	市民意識調査 (令和4年度)	1,389	37.1	15.5	5.8	1.9	14.5	4.1	2.9	11.7	1.5	5.0
	市民意識調査 (令和3年度)	1,433	38.0	16.6	5.2	2.8	14.8	4.4	2.7	9.4	1.4	4.7
	市民意識調査 (令和2年度)	1,592	35.5	19.0	5.3	1.5	15.9	5.7	2.6	8.5	1.1	4.9
	市民意識調査 (令和元年度)	1,317	36.6	14.2	6.2	1.7	16.7	6.9	2.6	6.1	1.9	7.1

① 食品

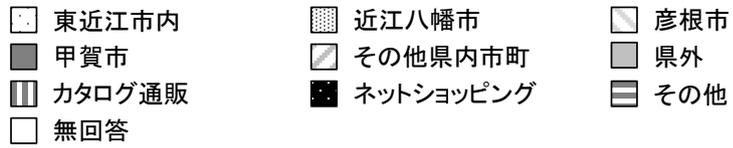
- ・ 性別、年代別、平田地区を除く居住地区別のいずれも「市内」が最も多くなっています。平田地区では「近江八幡市」が最も多くなっています。
- ・ 年代別では、市内で購入している人の割合が、20～30歳代、60歳以上で8割前後となっています。
- ・ 居住地区別では、市内で購入している人の割合が、建部地区、玉緒地区、愛東地区、南部地区、八日市地区で9割以上となっています。そのほか、蒲生地区で「甲賀市」が、湖東地区で「その他県内市町」が、ほかの地区より多くあげられています。

② 日用雑貨品

- ・ 性別、年代別、平田地区を除く居住地区別のいずれも「市内」が最も多くなっています。平田地区では「近江八幡市」が最も多くなっています。
- ・ 年代別では、市内で購入している人の割合が、60歳以上は8割近くと高くなっています。そのほか、10～20歳代で「近江八幡市」がほかの年代より多くあげられています。「ネットショッピング」は20歳代で1割以上とほかの年代より高い傾向が見られます。
- ・ 居住地区別では、市内で購入している人の割合が、南部地区、建部地区で9割以上と高くなっています。そのほか、蒲生地区で「甲賀市」が、湖東地区で「その他県内市町」が、ほかの地区より多くあげられています。

③ 衣料品

- ・ 年代別では、10歳代で「近江八幡市」、「その他県内市町」及び「県外」が、20～40歳代で「ネットショッピング」が、50歳代で「その他県内市町」が、60歳以上で「市内」が最も多くなっています。年齢が上がるほど市内の割合が高くなる傾向があり、70歳以上は6割以上となっています。
- ・ 居住地区別では、いずれも「市内」が最も多くなっていますが、平田地区で「近江八幡市」が、能登川地区で「彦根市」が、蒲生地区で「甲賀市」が、中野地区、五個荘地区で「その他県内市町」が、南部地区で「県外」が、建部地区で「ネットショッピング」がほかの地区より多くあげられています。

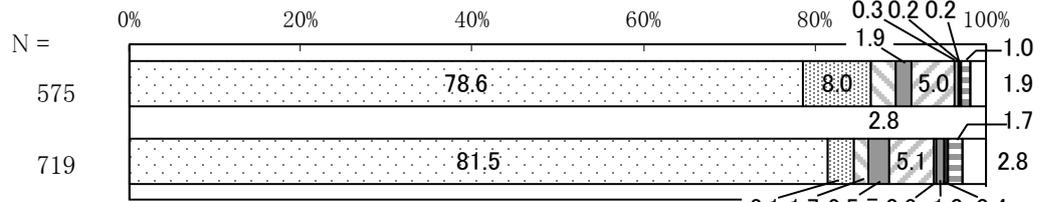


① 食品

【性別】

男性

女性



【年代別】

10歳代

20歳代

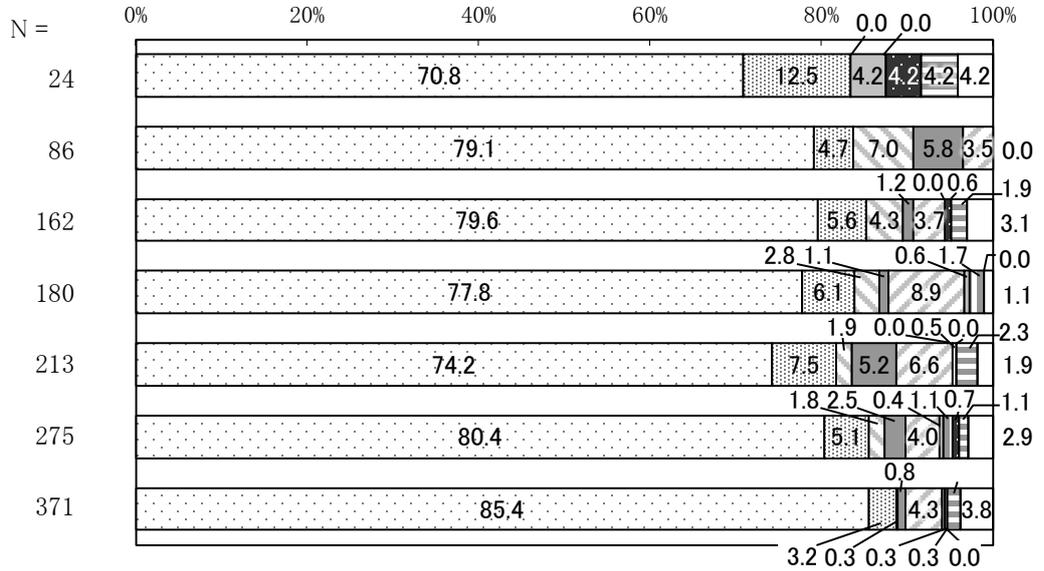
30歳代

40歳代

50歳代

60歳代

70歳以上



【居住地区別】

平田地区

市辺地区

玉緒地区

御園地区

建部地区

中野地区

八日市地区

南部地区

永源寺地区

五個荘地区

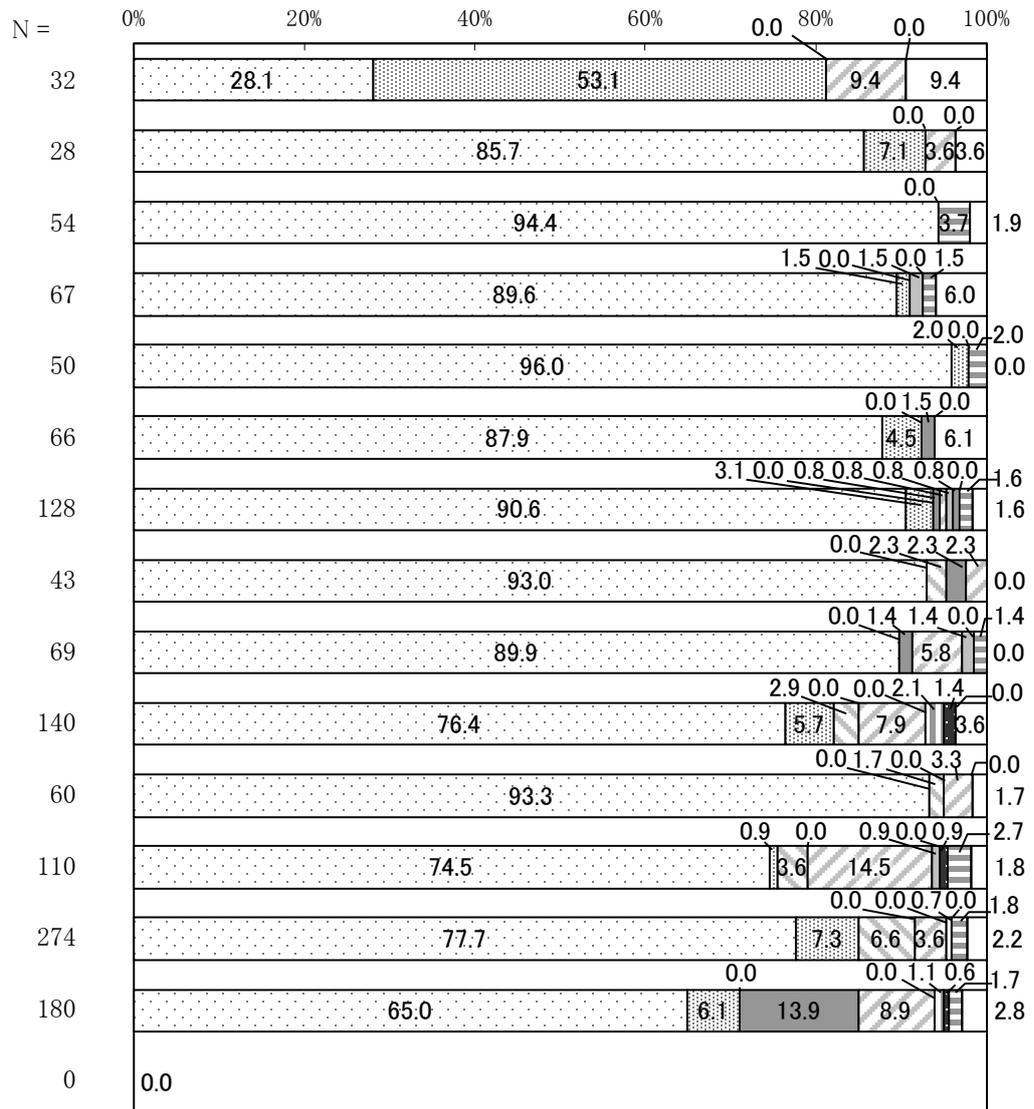
愛東地区

湖東地区

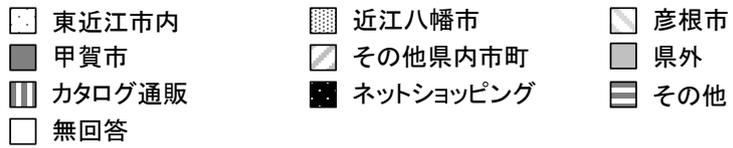
能登川地区

蒲生地区

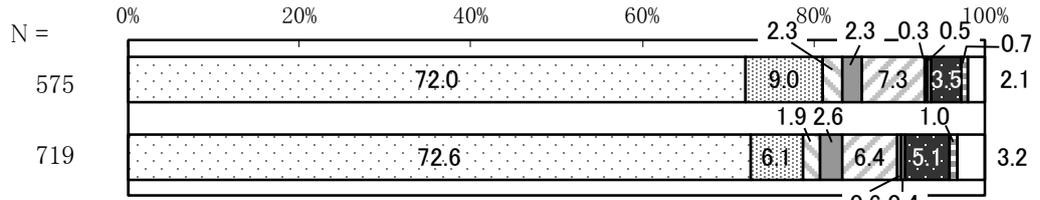
わからない



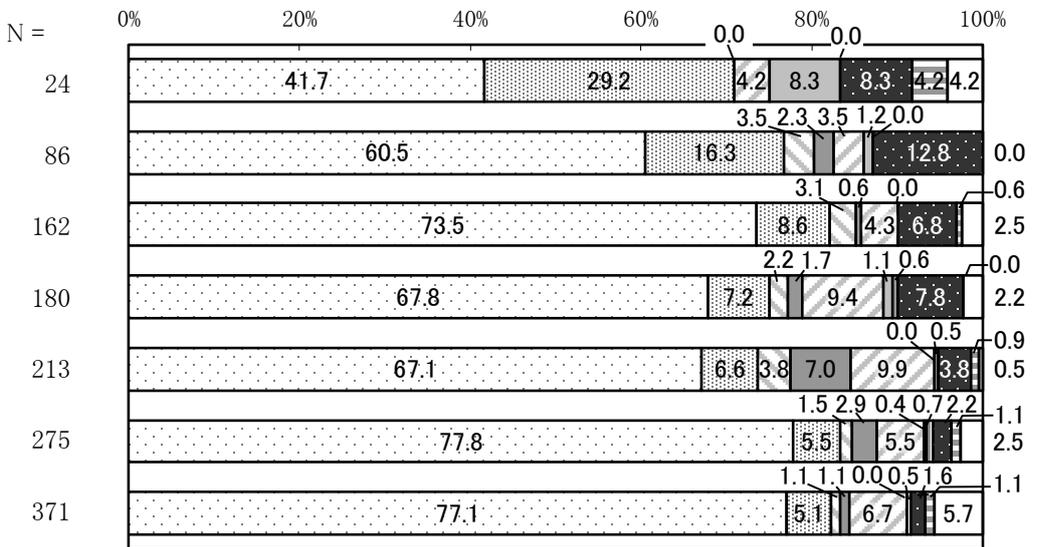
② 日用雑貨品



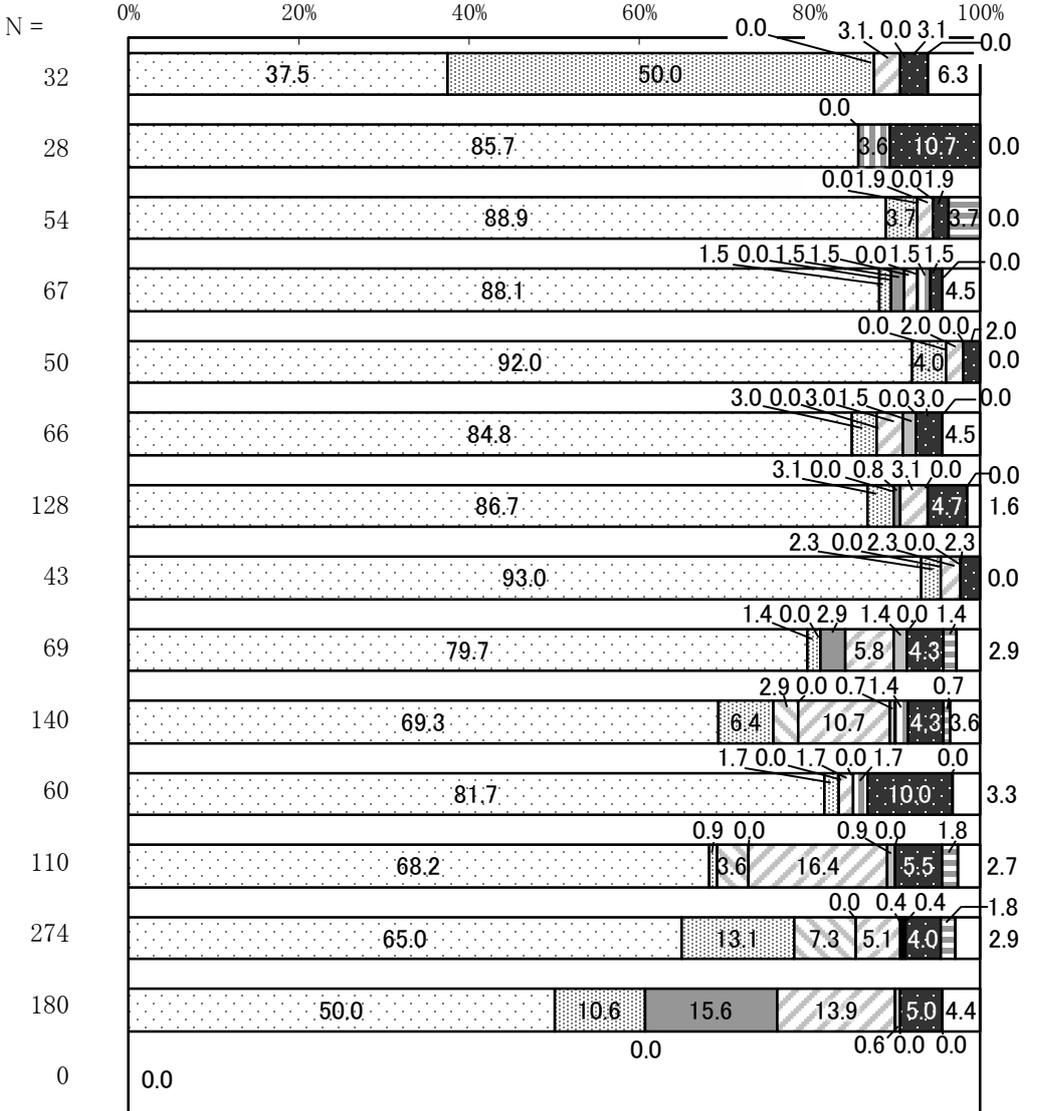
【性別】



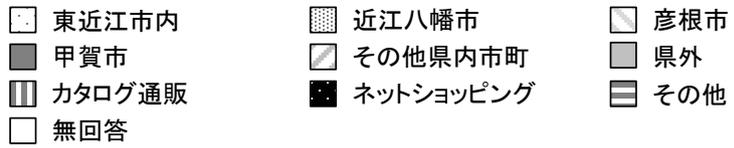
【年代別】



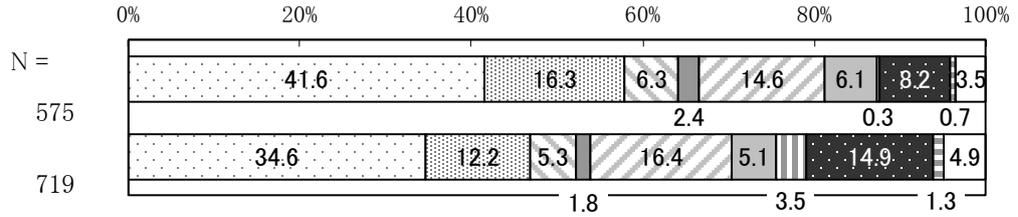
【居住地区別】



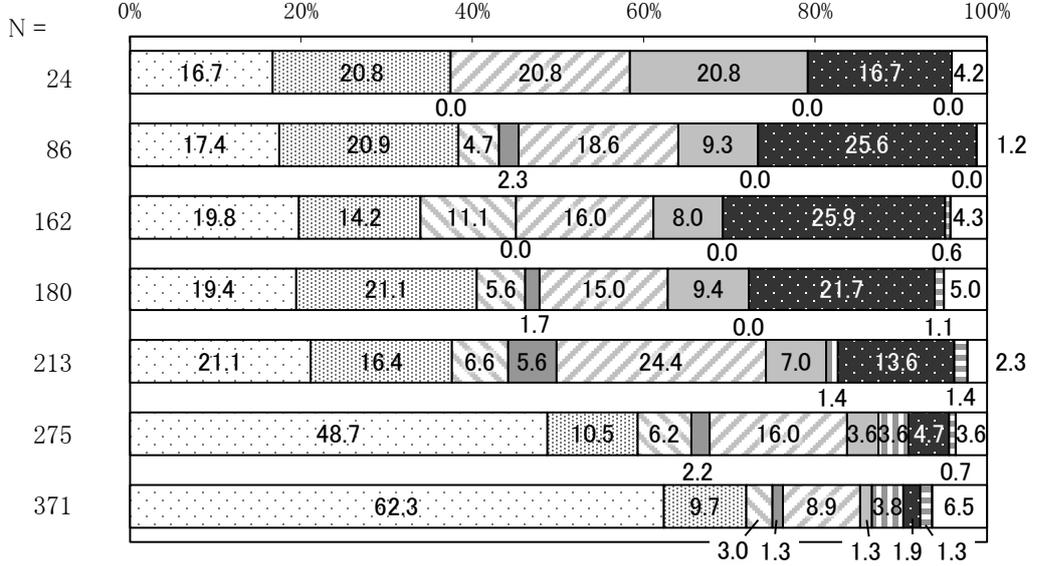
③ 衣料品



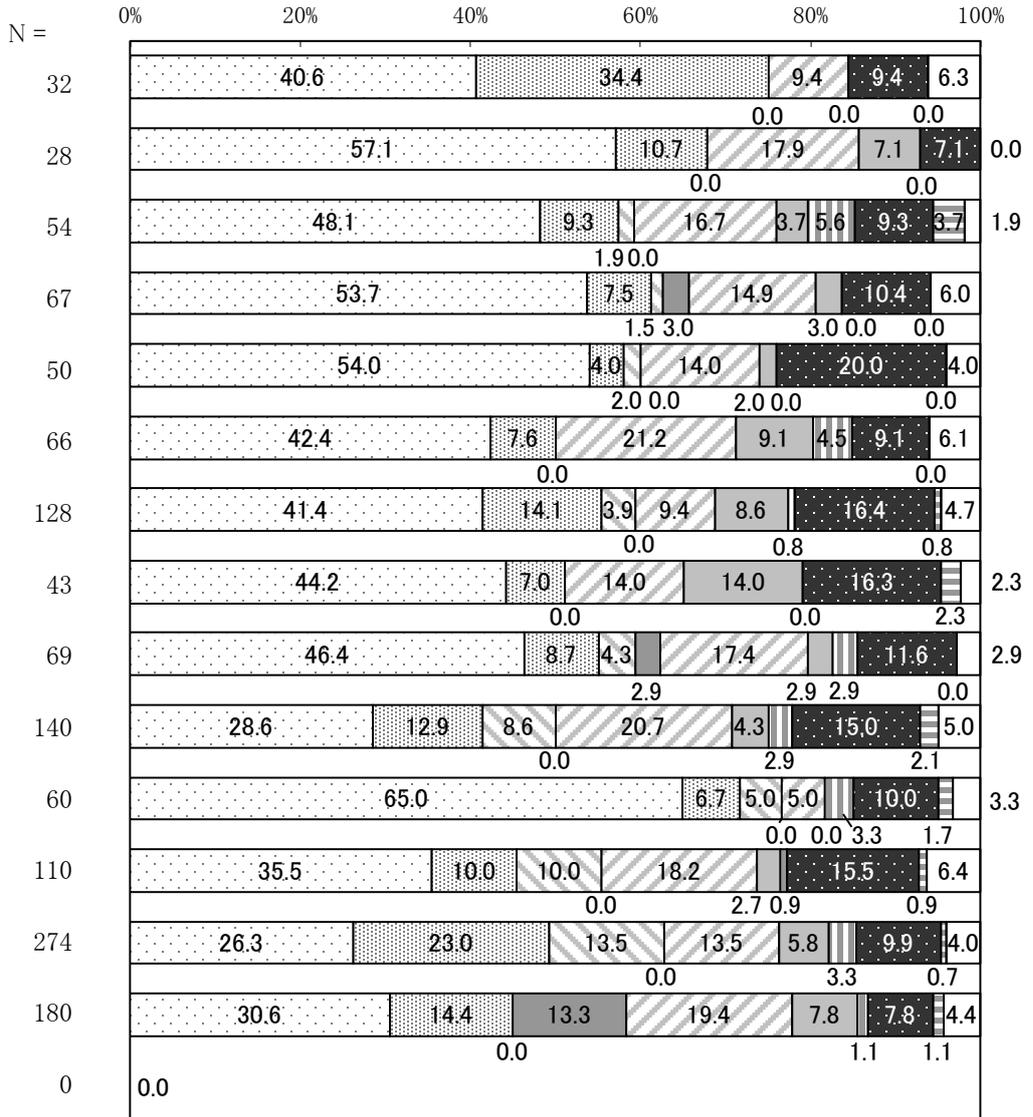
【性別】



【年代別】



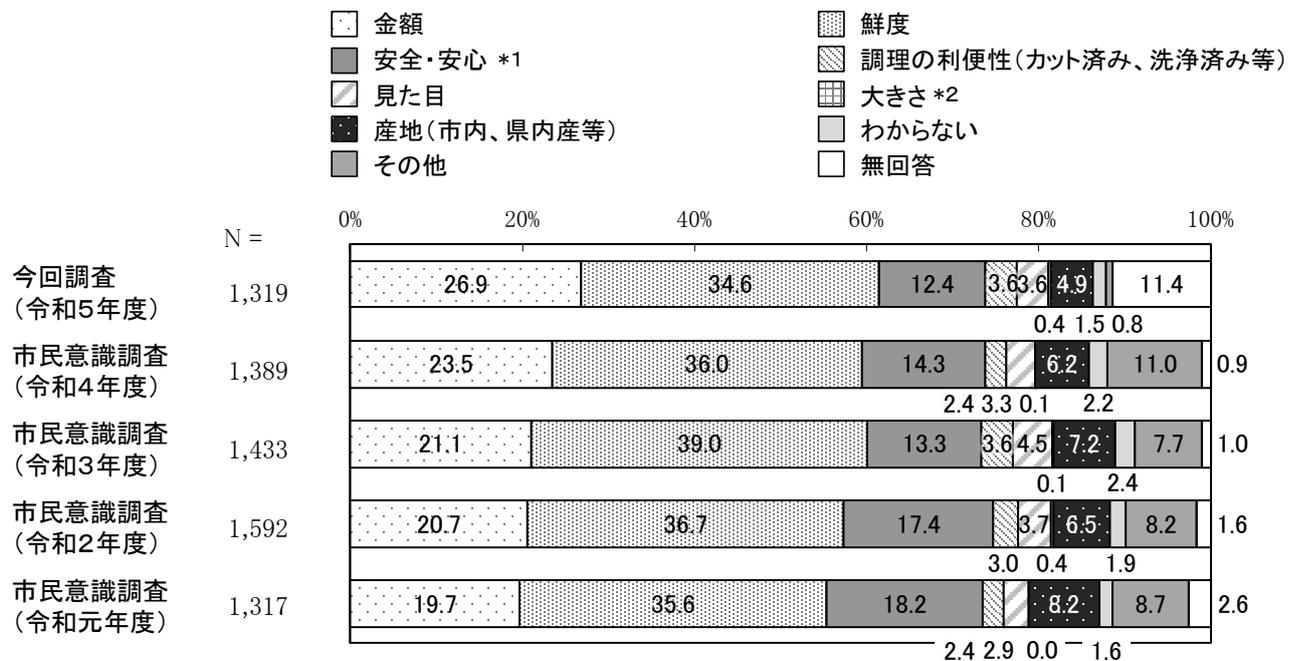
【居住地区別】



問 40 あなたの家庭では野菜等を購入するとき、主に何を基準に選んでいますか（自作している方も不足する野菜を購入する場合）。《〇1つ》

野菜等を購入する際の基準は「鮮度」、「金額」、「安全・安心」

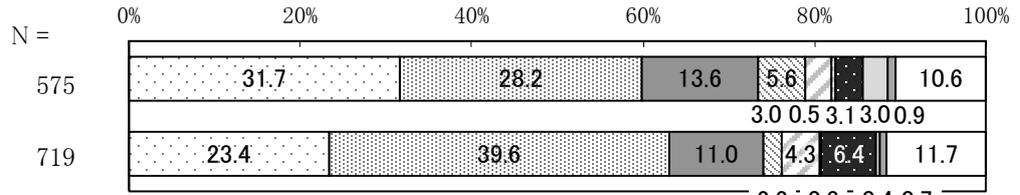
- ・ 野菜等を購入する際の基準としては、「鮮度」が34.6%と最も多く、次いで「金額」が26.9%、「安全・安心」が12.4%と続きます。調理の利便性や見た目より、これらが重視されていることがわかります。
- ・ 過去の調査と比較すると、この5年間で、長引く不況や物価高騰の影響もあってか、「金額」を重視する人の割合が増加する一方で、「安全・安心」を重視する人の割合が減少しています。
- ・ 性別では、男性で「金額」が、女性で「鮮度」が最も多くあげられています。
- ・ 年代別では、40歳代までは「金額」が、50歳以上は「鮮度」が最も多くあげられています。
- ・ 居住地区別では、中野地区、南部地区、八日市地区、玉緒地区で「金額」が、そのほかの地区で「鮮度」が最も多くなっています。そのほか、市辺地区、能登川地区で「安全・安心」が、永源寺地区、玉緒地区で「産地（市内、県内産等）」が、ほかの地区よりやや多くあげられています。



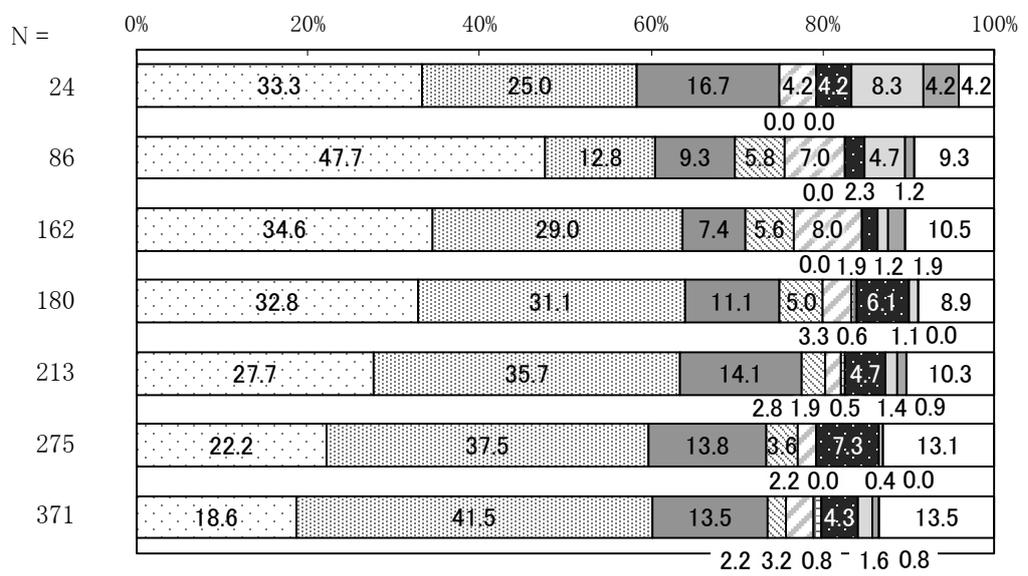
*1 令和2年度まで「安全と安心」
*2 令和2年度から「大きさ」を追加



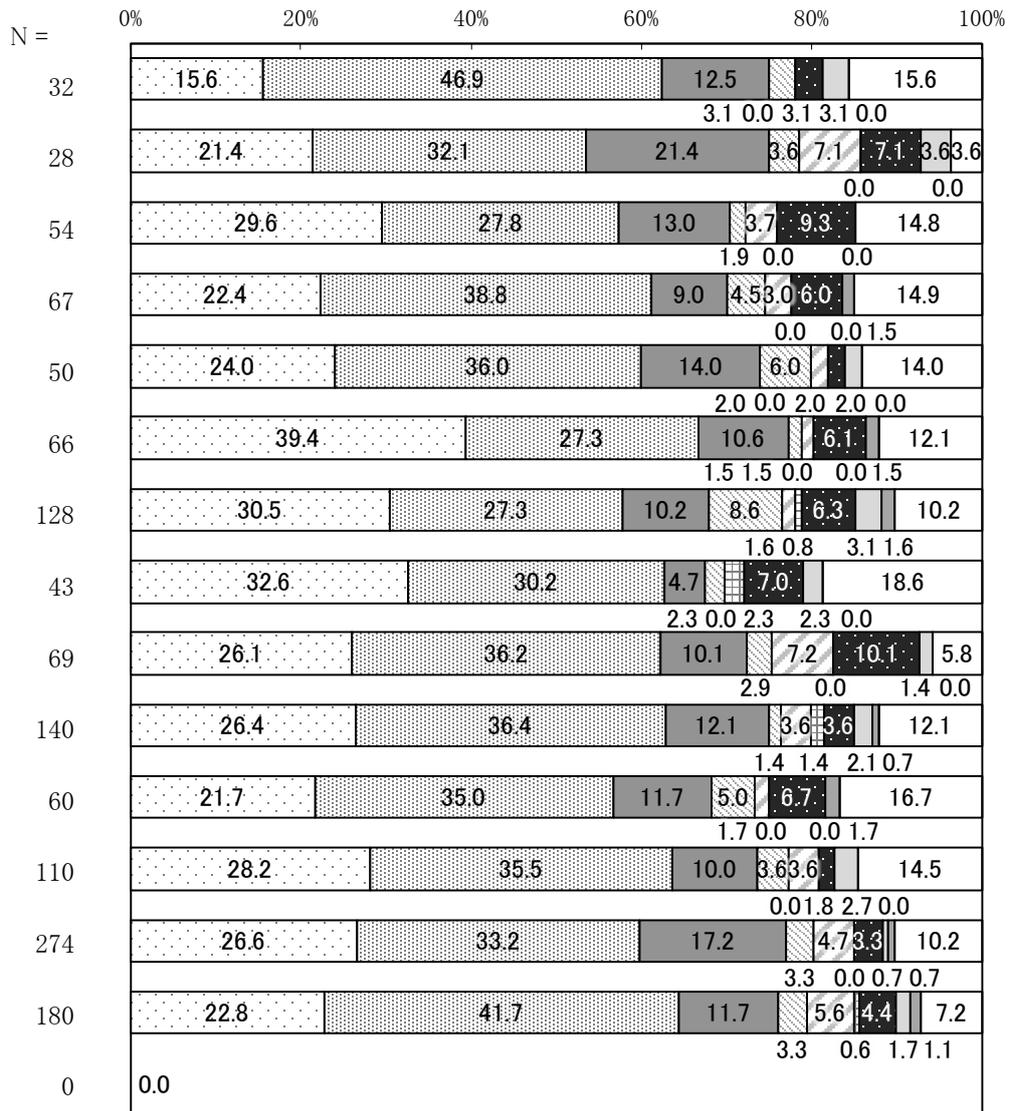
【性別】



【年代別】



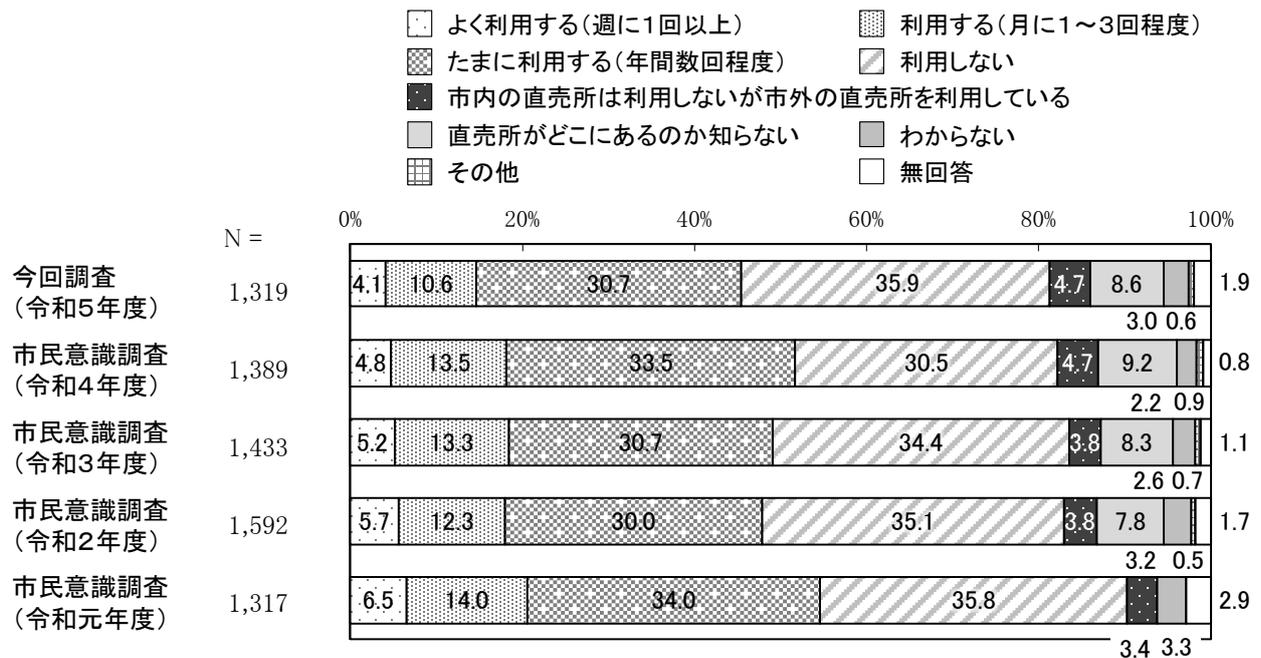
【居住地区別】



問 41 あなたの家庭では、市内の農産物直売所（青空市、無人販売所を含む。）を利用しますか。《○1つ》

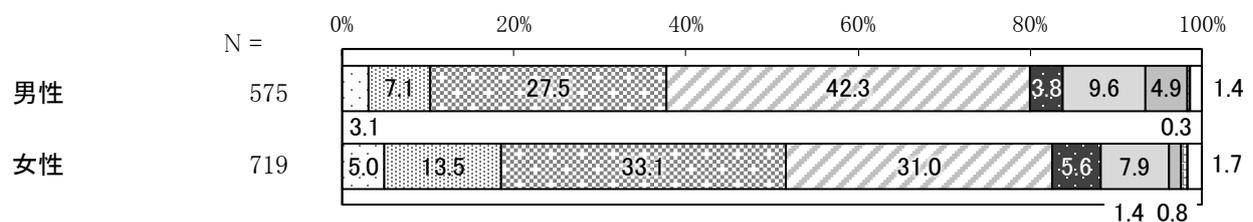
半数近くが市内の直売所を利用、年間数回程度の利用が最も多い

- ・ 市内の農産物直売所の利用状況については、「利用しない」が35.9%と最も多く、次いで「たまに利用する（年間数回程度）」が30.7%と続きます。利用している人（市内の直売所を年数回以上利用している人）の合計は45.4%と半数近くで、市外も含めると農産物直売所の利用率は50.1%となっています。
- ・ 一方、「直売所がどこにあるのか知らない」と回答した人は8.6%と1割近く見られます。
- ・ 過去の調査と比較すると、市内の直売所利用率は、令和2年度に低下した後、徐々に回復傾向にありましたが、今年度はまた低下しています。
- ・ 性別では女性で、年代別では40歳代と60歳以上で利用している人（前述）が多く見られます。一方、10歳代と30歳代は、「利用しない」人が利用している人（前述）より多くなっています。
- ・ 居住地区別では、利用している人（前述）が愛東地区、湖東地区で7割近くとなっています。一方、八日市地区、中野地区、平田地区、建部地区では「利用しない」人が利用している人（前述）よりも多く見られます。

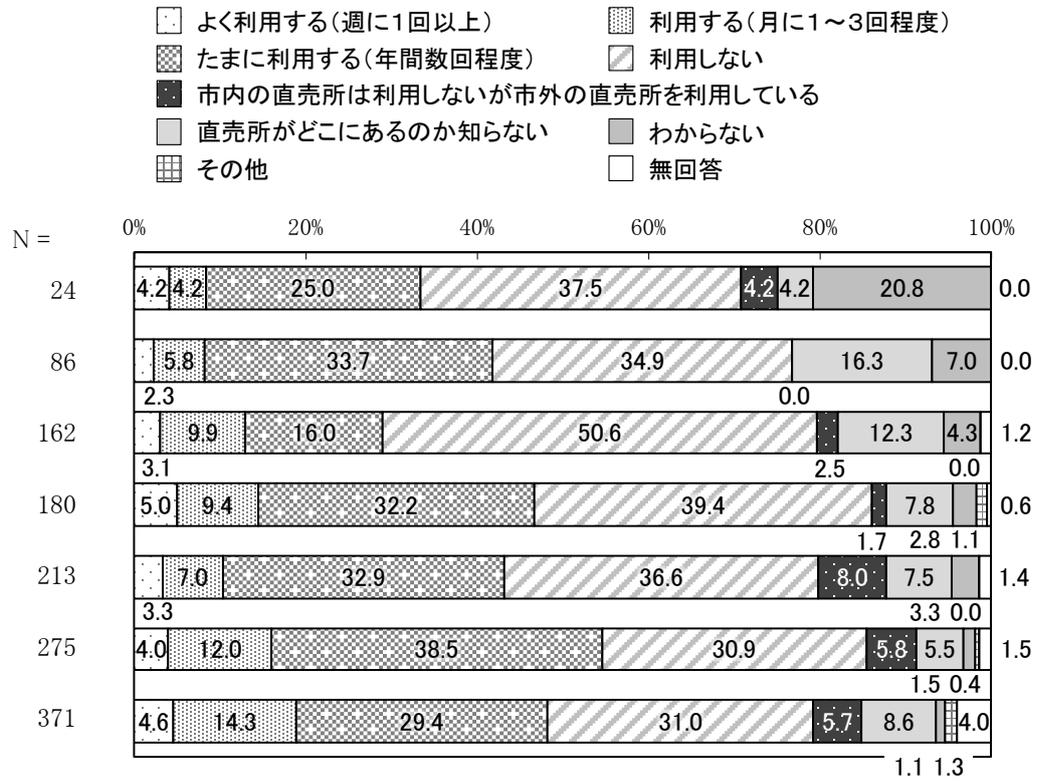


* 令和2年度から「直売所がどこにあるのか知らない」と「その他」を追加

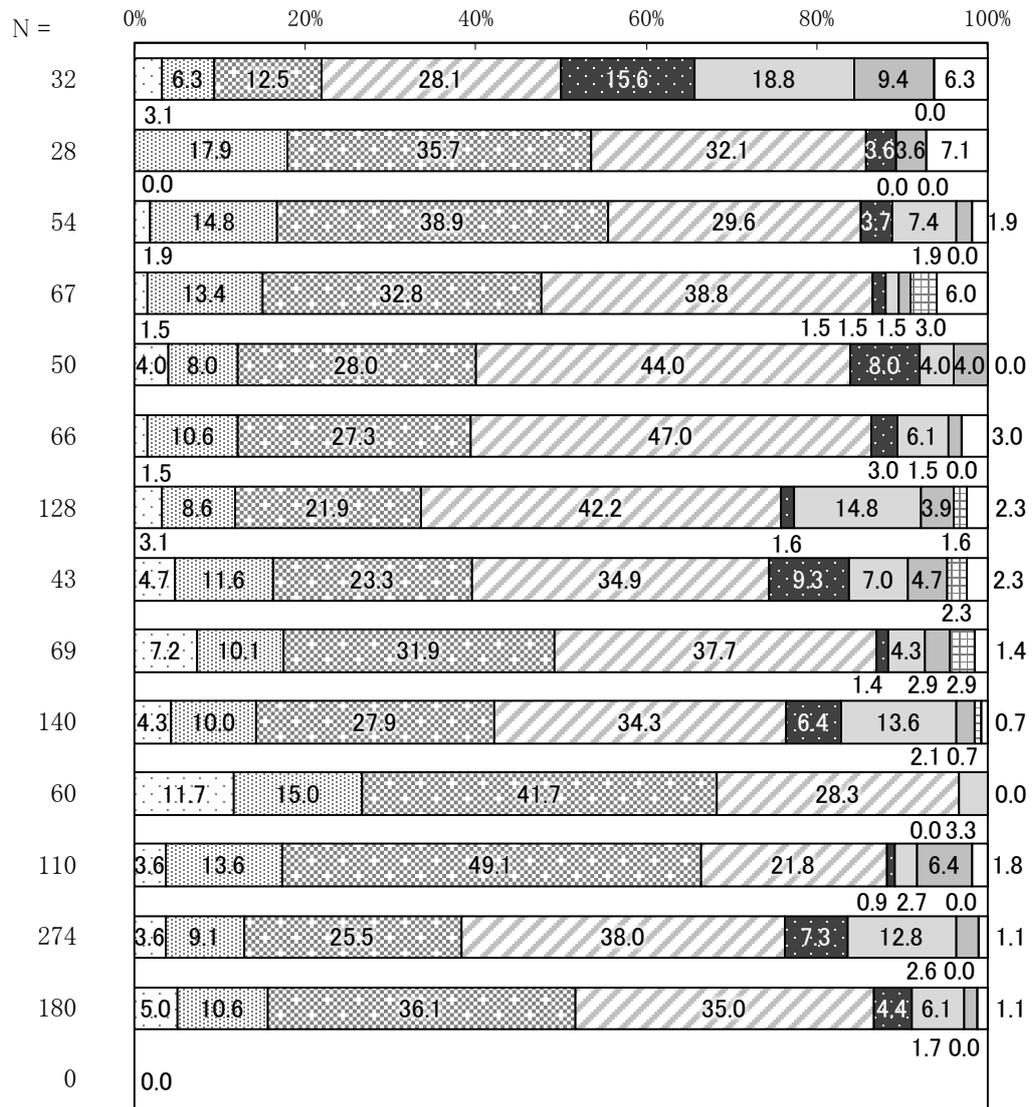
【性別】



【年代別】



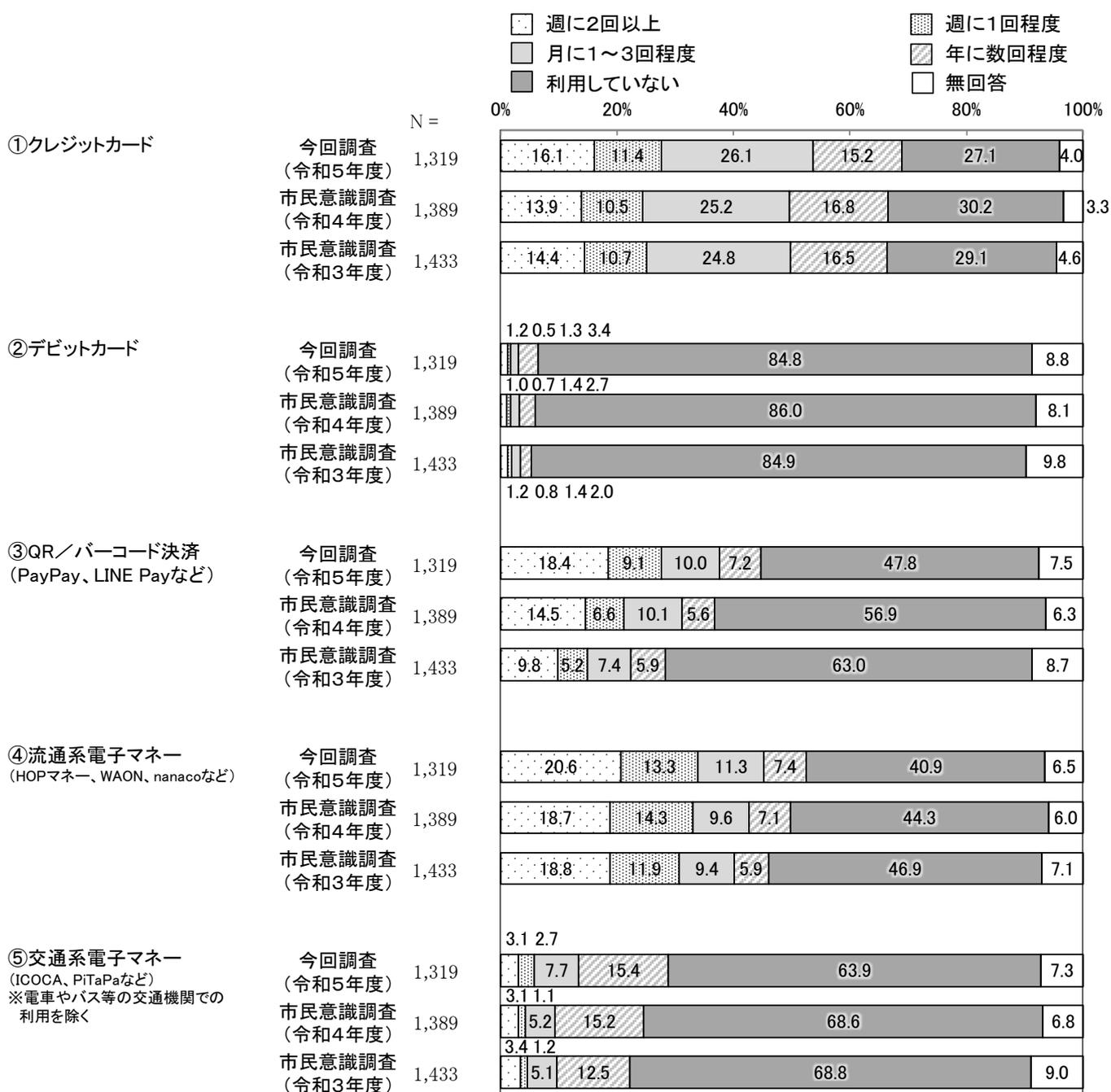
【居住地区別】



問 42 あなたは、次のキャッシュレス決済をどの程度利用していますか。《①～⑥それぞれの項目に○1つ》

流通系電子マネーは3割、クレジットカード、QR/バーコード決済は3割近くが週1回以上利用

- ・ キャッシュレス決済を週1回以上利用する人の割合は、「④流通系電子マネー（HOP マネー、WAON、nanaco など）」が 33.9%で最も高く、次いで「①クレジットカード」及び「③QR/バーコード決済（PayPay、LINE Pay など）」が 27.5%、「⑤交通系電子マネー（ICOCA、PiTaPa など）」が 5.8%、「②デビットカード」が 1.7%となっています。
- ・ 「月に1～3回程度」や「年に数回程度」の利用も含めた利用している人の割合は、「①クレジットカード」が 68.8%で最も高く、次いで「④流通系電子マネー（HOP マネー、WAON、nanaco など）」が 52.6%、「③QR/バーコード決済（PayPay、LINE Pay など）」が 44.7%、「⑤交通系電子マネー（ICOCA、PiTaPa など）」が 28.9%、「②デビットカード」が 6.4%となっています。
- ・ 過去の調査結果と比べると、この3年間で、いずれのキャッシュレス決済も利用率が向上しており、特に「③QR/バーコード決済（PayPay、LINE Pay など）」で顕著となっています。



単位：％

	週1回以上 利用	利用している	利用して いない
①クレジットカード	27.5% (+3.1)	68.8% (+2.4)	27.1% (-3.1)
②デビットカード	1.7% (0.0)	6.4% (+0.6)	84.8% (-1.2)
③QR／バーコード決済(PayPay、LINE Pay など)	27.5% (+6.4)	44.7% (+7.9)	47.8% (-9.1)
④流通系電子マネー(HOP マネー、WAON、nanaco など)	33.9% (+0.9)	52.6% (+2.9)	40.9% (-3.4)
⑤交通系電子マネー(ICOCA、PiTaPa など) ※電車やバス等の交通機関での利用を除く	5.8% (+1.6)	28.9% (+4.3)	63.9% (-4.7)

※()内の数値は令和4年度との差を示している。

「⑥その他」の内訳（現金などキャッシュレス決済以外のものや設問内に示されたものを除くと9件）

週2回以上	Quick Pay(2件)
週に1回程度	Edy、電子決済(ID)
月に1～3回程度	ポイント
年に数回程度	D払い、ネットバンクの振込、イーサリアム、クレジット系電子マネー

① クレジットカード

- 年代別では、利用率（年数回程度でも利用している人の割合）は、20～50歳代で8割以上（特に20歳代と40歳代で9割近く）と高くなっています。また利用頻度は、週2回以上が20歳代で4割近く、30歳代でも3割近くと高くなっています。一方、10歳代では7割近くが利用していません。
- 居住地区別では、利用率（前述）は、八日市地区で8割近くと高くなっています。また利用頻度は、週2回以上が八日市地区で3割以上と高くなっています。

② デビットカード

- 年代別では、利用率（前述）は10歳代で1割以上ですが、そのほかの年代では1割未満にとどまっています。利用頻度も高くありません。
- 居住地区別では、利用率（前述）は湖東地区と八日市地区で1割ですが、そのほかの地区では1割未満にとどまっています。利用頻度も高くありません。

③ QR／バーコード決済（PayPay、LINE Pay など）

- 年代別では、利用率（前述）は、40歳代までで6割以上（特に20歳代で8割以上）と高い一方で、60歳代で4割近く、70歳以上は1割と低くなっています。また利用頻度は、週に2回以上が20歳代で4割近く、30～40歳代で3割以上となっています。
- 居住地区別では、利用率（前述）は、八日市地区で6割と高くなっています。また利用頻度は、週2回以上が八日市地区で3割近くとほかの地区より高くなっています。

④ 流通系電子マネー（HOP マネー、WAON、nanaco など）

- 性別では、利用率（前述）は、女性で6割以上と、男性の4割を大きく上回っています。また利用頻度も、週2回以上が女性で3割近くと高くなっています。
- 年代別では、利用率（前述）は、50歳代で7割近くと高くなっています。また利用頻度は、週2回以上が50～60歳代で3割近くと高くなっています。
- 居住地区別では、利用率（前述）は、湖東地区で6割と高くなっています。また利用頻度は、玉

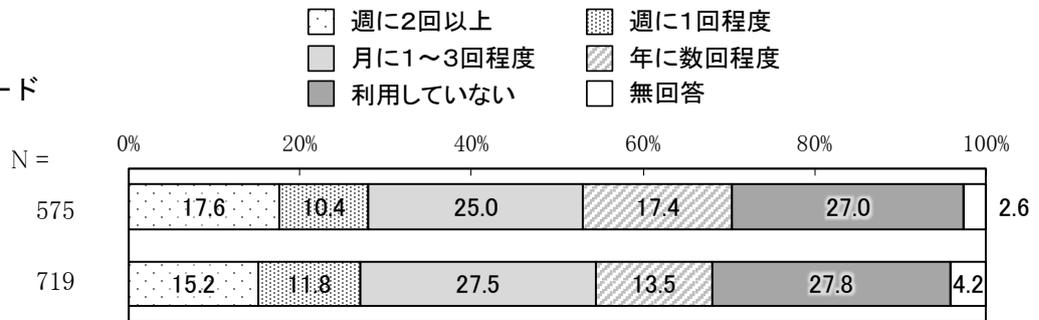
緒地区、五個荘地区、蒲生地区で週2回以上が3割近くと、ほかの地区より高くなっています。

⑤ 交通系電子マネー（ICOCA、PiTaPa など）

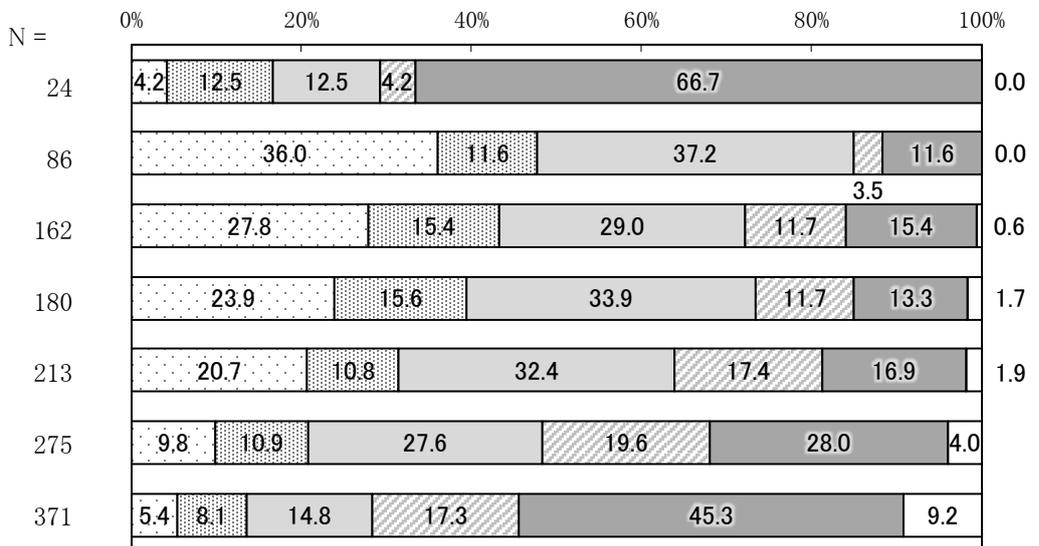
- ・ 年代別では、利用率（前述）は、20歳代は6割近くと高くなっています。また利用頻度は、週2回以上が10歳代で2割近くとほかの年代より高くなっています。

① クレジットカード

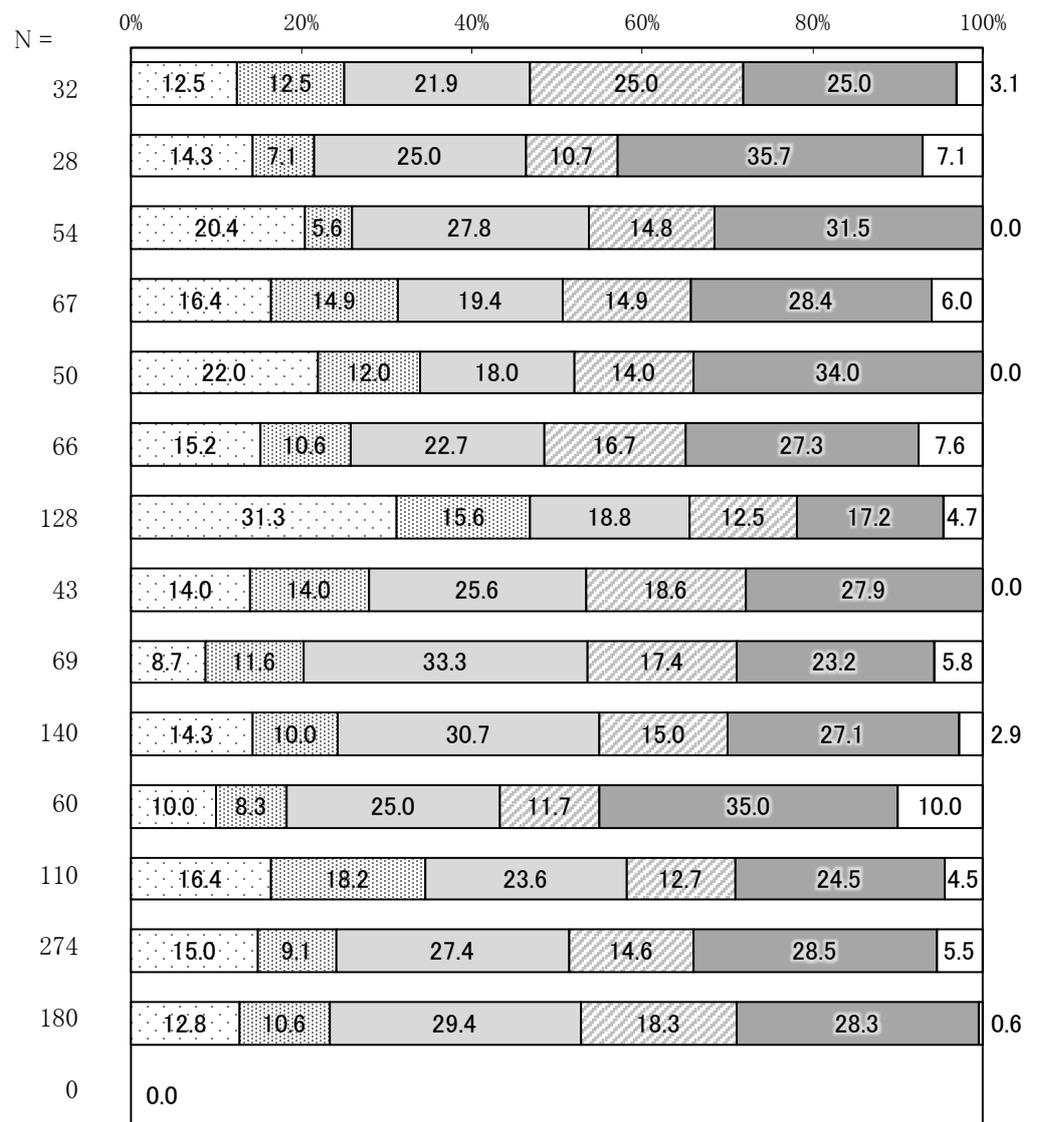
【性別】



【年代別】

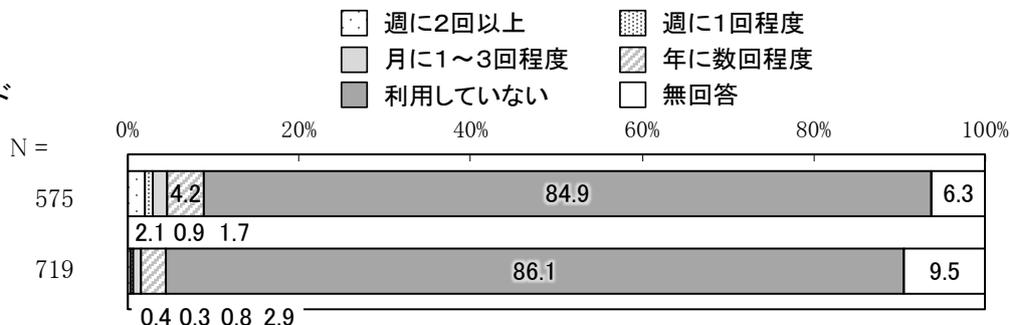


【居住地区別】

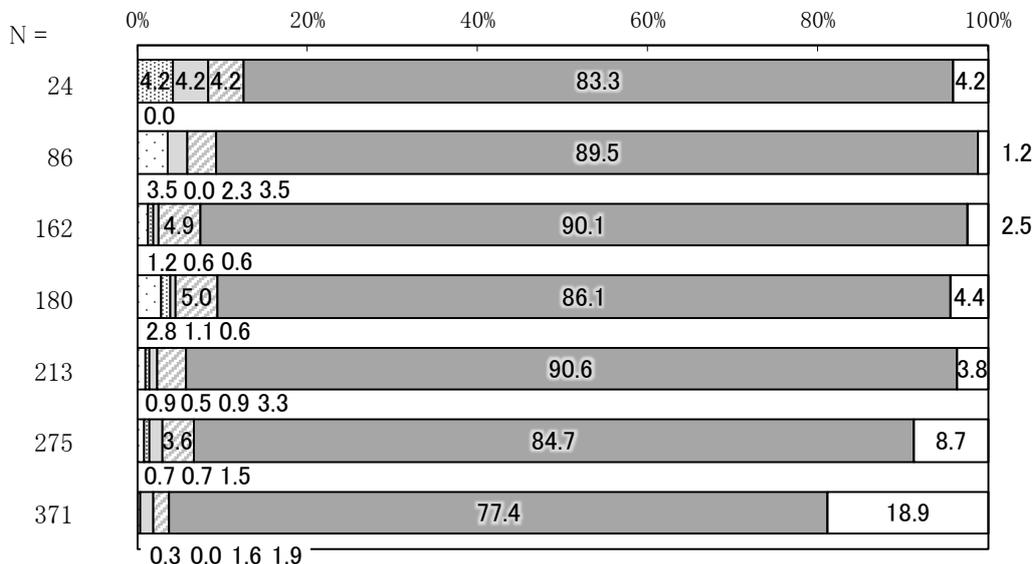


② デビットカード

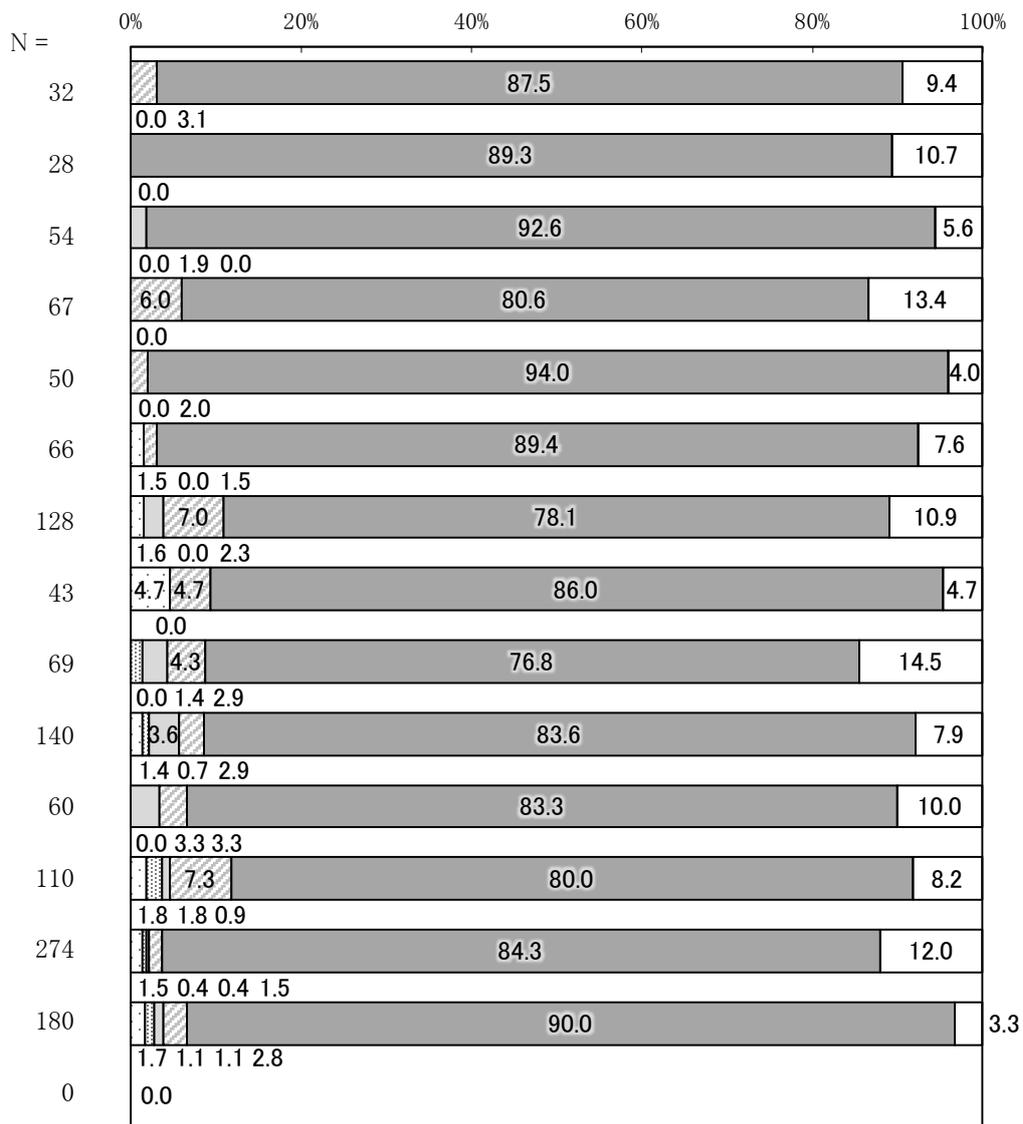
【性別】



【年代別】

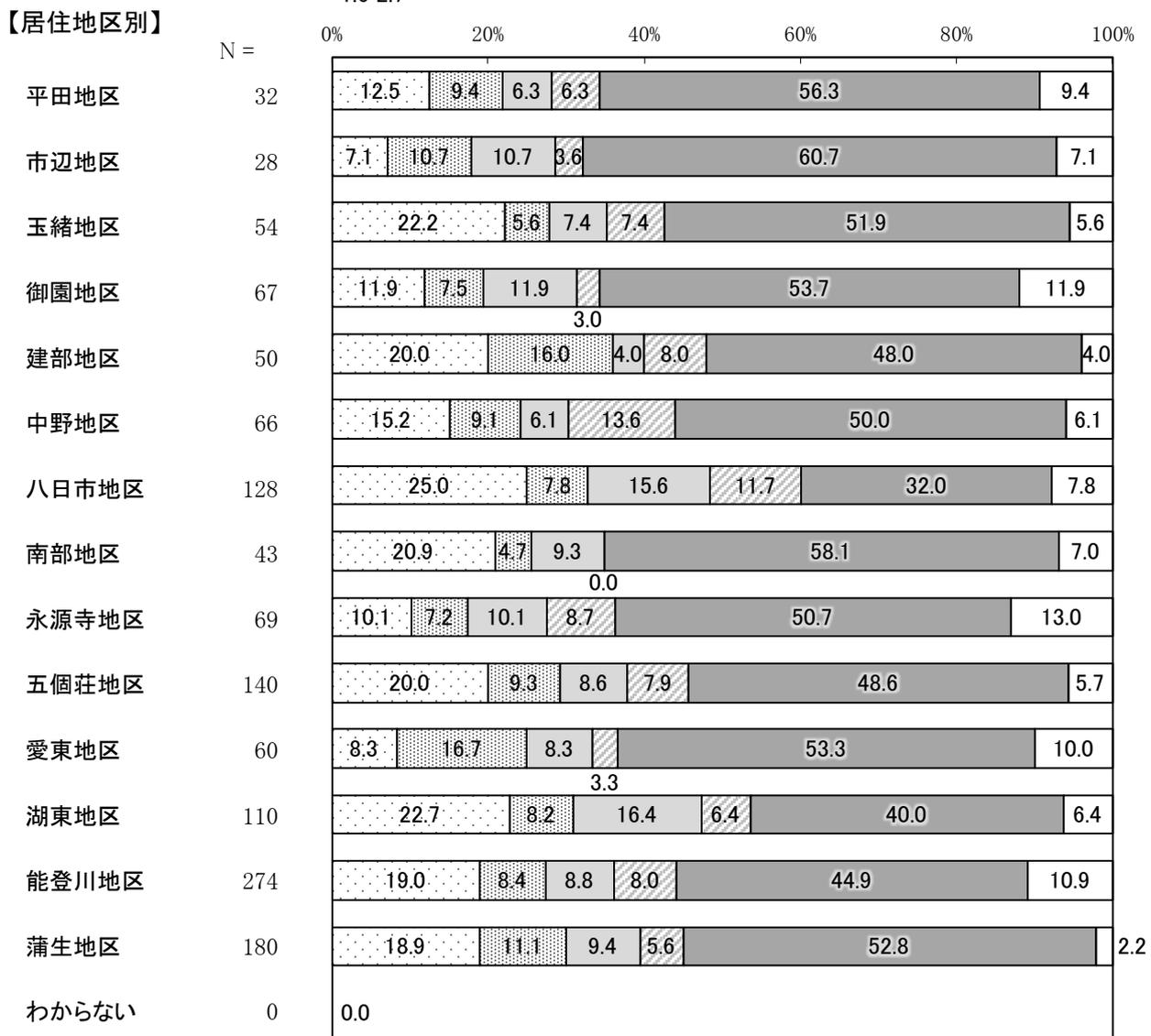
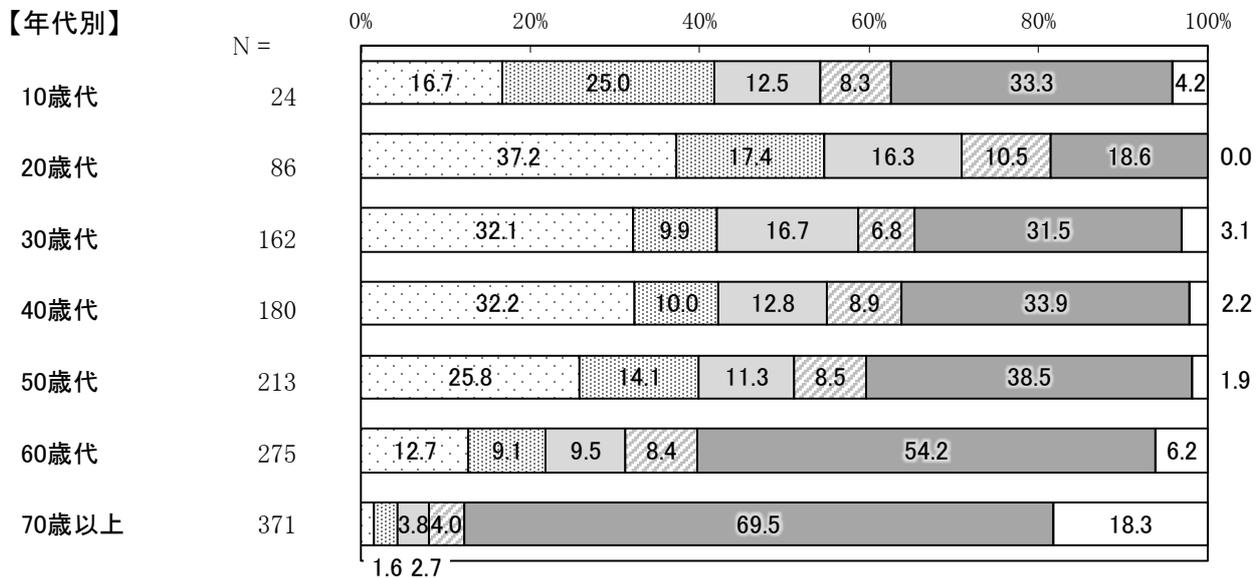


【居住地区別】

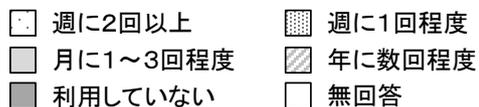


③ QR／バーコード決済 (PayPay、LINE Pay など)

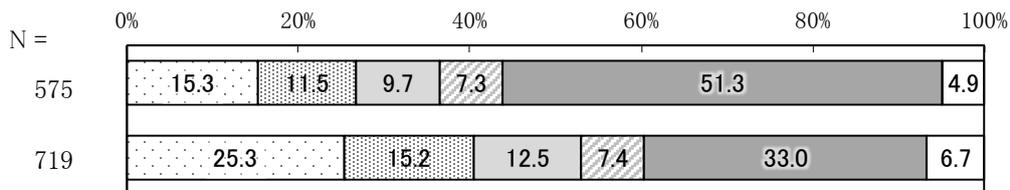
□ 週に2回以上	▨ 週に1回程度
▨ 月に1～3回程度	▨ 年に数回程度
■ 利用していない	□ 無回答



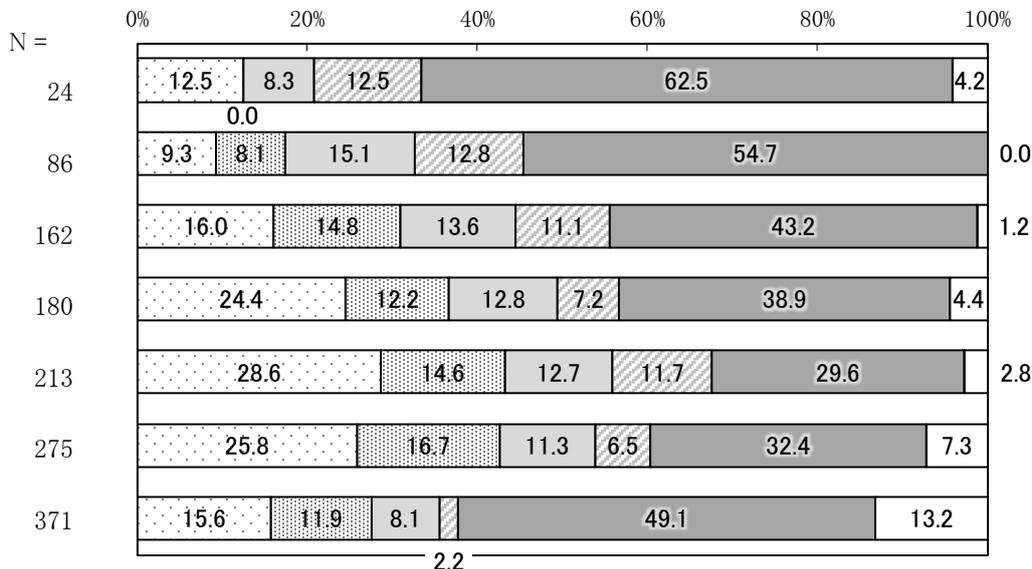
④ 流通系電子マネー（HOP マネー、WAON、nanaco など）



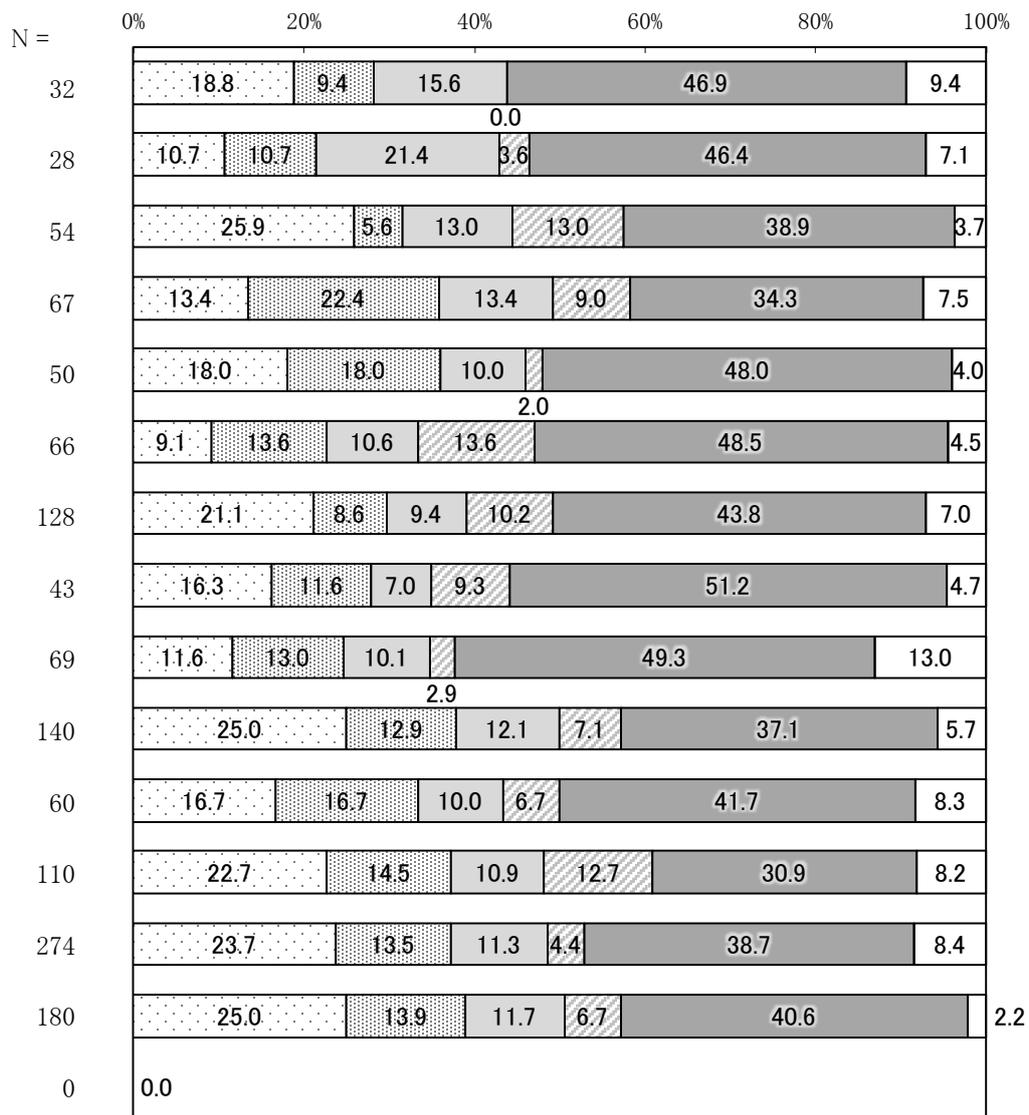
【性別】



【年代別】



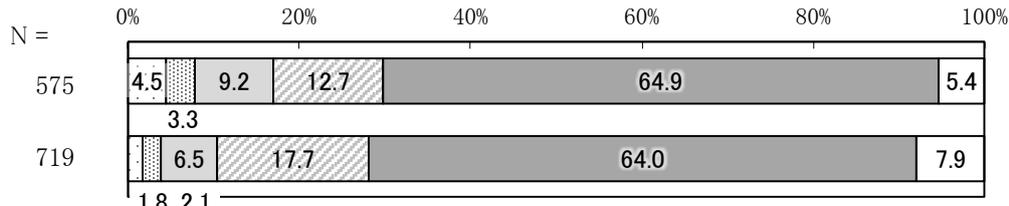
【居住地区別】



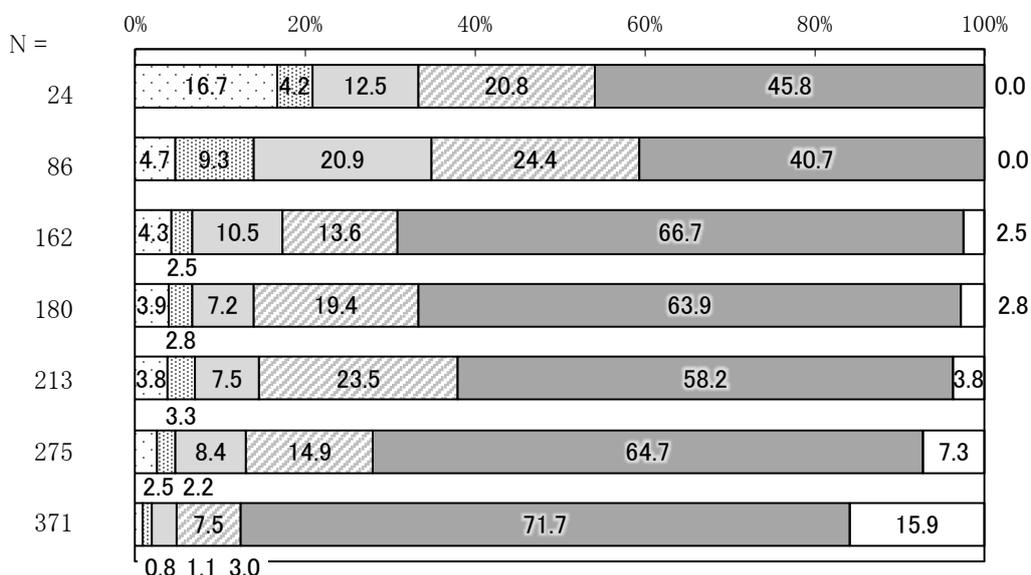
⑤ 交通系電子マネー（ICOCA、PiTaPa など）

週に2回以上
 週に1回程度
 月に1~3回程度
 年に数回程度
 利用していない
 無回答

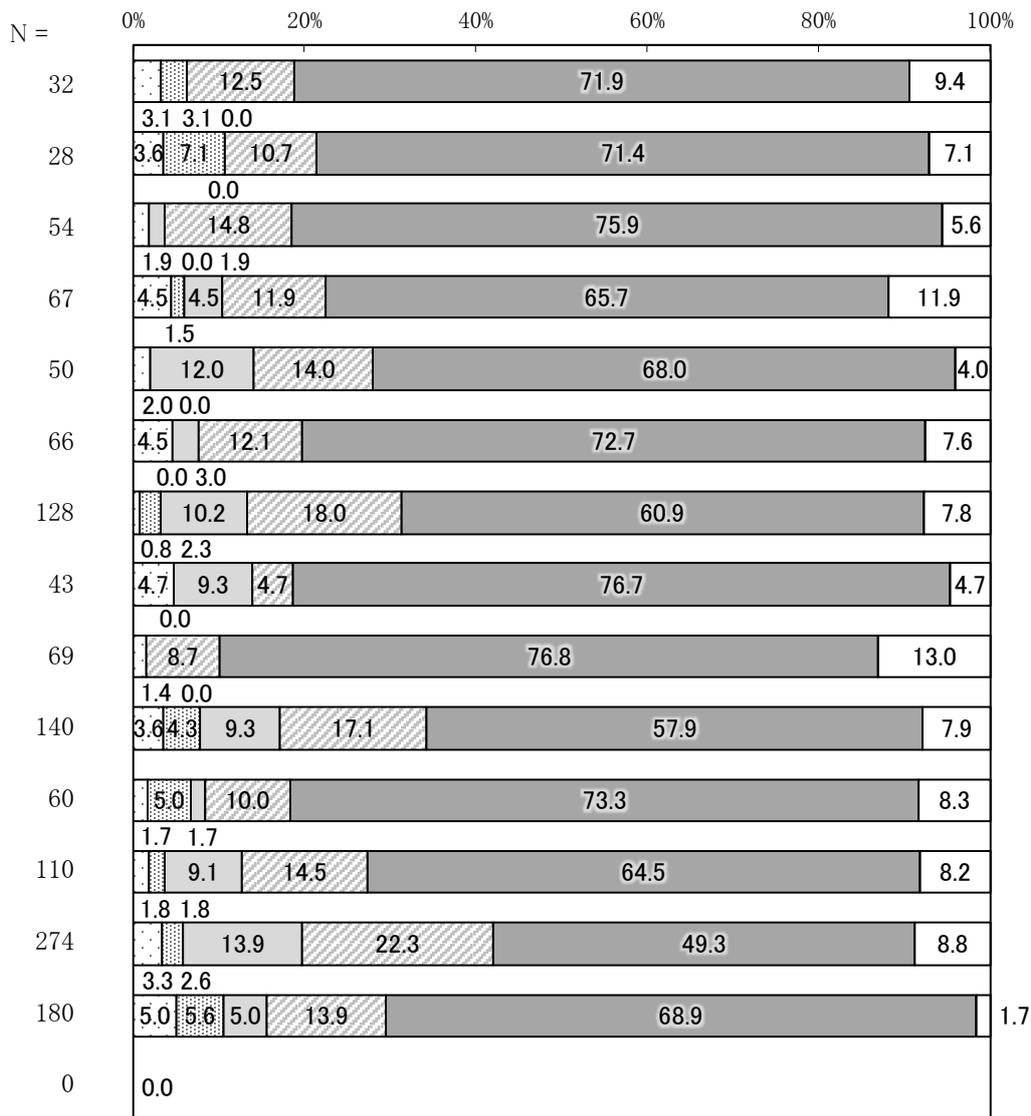
【性別】



【年代別】



【居住地区別】

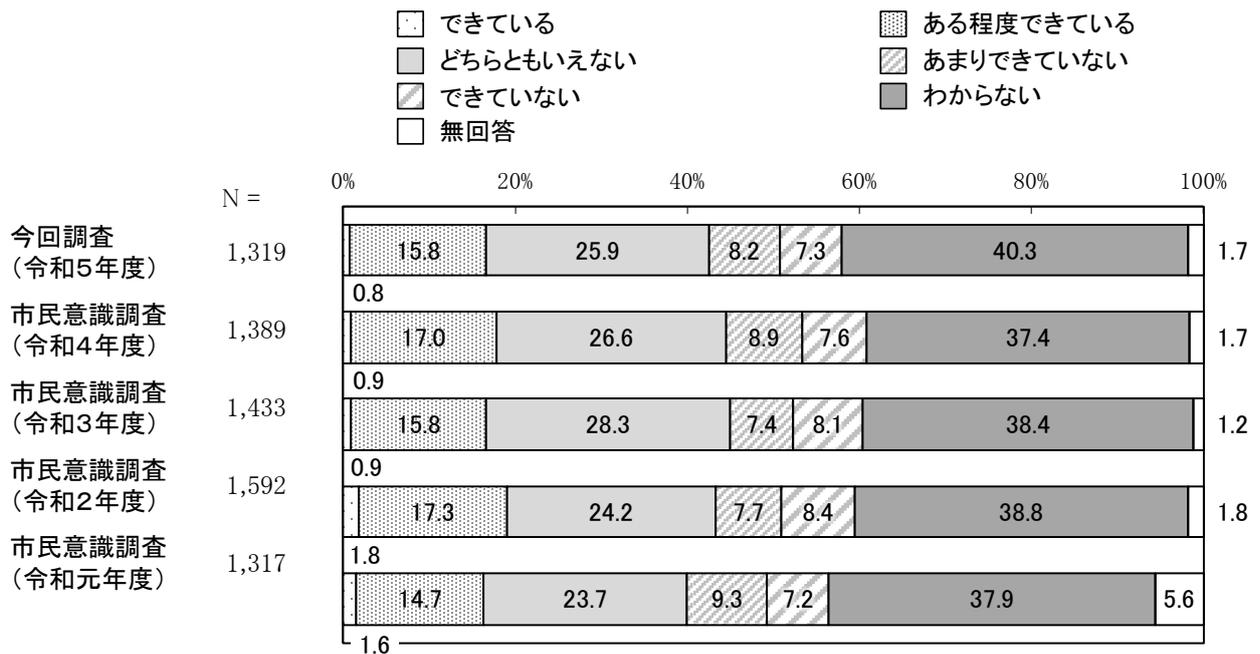


(8) 協働のまちづくりについて

問 43 あなたは、東近江市では市民、企業、行政等が共に考え、力を合わせた協働のまちづくりができていますか。《○1つ》

できていると思う人は2割近く

- ・ 協働のまちづくりができていると思うかについては、できている（「できている」と「ある程度できている」の合計）と思う人の割合は16.6%で、できていない（「あまりできていない」と「できていない」の合計）と思う人の割合の15.5%よりやや高くなっています。また、「わからない」が40.3%、「どちらともいえない」が25.9%となっています。
- ・ 性別では、女性より男性でできていない（前述）と思う人の割合が高く、できている（前述）と思う人より多くなっています。
- ・ 年代別では、できている（前述）と思う人が、20～40歳代、70歳以上で2割近くとなっています。一方、50～60歳代は、できていない（前述）と思う人ができている（前述）と思う人より多くなっています。
- ・ 居住地区別では、愛東地区、御園地区でできている（前述）と思う人が3割近くとなっています。一方、蒲生地区、市辺地区、平田地区、八日市地区、湖東地区では、できていない（前述）と思う人ができている（前述）と思う人より多くなっています。



単位：%

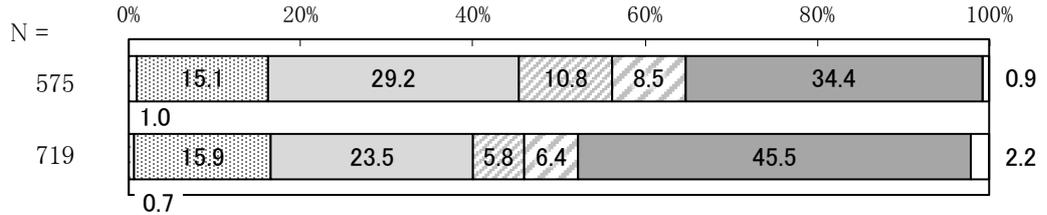
	できている*	できていない*	差
①今回調査（令和5年度）	16.6	15.5	1.1
②市民意識調査（令和4年度）	17.9	16.5	1.4
③市民意識調査（令和3年度）	16.7	15.5	1.2
④市民意識調査（令和2年度）	19.1	16.1	3.0
⑤市民意識調査（令和元年度）	16.3	16.5	-0.2
①－⑤	0.3	-1.0	1.3

* できている：「できている」と「ある程度できている」の合計

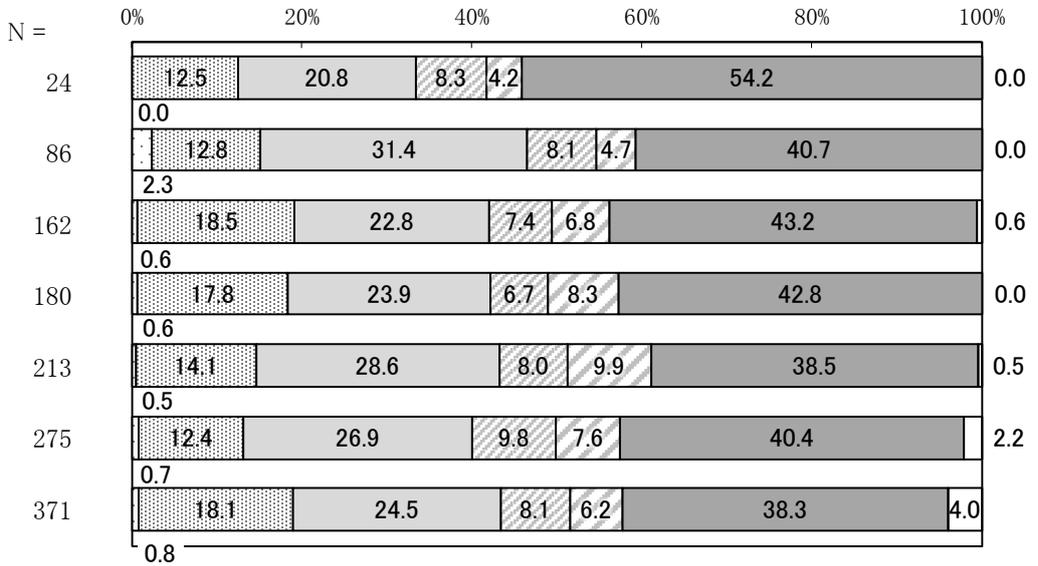
* できていない：「あまりできていない」と「できていない」の合計



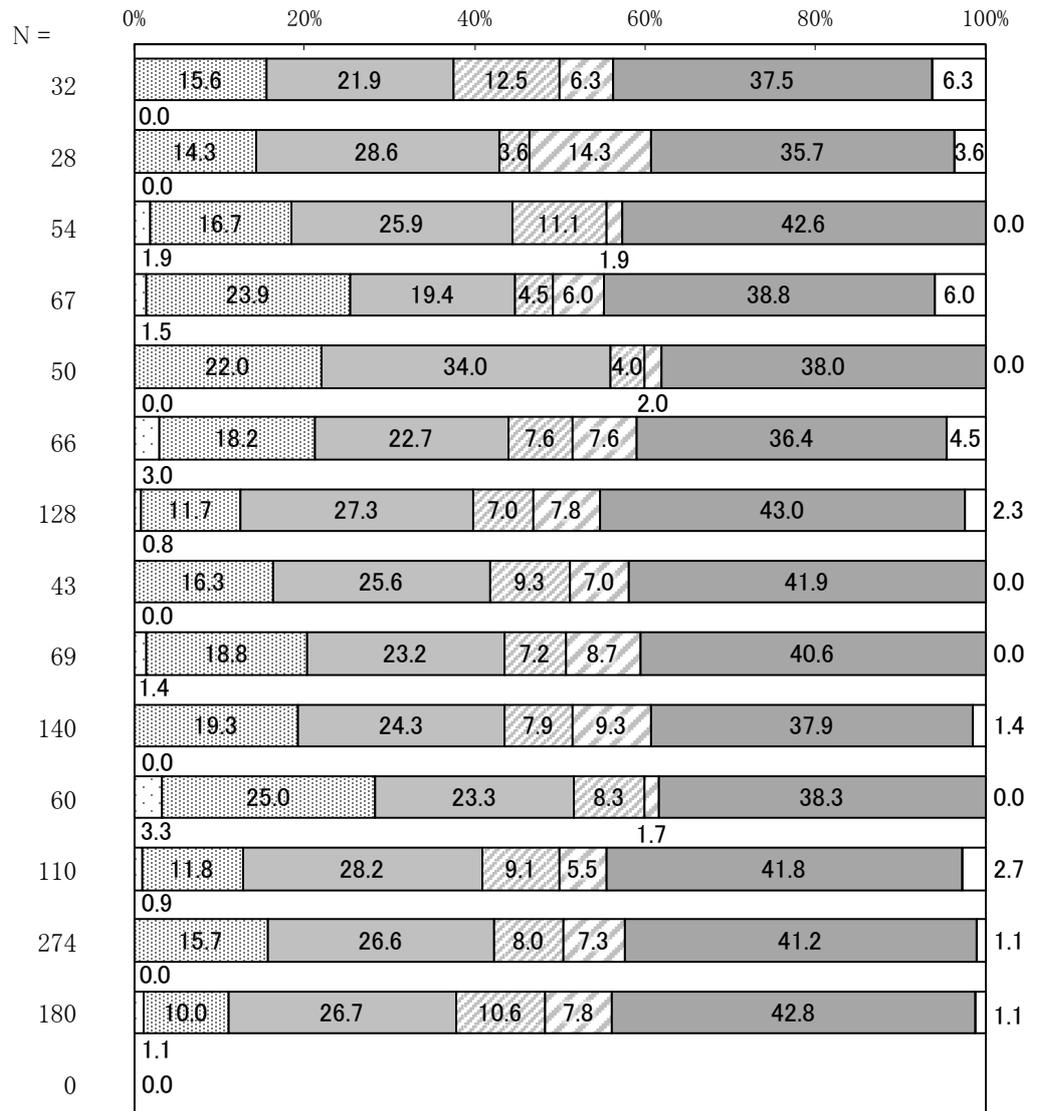
【性別】



【年代別】



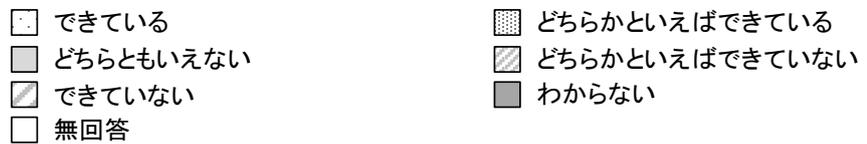
【居住地区別】



問 44 あなたの身近な地域では、住民同士の助け合いができていますか。《○1つ》

4割が住民同士の助け合いはできている

- ・ 地域での住民同士の助け合いができていると思うかについては、「どちらかといえばできている」が38.4%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が24.6%と続きます。できている（「できている」と「どちらかといえばできている」の合計）と思う人の割合が43.6%で、できていない（「どちらかといえばできていない」と「できていない」の合計）と思う人の割合の16.7%より高くなっています。
- ・ 年代別では70歳以上で半数以上、居住地区別では平田地区で6割以上と、住民同士の助け合いができている（前述）と思う人が多く見られます。
- ・ 一方、年代別では10歳代と50歳代で、居住地区別では市辺地区、五個荘地区で、できていない（前述）と思う人が多く見られます。

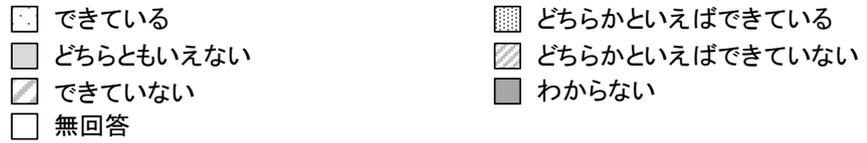


単位：%

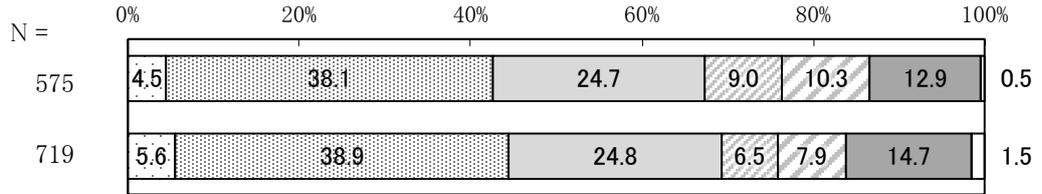
	できている*	できていない*	差
①今回調査(令和5年度)	43.6	16.7	26.9
②市民意識調査(令和4年度)	47.3	14.4	32.9
③市民意識調査(令和3年度)	46.8	13.7	33.1
④市民意識調査(令和2年度)	42.7	17.9	24.8
⑤市民意識調査(令和元年度)	43.6	16.4	27.2
①－⑤	0.0	0.3	-0.3

* できている:「できている」と「どちらかといえばできている」の合計

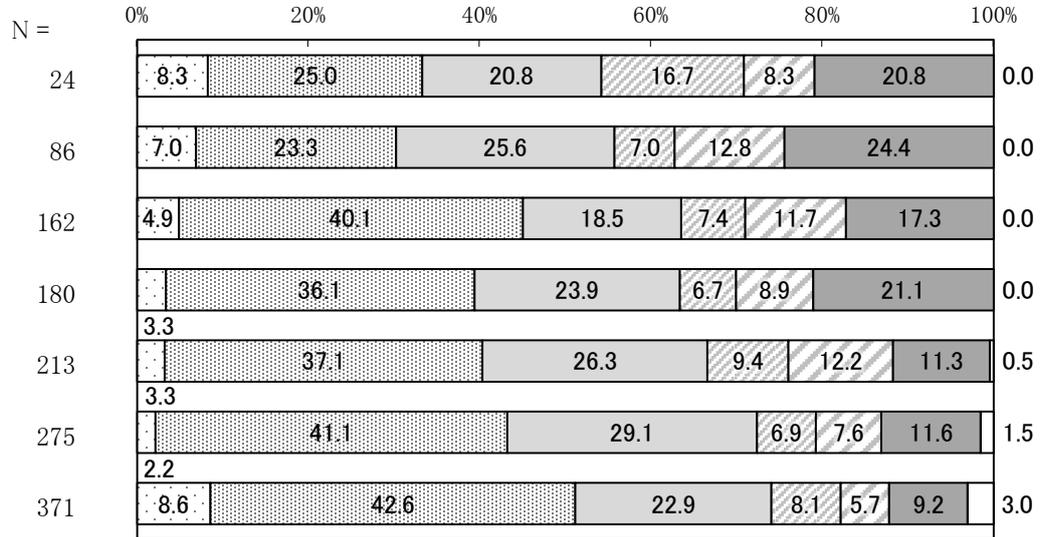
* できていない:「どちらかといえばできていない」と「できていない」の合計



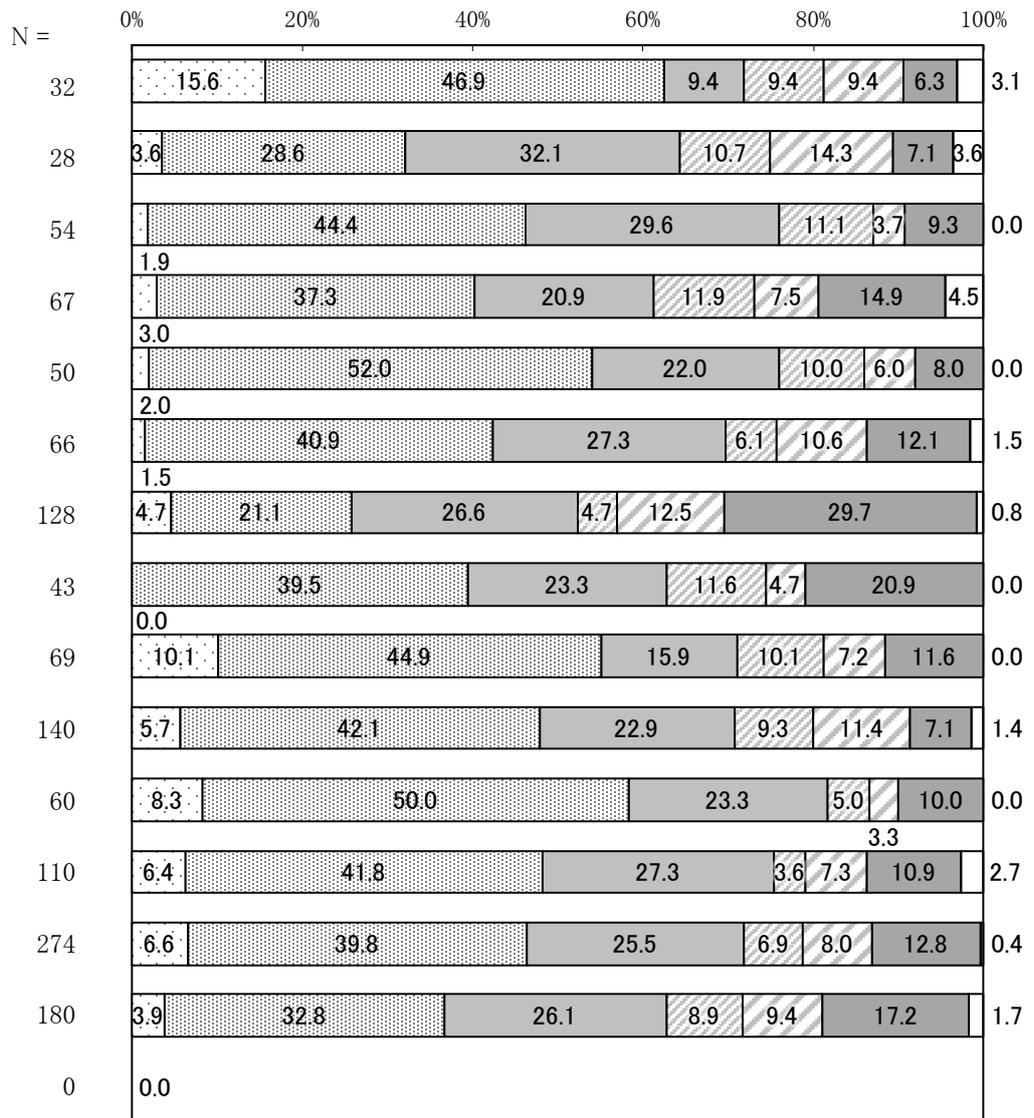
【性別】



【年代別】



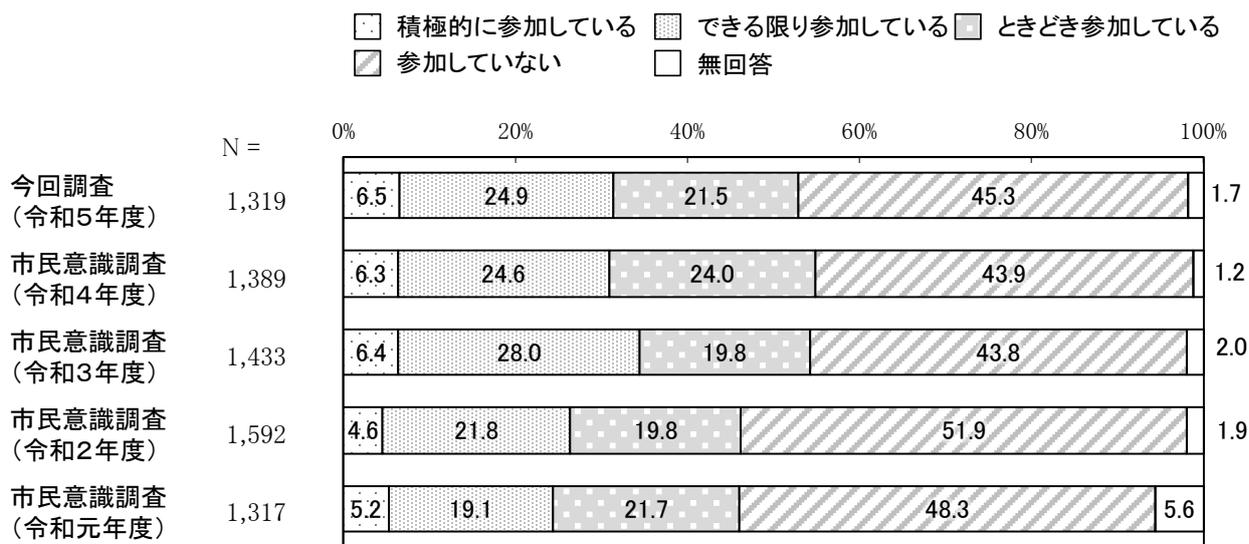
【居住地区別】



問 45 あなたは、自治会やまちづくり協議会等の地域活動又はNPOやボランティア等の活動にどの程度参加していますか。《○1つ》

半数以上が活動に参加している

- ・ 地域活動又はNPOやボランティア等の活動への参加頻度については、参加している人が52.9%と半数以上で、その内訳は、「できる限り参加している」が24.9%、「ときどき参加している」が21.5%、「積極的に参加している」が6.5%となっています。一方、「参加していない」は45.3%となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、地域活動又はNPOやボランティア等の活動に参加している人の割合は、今年度やや減少したものの令和3年度以降増加しています。
- ・ 性別では女性より男性で、年代別では10歳代と70歳以上を除いて年齢が上がるほど、参加している人が多く見られます。
- ・ 居住地区別では、市辺地区で8割近く参加している人がいる一方、八日市地区では参加していない人が7割近く見られます。
- ・ 性別では男性より女性で、年代別では10～40歳代で、居住地区別では八日市地区、能登川地区、中野地区で参加している人よりも参加していない人が多くなっています。



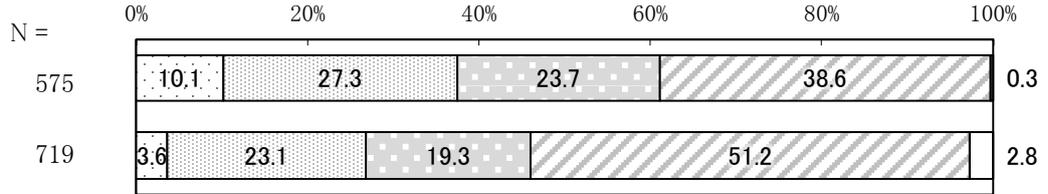
単位：%

	参加している*	参加していない	差
①今回調査(令和5年度)	52.9	45.3	7.6
②市民意識調査(令和4年度)	54.9	43.9	11.0
③市民意識調査(令和3年度)	54.2	43.8	10.4
④市民意識調査(令和2年度)	46.2	51.9	-5.7
⑤市民意識調査(令和元年度)	46.0	48.3	-2.3
①-⑤	6.9	-3.0	9.9

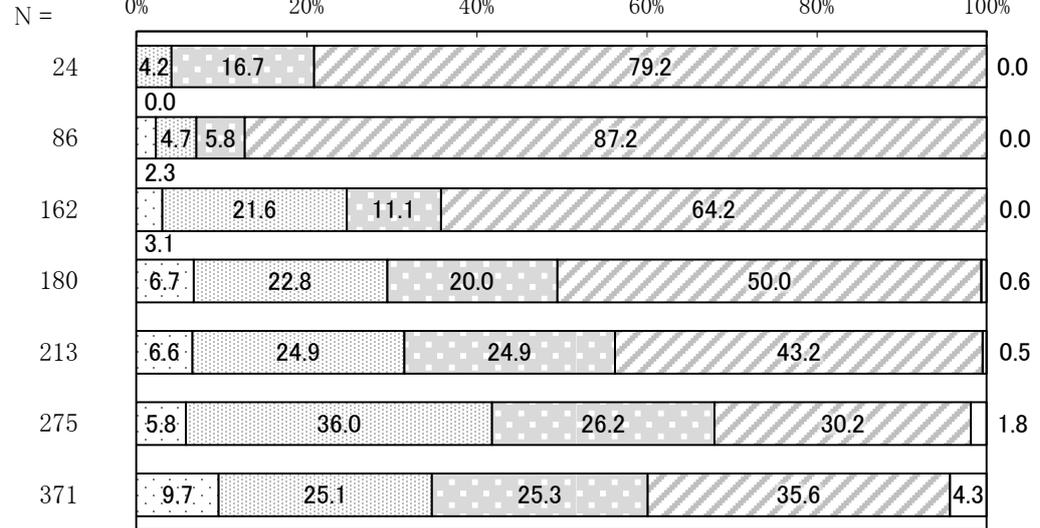
*参加している:「積極的に参加している」と「できる限り参加している」と「ときどき参加している」の合計

積極的に参加している
 できる限り参加している
 ときどき参加している
 参加していない
 無回答

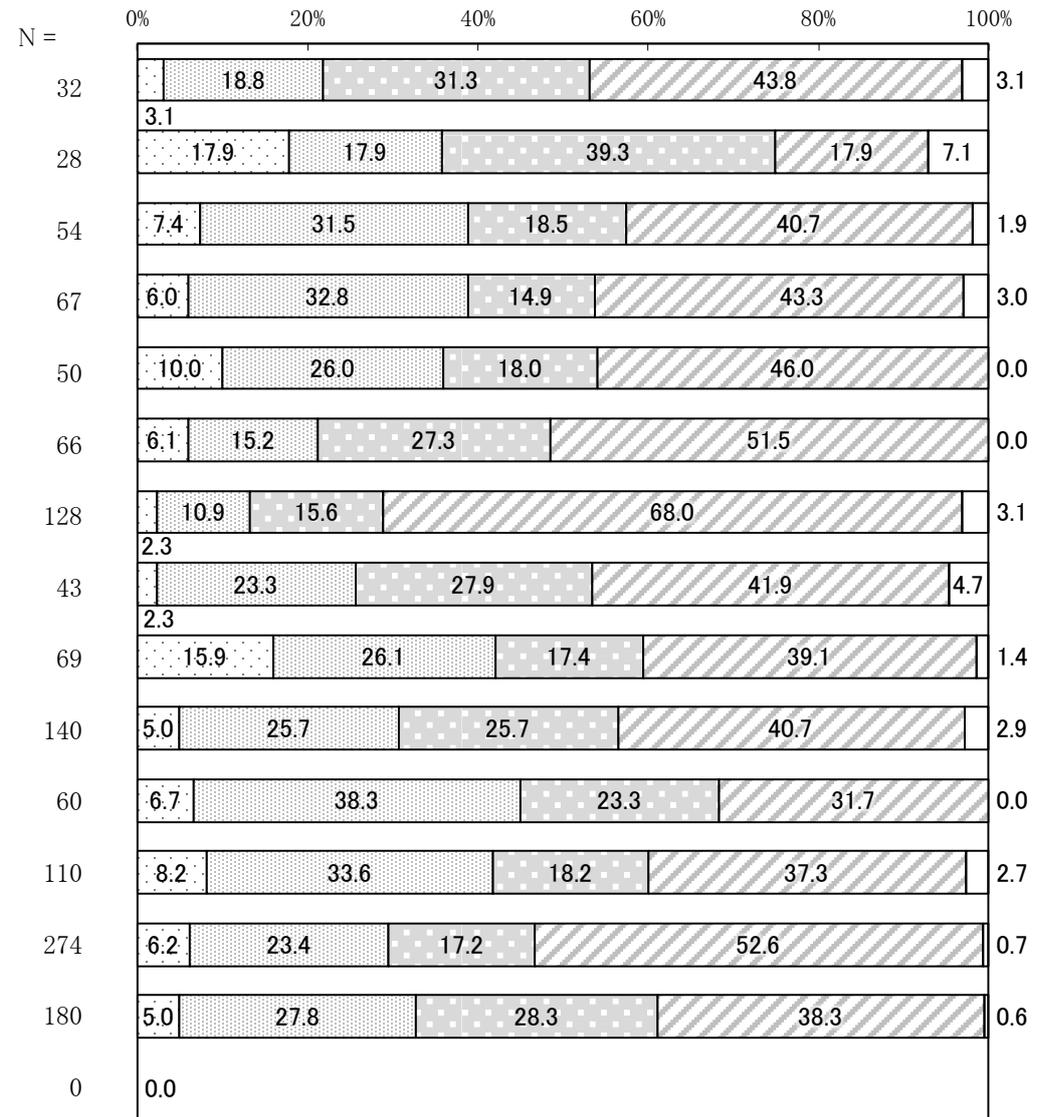
【性別】



【年代別】



【居住地区別】

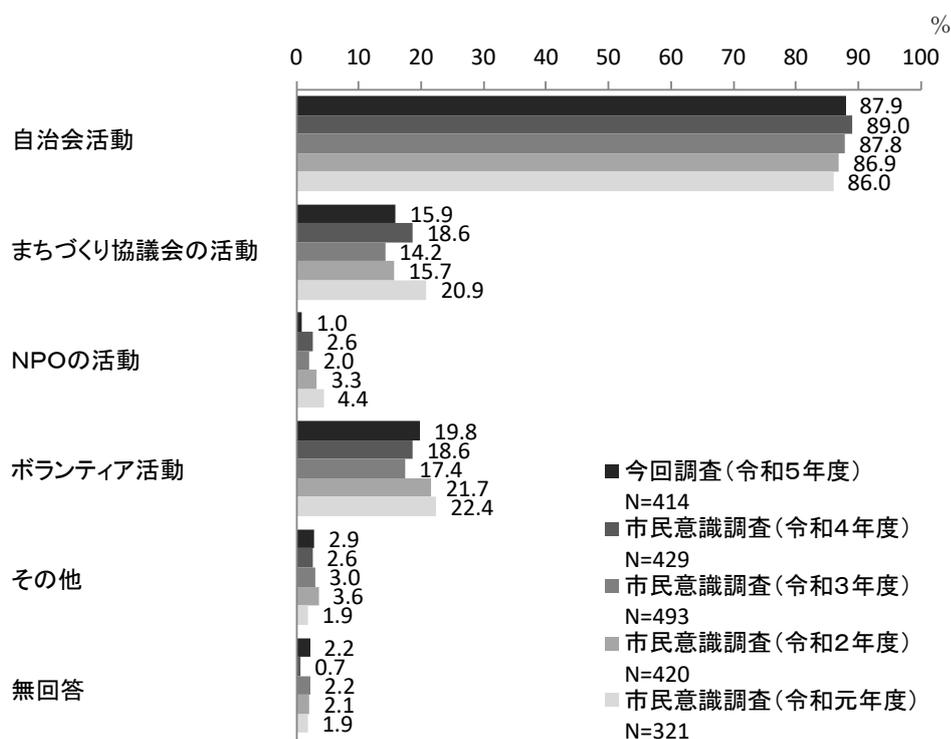


問 45-1 問 45 で「1. 積極的に参加している」「2. できる限り参加している」とお答えの方におたずねします。

この1年間にどのような活動に参加しましたか。《あてはまるものすべてに○》

9割近くが「自治会活動」に参加、ボランティア活動やまちづくり協議会活動への参加も2割近く

- ・ この1年間にどのような活動に参加したかについては、「自治会活動」が87.9%と最も多く、次いで「ボランティア活動」が19.8%、「まちづくり協議会の活動」が15.9%となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、「自治会活動」の割合がおおむね増加傾向にあります。また、「ボランティア活動」の割合は令和3年度まで減少していましたが、徐々に増加しています。
- ・ 性別、10歳代を除いた年代別、居住地区別のいずれも「自治会活動」が最も多くあげられています（10歳代は有効回答数が1なので評価対象外）。
- ・ 年代別では、サンプル数が少ないため単純比較はできませんが、70歳以上で「ボランティア活動」がほかの年代より多くあげられています。
- ・ 居住地区別では、愛東地区、五個荘地区、御園地区で「まちづくり協議会の活動」が、中野地区、平田地区で「ボランティア活動」がほかの地区より多くあげられています。



【性別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	自治会活動	動まちづくり協議会の活	NPOの活動	ボランティア活動	その他	無回答
男性	215	89.8	18.6	1.4	18.1	1.9	1.4
女性	192	85.4	13.0	0.5	21.9	4.2	3.1

【年代別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	自治会活動	動まちづくり協議会の活	NPOの活動	ボランティア活動	その他	無回答
10歳代	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
20歳代	6	83.3	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
30歳代	40	92.5	10.0	0.0	2.5	5.0	0.0
40歳代	53	88.7	17.0	1.9	18.9	3.8	0.0
50歳代	67	91.0	9.0	0.0	13.4	3.0	1.5
60歳代	115	93.0	17.4	1.7	17.4	2.6	0.9
70歳以上	129	80.6	20.2	0.8	31.0	2.3	5.4

※10歳代は、有効回答数が1のため、最大値を網掛けしていない。

【居住地区別】

単位:%

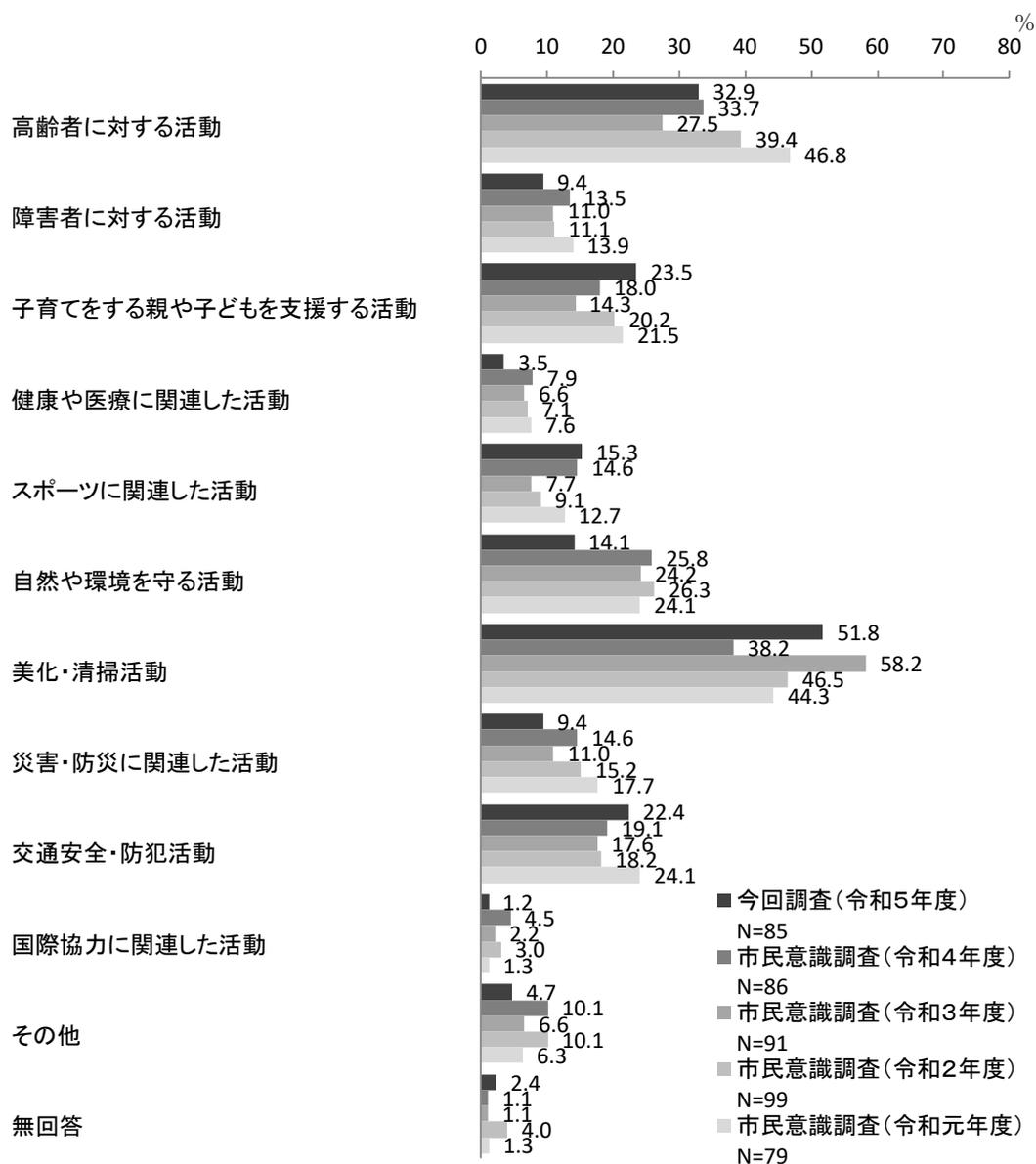
区分	有効回答数(件)	自治会活動	動まちづくり協議会の活	NPOの活動	ボランティア活動	その他	無回答
平田地区	7	100.0	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0
市辺地区	10	70.0	10.0	10.0	20.0	0.0	10.0
玉緒地区	21	95.2	14.3	0.0	9.5	9.5	0.0
御園地区	26	96.2	23.1	0.0	11.5	0.0	0.0
建部地区	18	88.9	16.7	0.0	11.1	0.0	11.1
中野地区	14	71.4	14.3	0.0	35.7	0.0	0.0
八日市地区	17	94.1	17.6	0.0	11.8	11.8	0.0
南部地区	11	72.7	18.2	0.0	18.2	0.0	9.1
永源寺地区	29	86.2	17.2	0.0	24.1	3.4	3.4
五個荘地区	43	83.7	23.3	2.3	16.3	0.0	4.7
愛東地区	27	88.9	25.9	0.0	14.8	7.4	3.7
湖東地区	46	95.7	10.9	0.0	23.9	0.0	0.0
能登川地区	81	88.9	9.9	2.5	21.0	1.2	1.2
蒲生地区	59	84.7	15.3	0.0	23.7	6.8	0.0
わからない	0	-	-	-	-	-	-

問 45-2 問 45-1 で「3. NPOの活動」「4. ボランティア活動」とお答えの方におたずねします。

この1年間にどのような活動に参加しましたか。《あてはまるものすべてに○》

「美化・清掃活動」が半数以上、「高齢者に対する活動」も3割

- ・ どのような活動に参加したかについては、「美化・清掃活動」が51.8%と最も多く、次いで「高齢者に対する活動」が32.9%となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、「子育てをする親や子どもを支援する活動」や「スポーツに関連した活動」、「交通安全・防犯活動」などの割合は減少傾向にありましたが、令和4年度以降やや増加しています。
- ・ 性別では、男女ともに「美化・清掃活動」が最も多くなっていますが、男性より女性でその割合が高くなっています。また、男性は女性より「スポーツに関連した活動」などが、女性は男性より「高齢者に対する活動」などが多くあげられています。



【性別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	高齢者に対する活動	障害者に対する活動	子育てをする親や子どもを支援する活動	健康や医療に関連した活動	スポーツに関連した活動	自然や環境を守る活動	美化・清掃活動	災害・防災に関連した活動	交通安全・防犯活動	国際協力に関連した活動	その他	無回答
男性	42	19.0	7.1	21.4	0.0	23.8	16.7	47.6	11.9	21.4	2.4	7.1	4.8
女性	42	47.6	11.9	26.2	7.1	7.1	9.5	57.1	7.1	23.8	0.0	2.4	0.0

【年代別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	高齢者に対する活動	障害者に対する活動	子育てをする親や子どもを支援する活動	健康や医療に関連した活動	スポーツに関連した活動	自然や環境を守る活動	美化・清掃活動	災害・防災に関連した活動	交通安全・防犯活動	国際協力に関連した活動	その他	無回答
10歳代	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40歳代	11	9.1	0.0	45.5	9.1	36.4	0.0	45.5	9.1	18.2	9.1	0.0	9.1
50歳代	9	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	33.3	33.3	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0
60歳代	21	28.6	14.3	23.8	4.8	4.8	9.5	52.4	4.8	28.6	0.0	14.3	0.0
70歳以上	41	48.8	12.2	17.1	2.4	14.6	17.1	58.5	4.9	24.4	0.0	2.4	2.4

※10~30歳代は、有効回答数が1のため、最大値を網掛けしていない。

【居住地区別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	高齢者に対する活動	障害者に対する活動	子育てをする親や子どもを支援する活動	健康や医療に関連した活動	スポーツに関連した活動	自然や環境を守る活動	美化・清掃活動	災害・防災に関連した活動	交通安全・防犯活動	国際協力に関連した活動	その他	無回答
平田地区	2	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
市辺地区	3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
玉緒地区	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
御園地区	3	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
建部地区	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中野地区	5	60.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
八日市地区	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
南部地区	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
永源寺地区	7	28.6	0.0	14.3	14.3	28.6	42.9	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
五個荘地区	7	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	71.4	14.3	42.9	0.0	28.6	0.0
愛東地区	4	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
湖東地区	11	27.3	9.1	18.2	0.0	9.1	0.0	63.6	18.2	36.4	0.0	0.0	9.1
能登川地区	19	36.8	10.5	10.5	5.3	10.5	21.1	47.4	0.0	31.6	0.0	5.3	0.0
蒲生地区	14	28.6	0.0	35.7	7.1	0.0	14.3	57.1	21.4	14.3	0.0	0.0	0.0
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

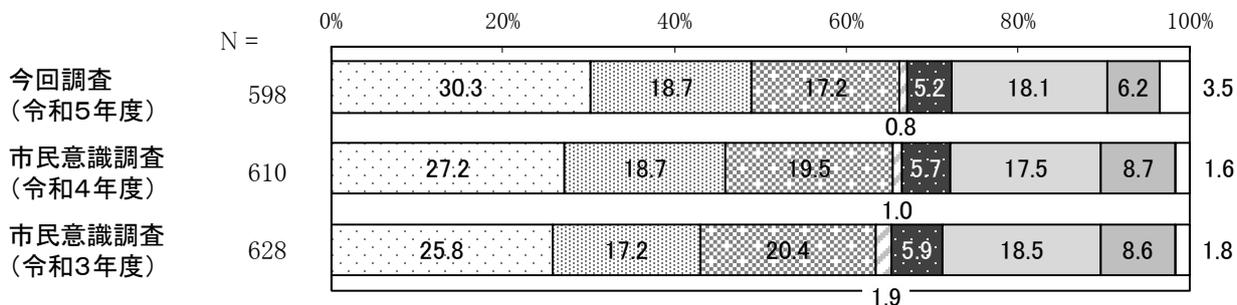
問 45-3 問 45 で「4. 参加していない」とお答えの方におたずねします。

参加していない理由をお聞かせください。《○1つ》

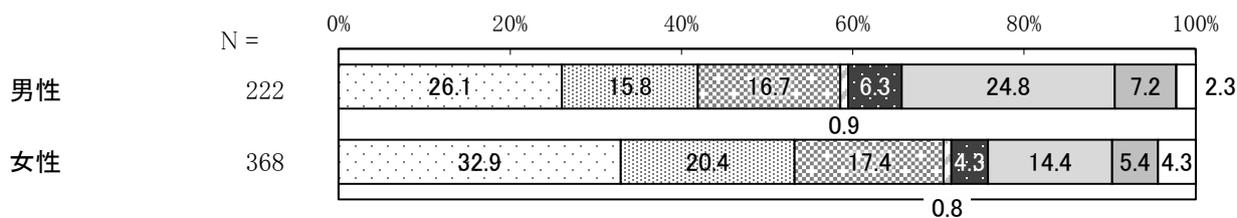
時間がない、年齢・身体・健康上の理由、関心がないなど

- ・ 地域活動又はNPOやボランティア等の活動に「参加していない」と回答した人に、その理由を聞いたところ、「仕事や育児、家族の介護等のため忙しく時間に余裕がないから」が30.3%で最も多く、次いで「年齢・身体・健康上の理由から」が18.7%、「関心がないから」が18.1%と続きます。
- ・ 性別では、男女ともに「仕事や育児、家族の介護等のため忙しく時間に余裕がないから」が最も多くあげられていますが、その割合は男性より女性で高くなっています。また男性は、「関心がないから」が女性より多くあげられています。
- ・ 年代別では、10歳代は「関心がないから」、20～60歳代は「仕事や育児、家族の介護等のため忙しく時間に余裕がないから」、70歳以上は「年齢・身体・健康上の理由から」が最も多くなっています。

-  仕事や育児、家族の介護等のため忙しく時間に余裕がないから
-  年齢・身体・健康上の理由から
-  活動の情報が少なく、活動内容がわからないから
-  既存の仕組み等に不満があるから
-  面倒だから
-  関心がないから
-  その他
-  無回答

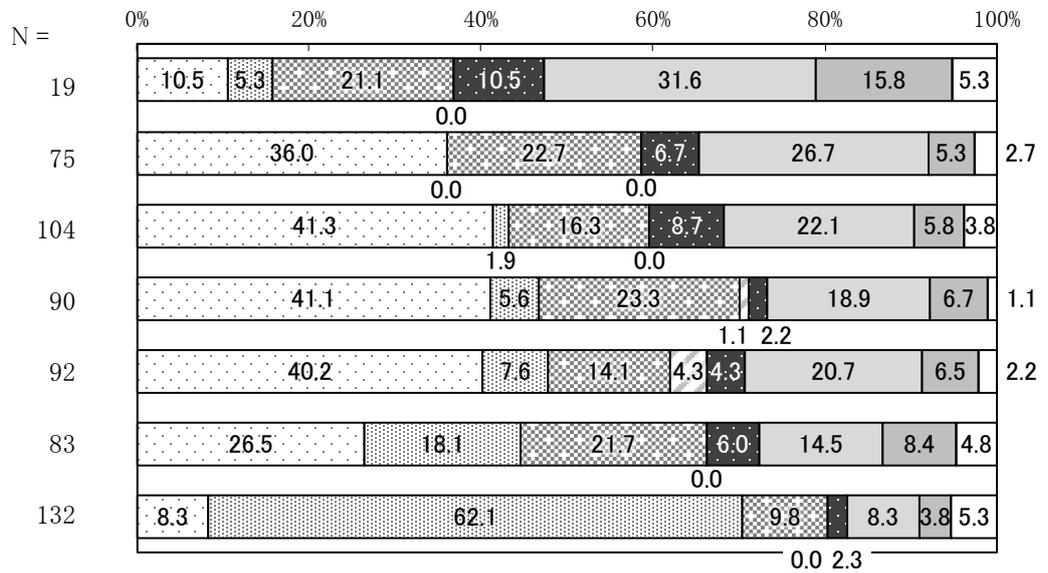


【性別】

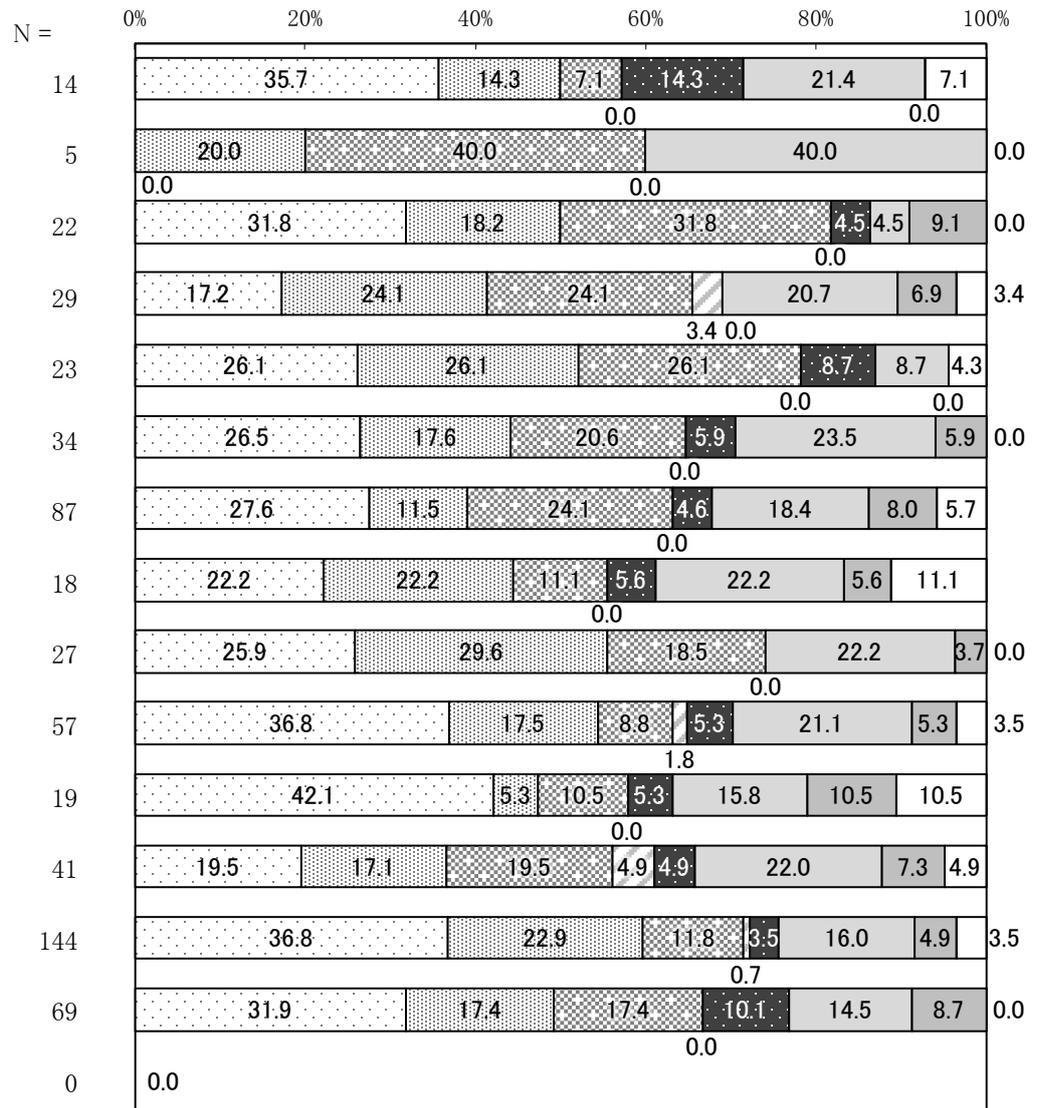


- 仕事や育児、家族の介護等のため忙しく時間に余裕がないから
- ▨ 年齢・身体・健康上の理由から
- ▩ 活動の情報が少なく、活動内容がわからないから
- ▧ 既存の仕組み等に不満があるから
- 面倒だから
- 関心がないから
- その他
- 無回答

【年代別】



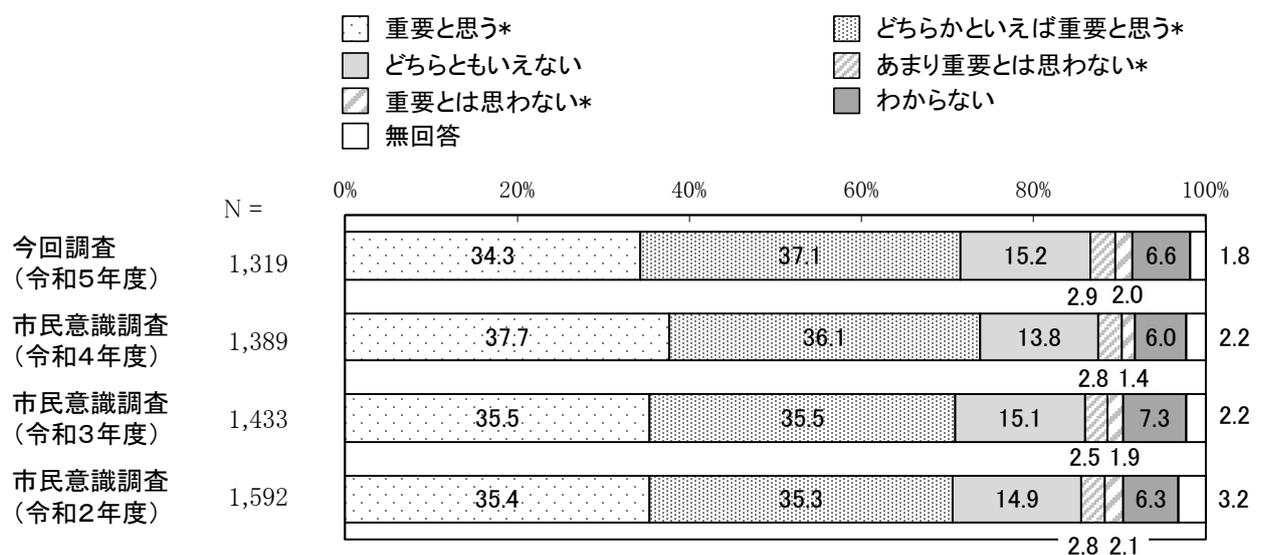
【居住地区別】



問 46 あなたは、国籍や民族の異なる人々が互いに認め合い、共に暮らす社会の実現についてどう思いますか。《○1つ》

7割が重要だと思っている

- ・ 国籍や民族の異なる人々が互いに認め合い、共に暮らす社会の実現については、「重要と思う」が34.3%、「どちらかといえば重要と思う」が37.1%で、これらを合わせると71.4%となり、7割の人が重要だと思っています。
- ・ 性別では男性より女性で、また、年代別ではおおむね年齢が若いほうが「重要と思う」と回答した人の割合が高い傾向があり、10歳代で6割近くとなっています。
- ・ 居住地区別では、愛東地区で重要と思う（「重要と思う」と「どちらかといえば重要と思う」の合計）の割合が8割となっています。



* 令和2年度は、「重要だと思う」、「どちらかといえば重要だと思う」、「あまり重要だとは思わない」、「重要だとは思わない」

単位：%

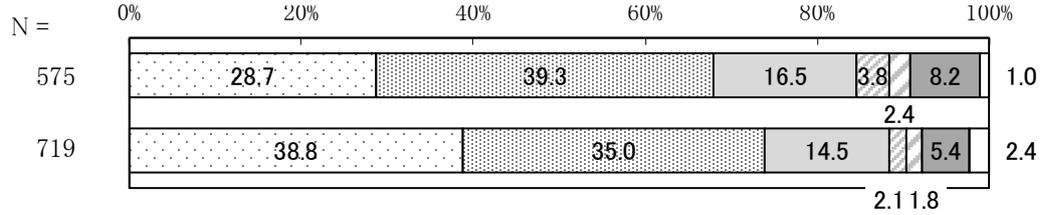
	重要と 思う*	重要とは思 わない*	差
①今回調査(令和5年度)	71.4	4.0	66.5
②市民意識調査(令和4年度)	73.8	4.2	69.6
③市民意識調査(令和3年度)	71.0	4.4	66.6
④市民意識調査(令和2年度)	70.7	4.9	65.8
①-④	0.7	0.0	0.7

* 重要と思う:「重要と思う」と「どちらかといえば重要と思う」の合計

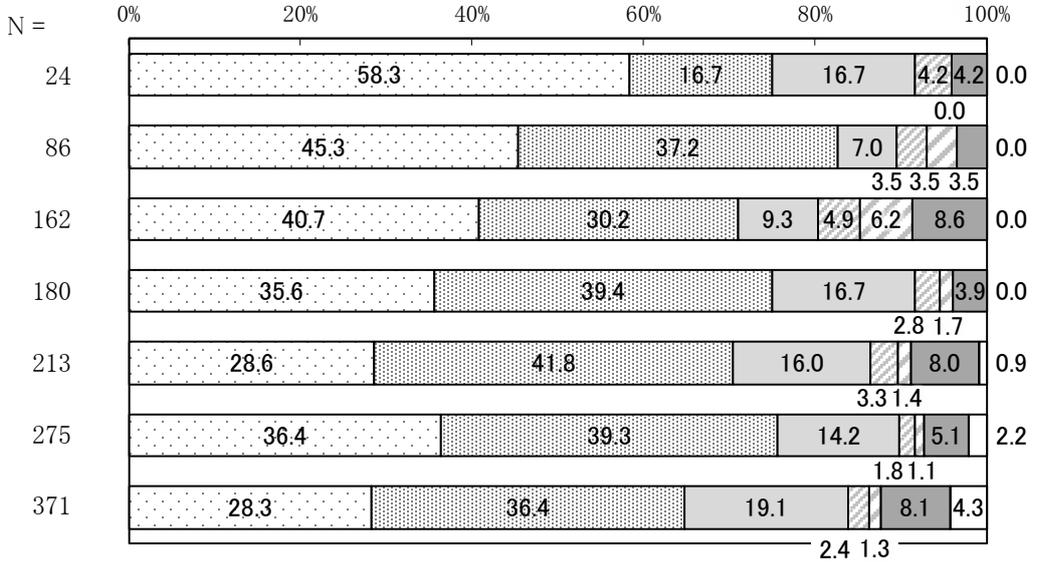
* 重要とは思わない:「あまり重要とは思わない」と「重要とは思わない」の合計



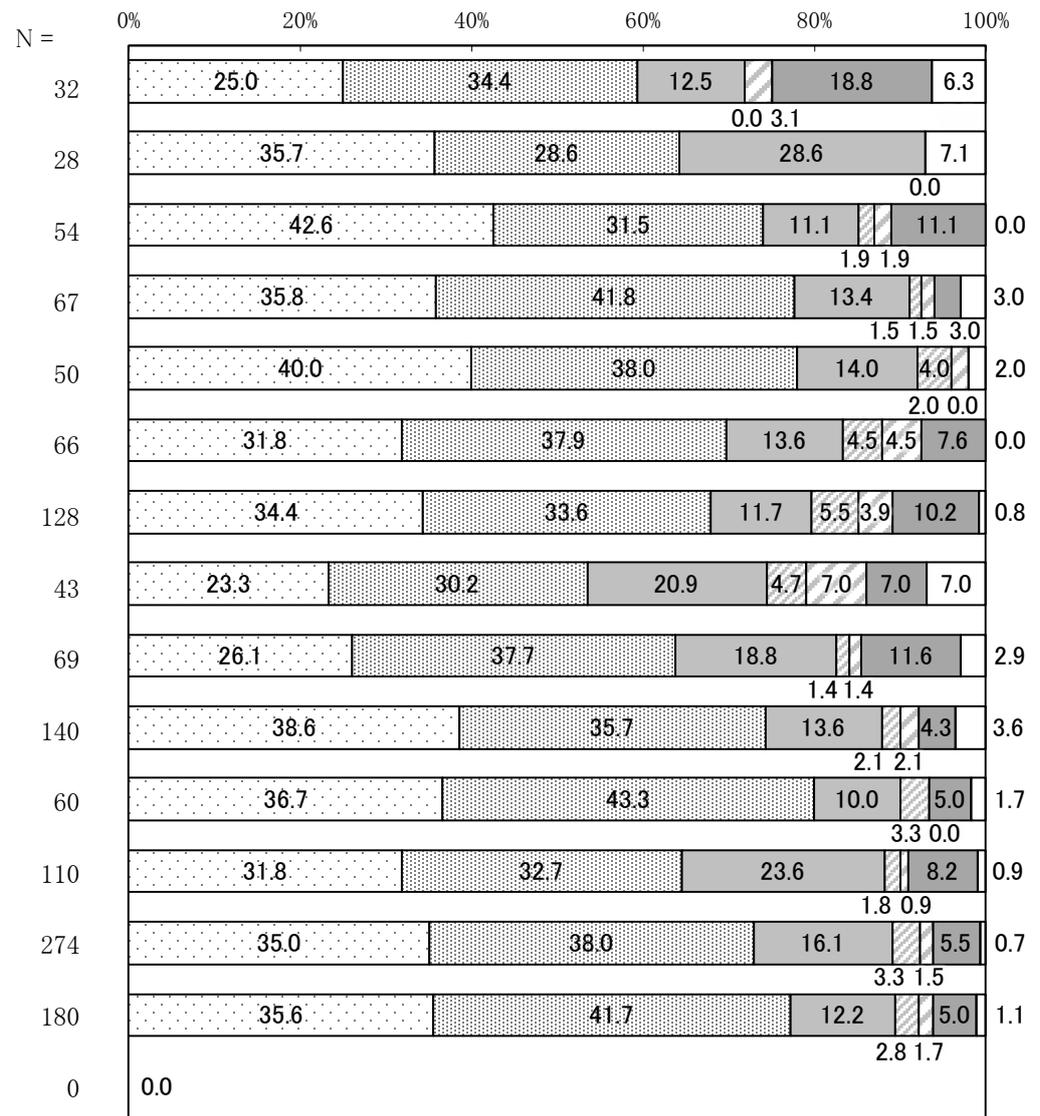
【性別】



【年代別】



【居住地区別】

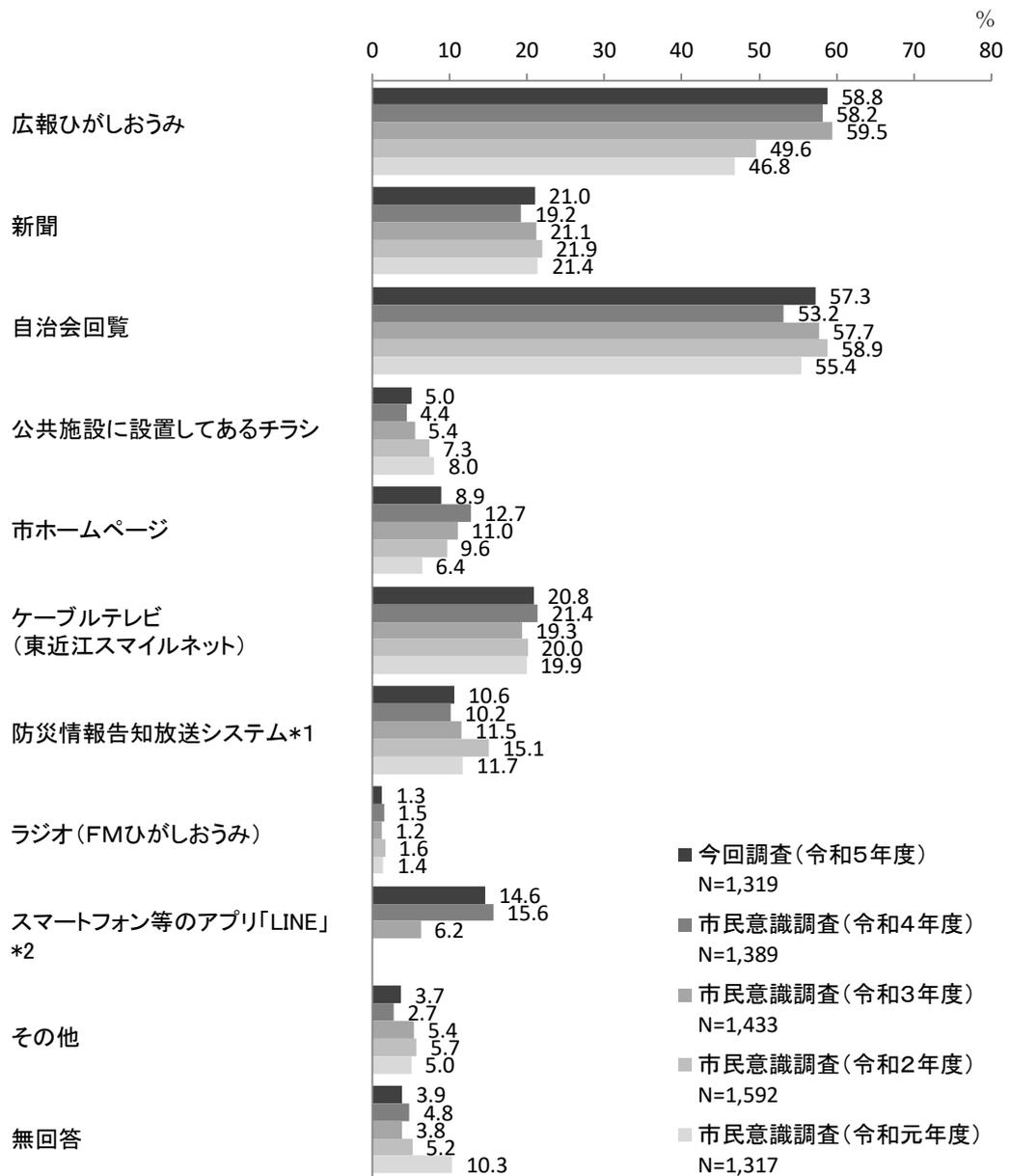


(9) 広報等の情報について

問 47 あなたは、市の情報（お知らせ）を主にどのような方法で取得していますか。《○3つまで》

6割近くが「広報ひがしおうみ」や「自治会回覧」で市の情報を取得

- ・ 市の情報（お知らせ）の主な取得方法については、「広報ひがしおうみ」が58.8%と最も多く、次いで「自治会回覧」が57.3%と続きます。
- ・ 過去の調査と比較すると、過去5年間で、「広報ひがしおうみ」の割合は、おおむね増加傾向にあります。
- ・ 性別では、男性で「自治会回覧」が、女性で「広報ひがしおうみ」が最も多くなっています。
- ・ 年代別では、30歳代と60歳以上で「自治会回覧」が、そのほかの年代で「広報ひがしおうみ」が最も多くあげられています。そのほか、「新聞」が10歳代と70歳以上で、「市ホームページ」が20～30歳代で、「ケーブルテレビ（東近江スマイルネット）」が60歳以上で、「スマートフォン等のアプリ「LINE」」が20～50歳代でほかの年代より多くあげられています。
- ・ 居住地区別では、能登川地区、蒲生地区、中野地区、南部地区、玉緒地区は「自治会回覧」が、そのほかの地区では「広報ひがしおうみ」が最も多くあげられています。また、玉緒地区では「広報ひがしおうみ」も同率で最も多くあげられています。そのほか、平田地区で「新聞」が、湖東地区、愛東地区、永源寺地区で「ケーブルテレビ（東近江スマイルネット）」が、ほかの地区より多くあげられています。



*1 令和2年度まで「音声告知端末」

*2 令和3年度から「スマートフォン等のアプリ「LINE」」を追加

【性別】 *この設問の表については、選択数の分だけ次に多くあげられている回答も薄く網掛けしています。 単位:%

区分	有効回答数(件)	広報ひがしおうみ	新聞	自治会回覧	公共施設に設置してあるチラシ	市ホームページ	ケーブルテレビ(東近江スマイルネット)	防災情報告知放送システム	ラジオ(FMひがしおうみ)	スマートフォン等のアプリ(LINE)	その他	無回答
男性	575	55.0	20.9	55.7	4.7	10.3	21.6	12.2	0.7	13.0	3.8	4.5
女性	719	61.8	21.1	58.7	5.3	7.5	20.6	9.5	1.5	16.0	3.6	3.3

【年代別】 単位:%

区分	有効回答数(件)	広報ひがしおうみ	新聞	自治会回覧	公共施設に設置してあるチラシ	市ホームページ	ケーブルテレビ(東近江スマイルネット)	防災情報告知放送システム	ラジオ(FMひがしおうみ)	スマートフォン等のアプリ(LINE)	その他	無回答
10歳代	24	41.7	33.3	16.7	0.0	4.2	16.7	12.5	8.3	0.0	12.5	0.0
20歳代	86	38.4	15.1	25.6	10.5	15.1	7.0	3.5	0.0	19.8	15.1	2.3
30歳代	162	38.9	6.8	44.4	9.3	17.3	13.0	6.8	0.6	21.6	6.8	3.1
40歳代	180	53.9	15.0	47.8	5.6	10.6	13.3	10.0	1.7	18.9	5.6	2.8
50歳代	213	59.2	20.2	51.2	1.9	8.0	16.0	12.2	1.9	20.7	2.8	2.8
60歳代	275	68.0	23.6	70.9	4.7	7.6	24.4	11.6	0.7	13.5	0.4	2.2
70歳以上	371	68.2	29.1	70.9	3.8	4.9	31.3	12.7	1.1	6.5	1.3	7.3

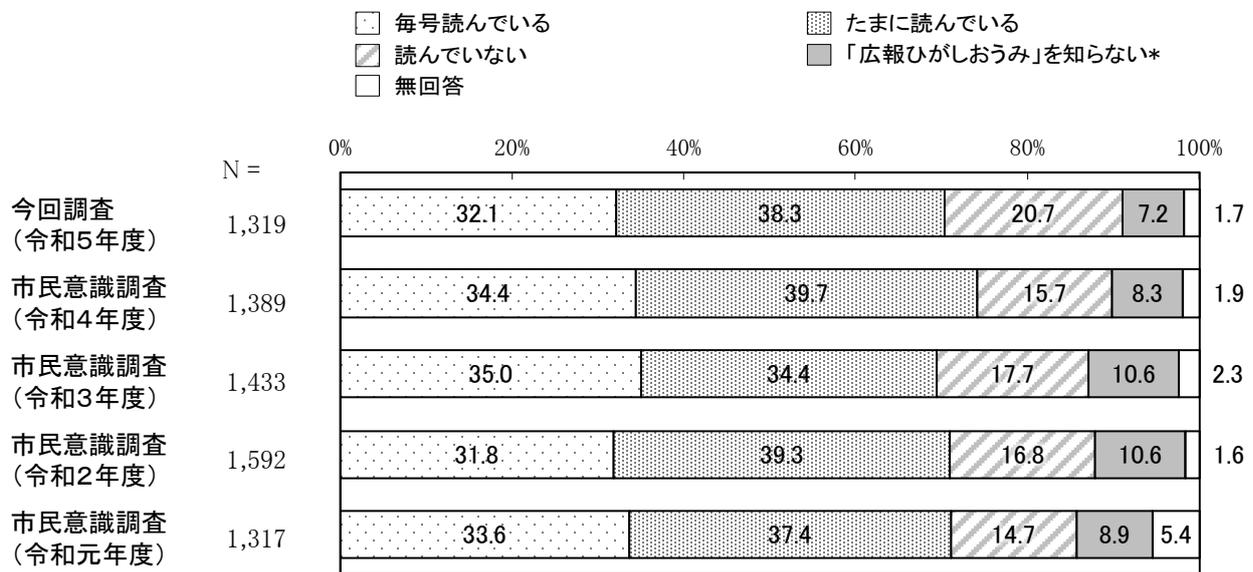
【居住地区別】 単位:%

区分	有効回答数(件)	広報ひがしおうみ	新聞	自治会回覧	公共施設に設置してあるチラシ	市ホームページ	ケーブルテレビ(東近江スマイルネット)	防災情報告知放送システム	ラジオ(FMひがしおうみ)	スマートフォン等のアプリ(LINE)	その他	無回答
平田地区	32	65.6	31.3	59.4	0.0	6.3	37.5	9.4	0.0	12.5	0.0	9.4
市辺地区	28	67.9	28.6	50.0	3.6	17.9	14.3	10.7	0.0	7.1	0.0	3.6
玉緒地区	54	53.7	22.2	53.7	3.7	5.6	29.6	13.0	1.9	16.7	1.9	5.6
御園地区	67	67.2	29.9	55.2	3.0	6.0	16.4	7.5	4.5	13.4	3.0	4.5
建部地区	50	58.0	28.0	52.0	6.0	8.0	18.0	14.0	4.0	14.0	2.0	4.0
中野地区	66	57.6	21.2	60.6	4.5	16.7	12.1	6.1	0.0	16.7	6.1	1.5
八日市地区	128	40.6	14.8	38.3	9.4	16.4	5.5	9.4	3.1	18.8	10.9	5.5
南部地区	43	53.5	27.9	60.5	2.3	14.0	16.3	4.7	0.0	14.0	4.7	4.7
永源寺地区	69	69.6	18.8	62.3	1.4	7.2	43.5	17.4	0.0	11.6	1.4	2.9
五個荘地区	140	65.0	16.4	57.9	5.0	8.6	24.3	13.6	0.7	14.3	2.9	4.3
愛東地区	60	68.3	16.7	56.7	3.3	3.3	45.0	18.3	1.7	10.0	3.3	1.7
湖東地区	110	57.3	18.2	53.6	1.8	11.8	45.5	10.0	0.0	9.1	2.7	5.5
能登川地区	274	61.7	24.1	65.7	8.4	4.7	12.8	7.7	1.5	15.7	3.6	3.6
蒲生地区	180	55.6	18.9	62.8	3.9	8.3	12.2	12.2	0.0	15.6	2.8	1.7
わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 48 あなたは、市の広報紙「広報ひがしおうみ」を読んでいますか。《○1つ》

7割が広報紙を読んでおり、3割は「毎月読んでいる」

- ・ 「広報ひがしおうみ」については、「たまに読んでいる」が38.3%と最も多く、「毎月読んでいる」の32.1%と合わせると70.4%となり、7割の人が読んでいると回答しています。一方、「読んでいない」が20.7%、「「広報ひがしおうみ」を知らない」が7.2%となっています。
- ・ 広報紙を「毎月読んでいる」人の割合は、性別では男性より女性で高く、年代別では年齢が上がるほど高くなる傾向があります。一方、30歳代までは読んでいない人（「読んでいない」と「「広報ひがしおうみ」を知らない」の合計）が読んでいる人（「毎月読んでいる」と「たまに読んでいる」の合計）より多く見られます。
- ・ 居住地区別では、御園地区、永源寺地区、湖東地区、愛東地区、建部地区で広報紙を読んでいる人（前述）が8割近く見られる一方、八日市地区で読んでいない人（前述）が4割と多く見られます。



* 令和4年度までは「知らない」

単位：%

	読んでいる*	読んでいない*	差
①今回調査(令和5年度)	70.4	27.9	42.5
②市民意識調査(令和4年度)	74.1	24.0	50.1
③市民意識調査(令和3年度)	69.4	28.3	41.1
④市民意識調査(令和2年度)	71.1	27.4	43.7
⑤市民意識調査(令和元年度)	71.0	23.6	47.4
①-⑤	-0.6	4.3	-4.9

* 読んでいる:「毎月読んでいる」と「たまに読んでいる」の合計

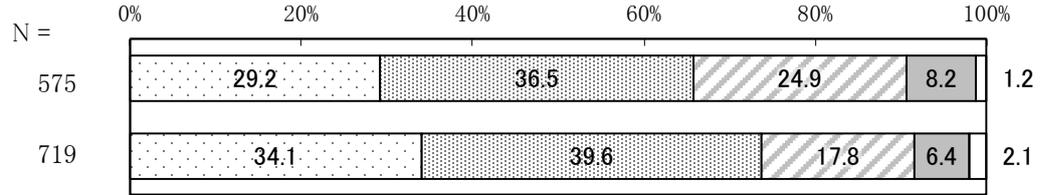
* 読んでいない:「読んでいない」と「「広報ひがしおうみ」を知らない」の合計

毎号読んでいる
 たまに読んでいる

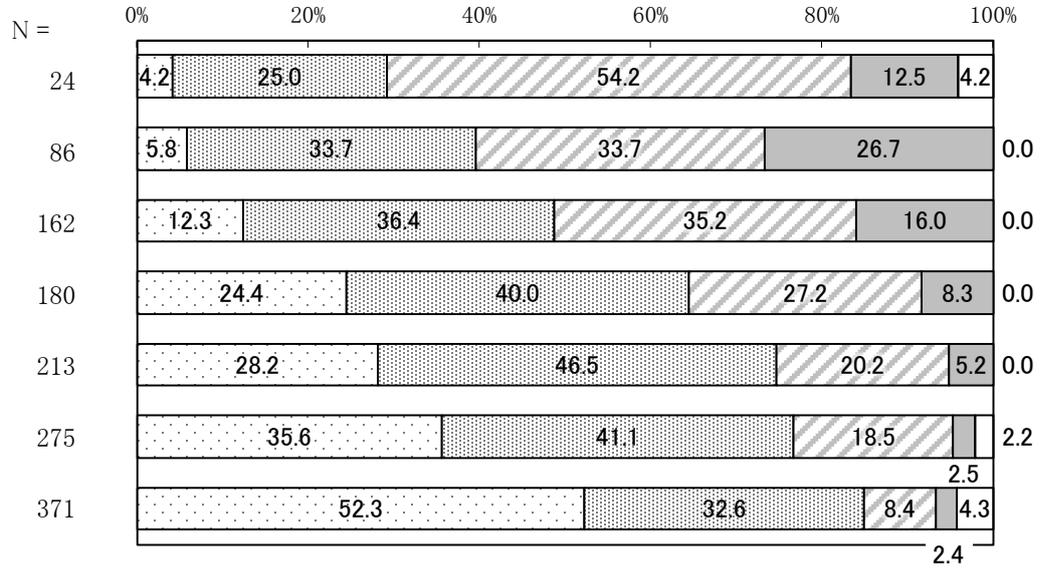
読んでいない
 「広報ひがしおうみ」を知らない*

無回答

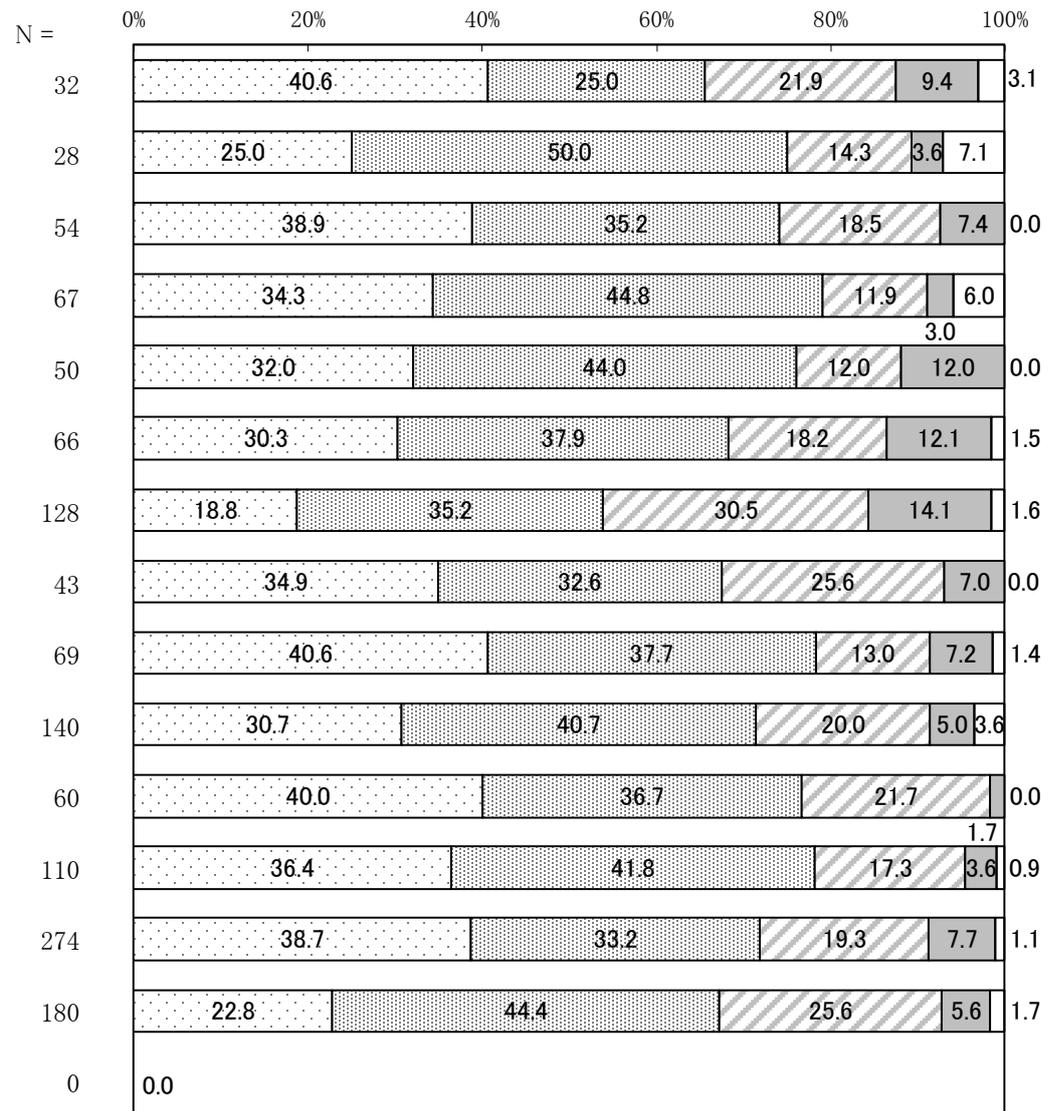
【性別】



【年代別】



【居住地区別】

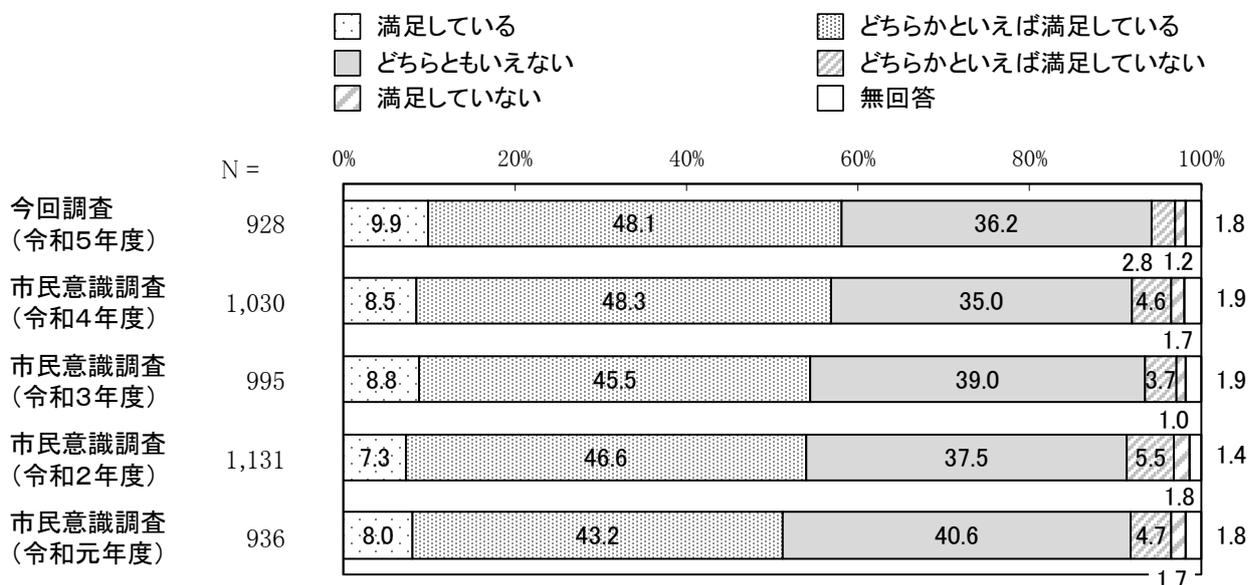


問 48-1 問 48 で「1. 毎月読んでいる」「2. たまに読んでいる」とお答えの方におたずねします。

あなたは、「広報ひがしおうみ」の内容について満足していますか。《○1つ》

6割近くが満足、4割近くが「どちらともいえない」

- 「広報ひがしおうみ」の満足度について広報紙を読んでいる人に聞いたところ、「どちらかといえば満足している」が48.1%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が36.2%と続きます。満足している（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）が58.0%に対し、満足していない（「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計）の割合は4.0%となっています。
- 過去の調査結果と比べると、満足している人（前述）の割合は年々増加しています。
- 性別では男性より女性で、年代別では10～20歳代と70歳以上で、居住地区別では平田地区、市辺地区、中野地区、御園地区で、満足している人（前述）の割合が高くなっています。



単位：%

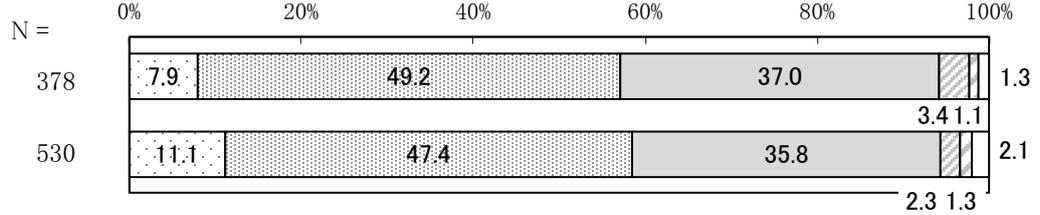
	満足*	不満*	差
①今回調査(令和5年度)	58.0	4.0	54.0
②市民意識調査(令和4年度)	56.8	6.3	50.5
③市民意識調査(令和3年度)	54.3	4.7	49.6
④市民意識調査(令和2年度)	53.9	7.3	46.6
⑤市民意識調査(令和元年度)	51.2	6.4	44.8
①-⑤	6.8	-2.4	9.2

* 満足:「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計

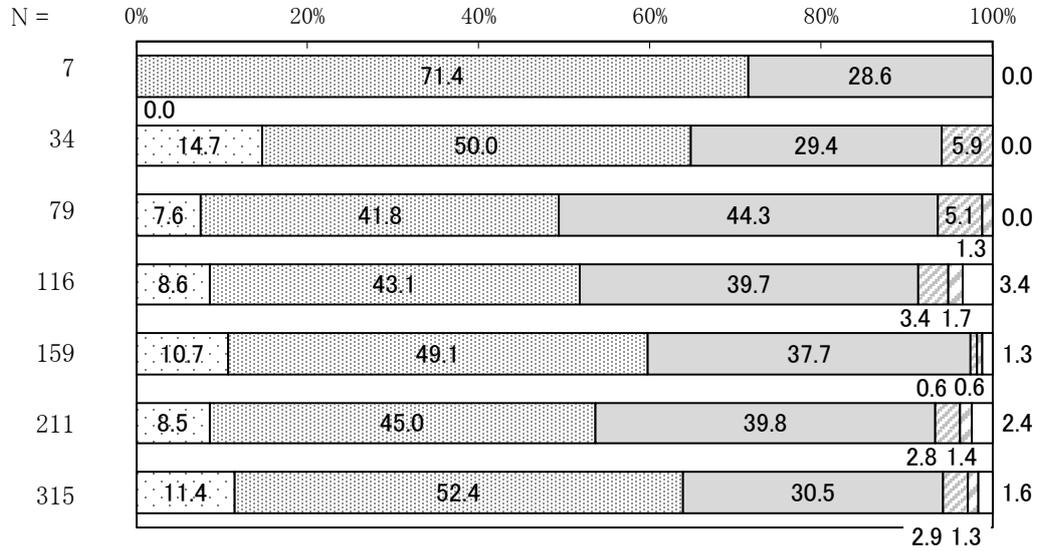
* 不満:「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」の合計



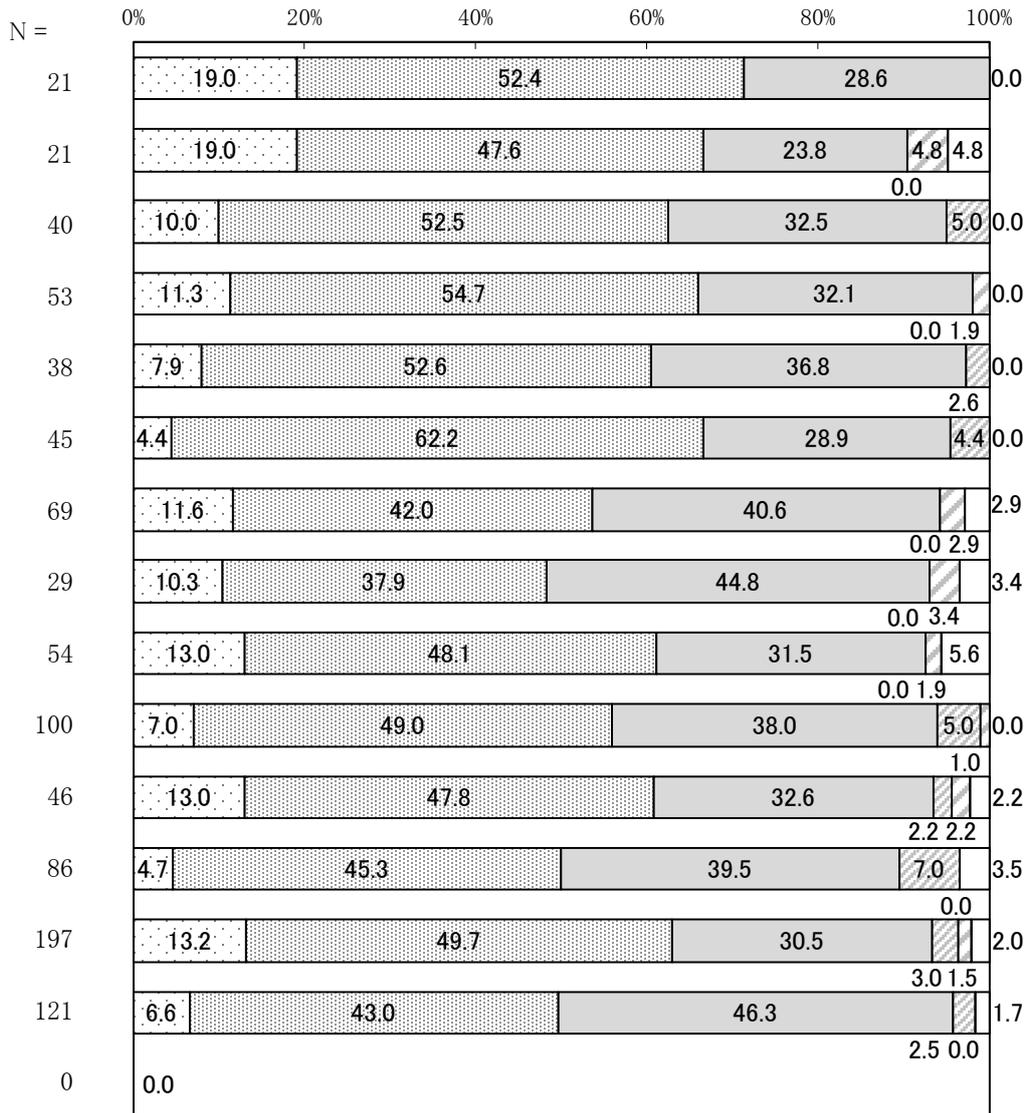
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



問 49 「広報ひがしおうみ」は、毎月新聞折込みによる配布のほかに次の方法で配信等を行っています。

あなたは、次の配信等の方法を知っていますか。《それぞれの項目に○1つ》

「広報ひがしおうみ」の配信方法の認知度は「公共施設等に設置」が最も高い

- ・ 「広報ひがしおうみ」の配信方法の認知度（「見たことがある」と「知っているが見たことはない」を合わせた割合）については、「⑥公共施設等に設置」が48.2%と最も高く、次いで「①市ホームページで閲覧」が41.7%、「②東近江スマイルネットのデータ放送で視聴」が31.5%、「③スマートフォン等のアプリ「LINE」で閲覧」が27.8%となっています。一方、「⑤スマートフォン等のアプリ「カタログポケット」で閲覧」が8.2%、「④スマートフォン等のアプリ「マチイロ」で閲覧」が9.5%は1割未満と低くなっています。
- ・ 実際に「見たことがある」人が多かったのは、認知度と同様に「⑥公共施設等に設置」が23.8%、「①市ホームページで閲覧」が17.4%、「②東近江スマイルネットのデータ放送で視聴」が15.3%の順となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、おおむね「①市ホームページで閲覧」と「③スマートフォン等のアプリ「LINE」で閲覧」の認知度（前述）が向上し、実際に「見たことがある」人の割合も増加傾向にあります。

見たことがある 知っているが見たことはない
 知らない 無回答

		N =	0%	20%	40%	60%	80%	100%
①市ホームページで閲覧	今回調査 (令和5年度)	1,319	17.4	24.3	51.6	6.7		
	市民意識調査 (令和4年度)	1,389	18.6	24.9	49.9	6.6		
	市民意識調査 (令和3年度)	1,433	15.2	23.9	53.5	7.3		
	市民意識調査 (令和2年度)	1,592	12.6	22.0	58.3	7.0		
	市民意識調査 (令和元年度)	1,317	11.7	21.8	52.8	13.7		
②東近江スマイルネットのデータ放送で視聴	今回調査 (令和5年度)	1,319	15.3	16.2	61.9	6.6		
	市民意識調査 (令和4年度)	1,389	17.1	15.3	60.0	7.6		
	市民意識調査 (令和3年度)	1,433	15.8	15.1	62.5	6.6		
	市民意識調査 (令和2年度)	1,592	15.2	13.8	64.4	6.6		
	市民意識調査 (令和元年度)	1,317	13.1	14.9	59.1	13.0		
③スマートフォン等のアプリ「LINE」で閲覧	今回調査 (令和5年度)	1,319	14.2	13.6	65.2	7.1		
	市民意識調査 (令和4年度)	1,389	13.8	12.7	65.1	8.4		
	市民意識調査 (令和3年度)	1,433	4.9	12.2	74.8	8.1		
④スマートフォン等のアプリ「マチイロ」で閲覧	今回調査 (令和5年度)	1,319	1.4	8.1	83.1	7.4		
	市民意識調査 (令和4年度)	1,389	1.4	8.3	81.4	8.9		
	市民意識調査 (令和3年度)	1,433	1.4	9.1	80.9	8.7		
	市民意識調査 (令和2年度)	1,592	1.9	8.7	81.2	8.2		
	市民意識調査 (令和元年度)	1,317	1.8	9.0	74.3	14.9		
⑤スマートフォン等のアプリ「カタログポケット」で閲覧	今回調査 (令和5年度)	1,319	0.8	7.4	84.1	7.7		
	市民意識調査 (令和4年度)	1,389	0.7	7.3	83.1	8.9		
	市民意識調査 (令和3年度)	1,433	0.4	8.0	83.0	8.5		
⑥公共施設等(市役所、図書館、コミュニティセンター等)に設置	今回調査 (令和5年度)	1,319	23.8	24.4	45.0	6.8		
	市民意識調査 (令和4年度)	1,389	25.9	23.9	43.2	7.0		
	市民意識調査 (令和3年度)	1,433	23.7	23.8	45.2	7.3		
	市民意識調査 (令和2年度)	1,592	24.2	22.5	46.7	6.5		
	市民意識調査 (令和元年度)	1,317	27.4	20.2	39.6	12.8		

*「③スマートフォン等のアプリ「LINE」で閲覧」と「⑤スマートフォン等のアプリ「カタログポケット」で閲覧」は、令和3年度から追加

単位：％

		認知度*	知らない	差
①市ホームページで閲覧	今回調査(令和5年度)	41.7	51.6	-9.9
	市民意識調査(令和4年度)	43.5	49.9	-6.4
	市民意識調査(令和3年度)	39.1	53.5	-14.4
	市民意識調査(令和2年度)	34.6	58.3	-23.7
	市民意識調査(令和元年度)	33.5	52.8	-19.3
	差	8.2	-1.2	9.4
②東近江スマイルネットのデータ放送で視聴	今回調査(令和5年度)	31.5	61.9	-30.4
	市民意識調査(令和4年度)	32.4	60.0	-27.6
	市民意識調査(令和3年度)	30.9	62.5	-31.6
	市民意識調査(令和2年度)	29.0	64.4	-35.4
	市民意識調査(令和元年度)	28.0	59.1	-31.1
	差	3.5	2.8	0.7
③スマートフォン等のアプリ「LINE」で閲覧	今回調査(令和5年度)	27.8	65.2	-37.4
	市民意識調査(令和4年度)	26.5	65.1	-38.6
	市民意識調査(令和3年度)	17.1	74.8	-57.7
	差	10.7	-9.6	20.3
④スマートフォン等のアプリ「マチイロ」で閲覧	今回調査(令和5年度)	9.5	83.1	-73.6
	市民意識調査(令和4年度)	9.7	81.4	-71.7
	市民意識調査(令和3年度)	10.5	80.9	-70.4
	市民意識調査(令和2年度)	10.6	81.2	-70.6
	市民意識調査(令和元年度)	10.8	74.3	-63.5
	差	-1.3	8.8	-10.1
⑤スマートフォン等のアプリ「カタログポケット」で閲覧	今回調査(令和5年度)	8.2	84.1	-75.9
	市民意識調査(令和4年度)	8.0	83.1	-75.1
	市民意識調査(令和3年度)	8.4	83.0	-74.6
	差	-0.2	1.1	-1.3
⑥公共施設等(市役所、図書館、コミュニティセンター等)に設置	今回調査(令和5年度)	48.2	45.0	3.2
	市民意識調査(令和4年度)	49.8	43.2	6.6
	市民意識調査(令和3年度)	47.5	45.2	2.3
	市民意識調査(令和2年度)	46.7	46.7	0.0
	市民意識調査(令和元年度)	47.6	39.6	8.0
	差	0.6	5.4	-4.8

* 認知度:「見たことがある」「知っているが見たことはない」の合計

① 市ホームページで閲覧

- ・ 年代別では、10～30歳代の若い世代より40歳以上で認知度(前述)が高く、50～60歳代は半数前後となっています。また、50歳代までは、知らない人が知っている人より多くなっています。
- ・ 居住地区別では、南部地区で知らない人が6割とほかの地区より多くなっています。認知度(前述)は、市辺地区、建部地区で半数以上と高くなっています。

② 東近江スマイルネットのデータ放送で視聴

- ・ 年代別では、10歳代を除いて、20～40歳代の認知度(前述)が2割前後なのに対して、50歳以上は年齢が上がるほど認知度(前述)が高くなる傾向があり、60歳以上は4割前後となっています。また、60歳代までは知らない人が知っている人より多くなっています。
- ・ 居住地区別では、愛東地区、平田地区で知っている人が知らない人より多くなっています。認知

度（前述）は、愛東地区、平田地区、永源寺地区の順に高くなっています。一方、八日市地区で認知度（前述）が2割近くと低くなっています。

③ スマートフォン等のアプリ「LINE」で閲覧

- ・ 年代別では、認知度（前述）は40～60歳代で3割以上とほかの年代より高くなっていますが、全ての年代で知らない人が知っている人より多くなっています。
- ・ 居住地区別では、全ての地区で知らない人が知っている人より多く、特に中野地区、湖東地区、市辺地区で知らない人が7割以上と多くなっています。認知度（前述）は、建部地区で半数近くと高くなっています。

④ スマートフォン等のアプリ「マチイロ」で閲覧

- ・ 年代別では、全ての年代で知らない人が知っている人より多くなっています。認知度（前述）は、60歳以上で1割を超えるも、ほかの年代は1割未満となっています。
- ・ 居住地区別では、全ての地区で知らない人が知っている人より多くなっています。認知度（前述）は、建部地区が3割と高くなっています。

⑤ スマートフォン等のアプリ「カタログポケット」で閲覧

- ・ 年代別では、全ての年代で知らない人が知っている人より多くなっています。認知度（前述）は、70歳以上で1割を超えるも、ほかの年代は1割未満となっています。
- ・ 居住地区別では、全ての地区で知らない人が知っている人より多くなっています。認知度（前述）は、建部地区が3割近くと高くなっています。

⑥ 公共施設等（市役所、図書館、コミュニティセンター等）に設置

- ・ 性別では、男性より女性の認知度（前述）が高く、男性は知らない人が知っている人より多くなっています。
- ・ 年代別では、40歳代と60歳代で認知度（前述）が半数以上と高くなっています。また、30歳代までと50歳代は知らない人が知っている人より多くなっています。
- ・ 居住地区別では、建部地区で7割以上、五個荘地区、御園地区で6割近くと、認知度（前述）が高くなっています。一方、八日市地区、玉緒地区、中野地区、蒲生地区では知らない人が半数を超えています。

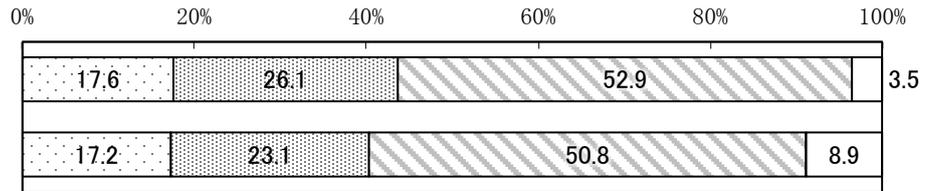
① 市ホームページで閲覧

見たことがある
 知っているが見たことはない
 知らない
 無回答

【性別】

男性

N = 575



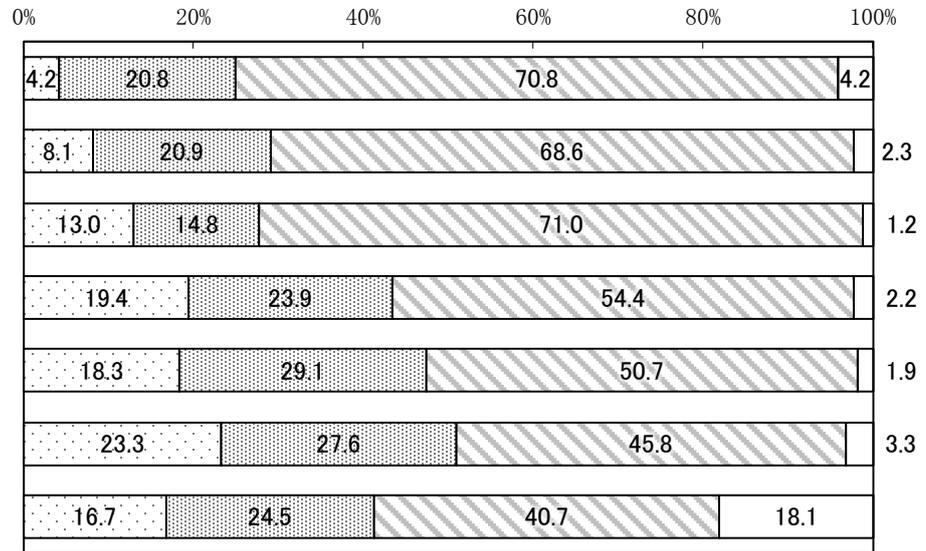
女性

N = 719

【年代別】

10歳代

N = 24



20歳代

N = 86

30歳代

N = 162

40歳代

N = 180

50歳代

N = 213

60歳代

N = 275

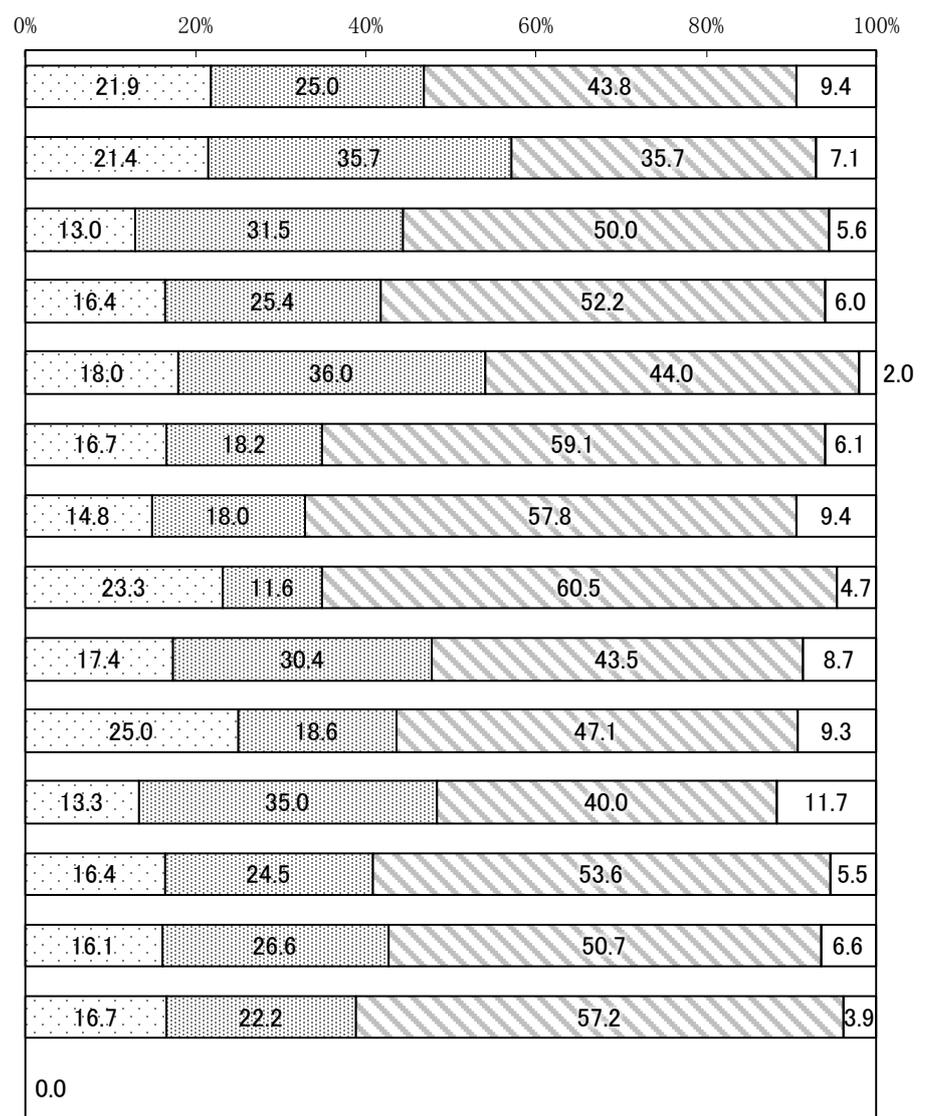
70歳以上

N = 371

【居住地区別】

平田地区

N = 32



市辺地区

N = 28

玉緒地区

N = 54

御園地区

N = 67

建部地区

N = 50

中野地区

N = 66

八日市地区

N = 128

南部地区

N = 43

永源寺地区

N = 69

五個荘地区

N = 140

愛東地区

N = 60

湖東地区

N = 110

能登川地区

N = 274

蒲生地区

N = 180

わからない

N = 0

② 東近江スマイルネットのデータ放送で視聴

□ 見たことがある

▨ 知っているが見たことはない

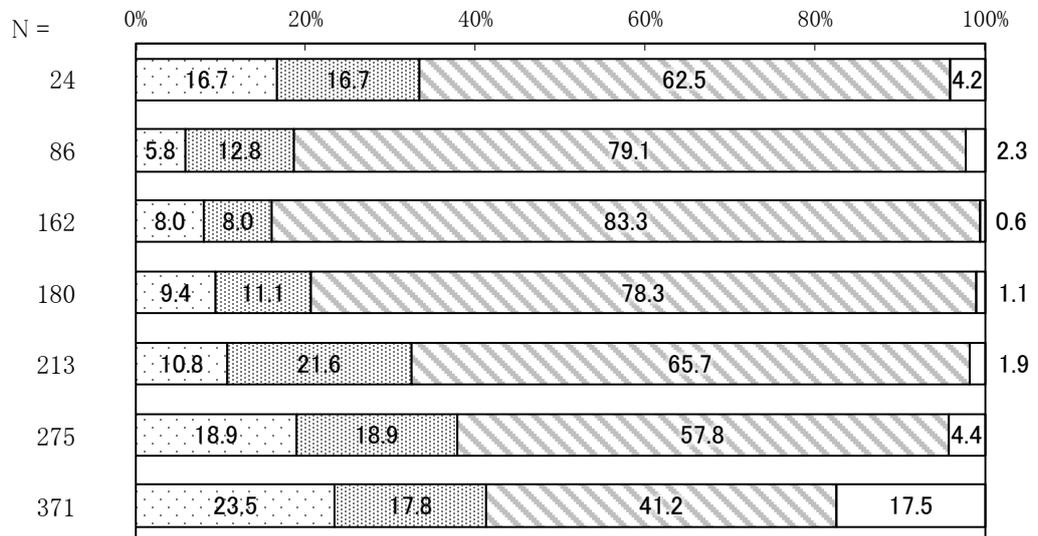
▧ 知らない

□ 無回答

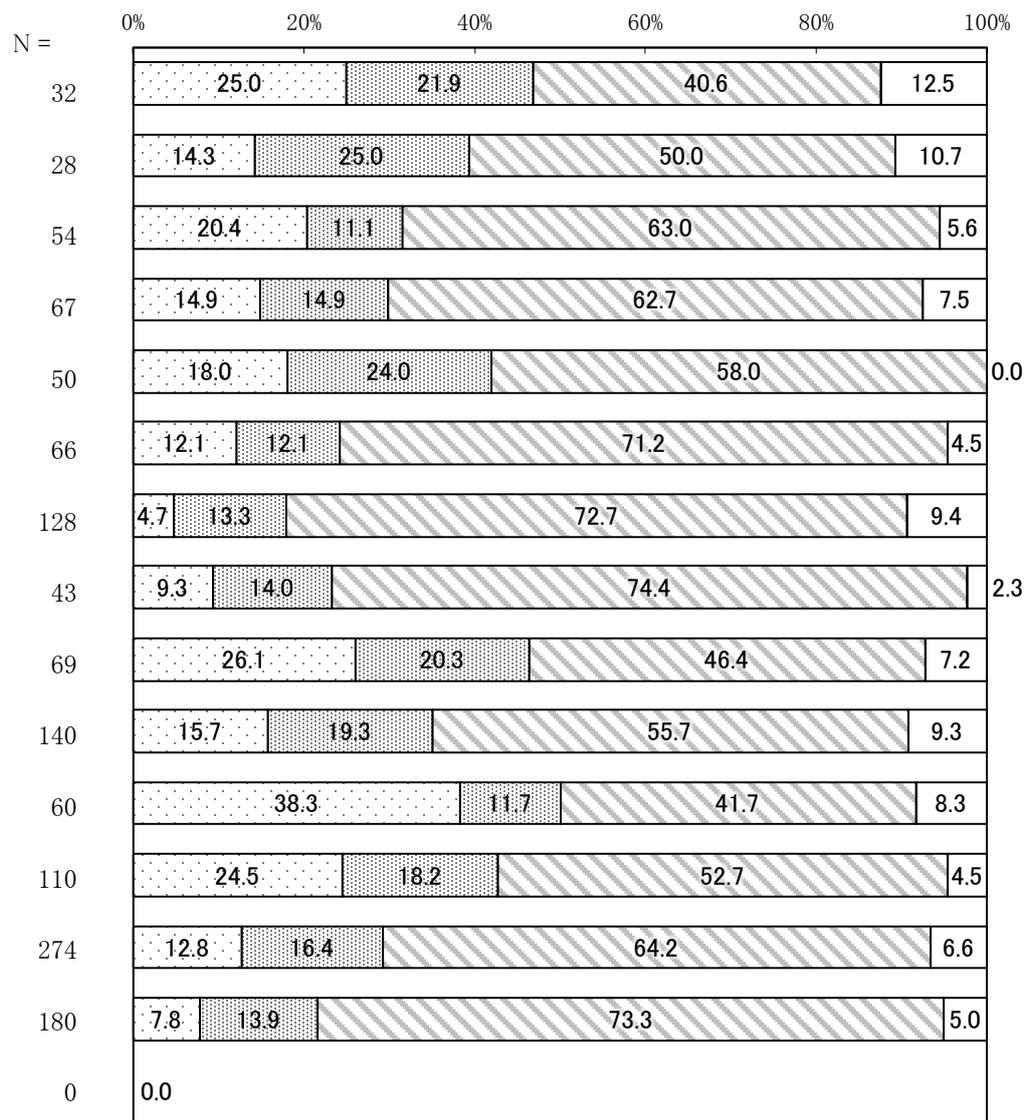
【性別】



【年代別】



【居住地区別】

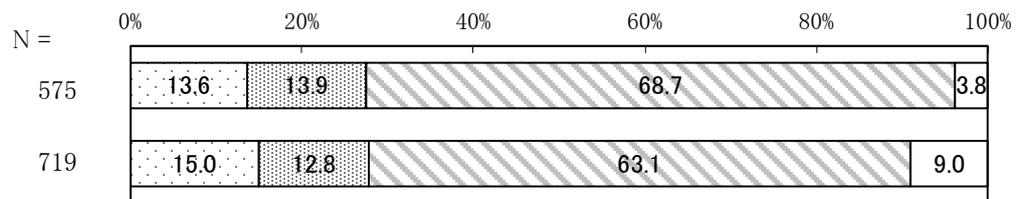


③ スマートフォン等のアプリ「LINE」で閲覧

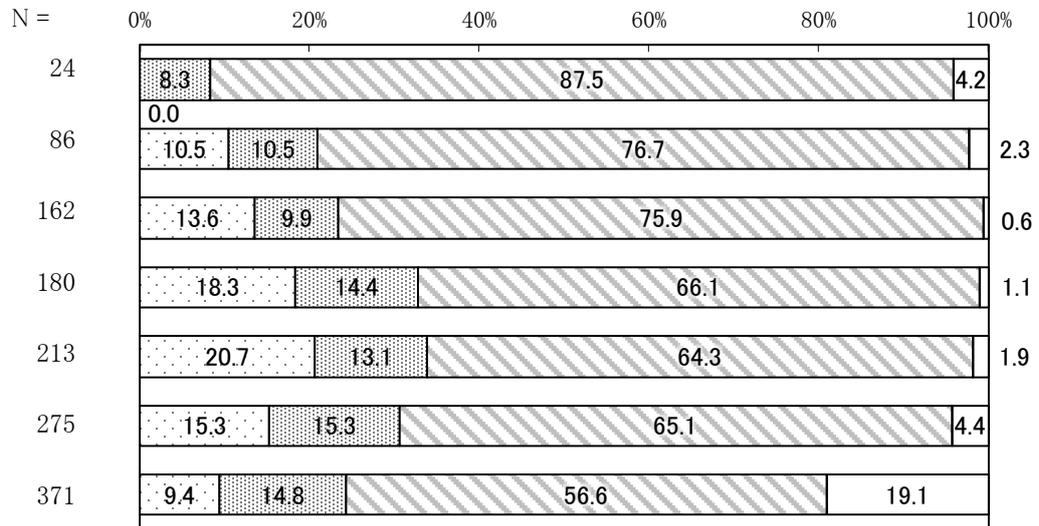
□ 見たことがある
 □ 知らない

▨ 知っているが見たことはない
 □ 無回答

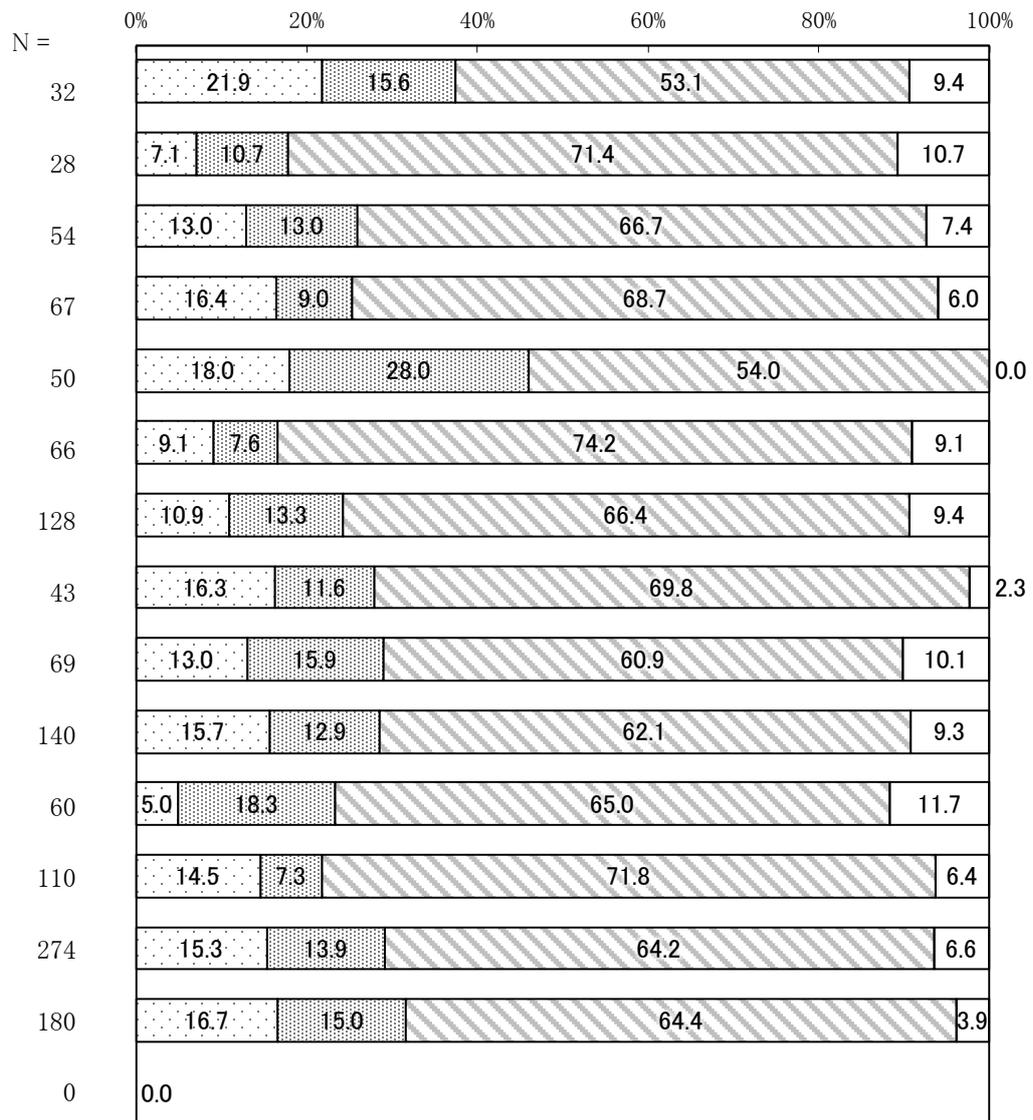
【性別】



【年代別】



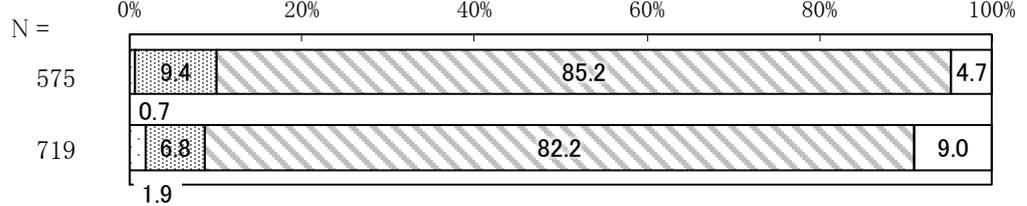
【居住地区別】



④ スマートフォン等のアプリ「マチイロ」で閲覧

見たことがある 知っているが見たことはない
 知らない 無回答

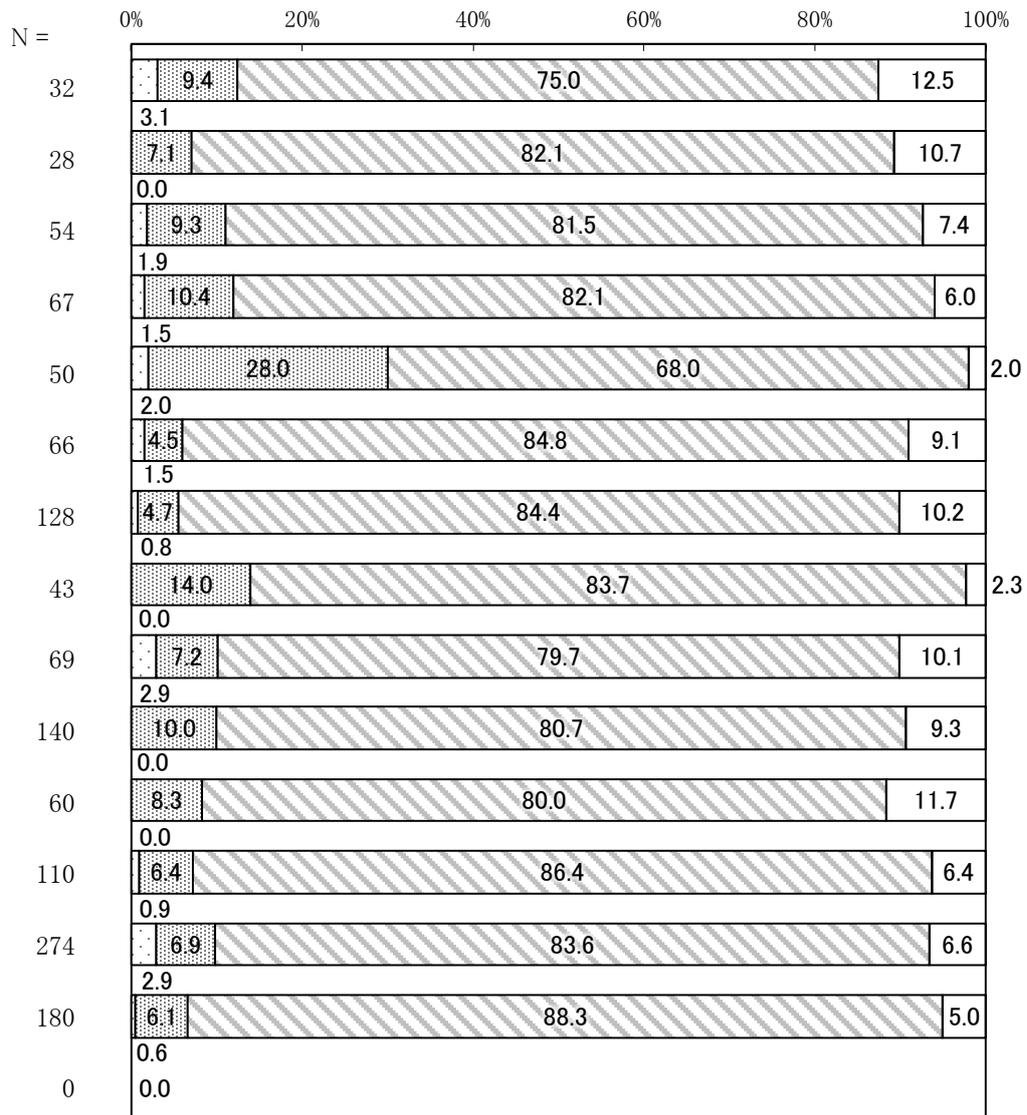
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



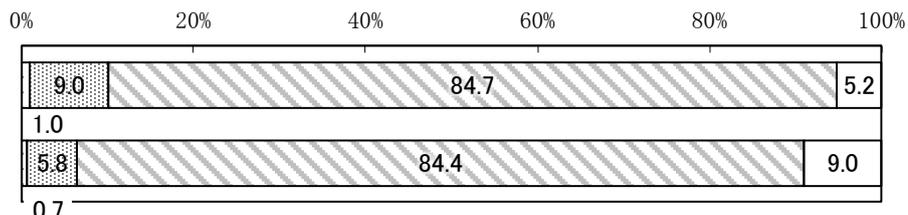
⑤ スマートフォン等のアプリ「カタログポケット」で閲覧

見たことがある
 知っているが見たことはない
 知らない
 無回答

【性別】

N =

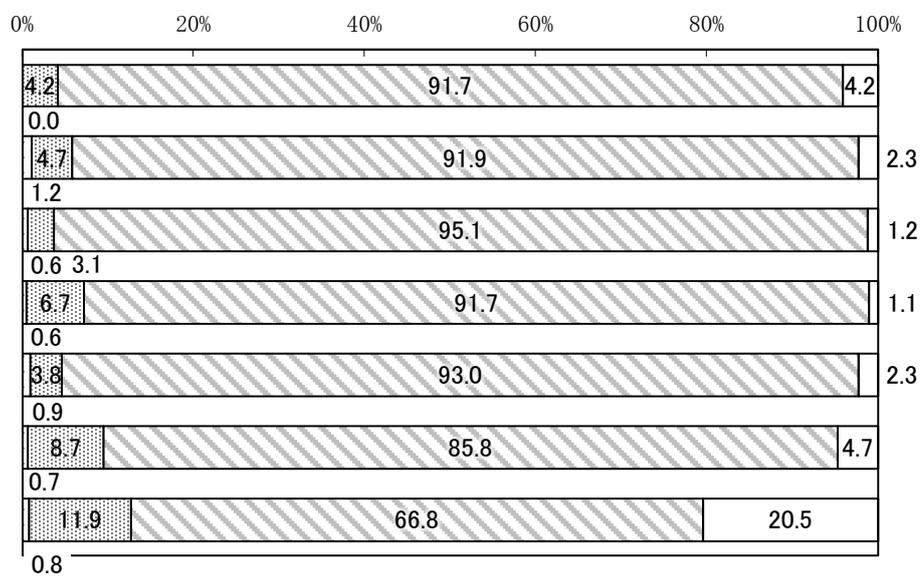
男性 575
女性 719



【年代別】

N =

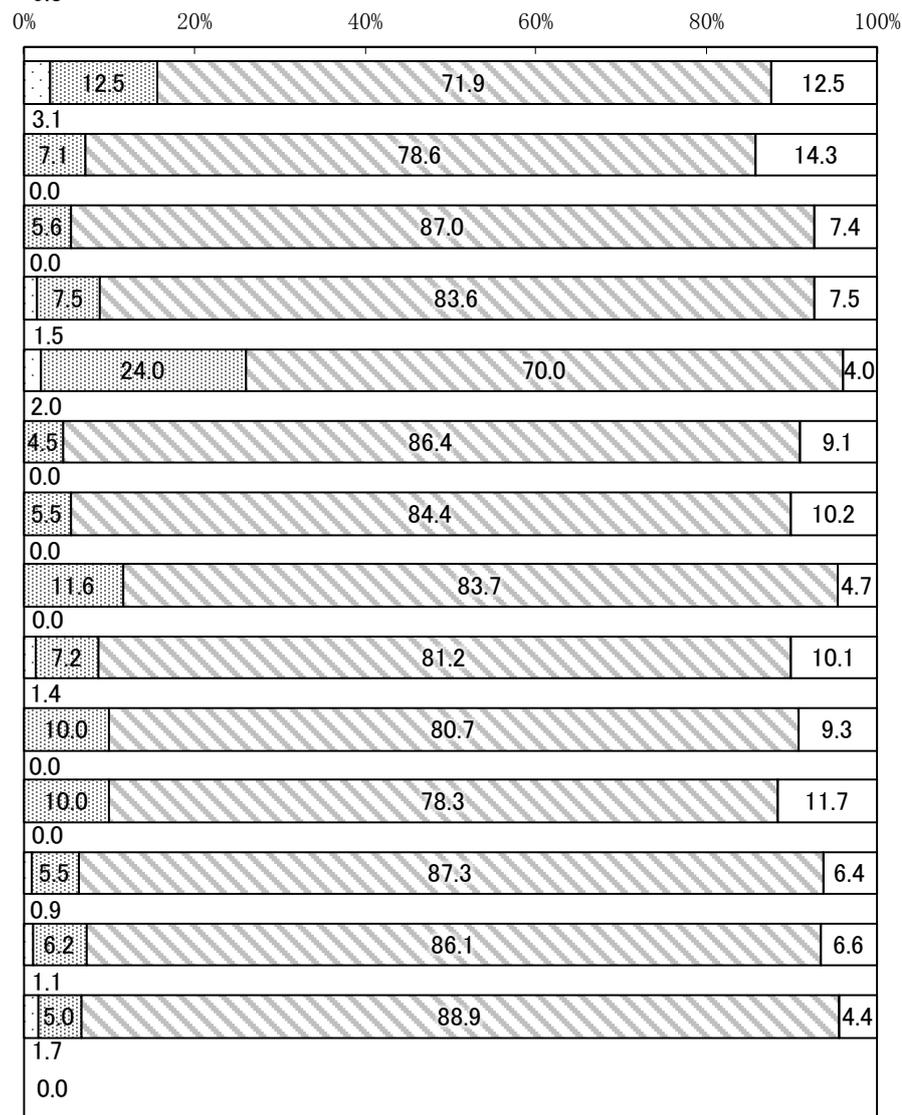
10歳代 24
20歳代 86
30歳代 162
40歳代 180
50歳代 213
60歳代 275
70歳以上 371



【居住地区別】

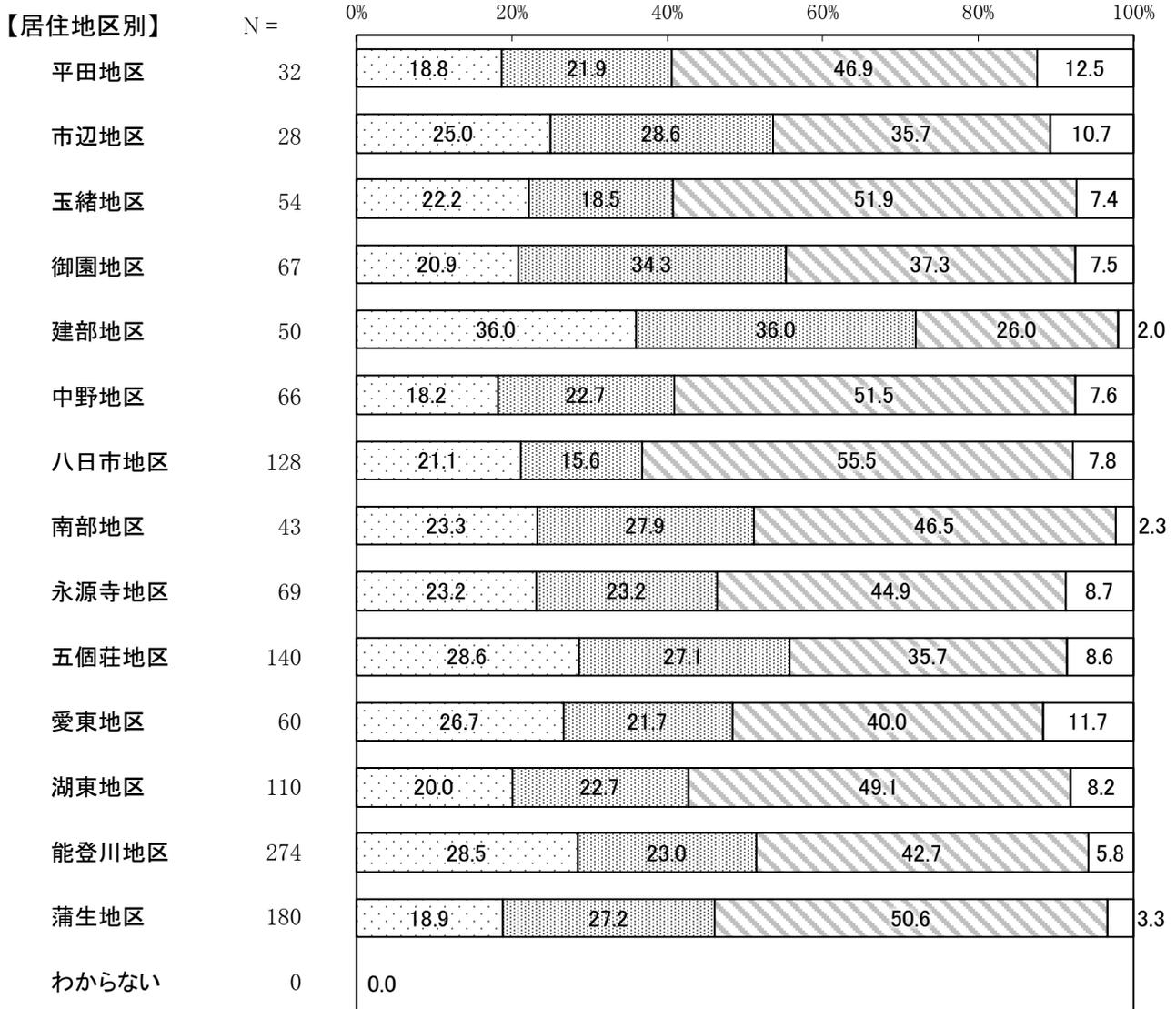
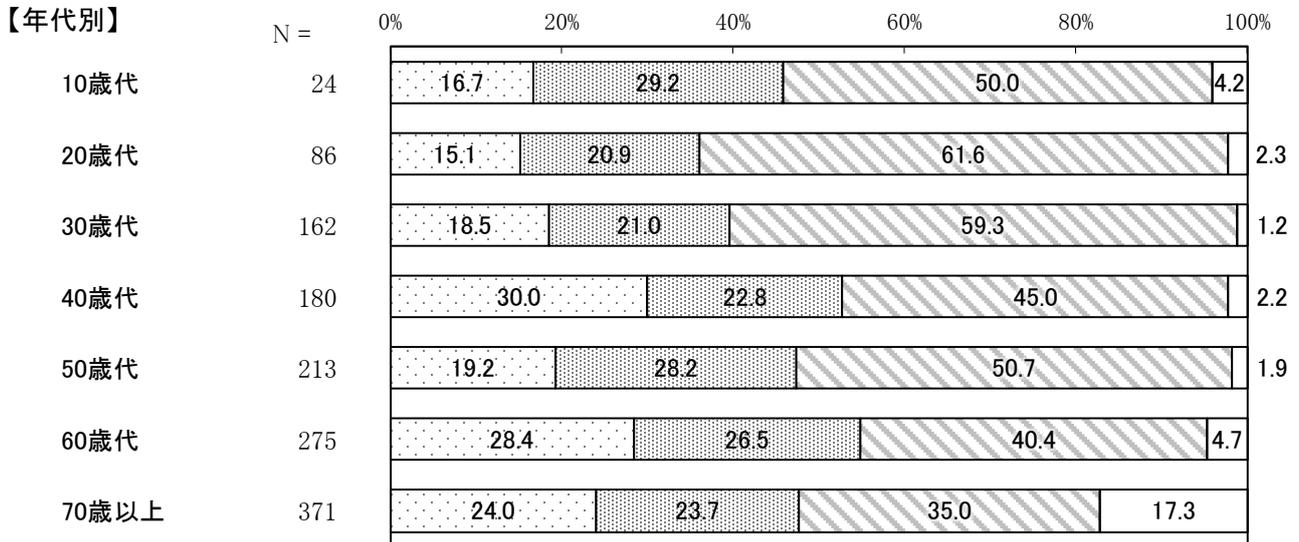
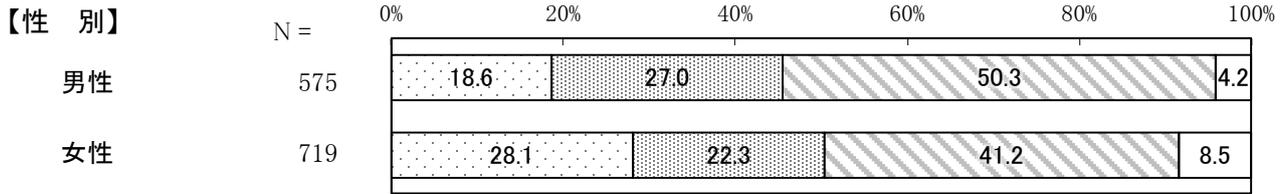
N =

平田地区 32
市辺地区 28
玉緒地区 54
御園地区 67
建部地区 50
中野地区 66
八日市地区 128
南部地区 43
永源寺地区 69
五個荘地区 140
愛東地区 60
湖東地区 110
能登川地区 274
蒲生地区 180
わからない 0



⑥ 公共施設等に設置

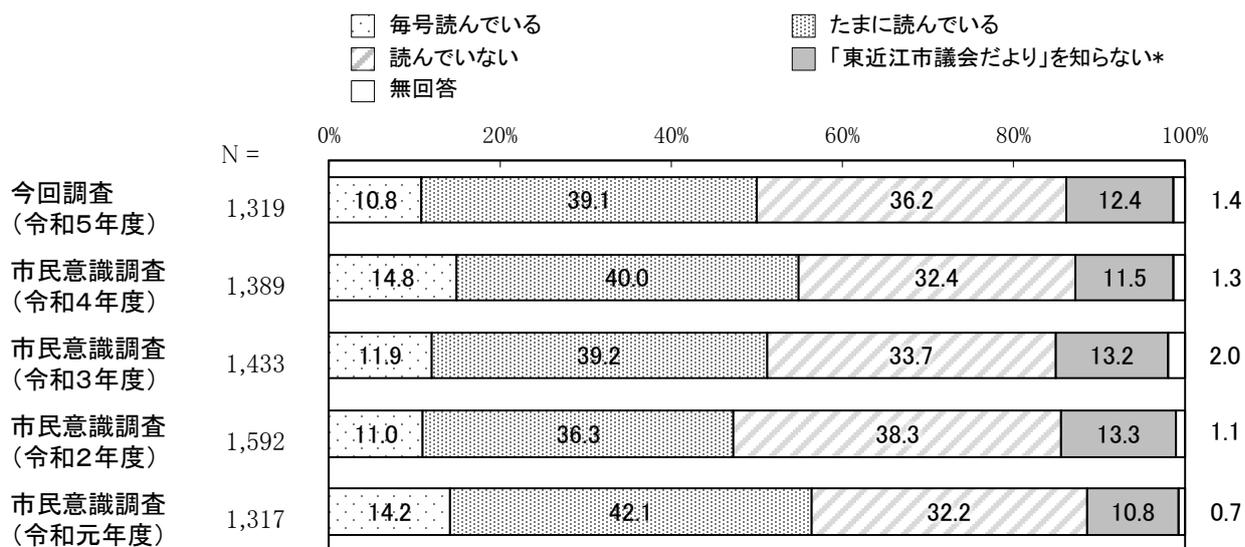
見たことがある 知っているが見たことはない
 知らない 無回答



問 50 あなたは「東近江市議会だより」を読んでいますか。《○1つ》

半数近くが「東近江市議会だより」を読んでいる

- ・ 「東近江市議会だより」については、「毎号読んでいる」が10.8%、「たまに読んでいる」が39.1%で、これらを合わせると49.9%となり、半数近くの人が読んでいると回答しています。一方、「読んでいない」が36.2%、「東近江市議会だより」を知らない」が12.4%となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、令和3年度以降、「東近江市議会だより」を読んでいる人（「毎号読んでいる」と「たまに読んでいる」の合計）の割合が増加傾向にありましたが、今年度はやや減少しています。
- ・ 性別では、男性より女性で「東近江市議会だより」を読んでいる人（前述）が多く見られます。
- ・ 年代別では、20歳以上で年齢が上がるほど、「東近江市議会だより」を読んでいる人（前述）が多く見られます。また、40歳代までは、読んでいない又は知らない人が、読んでいる人（前述）より多くなっています。
- ・ 居住地区別では、市辺地区、能登川地区、建部地区、永源寺地区などで「東近江市議会だより」を読んでいる人（前述）が多く見られます。一方、八日市地区、中野地区、南部地区、湖東地区、蒲生地区では、読んでいない又は知らない人が、読んでいる人（前述）より多くなっています。

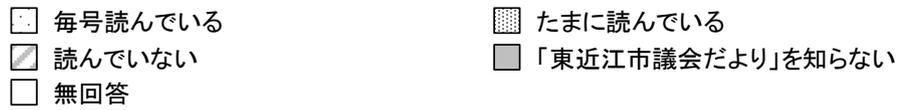


単位：%

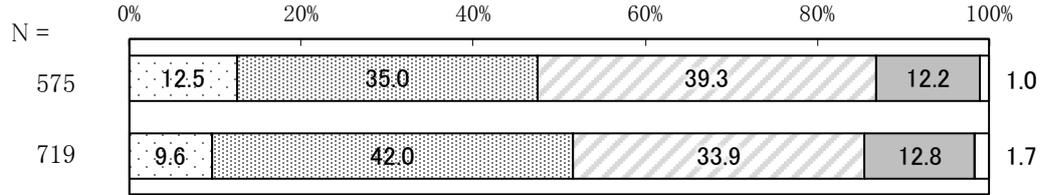
	読んでいる*	読んでいない・知らない*	差
①今回調査(令和5年度)	49.9	48.6	1.3
②市民意識調査(令和4年度)	54.8	43.9	10.9
③市民意識調査(令和3年度)	51.1	46.9	4.2
④市民意識調査(令和2年度)	47.3	51.6	-4.3
⑤市民意識調査(令和元年度)	56.3	43.0	13.3
①-⑤	-6.4	5.6	-12.0

* 読んでいる:「毎号読んでいる」と「たまに読んでいる」の合計

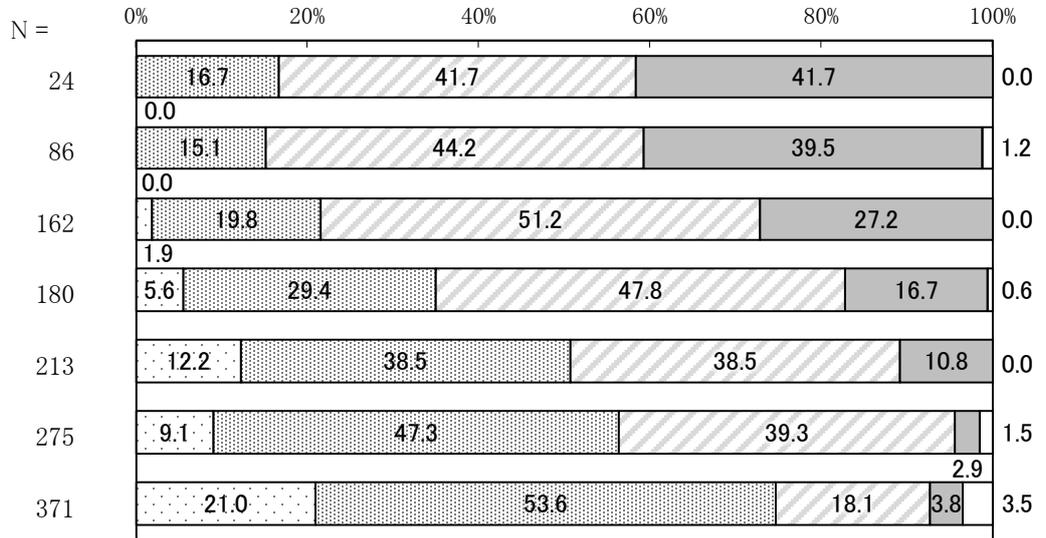
* 読んでいない・知らない:「読んでいない」と「東近江市議会だより」を知らない」の合計



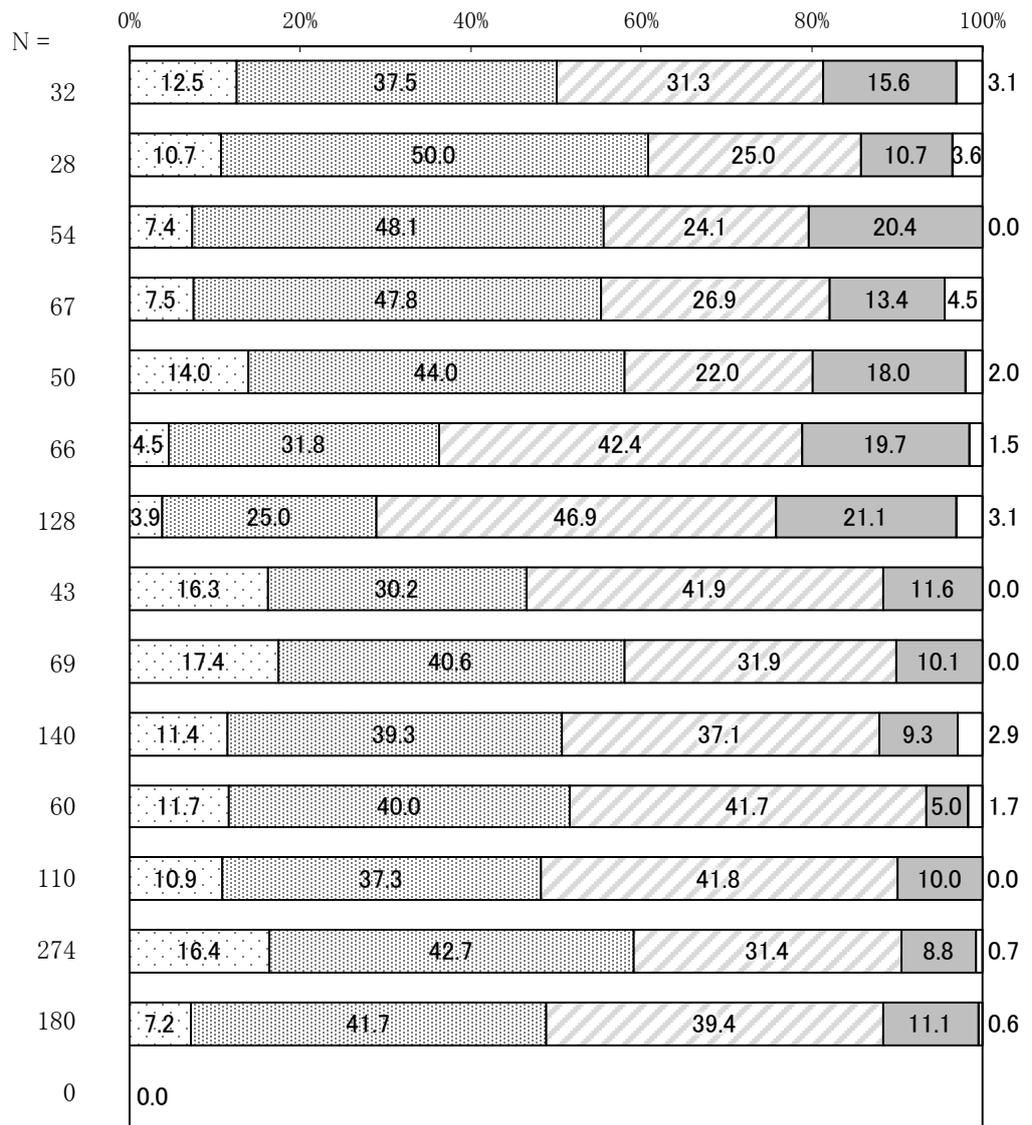
【性別】



【年代別】



【居住地区別】

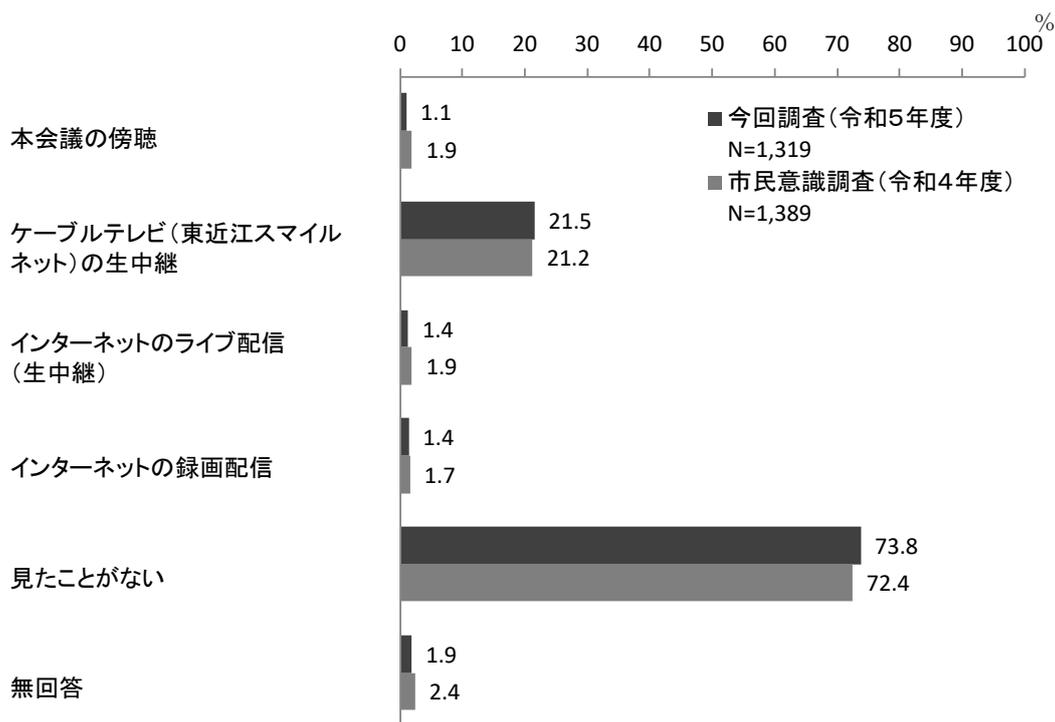


問 51 あなたは、「市議会本会議」の様子を次のいずれかの方法で見たことがありますか。《あてはまるものすべてに○》

7割が「市議会本会議」の様子を見たことがない

- ・ 「市議会本会議」の様子を見たことがあるかについては、「見たことがない」が73.8%と最も多くなっています。一方、見たことがある人の割合*は24.3%で、具体的な方法としては「ケーブルテレビ（東近江スマイルネット）の生中継」は21.5%と2割見られますが、他の方法は、1割未満となっています。
- ・ 性別、年代別、居住地区別のいずれも、「見たことがない」が最も多くなっています。
- ・ 年代別では、年齢が若いほど「見たことがない」人の割合が高い傾向があり、20歳代までは9割となっています。「ケーブルテレビ（東近江スマイルネット）の生中継」は、年齢が上がるほど増加する傾向があり、70歳以上は4割近くとなっています。
- ・ 居住地区別では、八日市地区、蒲生地区、南部地区などで「見たことがない」人の割合が高く、「ケーブルテレビ（東近江スマイルネット）の生中継」は、永源寺地区、湖東地区、愛東地区で4割前後と高くなっています。

*有効回答数（1,319件）に対する「見たことがない」と「無回答」を除いた321件の割合



【性別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	本会議の傍聴	生中継	ケーブルテレビ(東近江)	インターネットのライブ配信(生中継)	インターネットの録画配信	見たことがない	無回答
男性	575	1.2	23.0	2.1	1.9	71.5	1.6	
女性	719	1.0	19.7	0.8	1.1	76.4	1.9	

【年代別】

単位:%

区分	有効回答数(件)	本会議の傍聴	生中継	ケーブルテレビ(東近江)	インターネットのライブ配信(生中継)	インターネットの録画配信	見たことがない	無回答
10歳代	24	0.0	0.0	0.0	4.2	91.7	4.2	
20歳代	86	0.0	5.8	0.0	2.3	90.7	1.2	
30歳代	162	0.0	9.3	1.2	0.6	89.5	0.0	
40歳代	180	0.6	12.2	3.3	1.7	84.4	0.0	
50歳代	213	0.0	16.9	1.9	1.4	80.3	0.0	
60歳代	275	0.7	22.2	1.1	2.5	73.1	1.5	
70歳以上	371	3.0	38.5	0.5	0.5	53.4	5.1	

【居住地区別】

単位:%

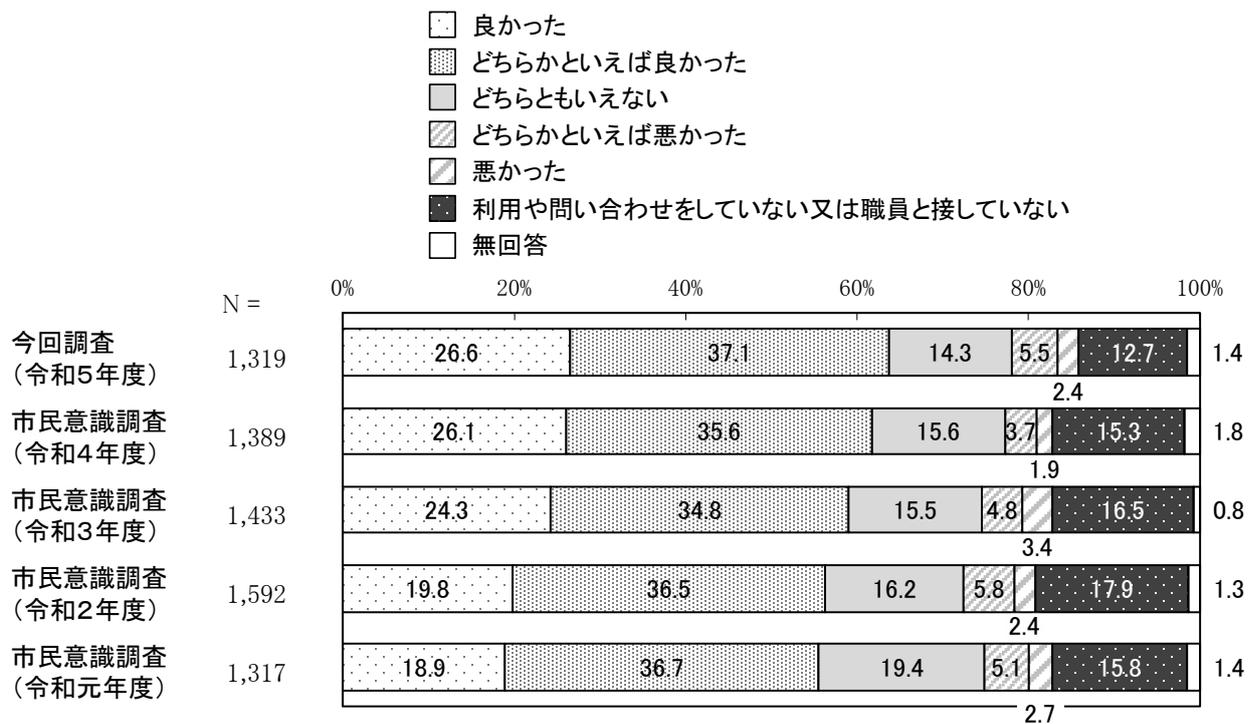
区分	有効回答数(件)	本会議の傍聴	生中継	ケーブルテレビ(東近江)	インターネットのライブ配信(生中継)	インターネットの録画配信	見たことがない	無回答
平田地区	32	0.0	31.3	0.0	0.0	65.6	3.1	
市辺地区	28	0.0	28.6	0.0	0.0	67.9	3.6	
玉緒地区	54	1.9	22.2	0.0	3.7	72.2	0.0	
御園地区	67	1.5	23.9	1.5	1.5	70.1	3.0	
建部地区	50	0.0	20.0	0.0	2.0	78.0	0.0	
中野地区	66	3.0	16.7	1.5	0.0	78.8	1.5	
八日市地区	128	0.8	3.9	0.8	0.8	89.1	4.7	
南部地区	43	0.0	16.3	2.3	2.3	83.7	0.0	
永源寺地区	69	1.4	43.5	1.4	4.3	52.2	0.0	
五個荘地区	140	1.4	23.6	2.1	2.9	67.9	2.9	
愛東地区	60	1.7	38.3	1.7	3.3	51.7	3.3	
湖東地区	110	0.0	40.0	2.7	0.0	58.2	0.9	
能登川地区	274	1.8	17.9	1.5	1.5	77.4	1.8	
蒲生地区	180	0.0	13.3	0.6	0.0	85.0	1.1	
わからない	0	-	-	-	-	-	-	

(10) 市役所のサービスに関して

問 52 この1年間に、市役所（支所・出張所を含む）の窓口利用や電話でのお問い合わせ、又は市役所外で職員に接した際の市役所職員の対応はどのように感じましたか。《○1つ》

6割以上が市役所職員の対応は良かった

- ・ 市役所職員の対応の印象については、「良かった」が26.6%、「どちらかといえば良かった」が37.1%で、これらを合わせると63.7%となり、6割以上が良かったと回答しています。一方、悪かった（「どちらかといえば悪かった」と「悪かった」の合計）の割合は7.9%と、1割未満となっています。
- ・ 過去の調査と比較すると、「良かった」の割合も「どちらかといえば良かった」を合わせた割合も年々増加し、評価が上がっています。
- ・ 年代別では、10歳代で「利用や問い合わせをしていない又は職員と接していない」が、ほかの年代で「どちらかといえば良かった」が最も多くなっています。また、良かった（前述）の割合は60歳以上で高くなっています。
- ・ 居住地区別では、良かった（前述）の割合が御園地区、建部地区、八日市地区で7割以上と高くなっています。



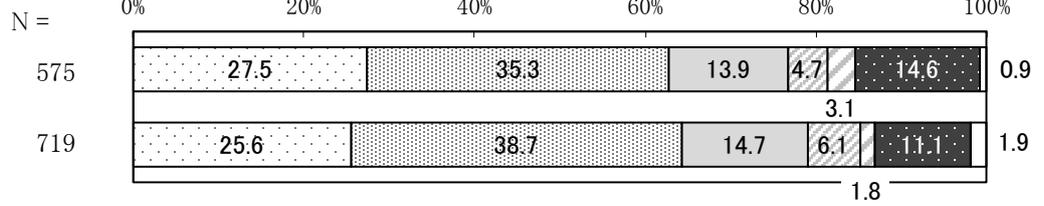
	良かった*	悪かった*	差
①今回調査(令和5年度)	63.7	7.9	55.8
②市民意識調査(令和4年度)	61.7	5.6	56.1
③市民意識調査(令和3年度)	59.1	8.2	50.9
④市民意識調査(令和2年度)	56.3	8.2	48.1
⑤市民意識調査(令和元年度)	55.6	7.8	47.8
①-⑤	8.1	0.1	8.0

* 良かった:「良かった」と「どちらかといえば良かった」の合計

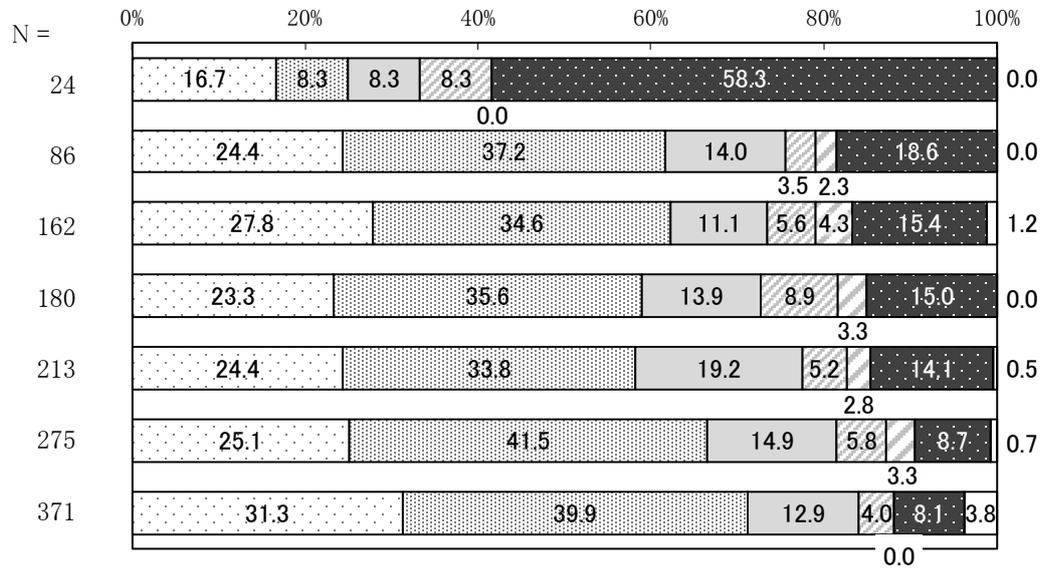
* 悪かった:「どちらかといえば悪かった」と「悪かった」の合計

良かった
 どちらかといえば良かった
 どちらともいえない
 どちらかといえば悪かった
 悪かった
 利用や問い合わせをしていない又は職員と接していない
 無回答

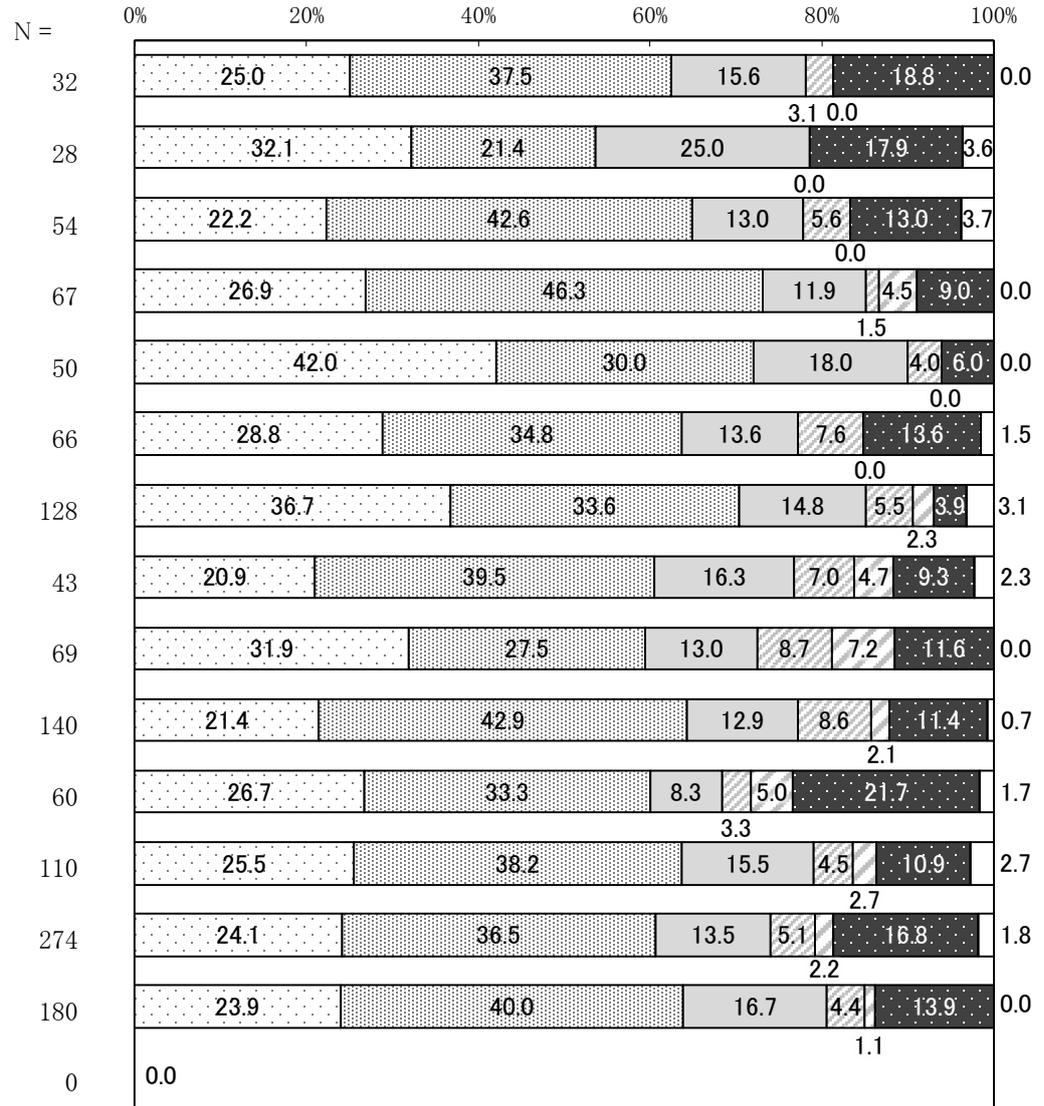
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



(11) まちづくりに対する意見等について

問 53 東近江市のまちづくりについて、意見や提案等がありましたら御記入ください。

- ・ 有効回収数 1,319 件のうち、自由記述への記入件数は 455 件 (34.5%) でした。これらの意見をおおむね本意識調査票の調査項目ごとに分類した件数は、次のとおりです。
- ・ なお、同じ人が複数の項目の意見を書かれているものも多いため、調査項目ごとに分類した件数の合計件数は 455 件以上となっています。

内容	件数	主な意見（一部抜粋）
住みごこちや愛着等について	22 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何よりも東近江市に住む人々の温かさ。他の市にはない魅力がたくさん詰まっていると思います。ずっと住み続けている人、新しく転入してきた人にもこの良さを伝えたいと思いますがなかなか難しいです。できることから一歩ずつ。東近江市がいつまでも自然と愛あふれる市でいられるよう、考えていきたいと思います。(能登川地区 20 歳代女性) ・ 私は、八日市生まれの八日市育ち、他のどの県よりも、この滋賀県が、そして八日市が住み良いまちだと自慢に思っています。昔から市場のまちとしてたくさんの人々を受け入れ、たくさんの人々が行き交ったまち、太郎坊山からの蒲生野の景色、田園風景、懐かしい街並み、どれも私や私の家族を育ててくれた、たった一つの大切なまちです。(南部地区 60 歳代女性) ・ 1 市 6 町が合併して東近江市ができたが、個々の市町の歴史や経過もあり意見の相違も出ている。お互いの市町の歴史や経過を知り、それぞれの市町の良さを尊重しながら東近江市は「ひとつ」の気持ちを持つことが大切だと思います。(永源寺地区 70 歳以上男性)
健康や福祉について	37 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 我々高齢者になると今後の医療体制について不安を感じる。例えば夜間はないし、昼間でも家に応診に来てもらえる所がない。今は車を運転できるので病院に行けるが、できないとなるとものすごく不安です。(能登川地区 70 歳以上男性) ・ 障害者福祉が充実するよう希望します。(御園地区 50 歳代女性) ・ 市の健康づくりの取組に参加したいと思うので、いろいろな教室や運動できる集まりを作っていただきたい。(蒲生地区 50 歳代女性)
環境や暮らしについて	127 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化が進み、免許の返納が促されるが、自宅から病院・スーパーに行くための手段が、徒歩・自転車しかない。数十分掛かる距離のため、車を使う。バスなども充実していない。(湖東地区 20 歳代女性) ・ ちょこっとバスの運行本数が非常に少なく、不便であり、利用しづらい。もっと市民が利用しやすいよう、改善してもらいたい。(能登川地区 40 歳代男性) ・ 合併してから公共施設が散らばったので、年老いてからの楽しみが無くなりました。昔は近くに行きやすい状態で楽しみにしていたのですが、時代の変化により希望が無くなりました。車の運転もいつまでもできないので、遠方までは徒歩ではチョット(五個荘地区 70 歳以上女性)

内容	件数	主な意見（一部抜粋）
子育てや教育について	73 件	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを預けたいが、保育園の希望したところに入れず、送迎が大変なため対象地区の人が入れるようにしてほしい。（能登川地区 30 歳代男性） ・小学校の通学路もとても危険だと思います。（愛東地区 60 歳代女性） ・公園ではなく、室内で無料で子ども（小さな）が遊べる施設がもっとあれば良いと思います。保育園に行っている行っていない関係なく使用できる施設。疲れているお母さんもリフレッシュできると思いますし、親子の関係も深まると思います。（建部地区 30 歳代女性）
都市整備について	86 件	<ul style="list-style-type: none"> ・五個荘から能登川間の道が狭く、車も多く、夜は暗いので、改善いただきたいです。（五個荘地区 40 歳代男性） ・新しい橋、インター等を造るのも良いが、必ずその先の道路が必要になる。予算に制限のある中、老朽化が進み新しいものを造るよりも優先的に考えるべきものが多い。市中の危険な橋、道路建物等をよく点検し、計画すべき。（能登川地区 70 歳以上男性） ・公園など屋外で過ごせる所は充実していると思います。（八日市地区 40 歳代女性）
商業やにぎわいの創出について	94 件	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーやドラッグストアなど多く、生活用品、食品の購入には困らないが、洋服や雑貨の購入は東近江市外に行くことが多く、ネット購入も多い。八日市中心地周辺などに大手アパレルの店がいくつかできればうれしい。（愛東地区 30 歳代女性） ・中心市街地活性化に資する憩い・うるおいの場（ショッピングモール）の創出。奥永源寺の自然資源を活用した体験型観光の拡大（道の駅リノベーション等）（中野地区 30 歳代男性） ・空家の有効活用。市内の田舎地区では空家が多い。何らかの活用ができないか。（湖東地区 50 歳代女性）
協働のまちづくりについて	31 件	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の高齢化（湖東地区 50 歳代男性） ・地域のコミュニティー（サロン、喫茶など）に参加できない人が、手軽に利用できるものがあればいいなと思います。（永源寺地区 20 歳代女性） ・将来、市全体に高齢者がとても多くなります。また、認知症の方も増えてきます。互いに助け合い、認め合い、支え合うまちづくりのイベント等の開催を望んでいます。（能登川地区 70 歳以上男性）
広報等の情報について	21 件	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙を回覧板で回してほしいです。「広報ひがしおうみ」と「東近江市議会だより」（蒲生地区 20 歳代女性） ・みんなが感じている”東近江”の良い所、好きな所をアピールしていけたら良い。（湖東地区 40 歳代女性） ・市の情報についてはあまり詳しくないので、携帯などでもっと簡単に調べられたらいいなと思います。（五個荘地区 30 歳代男性）
市役所のサービスについて	37 件	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎へ行かないとできない事があれば不便なだけ。（能登川地区 70 歳以上男性） ・役所手続を平日時間外や月一回土、日開所してほしい。（五個荘地区 50 歳代女性） ・マイナポイントの時、難しくて何度も支所に足を運んだが、いつも快く接していただき本当に感謝の気持ちで一杯です。これからスマホの時代になり、頭がついていけてなく不安もあり、心細い。（愛東地区 50 歳代女性）

内容	件数	主な意見（一部抜粋）
まちづくり全般について	87 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民が安心して暮らせる「まち」に。医療、介護、子育て環境の充実（御園地区 40 歳代女性） ・ 老若男女・全ての市民が、私の住むまち「うるおいとにぎわいのまち東近江市」と言えるような、多方面において公平でバランスの取れた施策を期待しています。（五個荘地区 60 歳代男性） ・ 遊休地へ大手企業を誘致して経済貢献や地域活性化、現役世代が外に出ていかないよう優良条件の働き口を地方行政、自治会、企業が一体となって作りあげてほしい。（湖東地区 30 歳代男性） ・ 若者が住みやすい生活しやすいまちづくりをしてほしい。（南部地区 20 歳代女性）
アンケートについて	22 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙を使わずにネットでアンケートを答えることはできないのか。QRコードを送るなどすれば時間も費用も掛からないと思う。（蒲生地区 20 歳代女性） ・ 毎年アンケートを取っているようですが、結果や東近江市の1年間の取組などをどこで確認するのかが不明（永源寺地区 60 歳代男性） ・ 市民意識調査のアンケートが届かなくても、いつでも市民の声が市政に届けられるようにしてほしい。（能登川地区 50 歳代女性）
その他	36 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他（27 件） ・ 特になし（9 件）

3 総括

1. 回答者属性

- ・男女比はおおむね4：5で、女性が多くなっています。
- ・60歳以上が半数近くを占めています。
- ・居住地区は、2割が能登川地区、1割が蒲生地区、五個荘地区となっています。旧八日市市8地区を合計すると4割近くとなっています。

2. 住みごこちや愛着等について

- ・8割近くが住みごこちが良く、6割が「住み続けたい」と回答しています。また7割近くが東近江市に対して愛着があると回答しています。東近江市への愛着は、年齢が上がるほど高くなる傾向があります。
- ・東近江市を自慢できるかについては、4割が自慢できるとする一方、4割が「どちらともいえない」としています。
- ・「鈴鹿10座」の認知度は2割近くで、年齢が上がるほど認知度が高くなる傾向があります。
- ・友人・知人に東近江市を紹介するところは、7割近くが「山や川、湖などの自然が楽しめる」と回答しています。
- ・近江鉄道八日市駅周辺（市役所周辺を含む。）への来訪頻度は、2割が週1回以上で、40歳代で高くなっています。また、中心市街地活性化に向けては、駐車場の整備、空店舗の解消などが必要と考えられています。比較的若い世代では、おしゃれな雑貨店など店舗の増加やイベントの定期開催等での活性化を望む声も多くあります。

3. 健康や福祉について

- ・6割が市内の医療機関にかかりつけ医がいると回答していますが、10歳代と30歳代は半数近くがかかりつけ医がいないと回答しています。
- ・病院や救急時の医療体制は半数以上が満足しています。
- ・健康づくりの取組は半数近くが取り組んでおり、30歳以上では年齢が上がるほど取り組んでいる人が多くなる傾向があります。また、その内容としては、運動、食事、睡眠などが多くあげられており、運動以外は性別・年代によって異なります。
- ・朝食を毎日食べている人は9割近くで、朝食を食べないときの理由の多くは、食べる時間がない、以前から食べる習慣がないなどです。
- ・運動習慣については、半数近くの人が週1回以上の運動をしている一方、「ほとんどしていない」人も4割見られます。
- ・7割近くが不安、悩み、ストレスを感じており（女性、30～50歳代で高い。）、半数近くの人が「仕事のこと」を原因としてあげています。また、60歳以上で「自分の健康」が1位にあげられるなど、それぞれのライフステージに応じて多様化しています。
- ・不安、悩み、ストレスは、7割近くが解消できていると回答しています。ただし、30～50歳代は4割前後が解消できていません。
- ・東近江市民の障害者に対する理解は、「わからない」が4割近くと最も多く、理解を深めるために今後特に力を入れるべき取組は、バリアフリーのまちづくりや施設整備における配慮などが多くあ

げられています。

4. 環境や暮らしについて

- ・自然環境保全の取組への満足度は、3割近くが満足、「どちらともいえない」又は「わからない」が6割ですが、6割が日々の営みの中で自然との関わりを感じています。
- ・節電や節水、太陽光発電等の設置、省エネ機器への買替えなどの環境にやさしい取組は7割以上が取り組んでいます。
- ・東近江市の働く場所（希望する業種・職種）については、6割近くが「どちらともいえない」又は「わからない」と回答しており、十分でないと考える人のほうが十分にあると考える人より多くなっています。
- ・男女の地位の平等については、「職場の中で」について4割、「地域社会の中で」について半数近く、「社会全体の中で」について6割近くの人が、男性が優遇されていると考えています。
- ・市役所内に消費生活センターがあること及び市役所内の市民生活相談課で法律相談や登記相談等が受けられることの認知度はともに4割前後となっています。
- ・公共交通に満足している人は1割で、半数以上が満足していません。
- ・近江鉄道は8割以上が重要と感じているものの、9割が利用していないと回答しています。また、半数以上が改善を望んでいます。
- ・災害への備えについては、7割近くが何らかの備えをしており、60歳で非常持ち出し袋の準備、70歳以上で地域の防災訓練への参加が最も多くあげられています。

5. 子育てや教育関連の取組について

- ・4割が子育てをするのに良い環境と感じています。また、3割が通学路の安全確保ができていると回答しています。
- ・人権が尊重されるまちなになっていると思う人は2割で、6割が「どちらともいえない」又は「わからない」と回答しています。また、何らかの人権に関する講座や講演、研修等に参加した人は3割近くとなっています。
- ・児童虐待が疑われるときの通報先は、警察、市役所、民生委員児童委員が多くあげられています。
- ・4割の人が、この5年間に、文化芸術の鑑賞や活動のために八日市文化芸術会館ホールなどを利用しています。

6. 都市整備について

- ・都市基盤整備に対する満足度の総合評価(加重平均)は、全てマイナス評価でした。評価が高い順に並べると、主要幹線道路、雨水排水、河川、公園、地域の生活道路となっています。
- ・過去の調査と比べ、雨水排水の項目は評価が上がっていますが、他の項目は全て評価が下がっています。

7. 購買状況等について

- ・食品は8割、日用雑貨品は7割が市内で購入していますが、衣料品は4割が市外で購入しています。年代や居住地区によって購入場所が異なっています。
- ・野菜を購入する際の基準は、「鮮度」、「金額」、「安全・安心」が多くあげられています。

- ・農産物直売所は、半数近くが市内の直売所を利用しており、年間数回程度の利用が最も多くなっています（女性、60歳代、愛東地区や湖東地区で利用者が多い）。
- ・キャッシュレス決済の利用状況について、週1回以上の利用が多いのはHOPマネーなどの流通系電子マネー（3割、50歳代中心）、クレジットカードやPayPayなどのQR／バーコード決済（3割近く、20歳代中心）となっています。

8. 協働のまちづくりについて

- ・協働のまちづくりができていると思う人は2割近くとなっています。
- ・4割が、住民同士の助け合いはできていると回答しています。70歳以上は半数以上ができているとしています。
- ・地域活動又はNPOやボランティア等の活動には、半数以上が参加していると回答しており、10歳代と70歳以上を除いて年齢が上がるほど活動参加率も上がる傾向があります。その内容としては、9割近くが自治会活動で、2割近くがボランティア活動をあげています。一方、活動に参加していない理由としては、時間に余裕がない、年齢・身体・健康上の理由、関心がないが多くあげられています。
- ・国籍や民族の異なる人々が互いに認め合い、共に暮らす社会の実現については、7割が重要としており、年齢が若いほど強く認識している傾向があります。

9. 広報等の情報について

- ・市の情報の取得方法は、6割近くが「広報ひがしおうみ」や「自治会回覧」をあげています。
- ・「広報ひがしおうみ」は7割が読んでおり、3割は毎月読んでいます。年齢が上がるほど、読んでいる人の割合や読む頻度も上がる傾向があります。また、6割近くがその内容に満足しています。
- ・「広報ひがしおうみ」の配信方法は、「公共施設等に設置」が最もよく知られており、「スマートフォン等のアプリでの閲覧」はほとんど知られていません。実際に見たことがある人は、公共施設等に設置が2割、市ホームページ、東近江スマイルネットのデータ放送が2割近くで、スマートフォンアプリLINEが1割、そのほかは1割未満となっています。
- ・「東近江市議会だより」は半数近くが読んでおり、20歳以上で年齢が上がるほど、読んでいる人の割合や読む頻度も上がる傾向があります。
- ・「市議会本会議」の様子を見たことがある人は2割で、7割が「見たことがない」と回答しています。視聴方法は、ケーブルテレビの生中継を視聴する人が2割となっています。

10. 市役所のサービスに関して

- ・市役所職員の対応については、6割以上が良かったと回答しています。

4 調査票

令和5年度 東近江市 市民意識調査

◆アンケート調査への御協力をお願い◆

皆さまには、日頃から東近江市政に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、東近江市では、「うるおいとにぎわいのまち東近江市」を目指し、平成28年度に策定しました「第2次東近江市総合計画」に基づき、まちづくりを進めております。

住みよいまちづくりを実現するため、皆さまの意識や生活スタイルなどの幅広い項目について御意見をお聞かせいただきたく、市内にお住まいの18歳以上の市民の中から約3,000名を無作為に抽出し、アンケート調査を毎年実施しております。

皆さまにおかれましては御多用のことと存じますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、お答えいただきました内容につきましては、統計的に処理し、東近江市個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。

令和5年8月

東近江市長 小椋 正清

アンケートの記入・返信について

- ・調査の回答は、封筒宛名の本人が記入してください。本人による回答(記入)が難しい場合は、家族の方が本人の意思を反映して、記入してください。
- ・回答は、質問にしたがって、あてはまる番号に○をつけてください。
- ・選択肢の中で「その他」に回答された場合は、()内に具体的な内容を記入してください。
- ・記入していただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、令和5年9月4日(月)までに郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

アンケートに関する問い合わせ

東近江市企画部企画課

〒527-8527 東近江市八日市緑町10番5号

IP電話:050-5801-5610 電話:0748-24-5610

FAX:0748-24-1457

Eメール:kikaku@city.higashiomi.lg.jp

※宛先は、令和5年8月1日現在の住民基本台帳から抽出しました。



令和5年度 東近江市 市民意識調査 調査票

1 あなた自身のことについておたずねします。

問1 性別《○1つ》	1. 男性	2. 女性		
問2 年齢《○1つ》	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳以上	
問3 居住地区 《○1つ》	1. 平田地区	2. 市辺地区	3. 玉緒地区	
	4. 御園地区	5. 建部地区	6. 中野地区	
	7. 八日市地区	8. 南部地区	9. 永源寺地区	
	10. 五個荘地区	11. 愛東地区	12. 湖東地区	
	13. 能登川地区	14. 蒲生地区	15. わからない(町・丁目名)	

2 住みごちや愛着等についておたずねします。

問4 あなたは、東近江市の住みごちをどう思いますか。《○1つ》

1. 良い	2. どちらかといえば良い	3. どちらかといえば悪い
4. 悪い	5. わからない	

問5 あなたは、東近江市にずっと住み続けたいと思いますか。《○1つ》

1. 住み続けたい	2. 市外に転出したい	3. わからない
-----------	-------------	----------

問6 あなたは、東近江市に対して愛着がありますか。《○1つ》

1. とても愛着がある	2. やや愛着がある	3. どちらともいえない
4. あまり愛着がない	5. 愛着がない	

問7 あなたは、東近江市を自慢できますか。《○1つ》

1. とても自慢できる	2. やや自慢できる	3. どちらともいえない
4. あまり自慢できない	5. 自慢できない	

問8 東近江市では、平成27年度に鈴鹿の山々から「鈴鹿10座」を選定し、鈴鹿山脈の素晴らしさと存在意義を広く周知するとともに、市の知名度アップに取り組んでいます。

あなたは、「鈴鹿10座」を知っていますか。《○1つ》

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問 9 あなたは、友人・知人に東近江市を紹介する場合、どのようなところを紹介しますか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 山や川、湖などの自然が楽しめるところ | 2. 町なみ景観が楽しめるところ |
| 3. 歴史・文化にふれられるところ | 4. 食事や買い物が楽しめるところ |
| 5. 観光農園や農業体験ができるところ | 6. スポーツ施設や子どもが遊べる公園 |
| 7. その他() | |

問 10 あなたは、この1年間で近江鉄道八日市駅周辺(市役所周辺を含む。)にどの程度訪れましたか。《○1つ》

- | | | |
|-----------|-------------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に2~3回程度 | 3. 週に1回程度 |
| 4. 月に数回程度 | 5. 年に数回程度 | 6. 訪れていない |

問 11 あなたは、八日市駅周辺の中心市街地が活性化するには、どのようなお店や施設、イベントなどの開催が必要だと思いますか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|-------------------------------|----------------------------------|
| 1. 空店舗に新しい店が入る | 2. おしゃれな雑貨店が増える |
| 3. 駅前や歩道等の空間をオープンカフェなどに活用する | 4. 魚屋、八百屋など生鮮品の店が並ぶ、歩いて楽しい商店街にする |
| 5. マルシェなどのイベントを定期的に開催する | 6. イベントホールやテナントが入るビルをつくる |
| 7. 自家用車で訪れやすいよう駐車場をつくる | 8. 観光客が地元の名産品を買えるようにする |
| 9. 延命公園や清水川などの自然をいかして癒しの空間にする | 10. その他() |

3 健康や福祉についておたずねします。

問 12 あなたには、日常的な診療や健康の管理をしてくれるお医者さん(かかりつけ医)はいますか。《○1つ》

- | | | |
|---------------|---------------|--------|
| 1. 市内の医療機関にいる | 2. 市外の医療機関にいる | 3. いない |
|---------------|---------------|--------|

問 13 あなたは、病院や救急時の医療体制に満足していますか。《○1つ》

- | | | |
|------------|-------------------|--------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している | 3. どちらかといえば満足していない |
| 4. 満足していない | 5. わからない | |

問 14 あなたは、自分の健康づくりのために何か取り組んでいますか。《○1つ》

- | | | |
|---------------|-----------------|----------|
| 1. 取り組んでいる | 2. 取り組みたいと思っている | →問 14-1へ |
| 3. 取り組むつもりはない | →問 14-2へ | |

問 14-1 問 14 で「1. 取り組んでいる」「2. 取り組みたいと思っている」とお答えの方におたずねします。
具体的にどのような取組をしていますか、又は取り組みたいと思っていますか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 運動をする | 2. 趣味(運動以外)の時間をつくる |
| 3. 休養を十分にとる | 4. 食事の量や質に注意する |
| 5. 睡眠を十分にとる | 6. 定期的に健康診査やがん検診を受ける |
| 7. 規則正しい生活をする | 8. たばこを控える又はやめる |
| 9. アルコールを控える又はやめる | 10. その他() |

問 14-2 問 14 で「3. 取り組むつもりはない」とお答えの方におたずねします。
その理由は何のようなことですか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. どのように取り組んだらよいのかわからない | 2. 自分の健康づくりに興味、関心がない |
| 3. 取り組んでも効果が期待できない | 4. その他() |

問 15 あなたは、朝食を食べていますか。《○1つ》

- | | | |
|-------------|-------------|-----------|
| 1. 毎日食べる | 2. 週4～5日食べる | →問 15-1 へ |
| 3. 週2～3日食べる | 4. ほとんど食べない | |

問 15-1 問 15 で「2. 週4～5日食べる」「3. 週2～3日食べる」「4. ほとんど食べない」とお答えの方におたずねします。
食べない日がある理由は何のようなことですか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 食欲がないから | 2. 太りたくないから |
| 3. 食べる時間がないから | 4. 以前から食べる習慣がないから |
| 5. 朝食を用意するのが面倒だから | 6. その他() |

問 16 あなたは、スポーツやレクリエーション等の運動をどの程度行っていますか(運動には、散歩やラジオ体操といった簡単に体を動かすものも含まれます)。《○1つ》

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 週3回以上 | 2. 週1～2回 |
| 3. 月1～2回程度 | 4. ほとんどしていない |

問 17 あなたはこの1箇月間に、不安、悩み、ストレスを感じましたか。《○1つ》

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| 1. 大いにある | 2. 多少ある | →問 17-1 へ |
| 3. あまりない | 4. まったくない | |

問 17-1 問 17 で「1. 大いにある」「2. 多少ある」とお答えの方におたずねします。
あなたの不安、悩み、ストレスの原因は何ですか。《あてはまるものすべてに○》

- | | | |
|-----------|--------------|---------------|
| 1. 経済的なこと | 2. 仕事のこと | 3. 人間関係(家族以外) |
| 4. 家族関係 | 5. 子育てに関すること | 6. 親の介護に関すること |
| 7. 自分の健康 | 8. 家族の健康 | 9. その他() |

問 18 あなたの不安や悩み、ストレスは解消できていますか。《○1つ》

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. うまくできている | 2. ある程度できている |
| 3. あまりできていない | 4. まったくできていない |

問 19 あなたは、東近江市民の障害者に対する理解は進んできたと思いますか。《○1つ》

- | | | |
|-------------------|--------------|--------------|
| 1. かなり進んできた | 2. ある程度進んできた | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり進んできたとは思わない | 5. 進んでいない | 6. わからない |

問 20 あなたは、障害者に対する理解を深めるために、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. スポーツや文化活動で地域交流を深める | 2. 障害者に関するイベントを充実する |
| 3. 市民対象の福祉講座や講演会を開催する | 4. 福祉施設を地域に開放し交流を図る |
| 5. グループホームを地域の中につくる | 6. 子どもたちへの人権・福祉教育を充実する |
| 7. 障害者団体や関係グループの活動をPRする | 8. ボランティアの育成を図る |
| 9. 障害者も使いやすい施設をつくる | 10. 障害者がまちに出かけやすい整備を進める |
| 11. わからない | 12. その他() |

4 環境や暮らしについておたずねします。

問 21 あなたは、東近江市の自然環境保全の取組について満足していますか。《○1つ》

- | | | |
|--------------------|-------------------|--------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば満足していない | 5. 満足していない | 6. わからない |

問 22 あなたは、暮らしや仕事等日々の営みの中で自然との関わりを感じていますか。《○1つ》

- | | | |
|-------------------|------------------|--------------|
| 1. 感じている | 2. どちらかといえば感じている | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば感じていない | 5. 感じていない | 6. わからない |

問 23 あなたは、環境にやさしい取組を行っていますか(節電や節水、太陽光発電等の設置、省エネ機器への買替え、自転車や公共交通機関の利用等)。《○1つ》

- | | | |
|---------------|----------------|-------------|
| 1. 常に取り組んでいる | 2. ときどき取り組んでいる | 3. 取り組んでいない |
| 4. 取り組もうと思わない | 5. わからない | |

問 24 あなたは、東近江市の働く場所(希望する業種・職種)について、どのように考えていますか。《○1つ》

- | | | |
|------------------|------------------|--------------|
| 1. 十分にある | 2. どちらかといえば十分にある | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば十分でない | 5. 十分でない | 6. わからない |

問 31 あなたは、地震等の災害に備えてどのような準備をしていますか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 水や食料等を3日分以上備蓄 | 2. 非常持ち出し袋の準備 |
| 3. 家具の転倒防止 | 4. 地域の防災訓練に参加 |
| 5. 一時集合場所や避難所を家族で確認 | 6. 安否連絡方法を家族で確認 |
| 7. 特に何もしていない | 8. その他() |

5 子育てや教育についておたずねします。

問 32 あなたは、東近江市は子育てをするのに良い環境であると思いますか。《○1つ》

- | | | |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

問 33 あなたは、市内において児童・生徒の通学路の安全は確保できていると思いますか。《○1つ》

- | | | |
|-------------------|------------------|--------------|
| 1. できている | 2. どちらかといえばできている | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばできていない | 5. できていない | 6. わからない |

問 34 あなたは、「東近江市は人権が尊重されるまち」になっていると思いますか。《○1つ》

- | | | |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

問 35 あなたは、この1年間に職場、市又は地区等が開催する人権に関する講座や講演、研修等に参加しましたか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 職場の講演や研修に参加した | 2. 市の講座や講演に参加した |
| 3. 地区の講座や講演に参加した | 4. 自治会の町別懇談会に参加した |
| 5. 参加していない | 6. その他() |

問 36 あなたは、児童虐待が疑われるときに、どこに通報しますか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1. 市役所 | 2. 園・学校 |
| 3. 保健センター | 4. 民生委員児童委員 |
| 5. 警察 | 6. 子ども家庭相談センター |
| 7. 虐待ホットライン | 8. 児童相談所全国共通ダイヤル189 |
| 9. その他() | 10. 通報先を知らない |
| 11. 通報しない | |

問 37 あなたはこの5年間に、文化芸術の鑑賞や活動を行うために、ホールを利用しましたか。以下のうち、利用したことのある施設をすべてお選びください。《あてはまるものすべてに○》

※ホール以外の施設(会議室等)の利用は除く。

1. 八日市文化芸術会館ホール	2. あかね文化ホール
3. 五個荘コミュニティセンター大ホール	4. 愛東コミュニティセンター大ホール
5. 能登川コミュニティセンターホール	6. 蒲生コミュニティセンター小ホール
7. てんびんの里文化学習センターあじさいホール	8. いずれも利用していない

6 都市整備についておたずねします。

問 38 市内の都市基盤の整備に対する満足度をお答えください。《①～⑤それぞれの項目に○1つ》

	満足	どちらかといえは満足	どちらともいえない	どちらかといえは不満	不満	わからない
①主要幹線道路の整備(主に市外へ移動するための道路)	1	2	3	4	5	6
②地域の生活道路の整備(主に市内を移動するための道路)	1	2	3	4	5	6
③河川の整備(一級河川等)	1	2	3	4	5	6
④雨水排水の整備(身近な水路等)	1	2	3	4	5	6
⑤公園の整備(広場、遊び場等)	1	2	3	4	5	6

7 購買状況等についておたずねします。

問 39 あなたは、日頃、食品や日用雑貨品、衣料品を主にどこで購入しますか。《①～③それぞれの項目に○1つ》

	東近江市内	近江八幡市	彦根市	甲賀市	県内市町 その他	県外	通販 カタログ	ショッピング ネット	その他
①食品	1	2	3	4	5	6	7	8	9
②日用雑貨品	1	2	3	4	5	6	7	8	9
③衣料品	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問 40 あなたの家庭では野菜等を購入するとき、主に何を基準に選んでいますか(自作している方も不足する野菜を購入する場合)。《○1つ》

1. 金額	2. 鮮度	3. 安全・安心
4. 調理の利便性(カット済み、洗浄済み等)	5. 見た目	6. 大きさ
7. 産地(市内、県内産等)	8. わからない	9. その他()

問 41 あなたの家庭では、市内の農産物直売所(青空市、無人販売所を含む。)を利用しますか。《○1つ》

1. よく利用する(週に1回以上)	2. 利用する(月に1~3回程度)
3. たまに利用する(年間数回程度)	4. 利用しない
5. 市内の直売所は利用しないが市外の直売所を利用している	6. 直売所がどこにあるのか知らない
7. わからない	8. その他()

問 42 あなたは、次のキャッシュレス決済をどの程度利用していますか。《①~⑥それぞれの項目に○1つ》

	週に2回以上	週に1回程度	月に1~3回程度	年に数回程度	利用していない
①クレジットカード	1	2	3	4	5
②デビットカード	1	2	3	4	5
③QR/バーコード決済(PayPay、LINE Pay など)	1	2	3	4	5
④流通系電子マネー(HOP マネー、WAON、nanaco など)	1	2	3	4	5
⑤交通系電子マネー(ICOCA、PiTaPa など) ※電車やバス等の交通機関での利用を除く	1	2	3	4	5
⑥その他()	1	2	3	4	5

8 協働のまちづくりについておたずねします。

問 43 あなたは、東近江市では市民、企業、行政等が共に考え、力を合わせた協働のまちづくりができていると思いますか。《○1つ》

1. できている	2. ある程度できている	3. どちらともいえない
4. あまりできていない	5. できていない	6. わからない

問 44 あなたの身近な地域では、住民同士の助け合いができていると思いますか。《○1つ》

1. できている	2. どちらかといえばできている	3. どちらともいえない
4. どちらかといえばできていない	5. できていない	6. わからない

問 45 あなたは、自治会やまちづくり協議会等の地域活動又はNPOやボランティア等の活動にどの程度参加していますか。《○1つ》

1. 積極的に参加している	2. できる限り参加している	→問 45-1 へ
3. ときどき参加している	4. 参加していない	→問 45-3 へ

問 45-1 問 45 で「1. 積極的に参加している」「2. できる限り参加している」とお答えの方におたずねします。
この1年間にどのような活動に参加しましたか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|-----------|-----------------------|
| 1. 自治会活動 | 2. まちづくり協議会の活動 |
| 3. NPOの活動 | 4. ボランティア活動 →問 45-2 へ |
| 5. その他() | |

問 45-2 問 45-1 で「3. NPOの活動」「4. ボランティア活動」とお答えの方におたずねします。
この1年間にどのような活動に参加しましたか。《あてはまるものすべてに○》

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 高齢者に対する活動 | 2. 障害者に対する活動 |
| 3. 子育てをする親や子どもを支援する活動 | 4. 健康や医療に関連した活動 |
| 5. スポーツに関連した活動 | 6. 自然や環境を守る活動 |
| 7. 美化・清掃活動 | 8. 災害・防災に関連した活動 |
| 9. 交通安全・防犯活動 | 10. 国際協力に関連した活動 |
| 11. その他() | |

問 45-3 問 45 で「4. 参加していない」とお答えの方におたずねします。
参加していない理由をお聞かせください。《○1つ》

- | | |
|-------------------------------------|--------------------|
| 1. 仕事や育児、家族の介護等のため忙しく
時間に余裕がないから | 2. 年齢・身体・健康上の理由から |
| 3. 活動の情報が少なく、活動内容がわから
ないから | 4. 既存の仕組み等に不満があるから |
| 5. 面倒だから | 6. 関心がないから |
| 7. その他() | |

問 46 あなたは、国籍や民族の異なる人々が互いに認め合い、共に暮らす社会の実現についてどう思いますか。《○1つ》

- | | | |
|----------------|------------------|--------------|
| 1. 重要と思う | 2. どちらかといえば重要と思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり重要とは思わない | 5. 重要とは思わない | 6. わからない |

9 広報等の情報についておたずねします。

問 47 あなたは、市の情報(お知らせ)を主にどのような方法で取得していますか。《○3つまで》

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 広報ひがしおうみ | 2. 新聞 |
| 3. 自治会回覧 | 4. 公共施設に設置してあるチラシ |
| 5. 市ホームページ | 6. ケーブルテレビ(東近江スマイルネット) |
| 7. 防災情報告知放送システム | 8. ラジオ(FMひがしおうみ) |
| 9. スマートフォン等のアプリ「LINE」 | 10. その他() |

問 48 あなたは、市の広報紙「広報ひがしおうみ」を読んでいますか。《○1つ》

1. 毎月読んでいる	2. たまに読んでいる	→問 48-1 へ
3. 読んでいない	4. 「広報ひがしおうみ」を知らない	

問 48-1 問 48 で「1. 毎月読んでいる」「2. たまに読んでいる」とお答えの方におたずねします。
あなたは、「広報ひがしおうみ」の内容について満足していますか。《○1つ》

1. 満足している	2. どちらかといえば満足している
3. どちらともいえない	4. どちらかといえば満足していない
5. 満足していない	

問 49 「広報ひがしおうみ」は、毎月新聞折込みによる配布のほかに次の方法で配信等を行っています。
あなたは、次の配信等の方法を知っていますか。《①～⑥それぞれの項目に○1つ》

	見たことがある	見たことはない 知っているが	知らない
①市ホームページで閲覧	1	2	3
②東近江スマイルネットのデータ放送で視聴	1	2	3
③スマートフォン等のアプリ「LINE」で閲覧	1	2	3
④スマートフォン等のアプリ「マチイロ」で閲覧	1	2	3
⑤スマートフォン等のアプリ「カタログポケット」で閲覧	1	2	3
⑥公共施設等(市役所、図書館、コミュニティセンター等)に設置	1	2	3

問 50 あなたは「東近江市議会だより」を読んでいますか。《○1つ》

1. 毎号読んでいる	2. たまに読んでいる
3. 読んでいない	4. 「東近江市議会だより」を知らない

問 51 あなたは、「市議会本会議」の様子を次のいずれかの方法で見たことがありますか。《あてはまるものすべてに○》

1. 本会議の傍聴	2. ケーブルテレビ(東近江スマイルネット)の生中継
3. インターネットのライブ配信(生中継)	4. インターネットの録画配信
5. 見たことがない	

令和5年度 市民意識調査結果報告書

発行年月 令和6年1月

発行 東近江市 企画部 企画課

〒527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町 10 番5号

IP電話:050-5801-5610 電話:0748-24-5610